

市政世論調査報告書

(第 43 回・平成 23 年)

調査項目

定 住 意 向
生 活 環 境
市 政 へ の 要 望
情 報 の 入 手 方 法 と
こ れ か ら の 広 報 媒 体 に つ い て
公 共 交 通
「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の
目 標 値 に 対 す る 達 成 度

八 王 子 市

はじめに

市政世論調査は、市民の皆様の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市のまちづくりに有効に活用するために毎年実施しています。

この冊子は、平成23年5月に実施した「市政世論調査」の結果をとりまとめたもので、本年は、調査項目として「定住意向」「生活環境」「市政への要望」「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」の継続的項目に加え、「情報の入手方法とこれからの広報媒体について」「公共交通」を設定しました。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図るとともに、調査結果を有効に活用して、市民と行政との協働によるまちづくりを、より一層推進していきたいと考えています。

最後になりましたが、この調査に御協力いただいた市民の皆様に心から御礼申し上げます。

平成23年10月

八王子市長 黒須 隆一

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査項目	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
6. 回答者の属性	5
II 調査結果の分析	11
1. 定住意向	13
1-1 定住意向	13
1-2 住み続けたい理由	16
1-3 市外へ移りたい理由	19
2. 生活環境	22
2-1 生活環境の評価	22
3. 市政への要望	28
3-1 重点施策要望	28
4. 情報の入手方法とこれからの広報媒体について	32
4-1 「市政に関する情報」の入手方法	32
4-2 「広報はちおうじ」を読む頻度	34
4-3 「広報はちおうじ」で主に読む部分	36
4-4 「広報はちおうじ」を読まない理由	38
4-5 「広報はちおうじ」で充実すべき記事	40
4-6 「広報はちおうじ」の配布方法の変更前の入手方法	42
4-7 「市政に関する情報」の発信で力を入れるべき方法	44
4-8 「広報はちおうじ」で省略してもよいと思う情報	46
4-9 市のホームページの認知度・利用状況	48
4-10 市のホームページの満足度	50
4-11 市のホームページで充実して欲しい情報	52
4-12 市のホームページの内容に関する評価	54
4-13 市のホームページから欲しい情報の探しやすさ	56

4-14	市のホームページの利用頻度	58
4-15	市のホームページでよく見る情報	60
4-16	市のホームページを見ない理由	62
4-17	市のホームページを利用したことがない理由	64
4-18	市のメール配信サービスの認知度・登録状況	66
4-19	市のメール配信サービスを利用したことがない理由	68
4-20	市のメール配信サービスで利用するメニュー	70
4-21	市のメール配信サービスで必要と思う情報	72
4-22	行政の情報以外で知りたい八王子市の情報	74
5	公共交通	76
5-1	日頃利用する交通手段	76
5-2	駅までの主な交通手段	80
5-3	電車、バスなどの公共交通機関を利用する理由	83
5-4	自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離	86
5-5	交通手段として自動車を利用する理由	88
5-6	交通手段を利用する目的	91
5-7	交通手段を利用するうえでの満足度	95
5-8	交通手段利用時に不満を感じる理由	98
5-9	交通手段利用時に不満を感じない理由	101
5-10	今後の交通環境の整備で期待すること	103
6	「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度	106
6-1	現在の生きがい	106
6-2	この1年間に取り組んだ学習活動	108
6-3	この1年間の芸術・文化活動の頻度	111
6-4	この1年間に行ったスポーツの頻度	113
6-5	健康のために心がけていること	117
6-6	かかりつけの医療機関の有無	119
6-7	この1年間の地域行事への参加	121
6-8	市民協働の推進状況	123
6-9	災害に対する準備	125
6-10	日常生活環境の安全度	127
6-11	市の窓口の利用の有無	129
6-12	市の窓口サービスの満足度	131

6-13	市の相談窓口の充実度	133
6-14	市の相談窓口の利用の有無	135
6-15	市の相談窓口の満足度	137
6-16	市政情報の入手しやすさ	139
6-17	市の子育て支援策の満足度	141
6-18	市のにぎわいと活力の有無	144
6-19	市は景観に配慮されたまちであるか	146
6-20	環境問題への関心度	148
6-21	市の現在の環境	150
6-22	都市の美観が損なわれる原因	152
6-23	市は美観が保持されたまちだと思うか	155
6-24	省エネ・省資源を実行しているか	157
Ⅲ	調査票	159

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：八王子市内全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 対象者数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
 - ・層化…「八王子ゆめおりプラン」で示された6地域に区分する。（下の地域区分図参照）
 - ・地点抽出…各地域の調査対象人口（満20歳以上の男女）に応じて調査対象を配分する。
調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。
 - ・対象者抽出…抽出された各地点において対象者数が30人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

- 中央地域：本庁管内
- 西部地域：元八王子・恩方・川口
- 西南部地域：浅川・横山・館
- 北部地域：加住・石川
- 東南部地域：由井・北野
- 東部地域：由木・由木東・南大沢



- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成23年5月16日～5月30日
- (7) 調査機関：（社）日本リサーチ総合研究所

3. 調査項目

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境
- (3) 市政への要望
- (4) 情報の入手方法とこれからの広報媒体について
- (5) 公共交通
- (6) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

4. 回収結果

対象者数 : 3,000人

有効回収数 : 1,795票 (有効回収率59.8%)

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) 基数となるべき実数は、n (件数) として表示した。その比率は、n (件数) を100%として算出した。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 分析の軸 (=表側) として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性と基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 割合の表現については、各値が、「0.0%」の場合は「〇割」、「0.1~0.9%」の場合は「ほぼ〇割」、「1.0~3.9%」の場合は「〇割強」、「4.0~5.9%」は「〇割台半ば」、「6.0~8.9%」の場合は「〇割弱」、「9.0~9.9%」の場合は「ほぼ〇割」との表記を基本とする。
- (7) 標本誤差

標本誤差 (サンプル誤差) はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数 (n)、および回答比率 (P) によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

回答比率 (P) 基数 (n)	10%または90% 前後	20%または80% 前後	30%または70% 前後	40%または60% 前後	50%前後
1,795	± 2.00	± 2.67	± 3.06	± 3.27	± 3.34
1,500	± 2.19	± 2.92	± 3.35	± 3.58	± 3.65
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.37
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ として算出している。この表の計算式の信頼度は95%である。

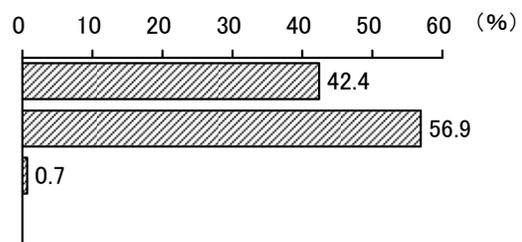
注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,795で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.27%以内 (56.73%~63.27%) である」と見ることができる。

6. 回答者の属性

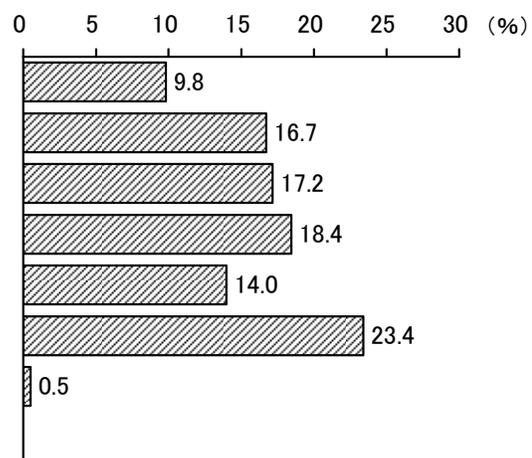
(1) 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	761	42.4
2 女性	1,022	56.9
無回答	12	0.7
合計	1,795	100.0



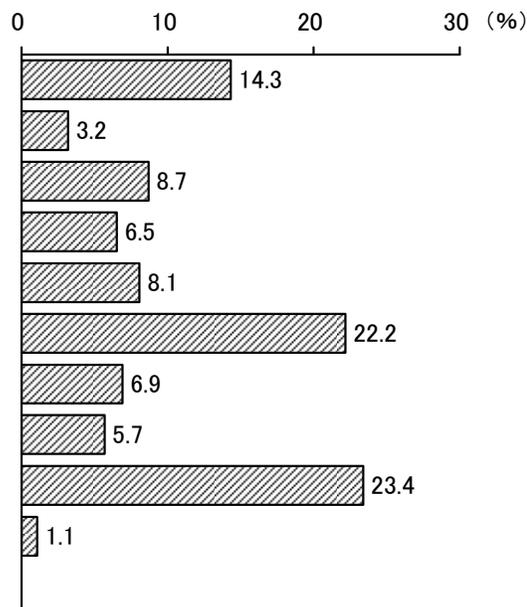
(2) 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	176	9.8
2 30歳代	300	16.7
3 40歳代	308	17.2
4 50歳代	331	18.4
5 60～64歳代	251	14.0
6 65歳以上	420	23.4
無回答	9	0.5
合計	1,795	100.0



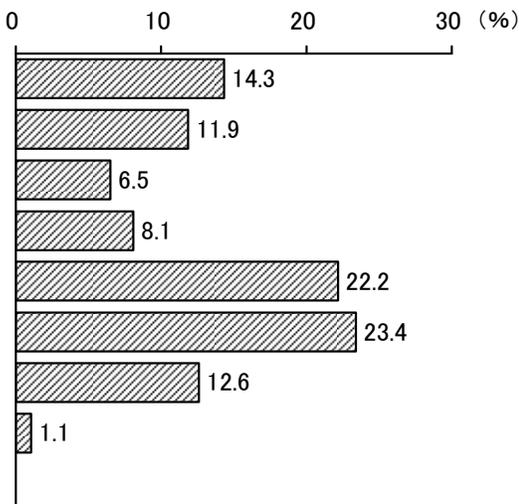
(3) ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1 20～39歳で単身者	257	14.3
2 20～39歳で配偶者がいて 子どもがいない	57	3.2
3 20～64歳で一番下の子どもが 小学校入学前	156	8.7
4 20～64歳で一番下の子どもが 小学生	117	6.5
5 20～64歳で一番下の子どもが 中学・高校生	145	8.1
6 20～64歳で一番下の子どもが 高校を卒業している	398	22.2
7 40～64歳で単身者	124	6.9
8 40～64歳で配偶者がいて 子どもがいない	102	5.7
9 65歳以上	420	23.4
無回答	19	1.1
合計	1,795	100.0



■ ライフステージ (集約型)

	基数(人)	構成比(%)
1 独身期	257	14.3
2 家族形成期	213	11.9
3 家族成長前期	117	6.5
4 家族成長後期	145	8.1
5 家族成熟期	398	22.2
6 老齢期	420	23.4
7 その他	226	12.6
無回答	19	1.1
合計	1,795	100.0

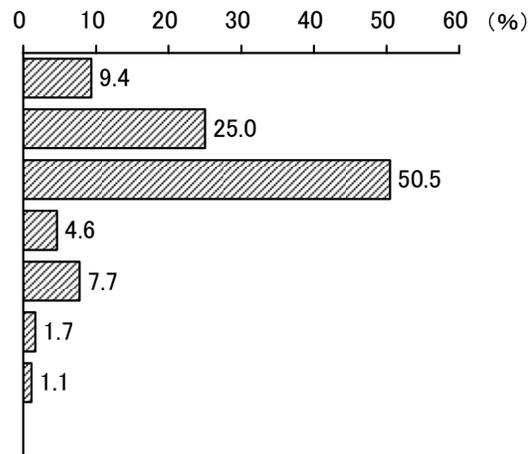


■ ライフステージ区分

独身期	20～39歳で単身者
家族形成期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家族成長前期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家族成長後期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家族成熟期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老齢期	65歳以上
その他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

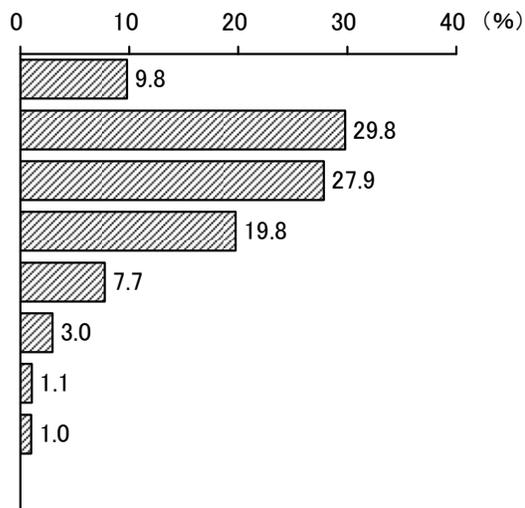
(4) 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし(単身世帯)	168	9.4
2 夫婦のみ(一世代世帯)	449	25.0
3 親と未婚の子ども(二世代会世帯)	906	50.5
4 親と子ども夫婦(二世代会世帯)	83	4.6
5 親と子どもと孫(三世代会世帯)	139	7.7
6 その他	30	1.7
無回答	20	1.1
合計	1,795	100.0



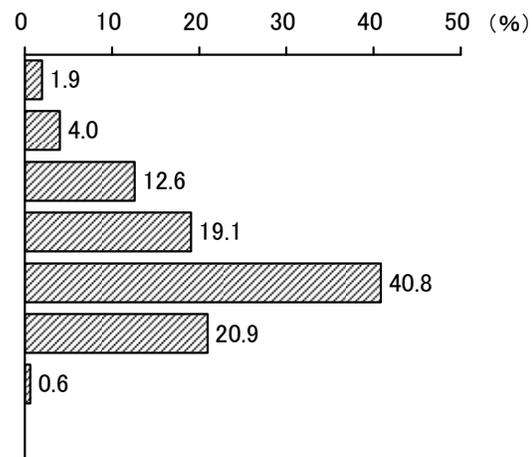
(5) 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	176	9.8
2 2人	535	29.8
3 3人	500	27.9
4 4人	355	19.8
5 5人	139	7.7
6 6人	53	3.0
7 7人以上	19	1.1
無回答	18	1.0
合計	1,795	100.0



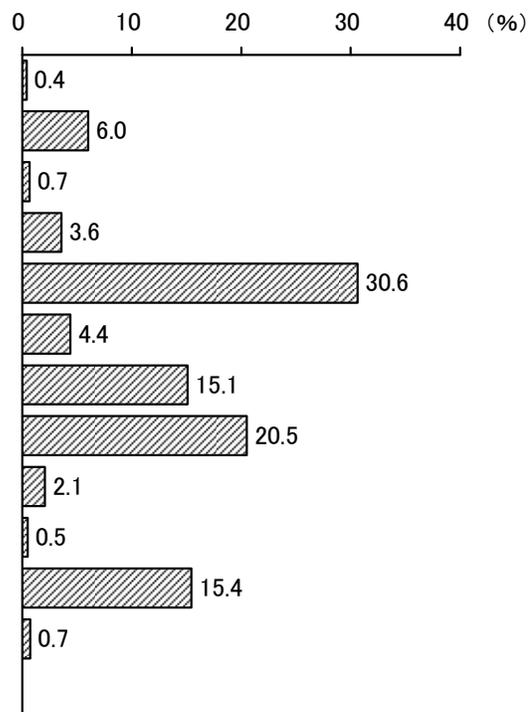
(6) 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	35	1.9
2 1～3年未満	72	4.0
3 3～10年未満	226	12.6
4 10～20年未満	342	19.1
5 20年以上	733	40.8
6 生まれてからずっと	376	20.9
無回答	11	0.6
合計	1,795	100.0



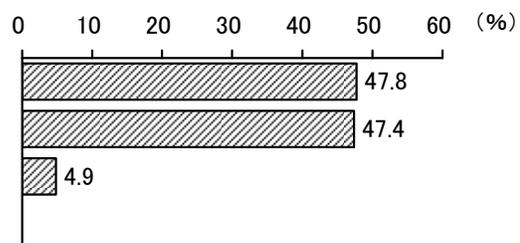
(7) 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 農・林・漁業	7	0.4
2 自営業	108	6.0
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	12	0.7
4 会社や団体の役員	64	3.6
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	550	30.6
6 教員・公務員	79	4.4
7 アルバイト・パート	271	15.1
8 (専業)主婦・主夫	368	20.5
9 学生	37	2.1
10 その他	9	0.5
11 無職	277	15.4
無回答	13	0.7
合計	1,795	100.0



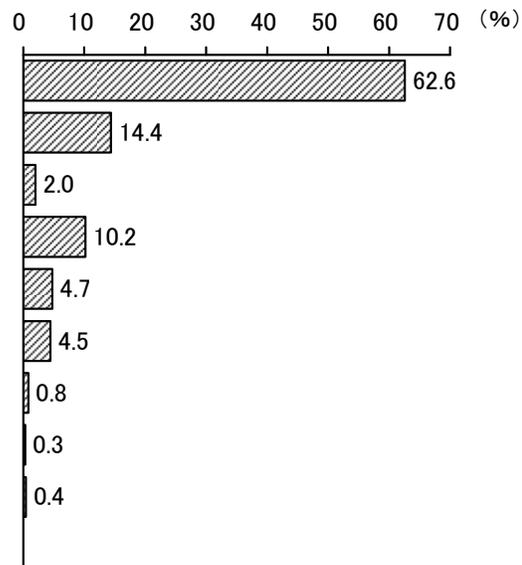
(7) - 1 仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1 八王子市内	521	47.8
2 八王子市外	517	47.4
無回答	53	4.9
合計	1,091	100.0



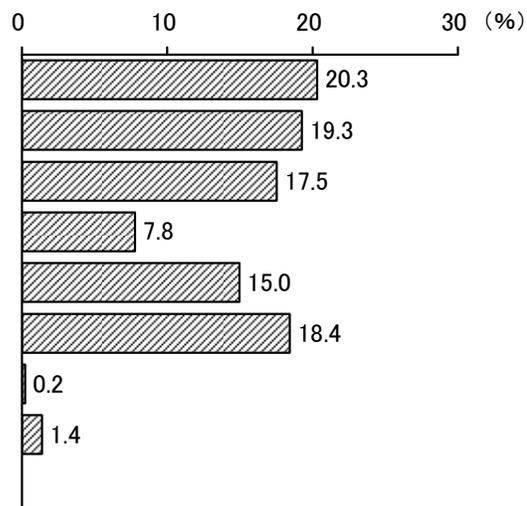
(8) 居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て(持ち家)	1,124	62.6
2 分譲マンション	258	14.4
3 一戸建て(借家)	36	2.0
4 民間の賃貸アパート・マンション	183	10.2
5 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	85	4.7
6 都営・市営住宅	80	4.5
7 社宅・官舎・寮	15	0.8
8 その他	6	0.3
無回答	8	0.4
合計	1,795	100.0



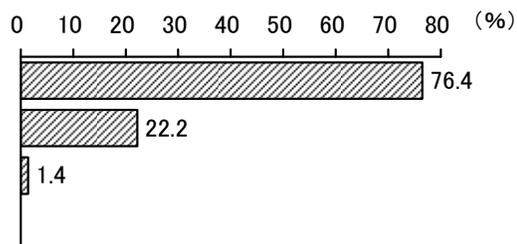
(9) 居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1 本庁管内(中央地域)	365	20.3
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	346	19.3
3 浅川・横山・館(西南部地域)	315	17.5
4 加住・石川(北部地域)	140	7.8
5 由井・北野(東南部地域)	269	15.0
6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	331	18.4
7 不明	4	0.2
無回答	25	1.4
合計	1,795	100.0



(10) 町会・自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 入っている	1,372	76.4
2 入っていない	398	22.2
無回答	25	1.4
合計	1,795	100.0



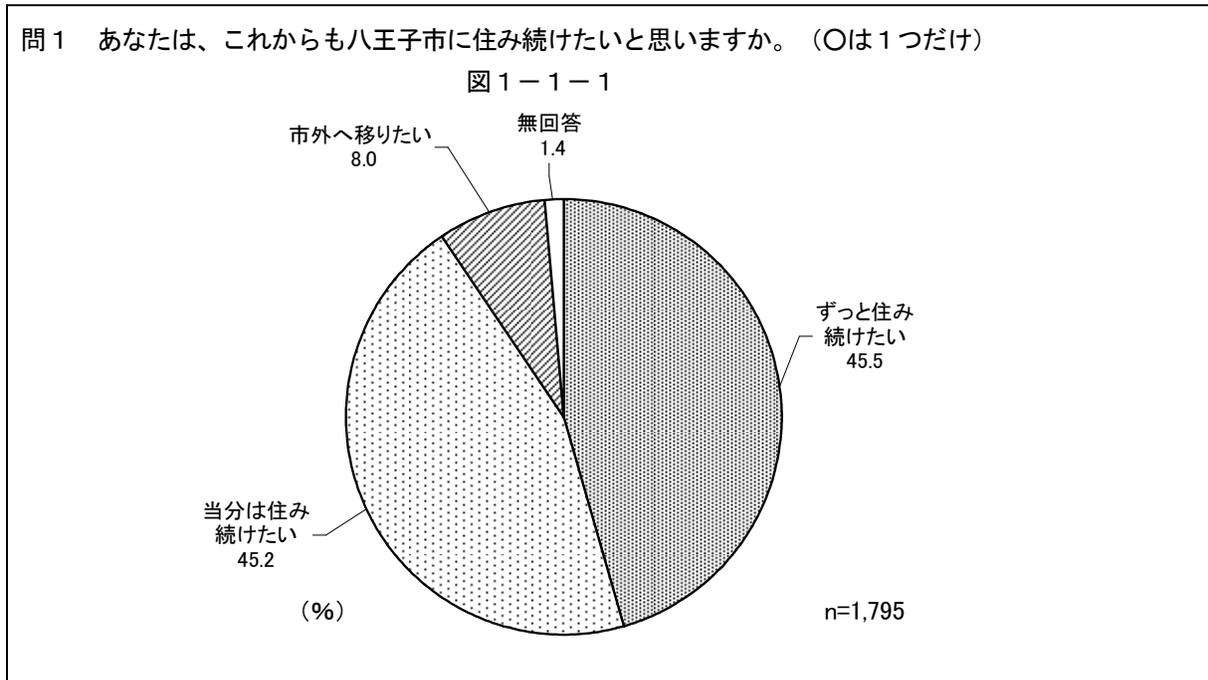
Ⅱ 調査結果の分析

1. 定住意向

1-1 定住意向

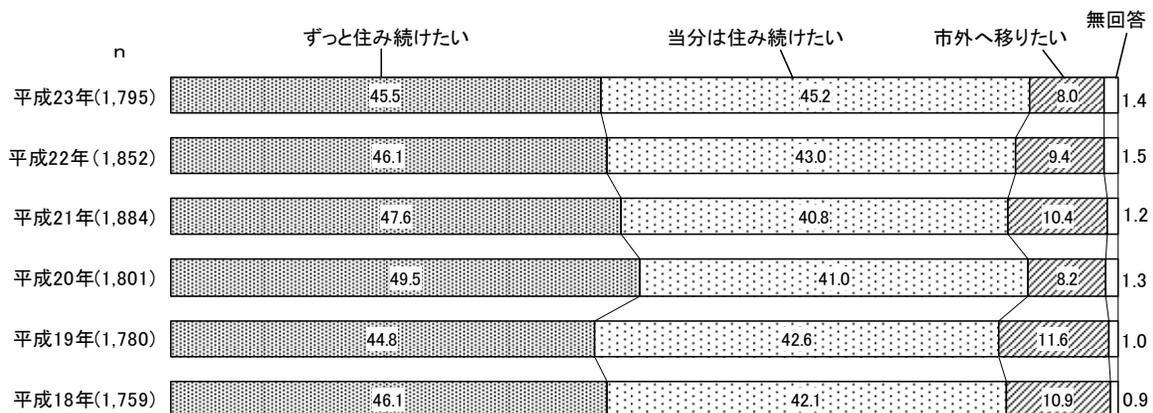
◇『住み続けたい』がほぼ9割を占め、「市外へ移りたい」が1割弱

問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)



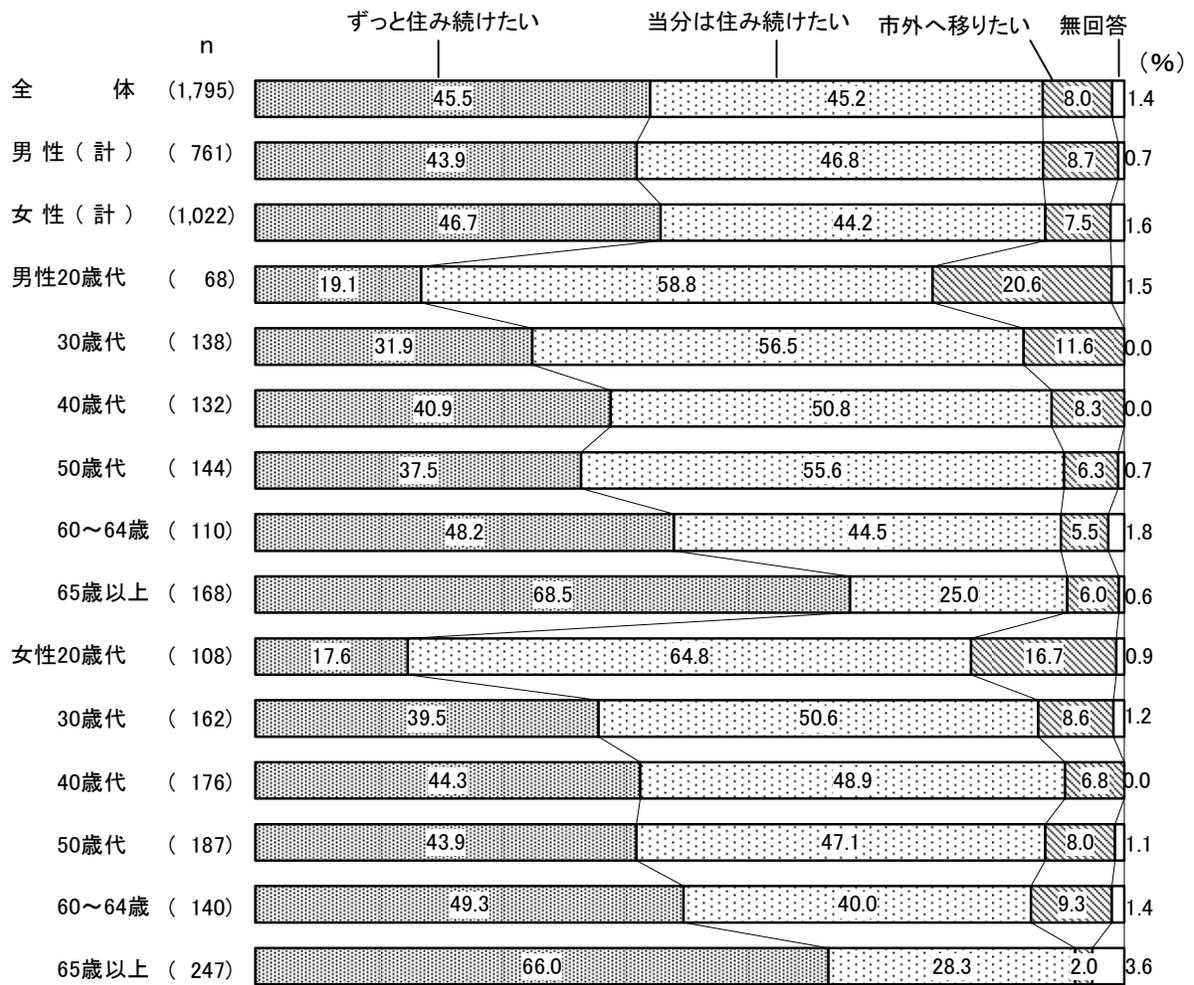
市への定住意向をみると、「ずっと住み続けたい」(45.5%)と「当分は住み続けたい」(45.2%)とも4割台半ばであり、両者を合わせた『住み続けたい』はほぼ9割(90.7%)を占める。また、「市外へ移りたい」は1割弱(8.0%)にとどまっている。(図1-1-1)

図1-1-2 定住意向—経年比較



過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」はやや減少傾向にあるものの、「当分は住み続けたい」と合わせた『住み続けたい』は引き続き9割前後の割合を占めており、5年前との比較では、『すみ続けたい』が2.5ポイント増加し、逆に『市外へ移りたい』が2.9ポイント減少している。(図1-1-2)

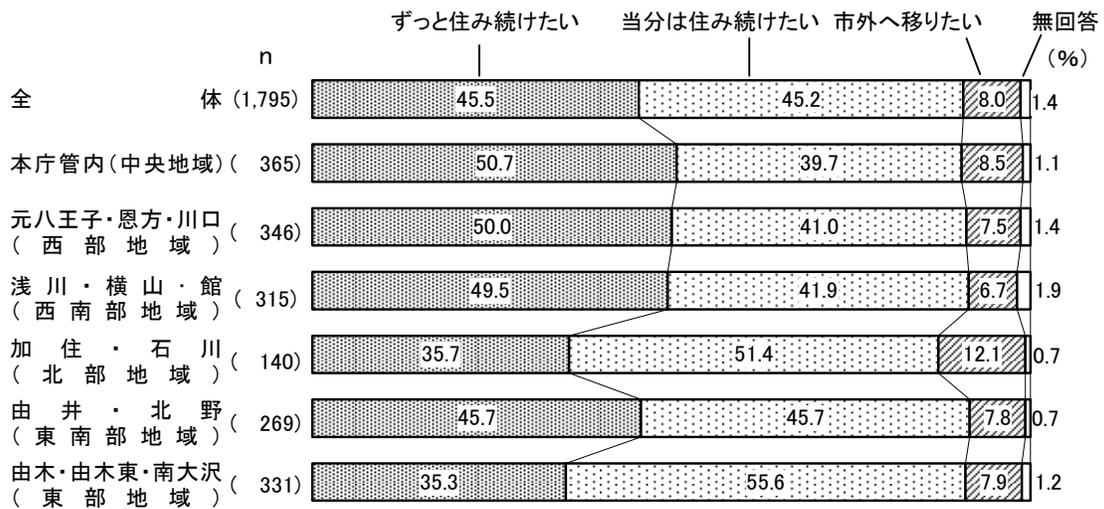
図1-1-3 定住意向一性・年齢別



性別にみると、「ずっと住みたい」は女性のほうが2.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男性65歳以上(68.5%)と女性65歳以上(66.0%)で7割弱、男性60~64歳(48.2%)で5割弱、女性60~64歳(49.3%)でほぼ5割と高くなっている。また、「市外へ移り住みたい」は男性の20代でほぼ2割(20.6%)、女性の20歳代で2割弱(16.7%)であり、他の年代に比べて高くなっている。(図1-1-3)

図 1-1-4 定住意向—居住地域別

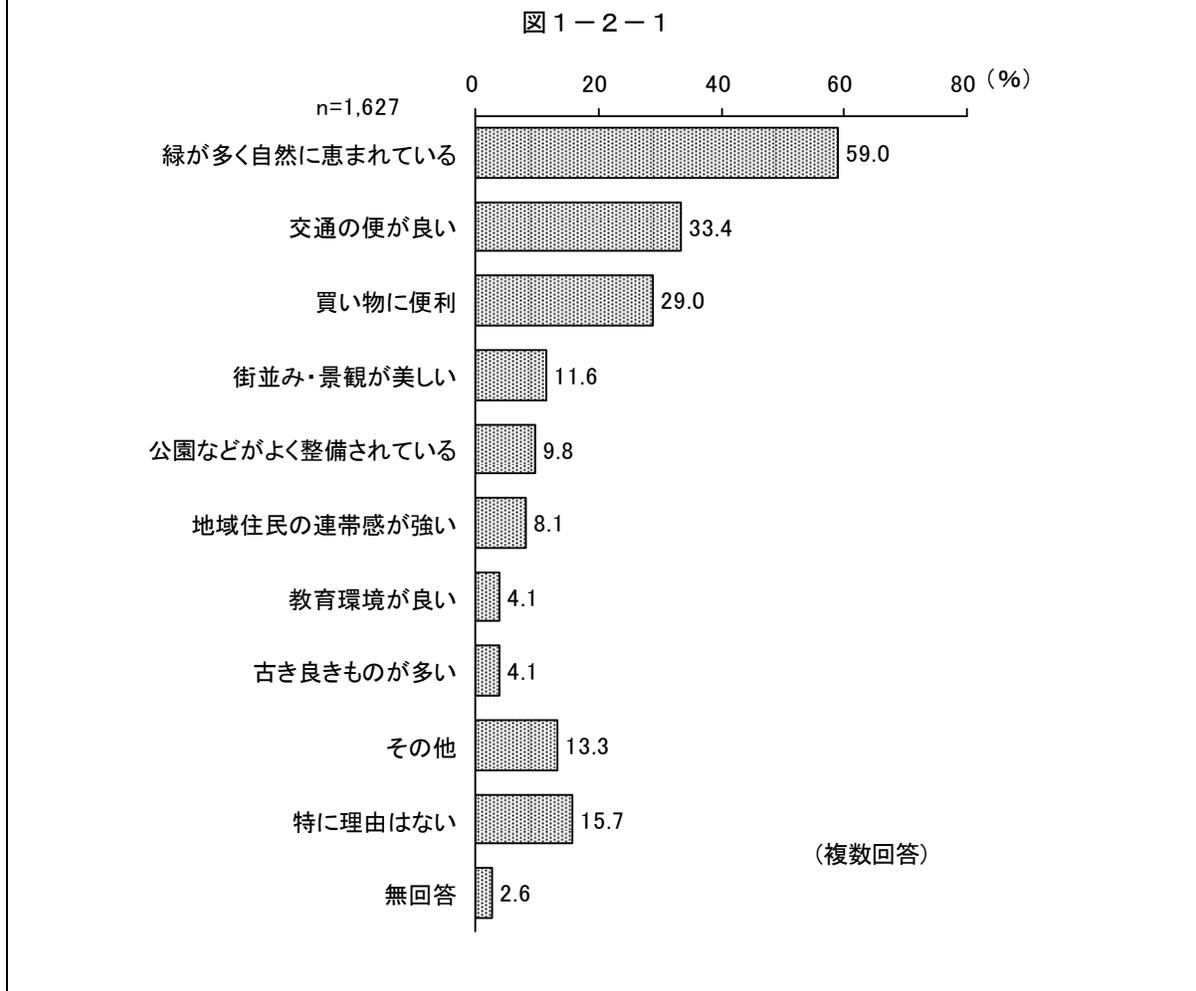


居住地域別にみると、『住みたい』は加住・石川（北部地域）を除く 5 地区で 9 割以上、加住・石川（北部地域）も 9 割弱と高くなっている。また、「ずっと住みたい」は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）でほぼ 5 割と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）、加住・石川（北部地域）は「ずっと住みたい」が 3 割台半ばであり、他の地域が 4 割を超えているのに比べて低くなっている。（図 1-1-4）

1-2 住み続けたい理由

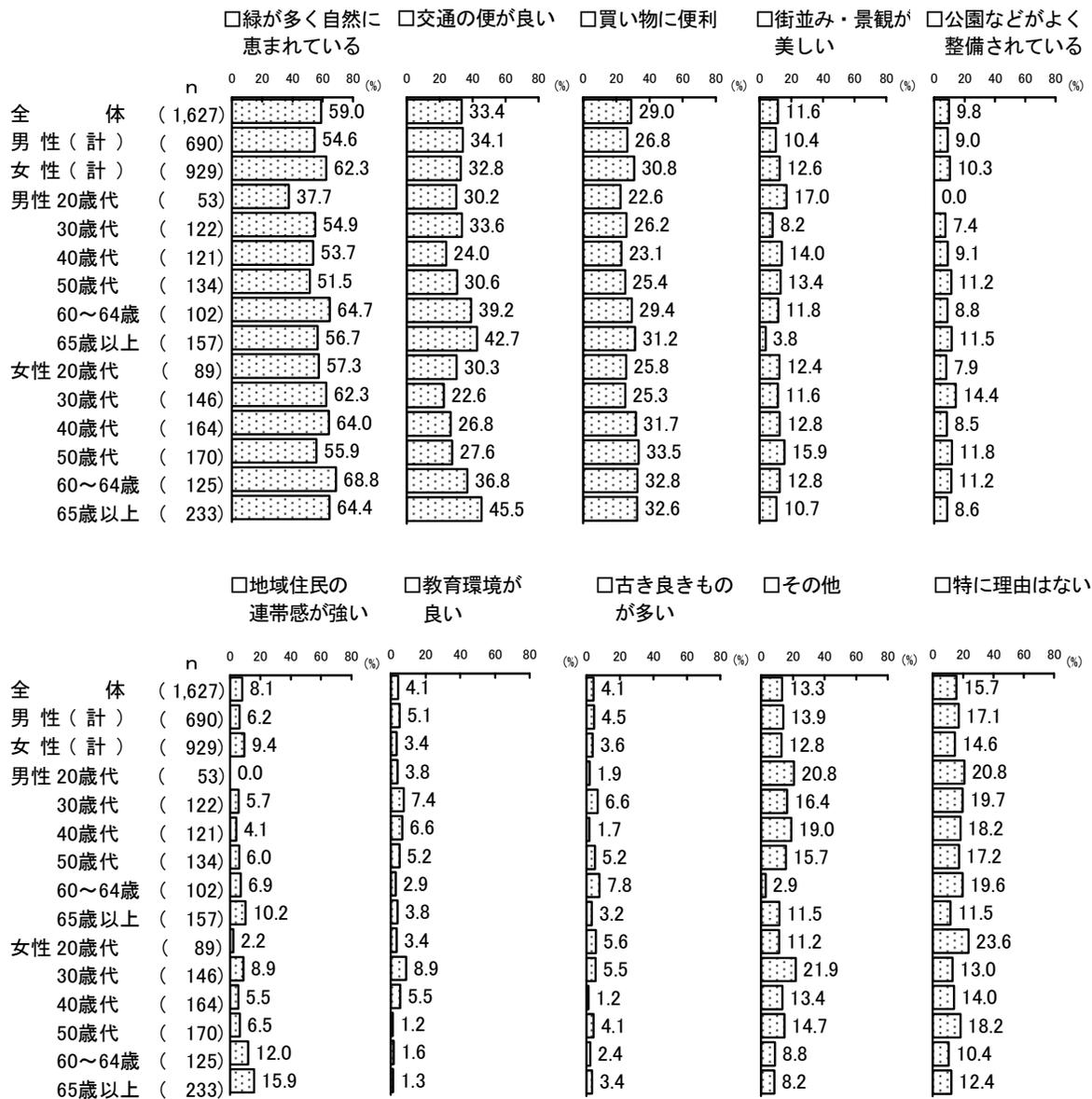
◇「緑が多く自然に恵まれている」がほぼ6割と突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分住み続けたい」とお答えの方に)
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,627人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」がほぼ6割(59.0%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(33.4%)、「買い物に便利」(29.0%)、「街並み・景観が美しい」(11.6%)、「公園などがよく整備されている」(9.8%)と続いている。(図1-2-1)

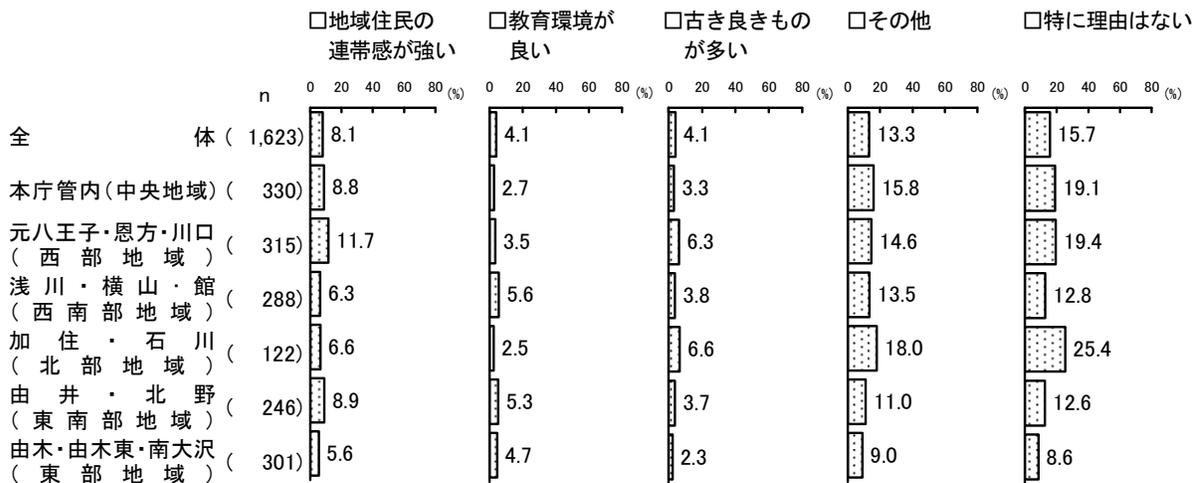
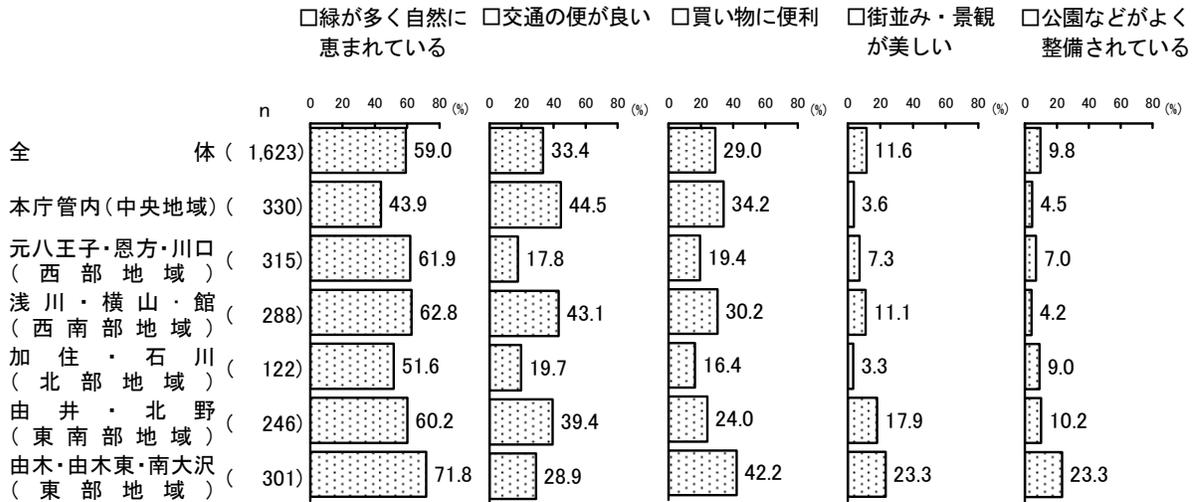
図1-2-2 住みたい理由一性・年齢別



性別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性のほうが7.7ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性20歳代を除いて5割を超えており、特に女性60~64歳は7割弱(68.8%)と高くなっている。(図1-2-2)

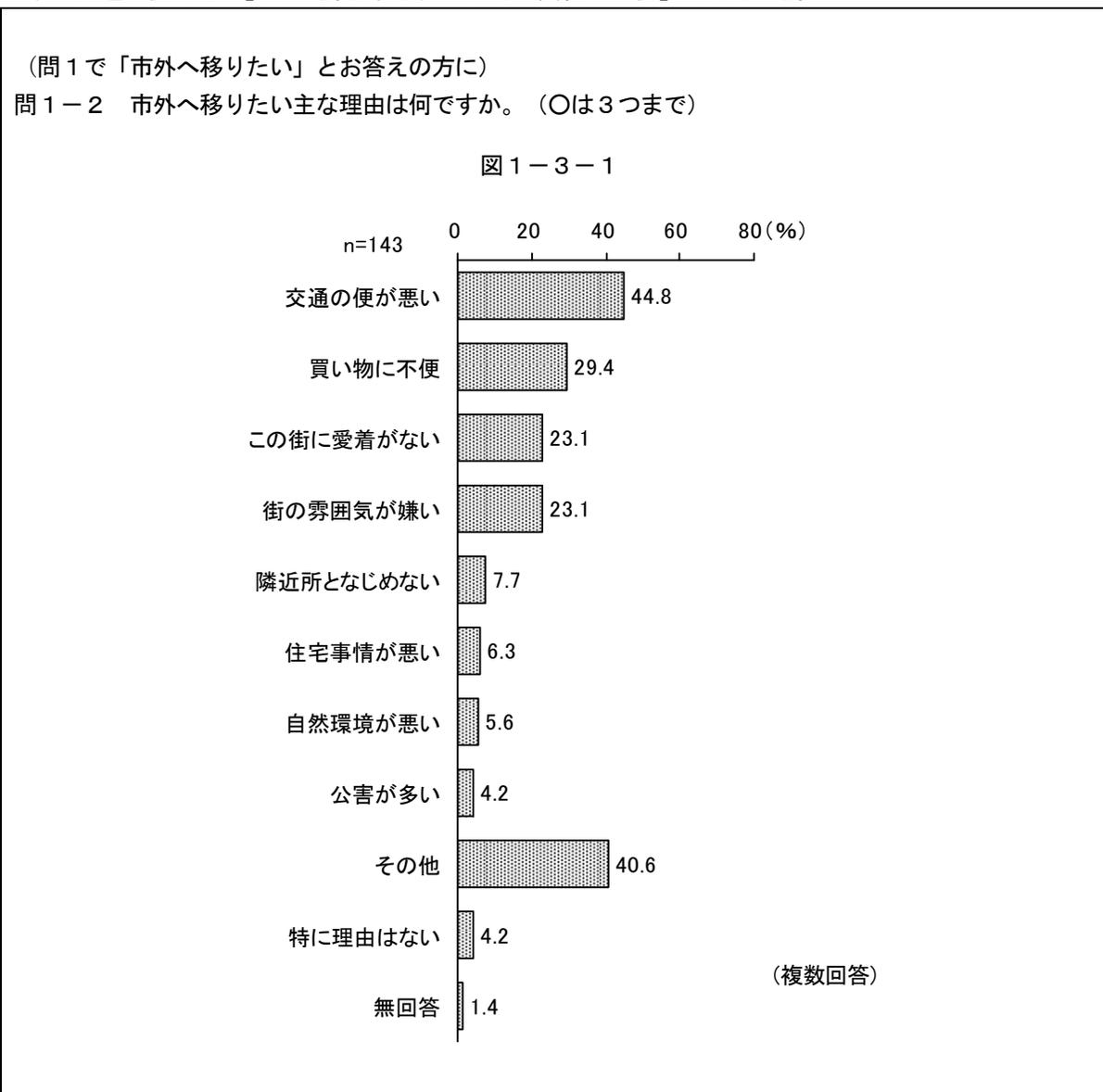
図1-2-3 住み続けたい理由—居住地域別



居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で7割強(71.8%)と高くなっている。「交通の便が良い」は本庁管内(中央地域)(44.5%)と浅川・横山・館(西南部地域)(43.1%)で4割を超えている。「買い物に便利」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割強(42.2%)と高くなっている。(図1-2-3)

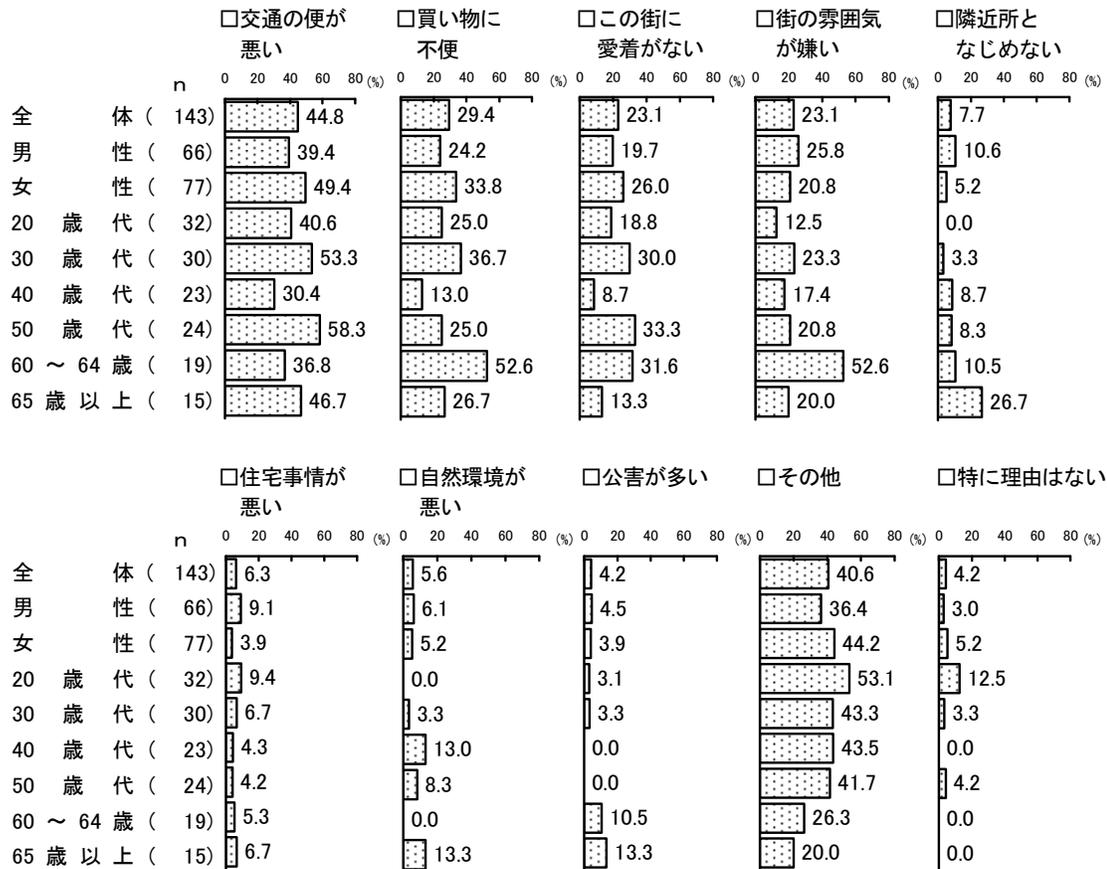
1-3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割台半ば、ついで「買物に不便」がほぼ3割



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(143人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割台半ば(44.8%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(29.4%)、「この街に愛着がない」・「街の雰囲気が嫌い」(いずれも同率の23.1%)と続いている。(図1-3-1)

図1-3-2 市外へ移りたい理由—性別・年齢別

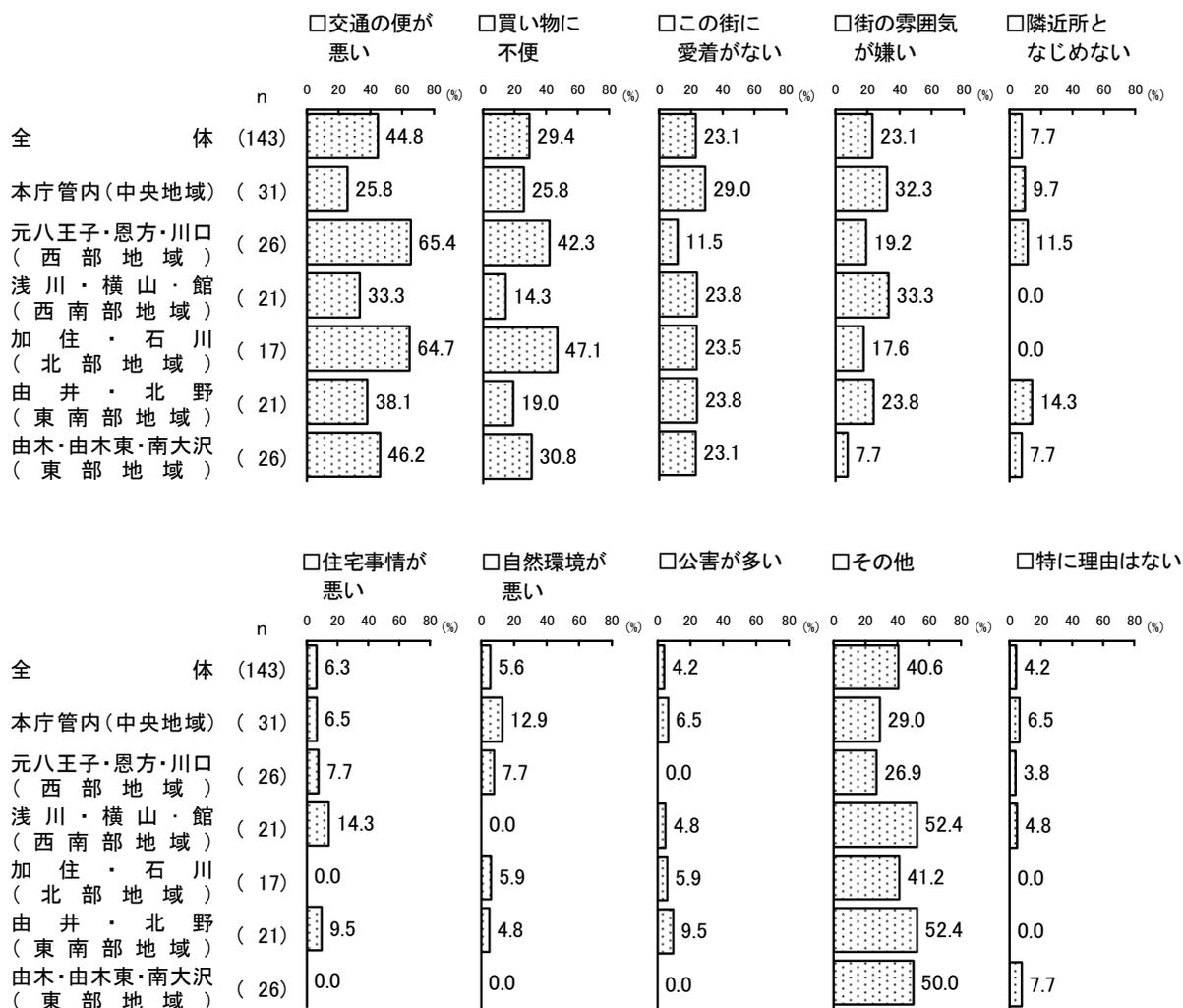


性別にみると、「交通の便が悪い」は10.0ポイント、「買い物に不便」は9.6ポイント、「この街に愛着がない」は6.3ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。逆に「隣近所となじめない」は5.4ポイント、「住宅事情が悪い」は5.2ポイント、「街の雰囲気が嫌い」が5.0ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「交通の便が悪い」は50歳代(58.3%)と30歳代(53.3%)で5割を超えて高くなっている。「買い物に不便」と「街の雰囲気が嫌い」は60~64歳で5割強(52.6%)と高くなっている。

(図1-3-2)

図1-3-3 市外へ移りたい理由—居住地域別



居住地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（65.4%）と加住・石川（北部地域）（64.7%）で6割台半ばと高くなっている。「買い物に不便」は加住・石川（北部地域）で5割弱（47.1%）、「この街に愛着がない」は本庁管内（中央地域）でほぼ3割（29.0%）と比較的高くなっている。「街の雰囲気が嫌い」は浅川・横山・館（西南部地域）（33.3%）と本庁管内（中央地域）（32.3%）で3割強と高くなっている。（図1-3-3）

2. 生活環境

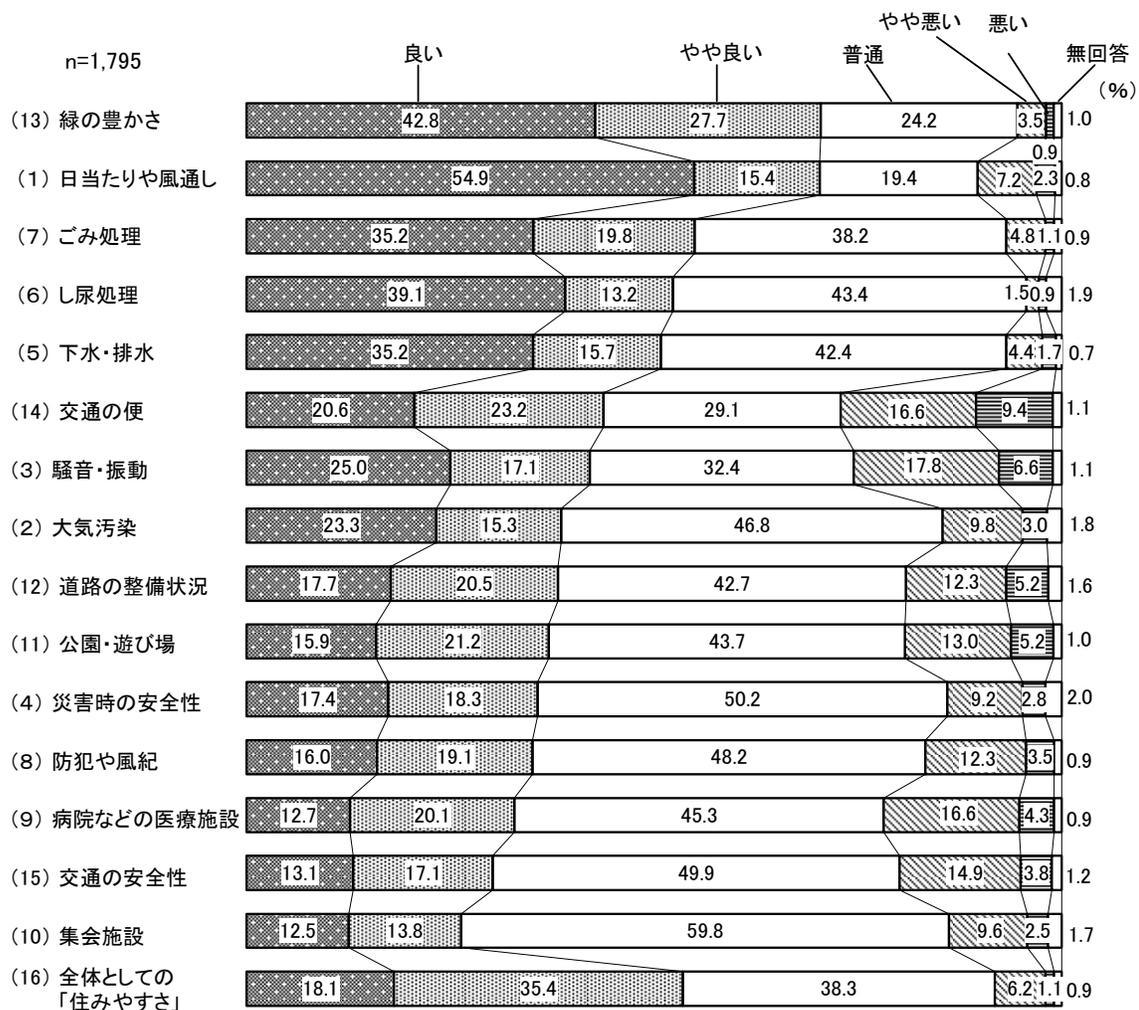
2-1 生活環境の評価

◇「緑の豊かさ」と「日当たりや風通し」の2項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(13)緑の豊かさ」では、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』がほぼ7割(70.5%)となっており、また、「(1)日当たりや風通し」では、「良い」が5割半ば(54.9%)と最も高く、「やや良い」(15.4%)と合わせた『良い』はほぼ7割(70.3%)であり、この2項目が高くなっている。一方、「(14)交通の便」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱(26.0%)、「(3)騒音・振動」は『悪い』が2割半ば(24.4%)と、他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①緑の豊かさ	(70.5%)	①交通の便	(26.0%)
②日当たりや風通し	(70.3%)	②騒音・振動	(24.4%)
③ごみ処理	(55.0%)	③病院などの医療施設	(20.9%)
④全体としての「住みやすさ」	(53.5%)	④交通の安全性	(18.7%)
⑤し尿処理	(52.3%)	⑤公園・遊び場	(18.2%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(53.5%)が5割強、【悪い】(7.3%)が1割弱となり、【良い】が【悪い】よりも46.2ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.14点)	①病院などの医療施設	(3.20点)
②緑の豊かさ	(4.09点)	②交通の安全性	(3.21点)
③し尿処理	(3.90点)	③集会施設	(3.25点)
④ごみ処理	(3.84点)	④交通の便	(3.29点)
⑤下水・排水	(3.79点)	⑤公園・遊び場	(3.30点)

図2-1-2 生活環境の評価点

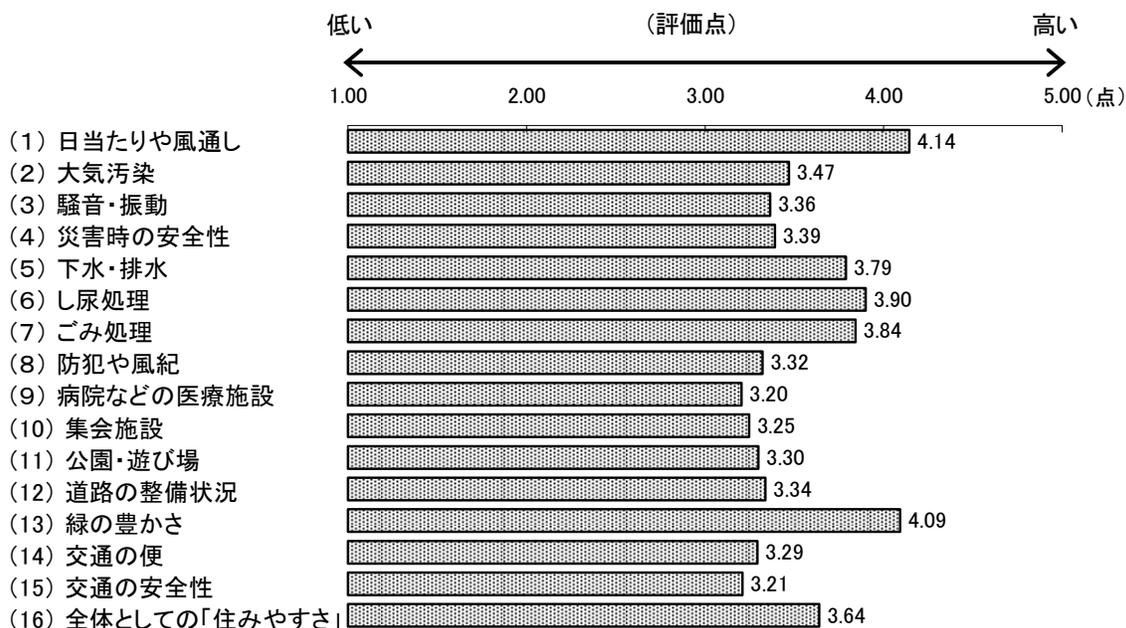


表2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全 体	居住地域					
		本 庁 中 央 地 域	恩 元 八 方 王 子 川 口 ・ 西 部 地 域	浅 川 南 部 横 山 地 域 ・ 館	加 住 北 部 石 川 地 域	由 井 東 部 北 野 地 域	南 由 大 木 ・ 由 木 東 ・ 東 部 地 域
(1) 日当たりや風通し	4.14	3.89	4.18	4.18	4.16	4.21	4.28
(2) 大気汚染	3.47	3.07	3.63	3.65	3.18	3.49	3.68
(3) 騒音・振動	3.36	3.01	3.60	3.45	2.90	3.45	3.53
(4) 災害時の安全性	3.39	3.20	3.39	3.49	3.34	3.38	3.53
(5) 下水・排水	3.79	3.72	3.72	3.89	3.62	3.85	3.85
(6) し尿処理	3.90	3.89	3.90	4.00	3.76	3.93	3.87
(7) ごみ処理	3.84	3.78	3.89	3.97	3.76	3.79	3.82
(8) 防犯や風紀	3.32	3.13	3.43	3.42	3.16	3.33	3.40
(9) 病院などの医療施設	3.20	3.29	2.94	3.42	3.26	3.21	3.14
(10) 集会施設	3.25	3.14	3.27	3.37	3.19	3.18	3.29
(11) 公園・遊び場	3.30	3.10	3.01	3.30	3.15	3.40	3.81
(12) 道路の整備状況	3.34	3.15	2.88	3.47	3.12	3.54	3.83
(13) 緑の豊かさ	4.09	3.52	4.17	4.19	4.05	4.18	4.49
(14) 交通の便	3.29	3.64	2.62	3.54	2.79	3.48	3.42
(15) 交通の安全性	3.21	3.09	2.93	3.35	2.90	3.28	3.58
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.64	3.52	3.46	3.74	3.39	3.72	3.90

(注) ■ は項目内での最高値 ■ は項目内での最低値

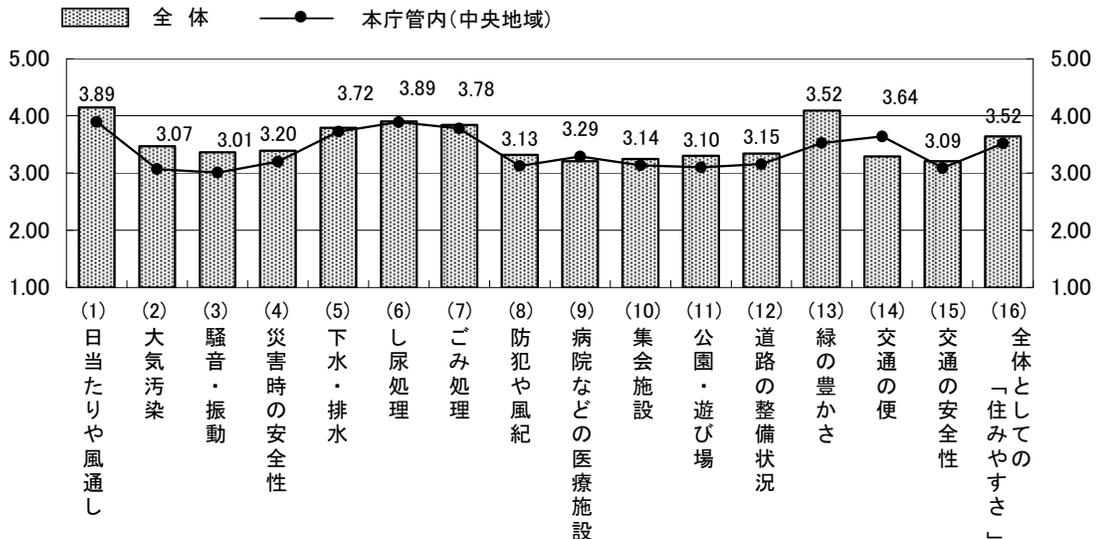
次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中2項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」(+0.35ポイント)となっている。下回っているのは14項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」(-0.57ポイント)で、他に差が大きいのは、「大気汚染」(-0.40ポイント)、「騒音・振動」(-0.35ポイント)となっている。

(図2-1-3)

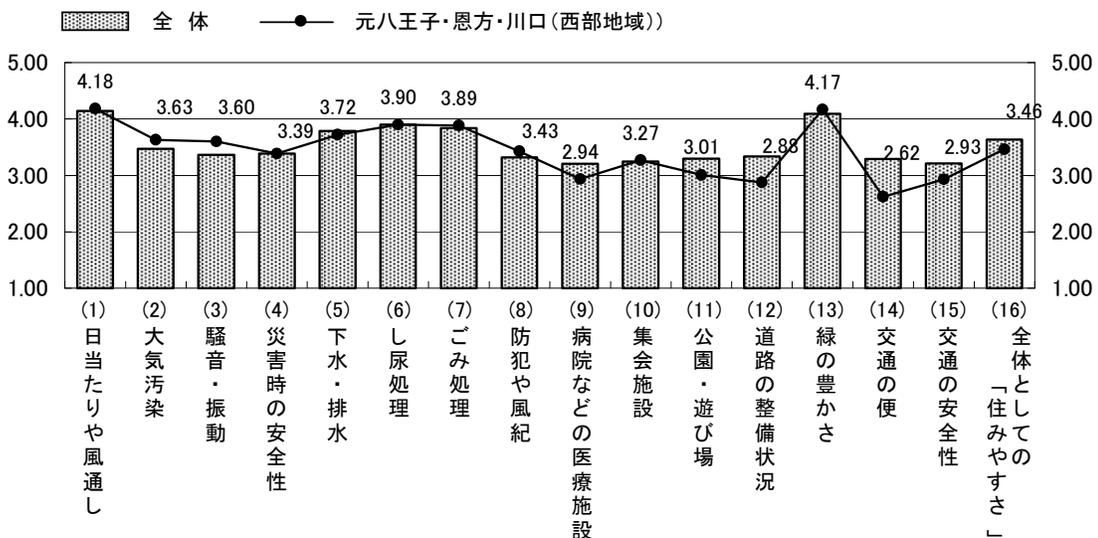
図2-1-3 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中7項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」(+0.24ポイント)となっている。下回っているのは7項目で、最も差が大きいのは「交通の便」(-0.67ポイント)で、他に差が大きいのは、「道路の整備状況」(-0.46ポイント)、「交通の安全性」(-0.28ポイント)となっている。(図2-1-4)

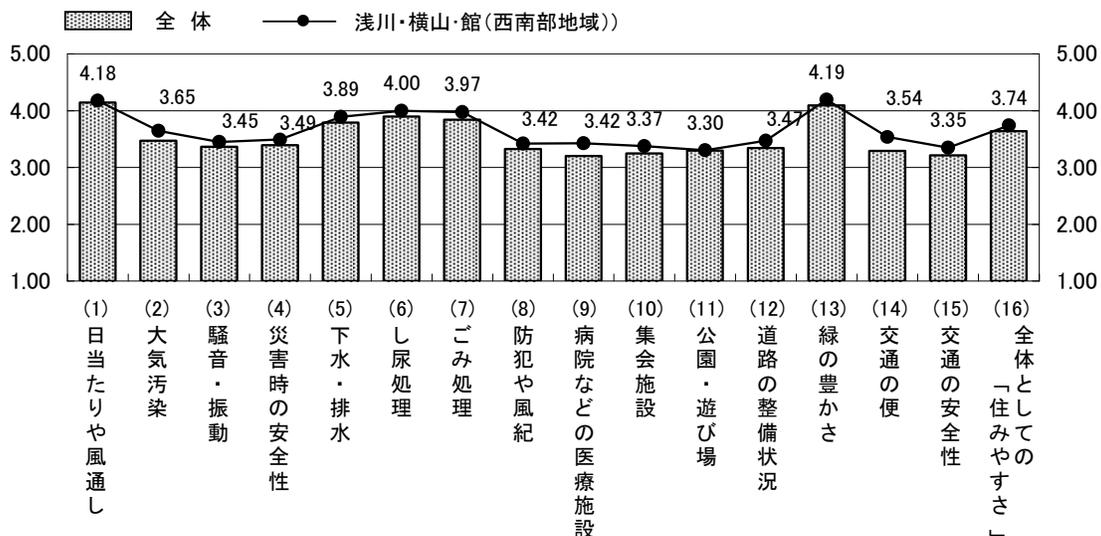
図2-1-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

「公園・遊び場」以外の項目において市全体より上回っており、特に差が大きいのは「交通の便」(+0.25ポイント)、「病院などの医療施設」(+0.22ポイント)となっている。(図2-1-5)

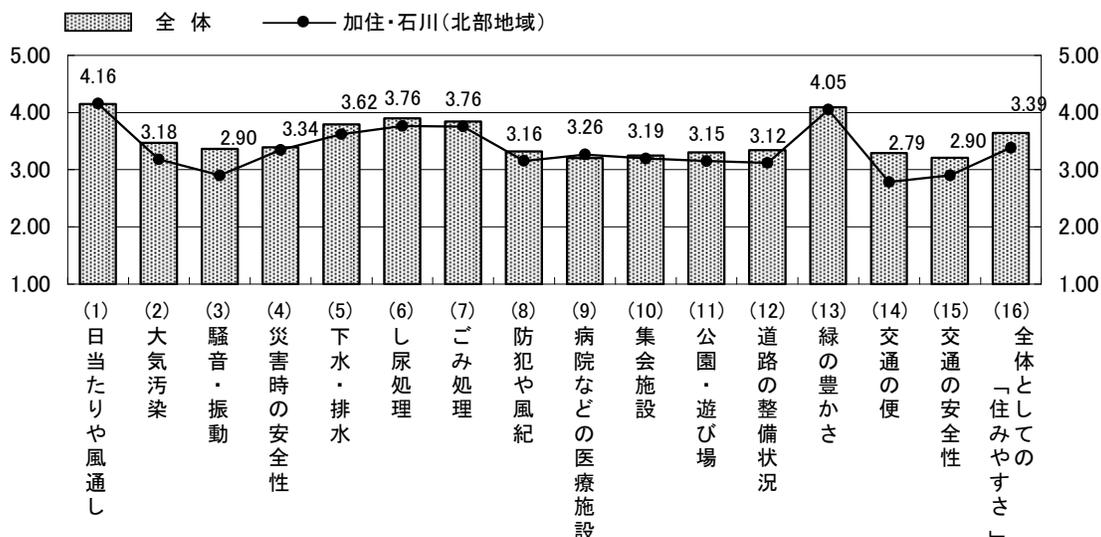
図2-1-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

「日当たりや風通し」と「病院などの医療施設」以外の項目において市全体より下回っており、最も差が大きいのは「交通の便」(-0.50ポイント)で、他に差が大きいのは「騒音・振動」(-0.46ポイント)、「交通の安全性」(-0.31ポイント)となっている。(図2-1-6)

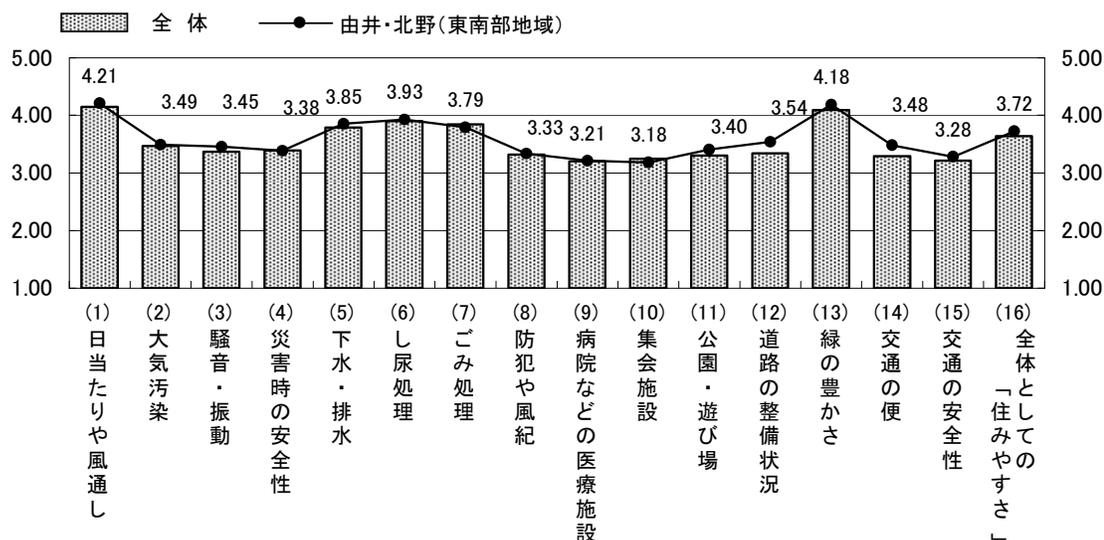
図2-1-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中13項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（+0.20ポイント）で、他に大きいのは「交通の便」（+0.19ポイント）となっている。下回っているのは16項目中3項目であるが、いずれの項目も全体との大きな差はみられない。（図2-1-7）

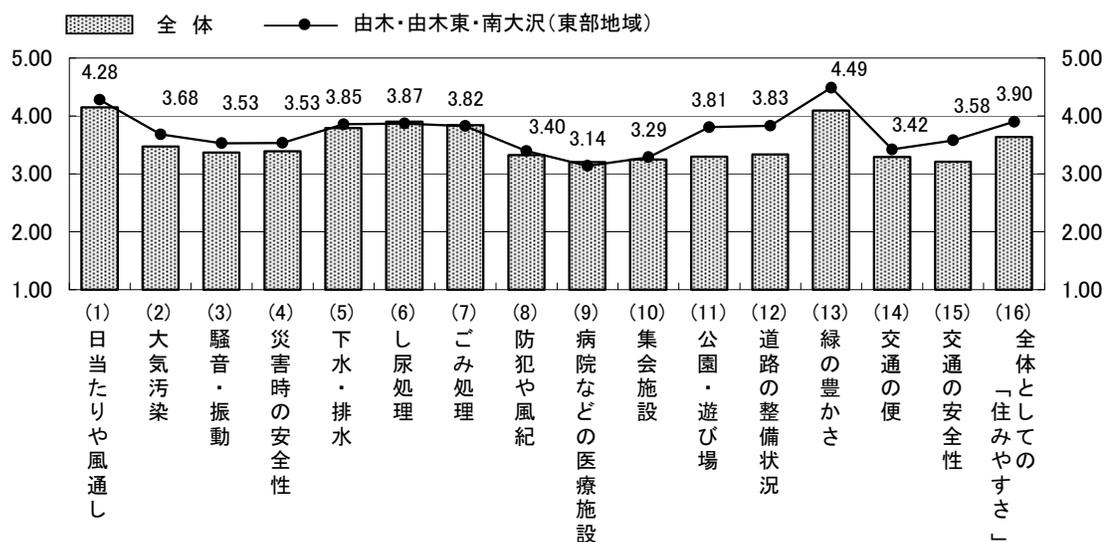
図2-1-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中13項目で、最も差が大きいのは「公園・遊び場」（+0.51ポイント）で、他に大きいのは「道路の整備状況」（+0.49ポイント）となっている。下回っているのは16項目中3項目であるが、いずれの項目も全体との大きな差はみられない。（図2-1-8）

図2-1-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



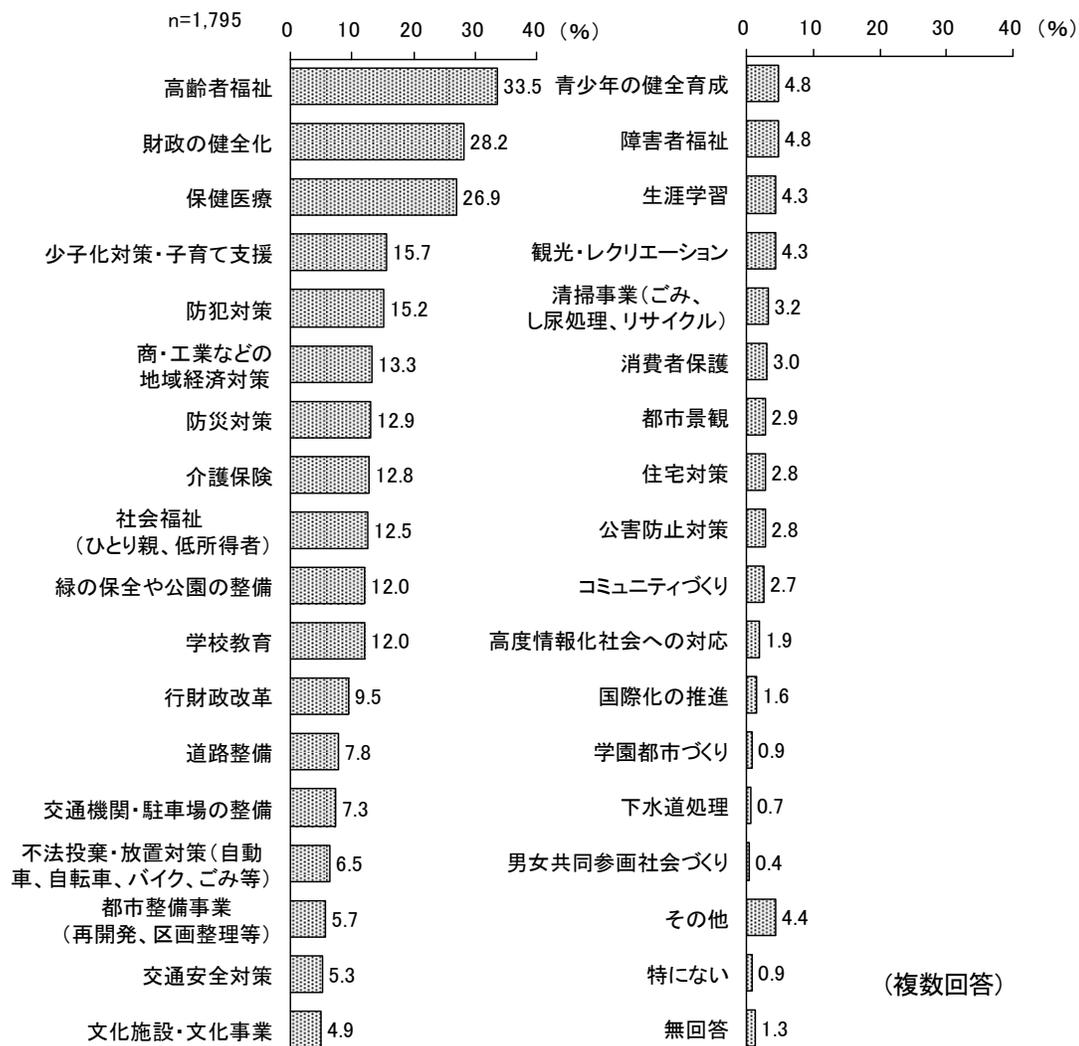
3. 市政への要望

3-1 重点施策要望

◇ 「高齢者福祉」「財政の健全化」「保健医療」が上位3項目

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。(〇は3つまで)

図3-1-1



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」が3割強(33.5%)と最も高く、ついで「財政の健全化」(28.2%)、「保健医療」(26.9%)、「少子化対策・子育て支援」(15.7%)、「防犯対策」(15.2%)と続いている。(図3-1-1)

経年での変化を見ると、平成 18 年から引き続き第 1 位は「高齢者福祉」であり、前回より 2.7 ポイント高くなり引き続き 3 割を超える割合となっている。「財政の健全化」は前回より 1.4 ポイント下がったものの第 2 位となり、一方で「保健医療」は前回より 2.7 ポイント下がり第 3 位となっている。

一方、「商・工業などの地域経済対策」が前年の第 11 位から第 6 位へ、「防災対策」が前年の第 16 位から第 7 位に大きく上昇している。(表 3-1-1)

表 3-1-1 重点施策要望—経年比較

年		重点施策要望—経年比較		
順位	平成21年	平成22年	平成23年	(%)
第 1 位	高齢者福祉 (32.6)	高齢者福祉 (30.8)	高齢者福祉 (33.5)	
第 2 位	保健医療 (29.9)	保健医療(29.6) 財政の健全化(29.6)	財政の健全化 (28.2)	
第 3 位	財政の健全化 (24.1)	—	保健医療 (26.9)	
第 4 位	防犯対策 (18.8)	防犯対策 (19.5)	少子化対策・子育て支援 (15.7)	
第 5 位	介護保険 (18.3)	少子化対策・子育て支援 (15.6)	防犯対策 (15.2)	
第 6 位	少子化対策・子育て支援 (16.9)	介護保険 (14.4)	商・工業などの 地域経済対策 (13.3)	
第 7 位	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.5)	学校教育 (13.0)	防災対策 (12.9)	
第 8 位	学校教育 (12.3)	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.4)	介護保険 (12.8)	
第 9 位	行財政改革 (10.4)	行財政改革 (11.2)	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (12.5)	
第 10 位	緑の保全や公園の整備 (9.9)	緑の保全や公園の整備 (10.5)	緑の保全や公園の整備 (12.0) 学校教育(12.0)	

⑪ ⑬ ⑫

性別にみると、男女ともに第1位は「高齢者福祉」、第2位は「財政の健全化」、第3位は「保健医療」で変わらないが、男性の第4位は「少子化対策・子育て支援」、女性の第4位は「防犯対策」となっている。

性・年齢別に第1位をみると、男性では50歳以上、女性では60歳以上の年代で「高齢者福祉」が第1位となっている。また、男性の20～30歳代と女性の30歳代は「少子化対策・子育て支援」、男性の30歳代と女性の20歳代は「財政の健全化」、女性40歳代は「保健医療」が第1位となっている。

「財政の健全化」と「保健医療」は男女ともすべての年代で第5位までに入っている。「高齢者福祉」は男女とも40代以上で第4位までに入っている一方、「少子化対策・子育て支援」は男女とも30代以下で第3位までに入っている。(表3-1-2)

表3-1-2 重点施策要望一性・年齢別

(%)

属性	順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,795	高齢者福祉 (33.5)	財政の健全化 (28.2)	保健医療 (26.9)	少子化対策・ 子育て支援 (15.7)	防犯対策 (15.2)
男 性		761	高齢者福祉 (30.6)	財政の健全化 (28.0)	保健医療 (25.0)	少子化対策・ 子育て支援 (15.5)	商・工業などの地 域経済対策 (15.4)
女 性		1,022	高齢者福祉 (35.5)	財政の健全化 (28.6)	保健医療 (28.2)	防犯対策 (16.2)	少子化対策・子育 て支援 (16.0)
男性20歳代		68	少子化対策・ 子育て支援 (26.5)	財政の健全化 (23.5)	社会福祉(ひとり 親、低所得者) (19.1)	保健医療 (16.2)	商・工業などの 地域経済対策 (14.7)
30歳代		138	少子化対策・ 子育て支援 (31.2)	財政の健全化 (26.1)	保健医療 (21.0)	学校教育 (18.8)	商・工業などの 地域経済対策 (17.4)
40歳代		132	財政の健全化 (29.5)	保健医療 (24.2)	高齢者福祉 (22.7)	少子化対策・ 子育て支援 (18.2)	学校教育 (17.4)
50歳代		144	高齢者福祉 (36.1)	財政の健全化 (26.4)	保健医療 (23.6)	商・工業などの 地域経済対策 (19.4)	防犯対策 (18.1)
60～64歳		110	高齢者福祉 (38.2)	財政の健全化 (34.5)	保健医療 (31.8)	行財政改革 (18.2)	社会福祉(ひとり 親、低所得者) (14.5)
65歳以上		168	高齢者福祉 (50.0)	保健医療 (29.2)	財政の健全化 (27.4)	介護保険 (16.7)	商・工業などの 地域経済対策 (11.9)
女性20歳代		108	財政の健全化 (27.8)	防犯対策 (23.1)	少子化対策・ 子育て支援 (22.2)	保健医療 (20.4)	防災対策 (19.4)
30歳代		162	少子化対策・ 子育て支援 (42.0)	学校教育 (32.7)	保健医療/防犯対策 (25.3)		財政の健全化 (23.5)
40歳代		176	保健医療 (30.7)	財政の健全化/学校教育 (26.7)		高齢者福祉 (25.6)	防犯対策 (23.3)
50歳代		187	財政の健全化 (34.8)	高齢者福祉 (33.2)	保健医療 (25.7)	社会福祉(ひとり 親、低所得者) (19.8)	介護保険 (19.3)
60～64歳		140	高齢者福祉 (54.3)	財政の健全化 (35.7)	保健医療 (28.6)	介護保険 (19.3)	商・工業などの 地域経済対策 (15.0)
65歳以上		247	高齢者福祉 (55.5)	保健医療 (33.6)	介護保険 (27.9)	財政の健全化 (24.7)	社会福祉(ひとり 親、低所得者) (15.4)

(注) 男性20歳代の第5位は、「商・工業などの地域経済対策」としているが、「交通機関・駐車場の整備」、「都市整備事業(再開発、区画整理等)」も同率の第5位である。

居住地域別で第1位をみると、すべての地域で「高齢者福祉」となっている。本庁管内（中央地域）、浅川・横山・館（西南部地域）、由井・北野（東南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「財政の健全化」、元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）では「保健医療」が第2位となっている。これらの3項目は、順位は異なるものの、すべての地域で3位以内にあげられている。

(表3-1-3)

表3-1-3 重点施策要望—居住地域別

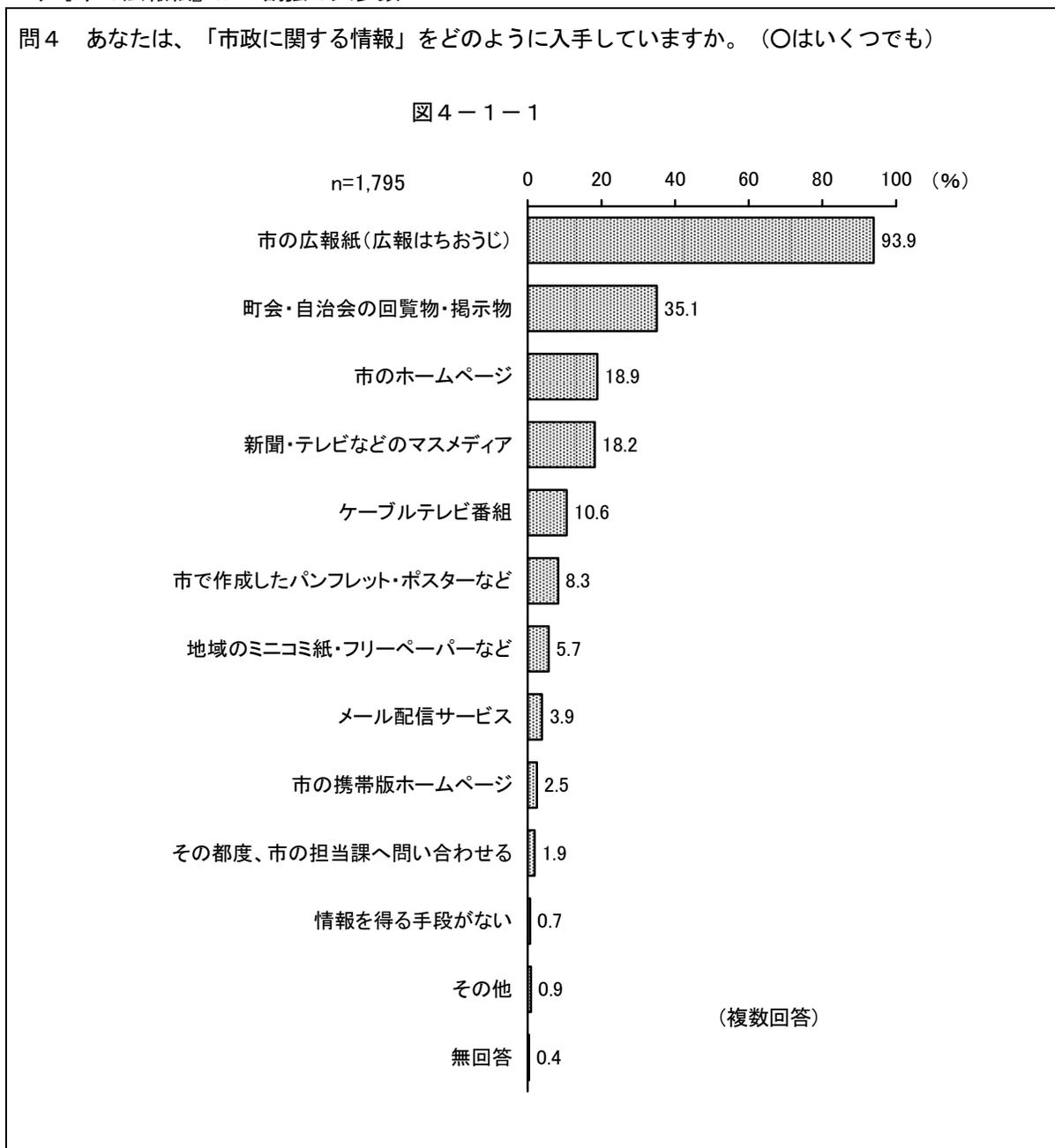
属性	順位	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,795	高齢者福祉 (33.5)	財政の健全化 (28.2)	保健医療 (26.9)	少子化対策・ 子育て支援 (15.7)	防犯対策 (15.2)
本 庁 管 内 (中 央 地 域)		365	高齢者福祉 (33.4)	財政の健全化 (29.3)	保健医療 (25.5)	商・工業などの 地域経済対策 (21.1)	少子化対策・ 子育て支援 (14.8)
元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 (西 部 地 域)		346	高齢者福祉 (34.4)	保健医療 (26.0)	財政の健全化 (25.4)	介護保険 (17.6)	道路整備 (17.3)
浅 川 ・ 横 山 ・ 館 (西 南 部 地 域)		315	高齢者福祉 (34.9)	財政の健全化 (30.8)	保健医療 (28.3)	社会福祉（ひとり 親、低所得者） (16.5)	防災対策 (16.2)
加 住 ・ 石 川 (北 部 地 域)		140	高齢者福祉 (35.7)	保健医療 (27.9)	財政の健全化 (25.7)	防犯対策 (20.0)	少子化対策・ 子育て支援 (17.9)
由 井 ・ 北 野 (東 南 部 地 域)		269	高齢者福祉 (32.7)	財政の健全化 (27.5)	保健医療 (24.9)	防犯対策 (19.7)	少子化対策・ 子育て支援 (17.8)
由 木 ・ 由 木 東 ・ 南 大 沢 (東 部 地 域)		331	高齢者福祉 (32.3)	財政の健全化 (29.6)	保健医療 (29.3)	少子化対策・ 子育て支援 (18.4)	防犯対策／緑の保 全や公園の整備 (17.5)

4. 情報の入手方法とこれからの広報媒体について

4-1 「市政に関する情報」の入手方法

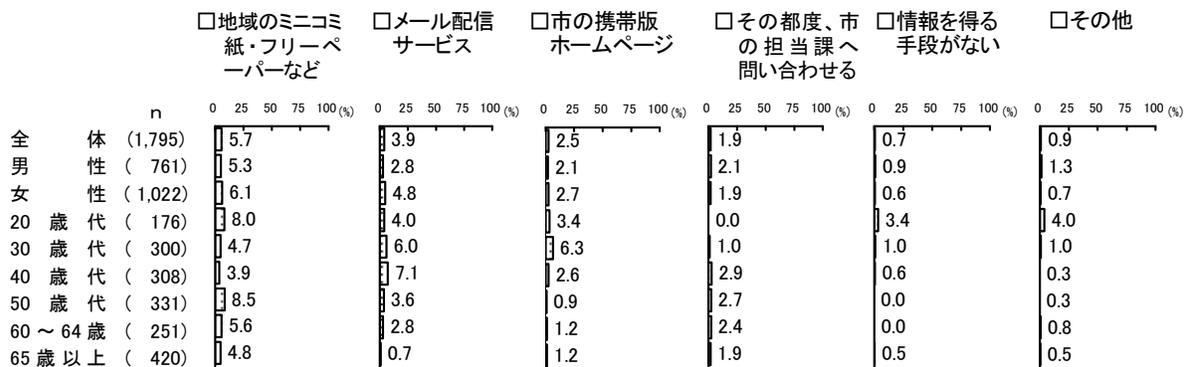
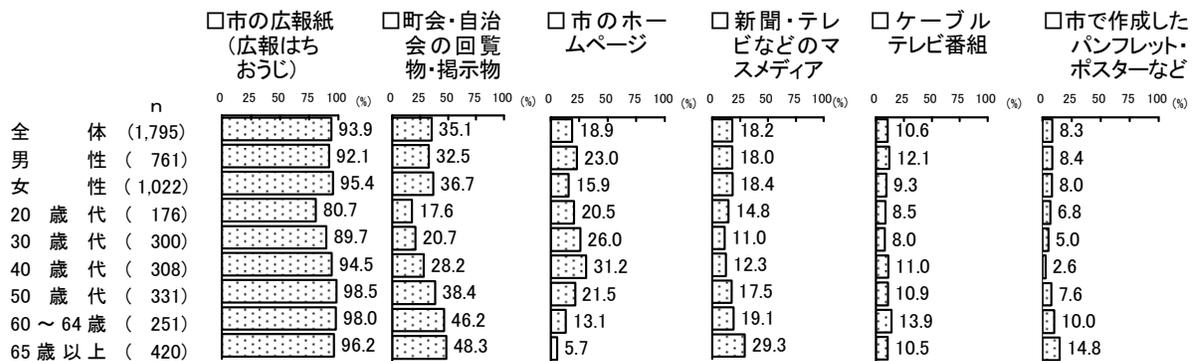
◇『市の広報紙』が9割強の大多数

問4 あなたは、「市政に関する情報」をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)



市政に関する情報をどのように入手しているかを聞いたところ、「市の広報紙(広報はちおうじ)」が9割強(93.9%)の大多数となっている。ついで「町会・自治会の回覧物・掲示物」が3割台半ば(35.1%)で、以下、「市のホームページ」(18.9%)、「新聞・テレビなどのマスメディア」(18.2%)、「ケーブルテレビ番組」(10.6%)と続いている。(図4-1-1)

図4-1-2 「市政情報」に関する入手方法—性別・年齢別



性別にみると、「町会・自治会の回覧物・掲示物」は 4.2 ポイント、「市の広報紙（広報はちおうじ）」は 3.3 ポイント、それぞれ女性のほうが高く、「市のホームページ」は男性のほうが 7.1 ポイント高くなっている。

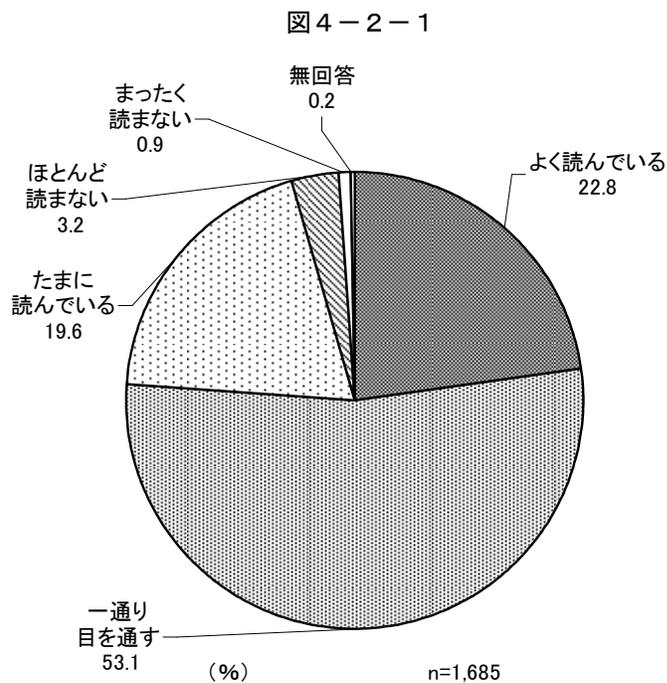
年齢別にみると、「市の広報紙（広報はちおうじ）」は 40 歳代以上では 9 割台半ばを超えており、ほとんどの人が入手している。「町会・自治会の回覧物・掲示物」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、65 歳以上で 5 割弱（48.3%）となっている。一方、「市のホームページ」は 40 歳代が 3 割強（31.2%）と高く、50 歳代以下では 2～3 割程度の入手利用がみられるものの、60～64 歳代では 1 割強（13.1%）、65 歳以上では 5.7%と低くなっている。「新聞・テレビなどのマスメディア」は 65 歳未満では 2 割に満たないものの、65 歳以上ではほぼ 3 割（29.3%）と高くなっている。（図4-1-2）

4-2 「広報はちおうじ」を読む頻度

◇「一通り目を通す」が5割強

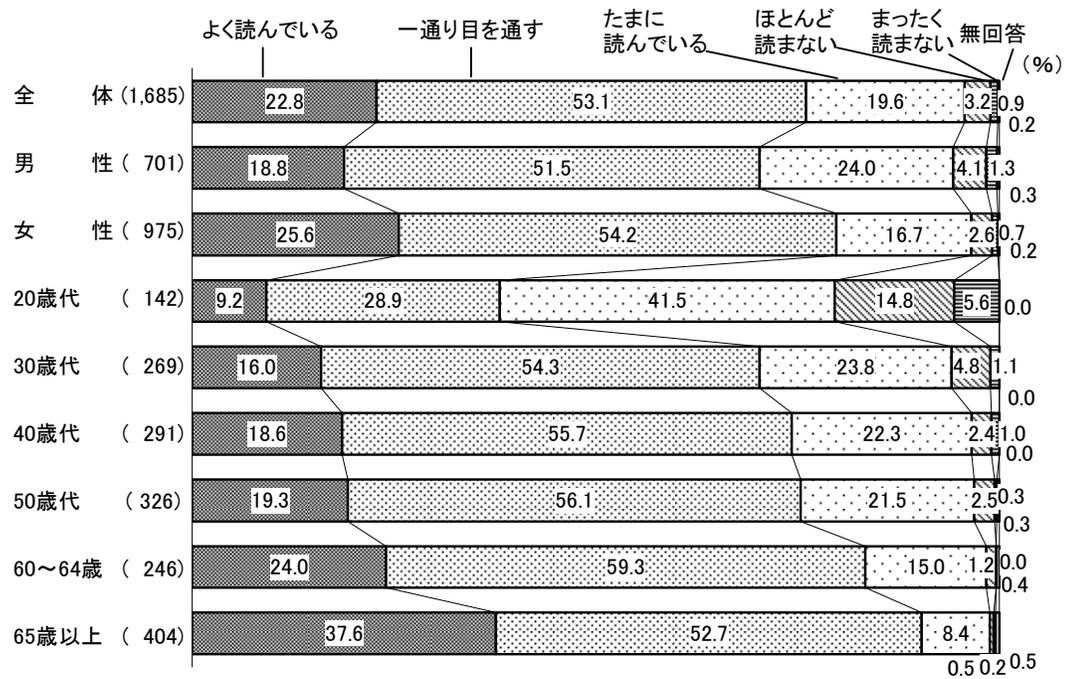
(問4で「市の広報紙(広報はちおうじ)」とお答えの方に)

問4-1 あなたは、市の広報紙をどの程度読んでいますか。(○は1つだけ)



市政に関する情報の入手で「市の広報紙(広報はちおうじ)」と答えた人(1,685人)に、市の広報紙をどの程度読んでいるかを聞いたところ、「一通り目を通す」が5割強(53.1%)と最も高く、ついで「よく読んでいる」(22.8%)、「たまに読んでいる」(19.6%)となっている。一方、「ほとんど読まない」(3.2%)と「まったく読まない」(0.9%)を合わせた『読まない』は4.1%となっている。(図4-2-1)

図4-2-2 「広報はちおうじ」を読む頻度—性別・年齢別



性別にみると、「よく読んでいる」は6.8ポイント、「一通り目を通す」は2.7ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

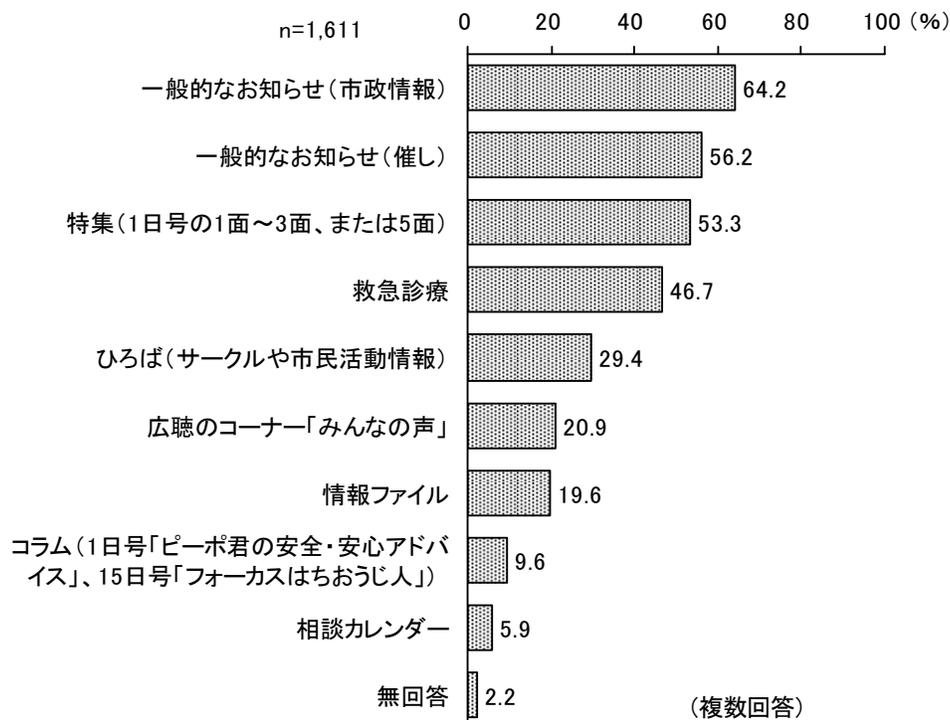
年齢別にみると、「よく読んでいる」の割合は年齢が高くなるにつれて増加し、65歳以上では4割弱(37.6%)となっている。また、「一通り目を通す」は30歳代以上の年齢ではいずれも5割を超えている。一方、「たまに読んでいる」は20歳代で4割強(41.5%)を占めている。(図4-2-2)

4-3 「広報はちおうじ」で主に読む部分

◇「一般的なお知らせ（市政情報）」が6割台半ば

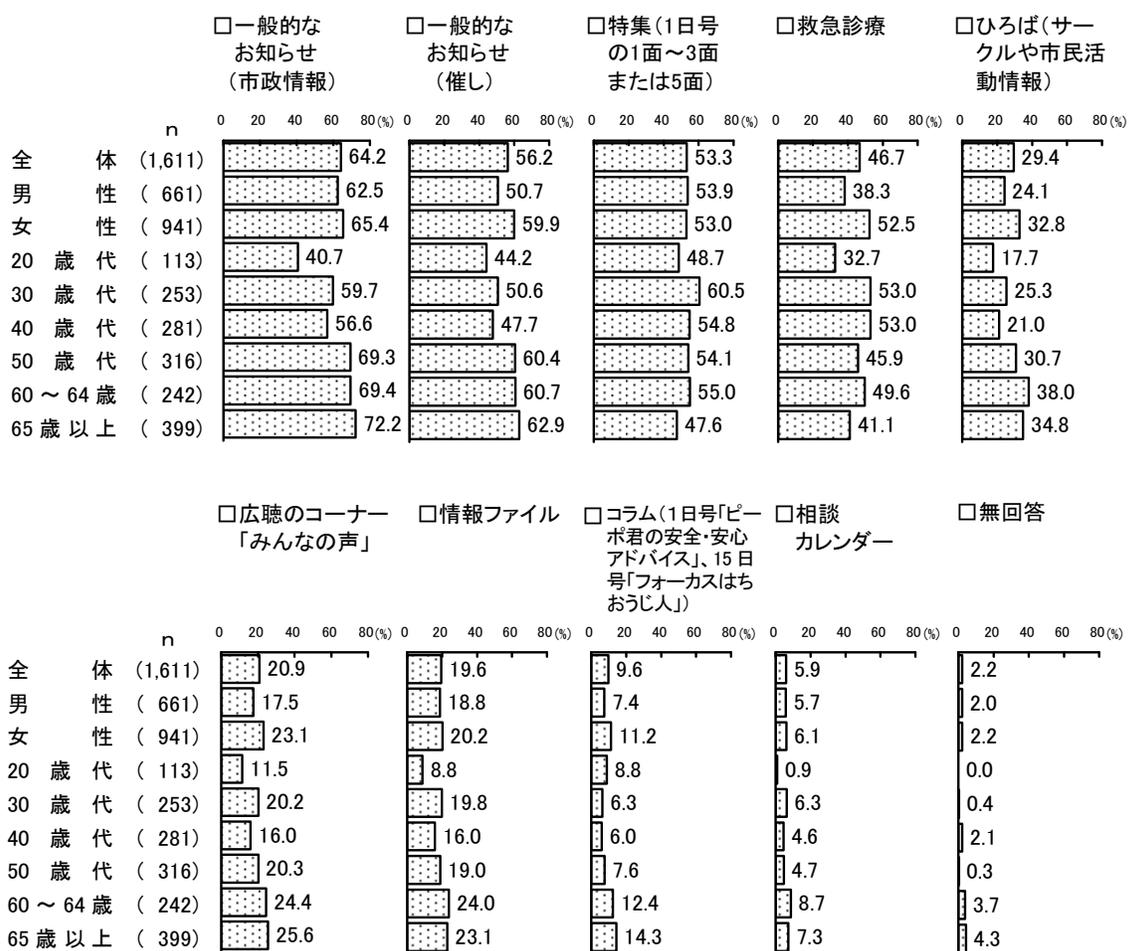
（問4-1で「よく読んでいる」「一通り目を通す」「たまに読んでいる」のいずれかをお答えの方に）
問4-1-1 「広報はちおうじ」の紙面は、特集や情報ファイル、ひろばなど複数のコーナーで構成しています。紙面の中で、主に読む部分を教えてください。（〇はいくつでも）

図4-3-1



市の広報紙をどの程度読んでいるかで「よく読んでいる」、「一通り目を通す」、「たまに読んでいる」のいずれかを答えた人（1,611人）に、「広報はちおうじ」で主に読む部分を聞いたところ、「一般的なお知らせ（市政情報）」が6割台半ば（64.2%）で最も高く、ついで「一般的なお知らせ（催し）」（56.2%）、「特集（1日号の1面～3面、または5面）」（53.3%）、「救急診療」（46.7%）、「ひろば（サークルや市民活動情報）」（29.4%）と続いている。（図4-3-1）

図4-3-2 「広報はちおうじ」で主に読む部分—性別・年齢別



性別にみると、「救急診療」では 14.2 ポイント、「一般的なお知らせ (催し)」では 9.2 ポイント、「ひろば (サークルや市民活動情報)」では 8.7 ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

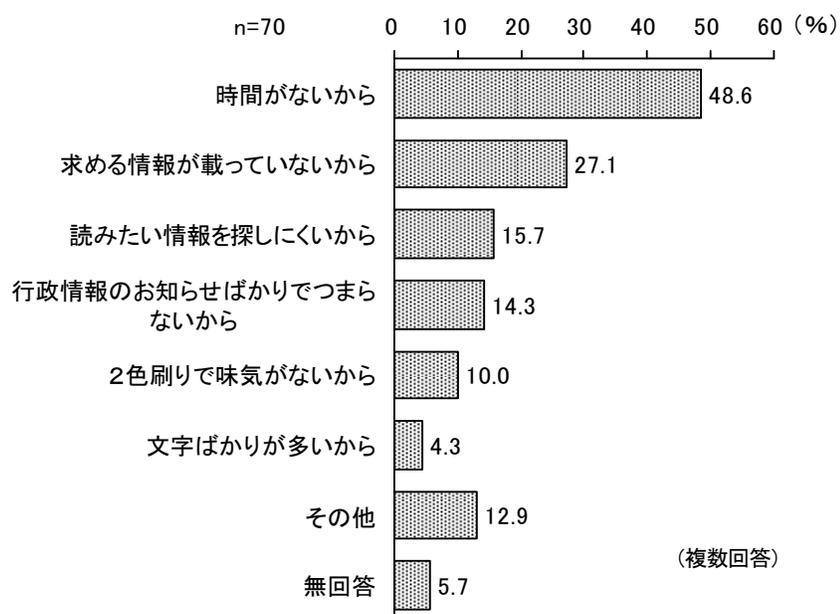
年齢別にみると、50歳代以上では「一般的なお知らせ (市政情報)」はほぼ7割を超え、「一般的なお知らせ (催し)」についてもほぼ6割を超え高くなっている。一方、「特集 (1日号の1面~3面、または5面)」は30歳代でほぼ6割 (60.5%) と高くなっている。また、「救急診療」は30歳代と40歳代で5割強 (いずれも 53.0%) を占めている。(図4-3-2)

4-4 「広報はちおうじ」を読まない理由

◇「時間がないから」が5割弱

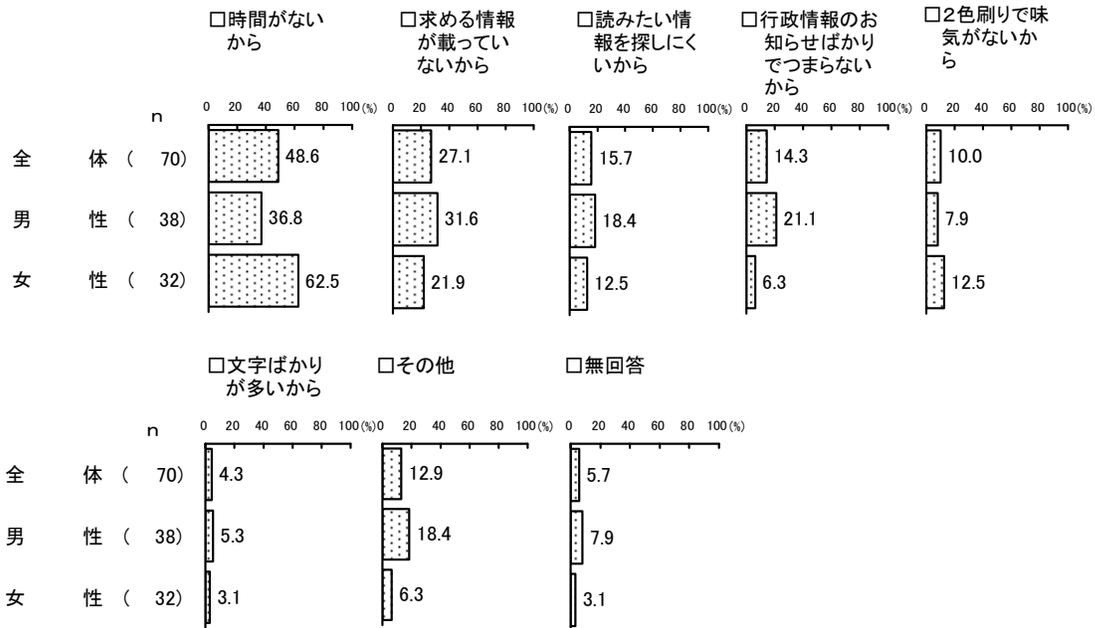
(問4-1で「ほとんど読まない」あるいは「まったく読まない」とお答えの方に)
問4-1-2 「広報はちおうじ」を読まない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

図4-4-1



市の広報紙をどの程度読んでいるかで「ほとんど読まない」または「まったく読まない」と答えた人(70人)に、「広報はちおうじ」を読まない理由を聞いたところ、「時間がないから」が5割弱(48.6%)で最も高く、ついで「求める情報が載っていないから」(27.1%)、「読みたい情報を探しにくいから」(15.7%)、「行政情報のお知らせばかりでつまらないから」(14.3%)と続いている。(図4-4-1)

図4-4-2 「広報はちおうじ」を読まない理由—性別



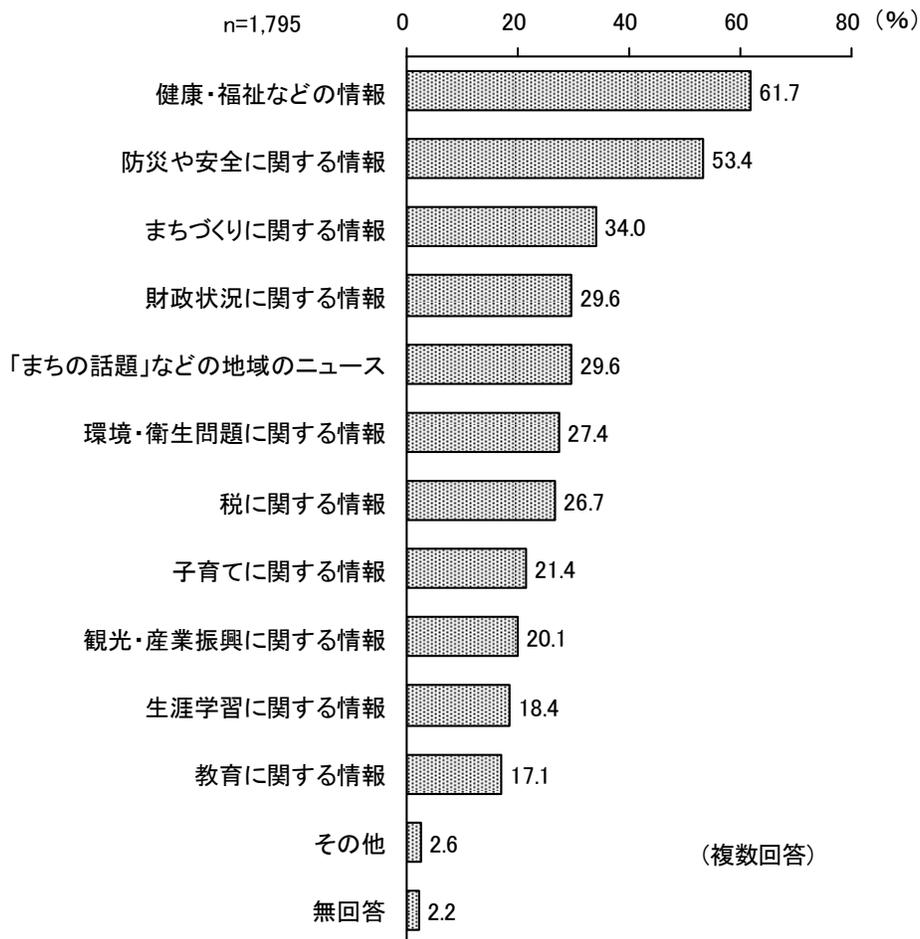
性別にみると、「時間がないから」は男女とも最も高く、とりわけ女性では6割強（62.5%）を占めている。「行政情報のお知らせばかりでつまらないから」は14.8ポイント、「求める情報が載っていないから」は9.7ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。（図4-4-2）

4-5 「広報はちおうじ」で充実すべき記事

◇「健康・福祉などの情報」が6割強、ついで「防災や安全に関する情報」が5割強

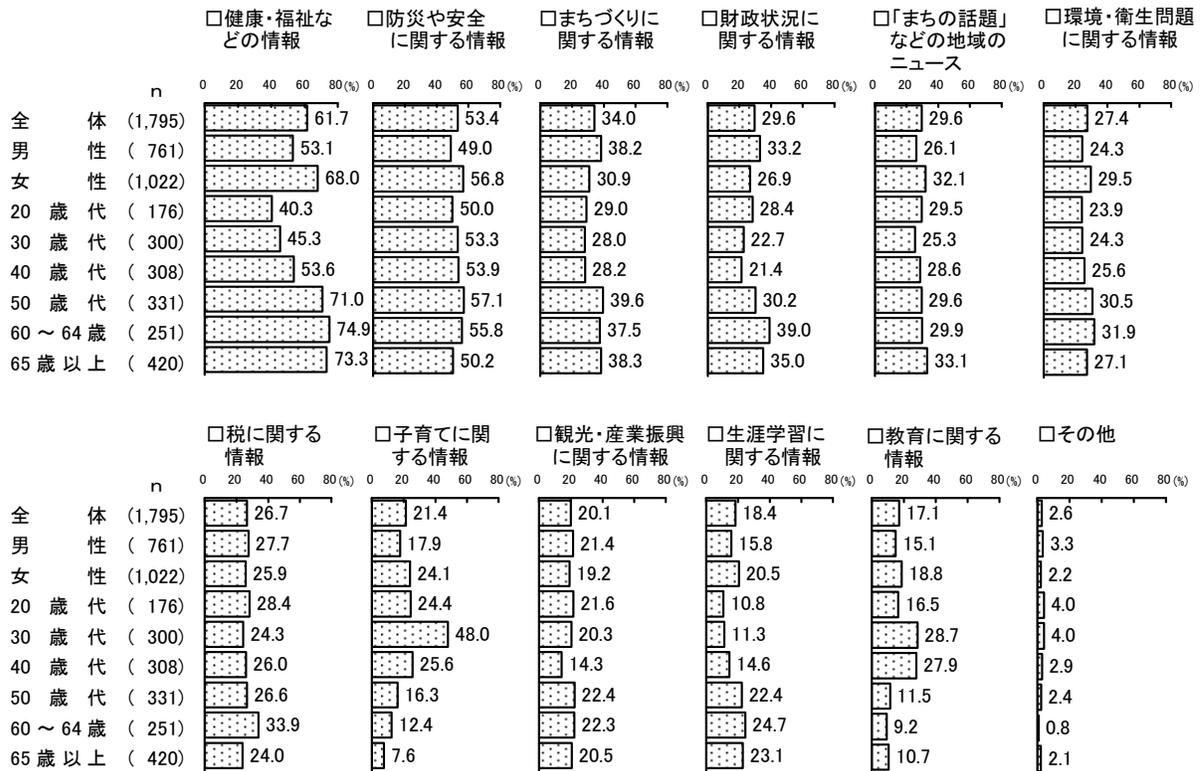
問5 「広報はちおうじ」の中で、今後どのような記事を充実させていくべきですか。(○はいくつでも)

図4-5-1



「広報はちおうじ」の中で今後どのような記事を充実させていくべきかを聞いたところ、「健康・福祉などの情報」が6割強(61.7%)と高く、ついで「防災や安全に関する情報」(53.4%)、「まちづくりに関する情報」(34.0%)、「財政状況に関する情報」・「まちの話題」などの地域のニュース(いずれも同率の29.6%)、「環境・衛生問題に関する情報」(27.4%)と続いている。(図4-5-1)

図4-5-2 「広報はちおうじ」で充実すべき記事—性別・年齢別



性別にみると、「健康・福祉などの情報」は14.9ポイント、「防災や安全に関する情報」は7.8ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。逆に「まちづくりに関する情報」は7.3ポイント、「財政状況に関する情報」は6.3ポイント、それぞれ男性のほうが高い。

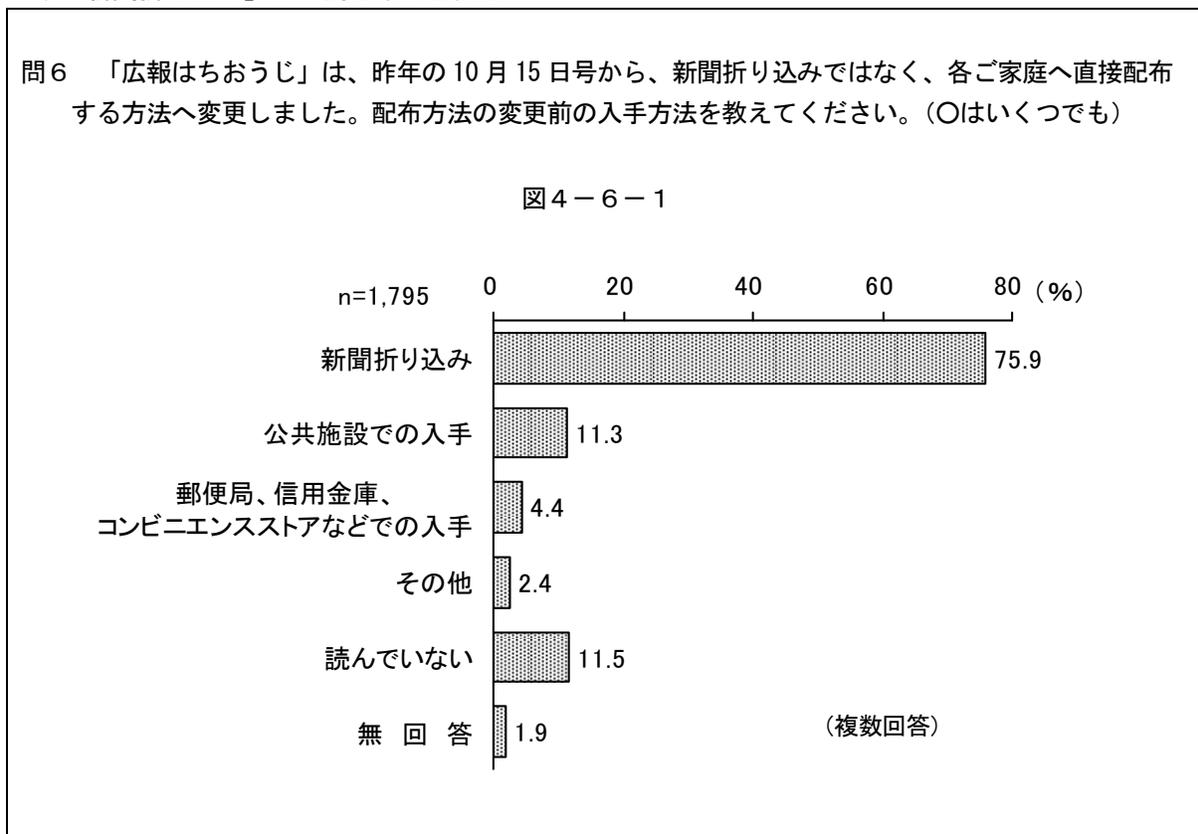
年齢別にみると、「健康・福祉などの情報」は概ね年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向にあり、50歳代以上では7割を超えて高くなっている。「防災や安全に関する情報」は、いずれの年代も5割を超えている。「まちづくりに関する情報」と「財政状況に関する情報」は、50歳代以上で3割を超えて他の年代と比べて高くなっている。「子育てに関する情報」は30歳代で5割弱（48.0%）と高くなっている。

(図4-5-2)

4-6 「広報はちおうじ」の配布方法の変更前の入手方法

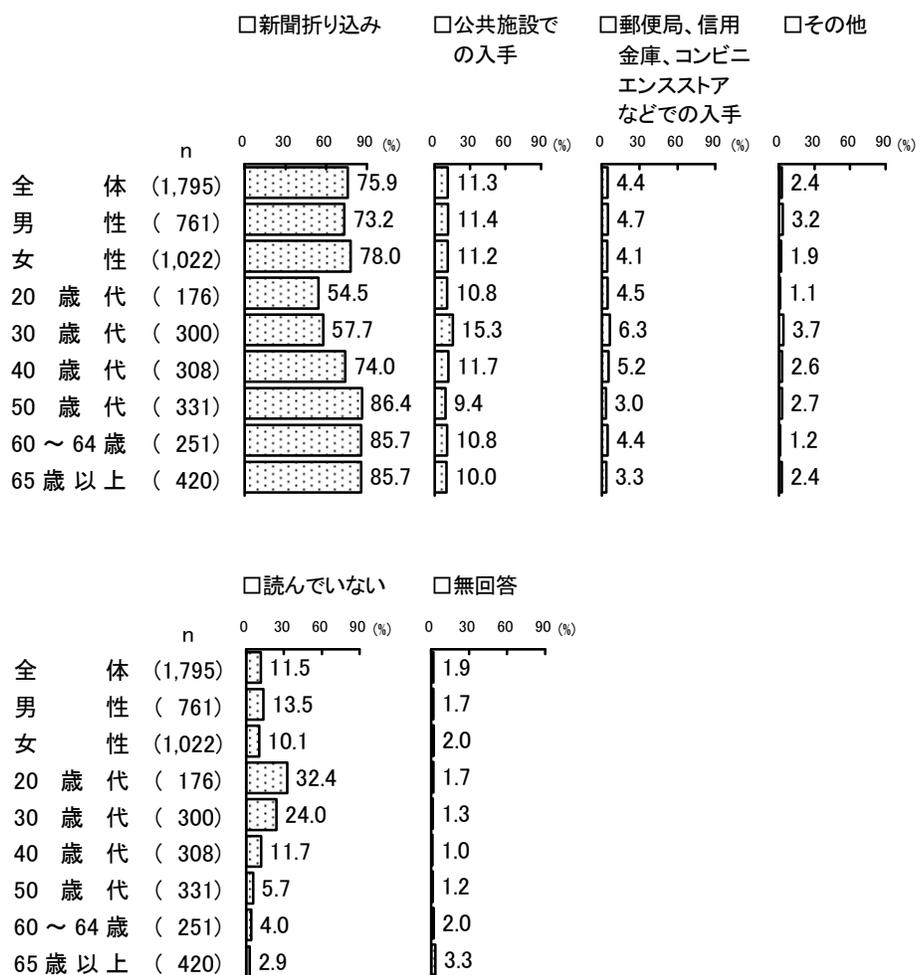
◇「新聞折り込み」が7割台半ばと突出

問6 「広報はちおうじ」は、昨年の10月15日号から、新聞折り込みではなく、各ご家庭へ直接配布する方法へ変更しました。配布方法の変更前の入手方法を教えてください。(〇はいくつでも)



「広報はちおうじ」の配布方法の変更前の入手方法を聞いたところ、「新聞折り込み」が7割台半ば(75.9%)と高く、ついで「公共施設での入手」が1割強(11.3%)と続いている。(図4-6-1)

図4-6-2 「広報はちおうじ」の配布方法の変更前の入手方法—性別・年齢別



性別にみると、「新聞折り込み」は女性のほうが4.8ポイント高くなっている。

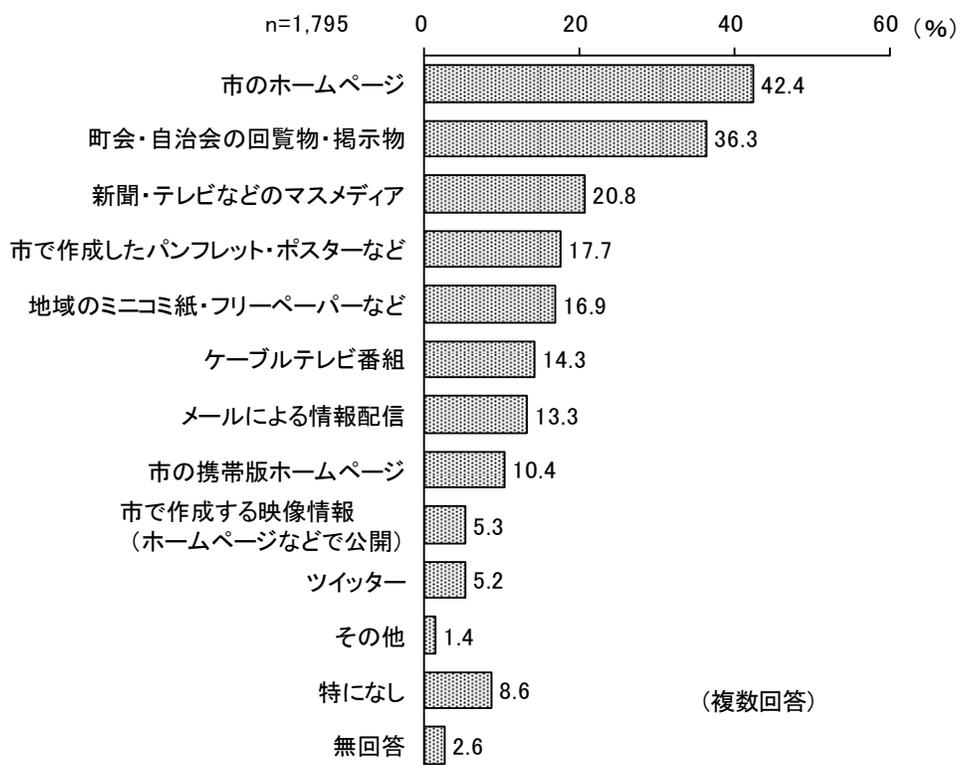
年齢別にみると、「新聞折り込み」が、50歳代以上では8割台半ば以上と高くなっている。一方、「読んでいない」は年齢が低くなるにつれて高くなり、20歳代で3割強（32.4%）となっている。（図4-6-2）

4-7 「市政に関する情報」の発信で力を入れるべき方法

◇「市のホームページ」が4割強、ついで「町内・自治会の回覧物・掲示物」が4割弱

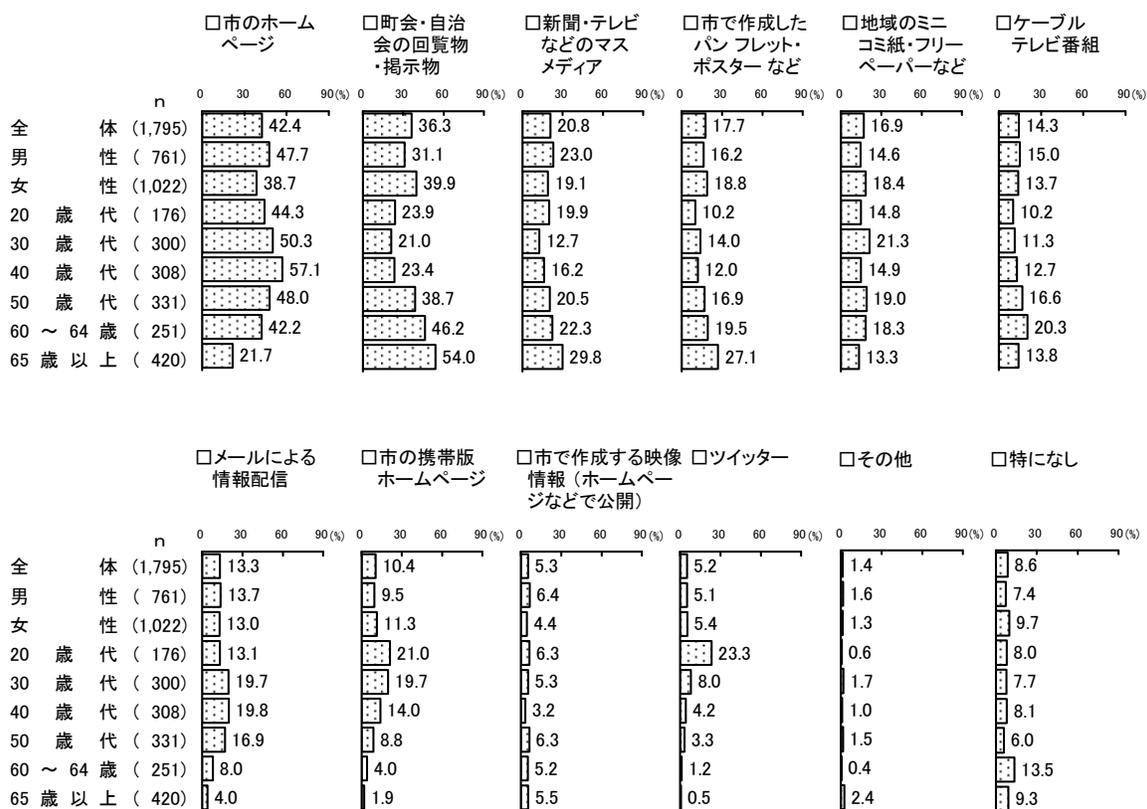
問7 「市政に関する情報」を発信する方法として、広報紙以外で今後はどのような方法に力を入れるべきだとお考えですか。(〇はいくつでも)

図4-7-1



「市政に関する情報」を発信する方法として、広報紙以外で今後はどのような方法に力を入れるべきかを聞いたところ、「市のホームページ」が4割強(42.4%)と最も高く、ついで「町会・自治会の回覧物・掲示物」(36.3%)、「新聞・テレビなどのマスメディア」(20.8%)、「市で作成したパンフレット・ポスターなど」(17.7%)と続いている。(図4-7-1)

図4-7-2 「市政に関する情報」の発信で力を入れるべき方法—性別・年齢別



性別にみると、「市のホームページ」は男性のほうが9.0ポイント高い一方、「町内・自治会の回覧物・掲示物」は女性のほうが8.8ポイント高くなっている。

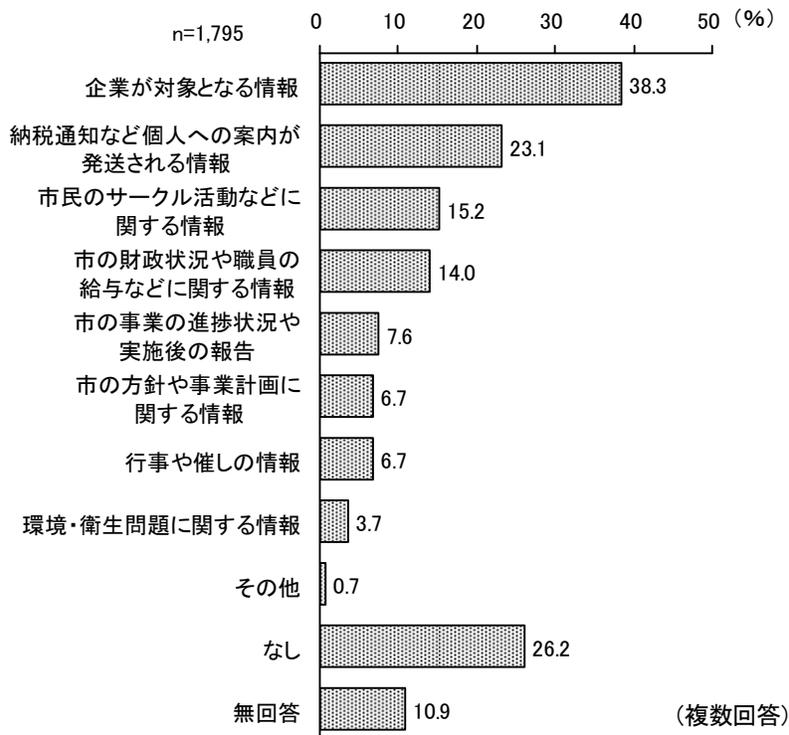
年齢別にみると、「市のホームページ」は30歳代と40歳代で5割を超えて高いが、65歳以上は2割強(21.7%)と低くなっている。一方、「町内・自治会の回覧物・掲示物」は65歳以上で5割台半ば(54.0%)と高いが、20歳代～40歳代では2割強にとどまっている。なお、20歳代では「ツイッター」(23.3%)と「市の携帯版ホームページ」(21.0%)が2割を超えている。(図4-7-2)

4-8 「広報はちおうじ」で省略してもよいと思う情報

◇「企業が対象となる情報」が4割弱

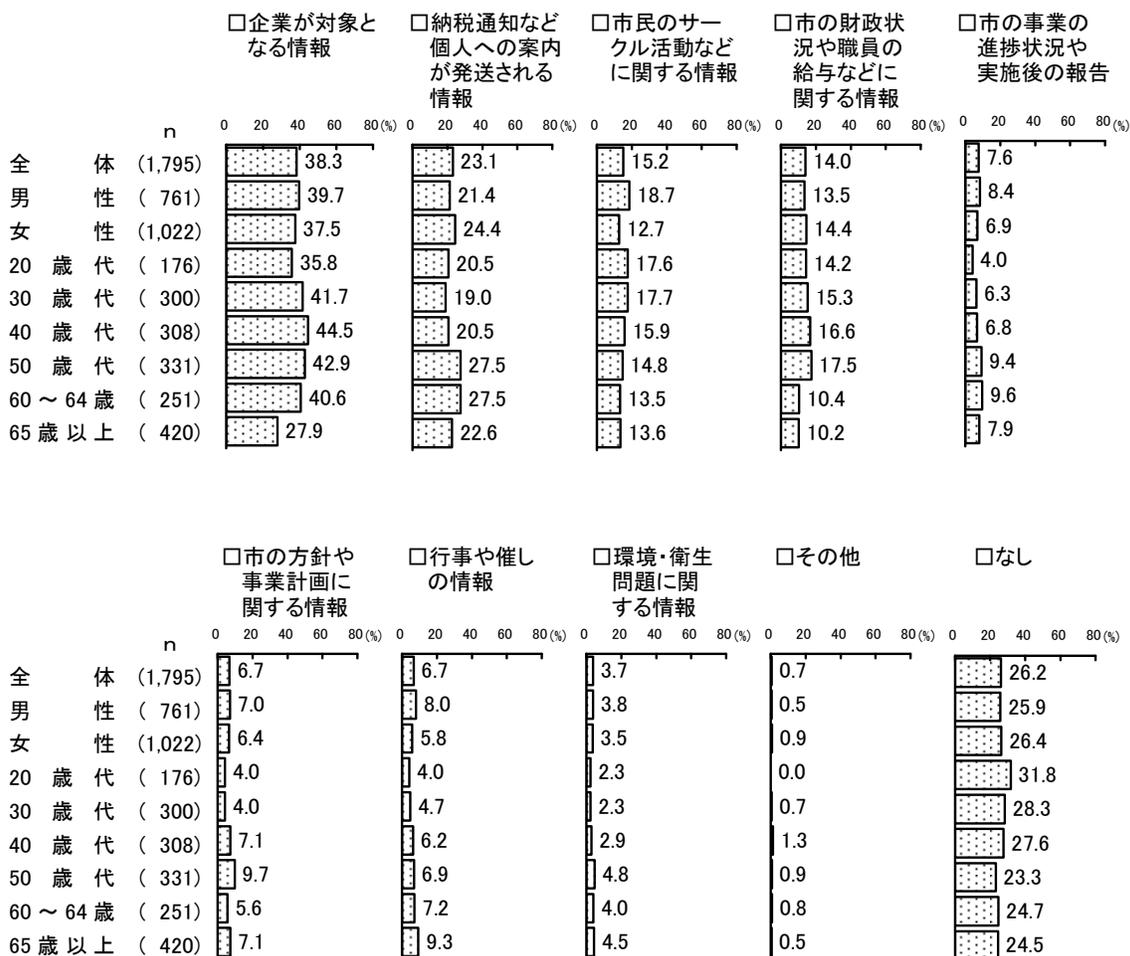
問8 ホームページでの情報発信を充実化することで、紙面に限りのある広報紙での詳細な説明は省略してもよいと思われる情報を教えてください。(〇はいくつでも)

図4-8-1



ホームページでの情報発信を充実化することで、紙面に限りのある広報紙での詳細な説明は省略してもよいと思われる情報を聞いたところ、「企業が対象となる情報」が4割弱(38.3%)と高く、ついで「納税通知など個人への案内が発送される情報」(23.1%)、「市民のサークル活動などに関する情報」(15.2%)、「市の財政状況や職員の給与などに関する情報」(14.0%)と続いている。(図4-8-1)

図4-8-2 「広報はちおうじ」で省略してもよいと思う情報—性別・年齢別



性別にみると、「市民のサークル活動などに関する情報」は男性のほうが6.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「企業が対象となる情報」は30歳代~64歳で4割を超えて高くなっている。

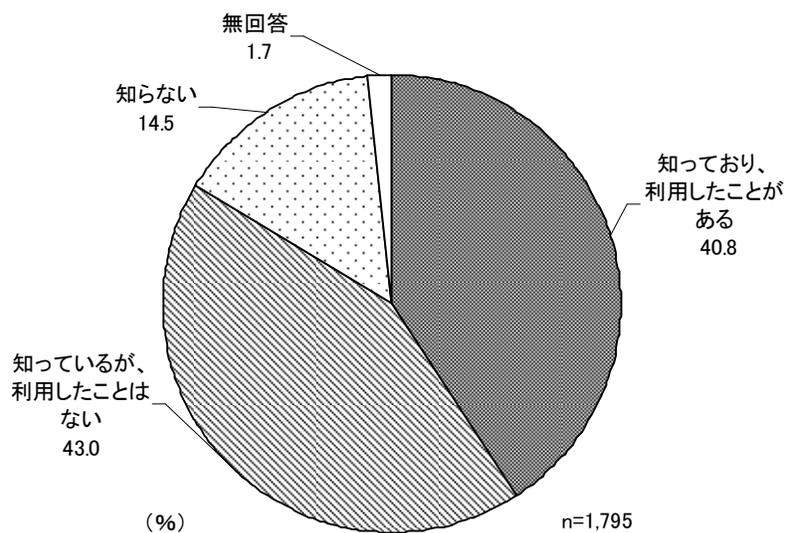
(図4-8-2)

4-9 市のホームページの認知度・利用状況

◇「知っているが、利用したことはない」が4割強

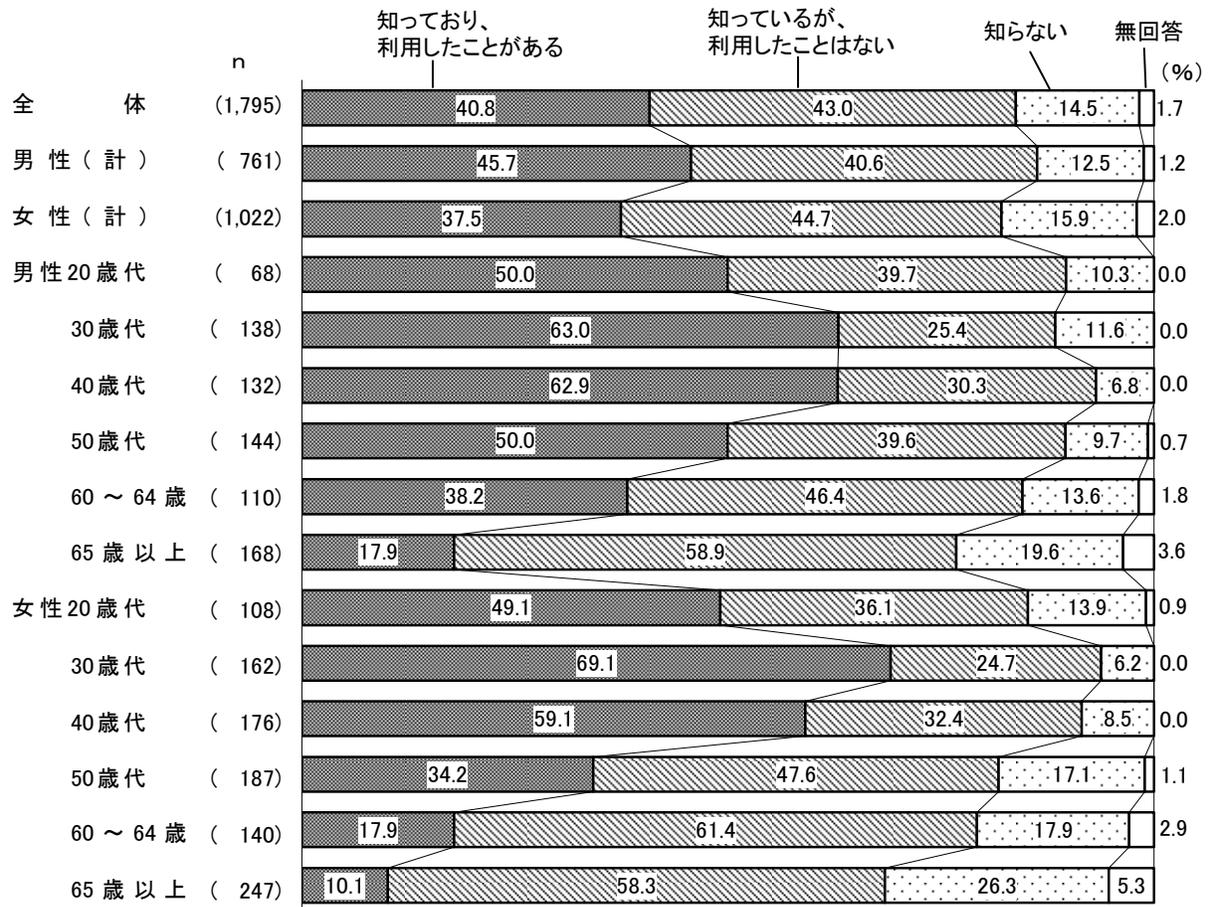
問9 あなたは、市のホームページがあることを知っていますか。(○は1つだけ)

図4-9-1



市のホームページの認知度と利用状況について聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が4割強(43.0%)、「知っており、利用したことがある」がほぼ4割(40.8%)、「知らない」が1割台半ば(14.5%)となっている。(図4-9-1)

図4-9-2 市のホームページの認知度・利用状況—性・年齢別



性別にみると、「知っている、利用したことがある」が男性では4割台半ば（45.7%）で、女性よりも8.2ポイント高くなっている。

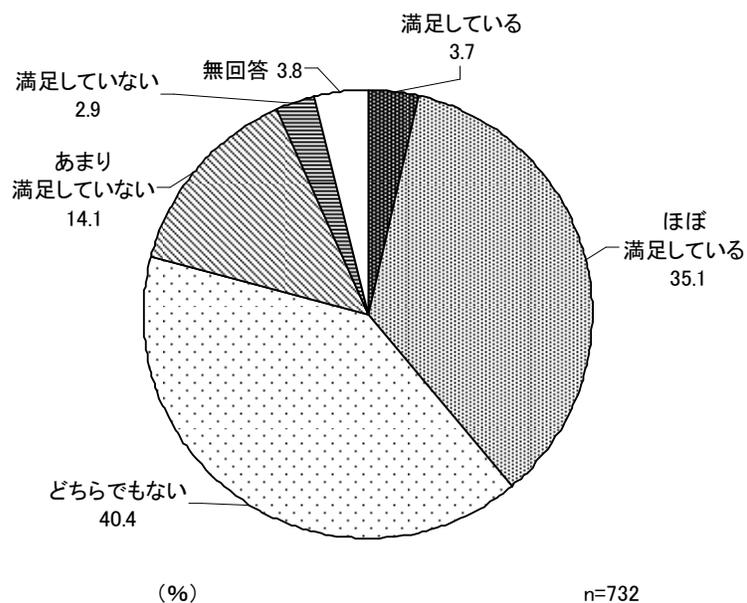
性・年齢別にみると、「知っている、利用したことがある」は男性の30歳代と40歳代、女性30歳代で6割を超えて高くなっている。（図4-9-2）

4-10 市のホームページの満足度

◇「どちらでもない」がほぼ4割、次いで『満足』が4割弱

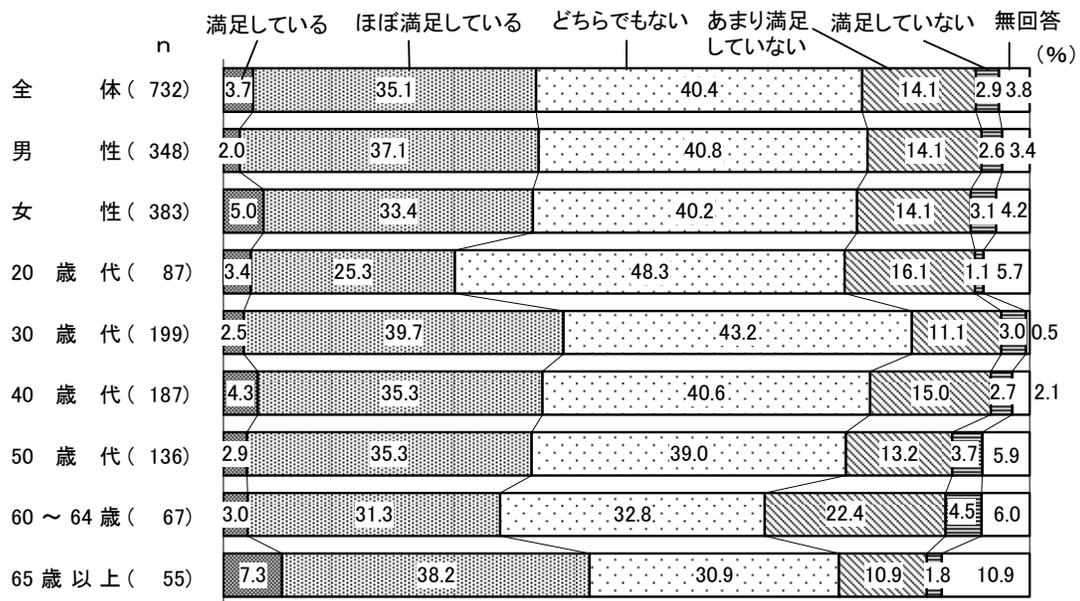
(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)
問9-1 あなたは、市のホームページに満足していますか。(○は1つだけ)

図4-10-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(732人)に、満足度について聞いたところ、「どちらでもない」がほぼ4割(40.4%)ともっとも高く、次いで「満足している」(3.7%)と「ほぼ満足している」(35.1%)を合わせた『満足』が4割弱(38.8%)となっている。一方、「あまり満足していない」(14.1%)と「満足していない」(2.9%)を合わせた『不満』は2割弱(17.0%)となっている。(図4-10-1)

図4-10-2 市のホームページの満足度－性別・年齢別



性別にみると、「満足している」では男性のほうが3.0ポイント高くなっているが、『満足』としては大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で5割台半ば（45.5%）と最も高く、20歳代で3割弱（28.7%）と最も低くなっている。（図4-10-2）

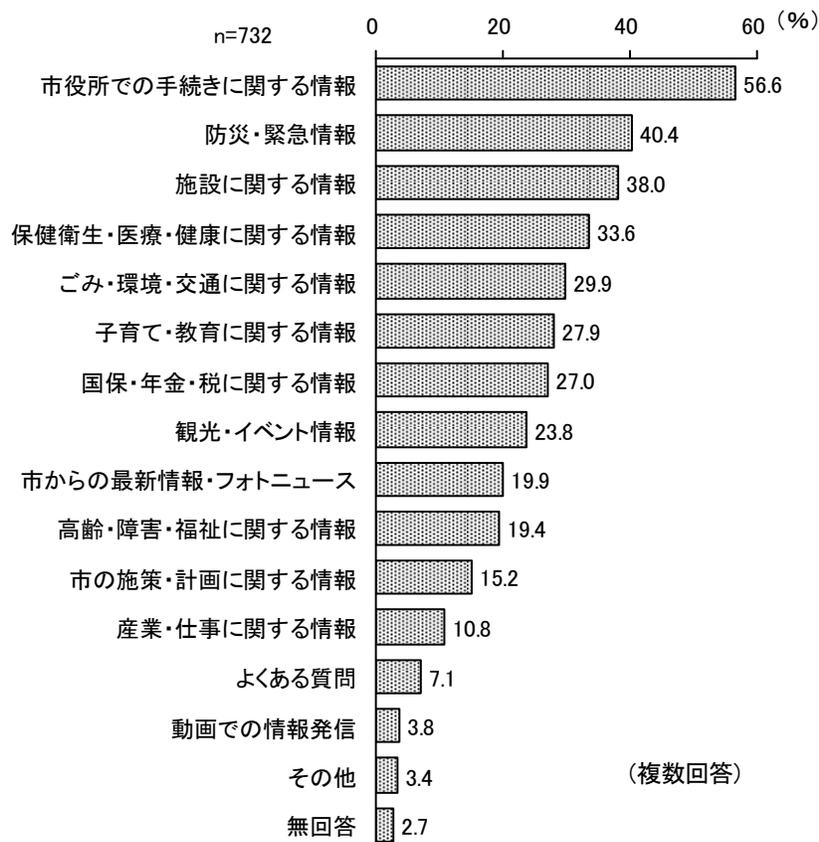
4-11 市のホームページで充実して欲しい情報

◇「市役所での手続きに関する情報」が6割弱

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

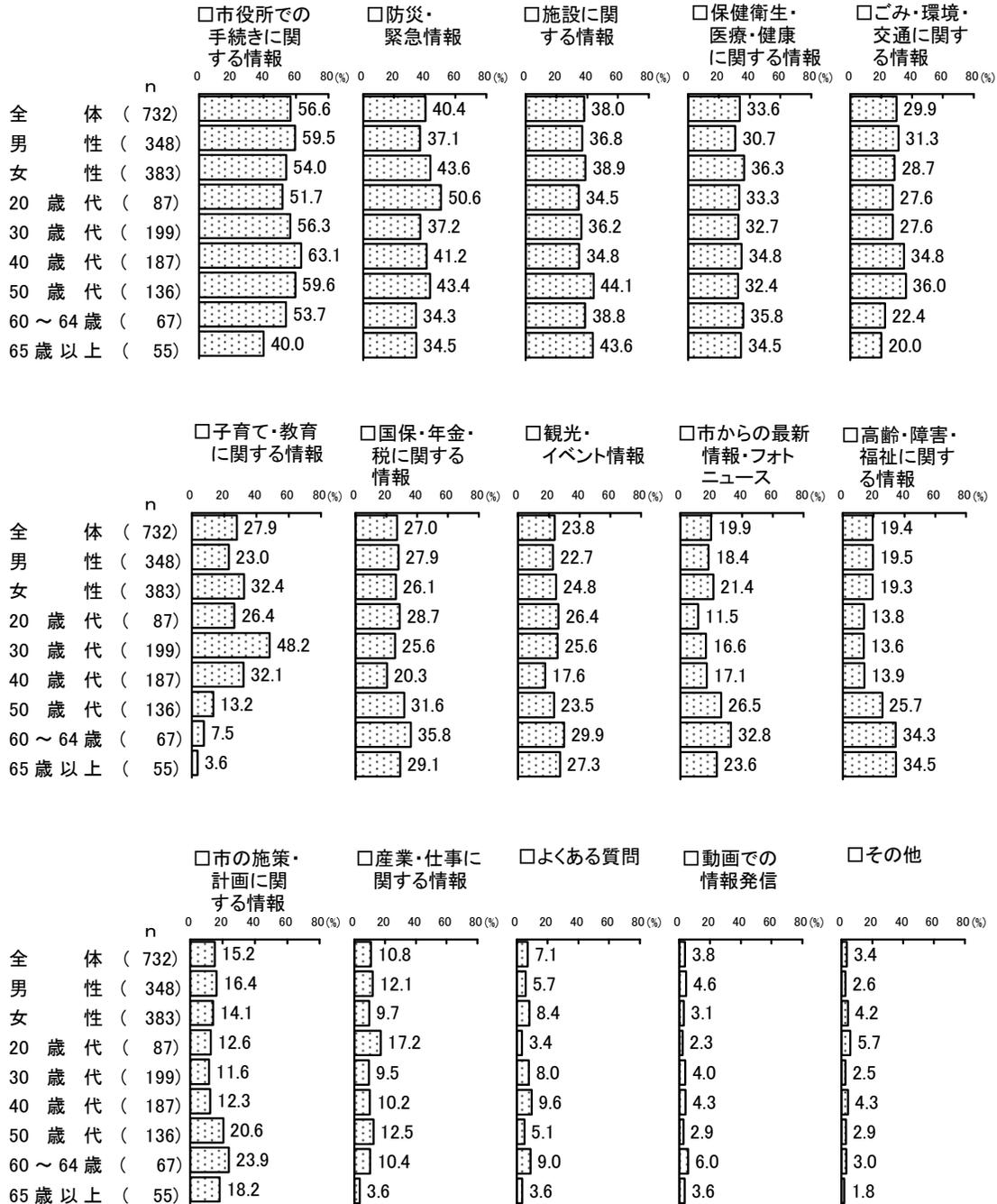
問9-2 あなたは、市のホームページでどのような情報を充実して欲しいですか。(〇はいくつでも)

図4-11-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(732人)に、どのような情報を充実して欲しいかについて聞いたところ、「市役所での手続きに関する情報」が6割弱(56.6%)と最も高く、ついで「防災・緊急情報」(40.4%)、「施設に関する情報」(38.0%)、「保健衛生・医療・健康に関する情報」(33.6%)と続いている。(図4-11-1)

図4-11-2 市のホームページで充実して欲しい情報—性別・年齢別



性別にみると、「子育て・教育に関する情報」では9.4ポイント、「防災・緊急情報」では6.5ポイント、「保健衛生・医療・健康に関する情報」では5.6ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。一方、「市役所での手続きに関する情報」では男性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「市役所での手続きに関する情報」は40歳代で6割強(63.1%)と高く、「防災・緊急情報」は20歳代でほぼ5割(50.6%)と高くなっている。「子育て・教育に関する情報」は30歳代で5割弱(48.2%)と高くなっている。(図4-11-2)

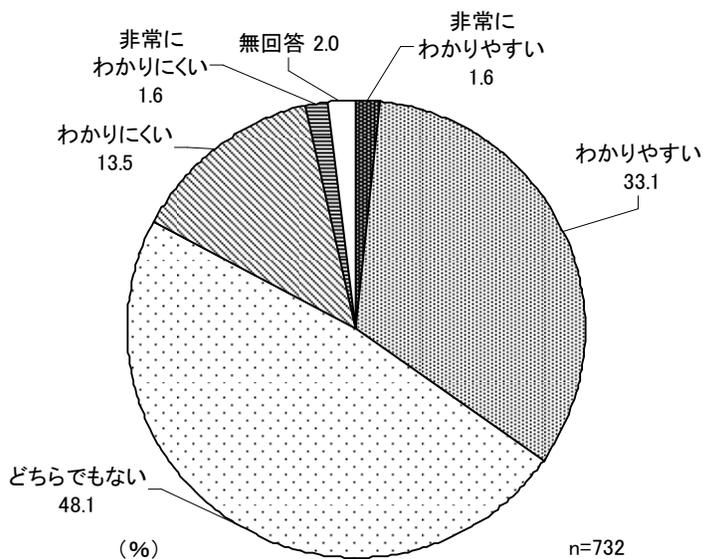
4-12 市のホームページの内容に関する評価

◇「どちらでもない」が5割弱

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

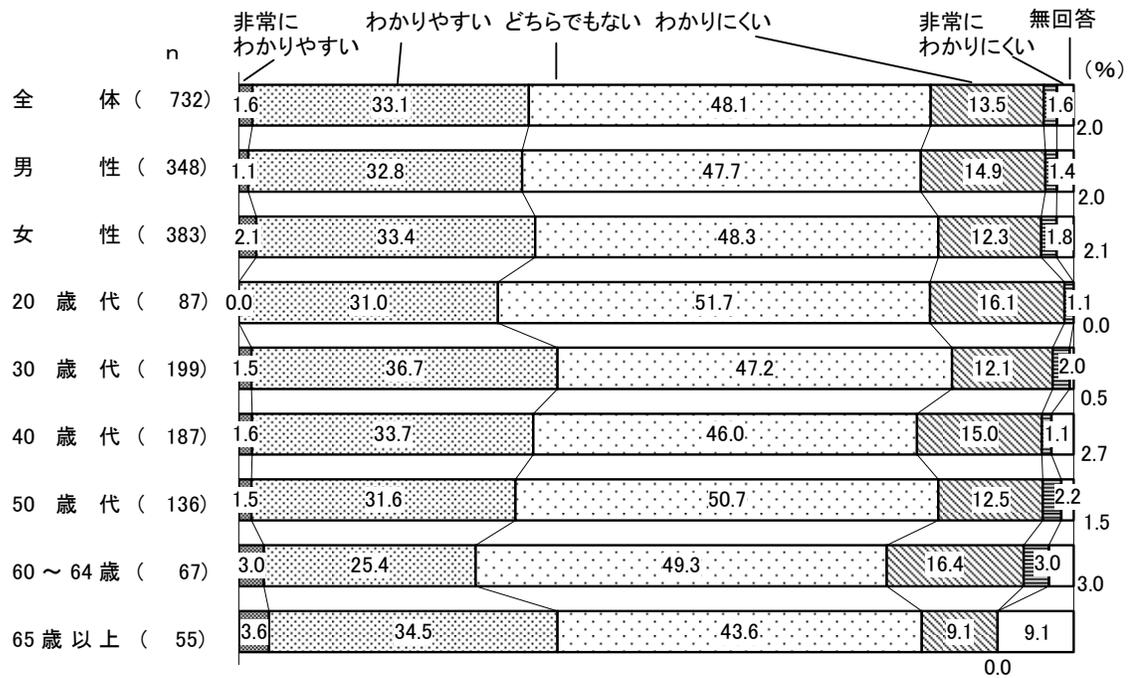
問9-3 市のホームページの内容はわかりやすいですか。(○は1つだけ)

図4-12-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(732人)に、市のホームページの内容に関する評価について聞いたところ、「どちらでもない」が5割弱(48.1%)を占めている。「非常にわかりやすい」(1.6%)と「わかりやすい」(33.1%)を合わせた『わかりやすい』は3割台半ば(34.7%)であり、「わかりにくい」(13.5%)と「非常にわかりにくい」(1.6%)を合わせた『わかりにくい』は1割台半ば(15.1%)となっている。(図4-12-1)

図4-12-2 市のホームページの内容に関する評価—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『わかりやすい』は30歳代(38.2%)と65歳以上(38.1%)で4割弱と高く、60～64歳で3割弱(28.4%)と最も低くなっている。(図4-12-2)

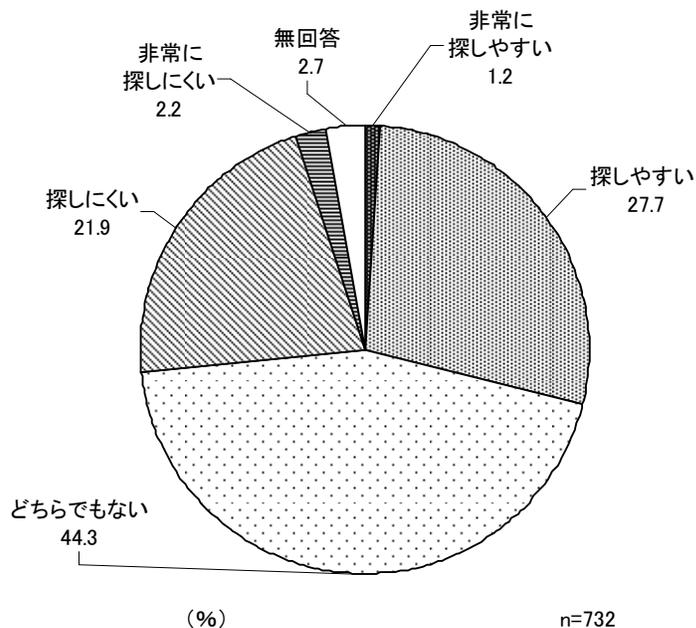
4-13 市のホームページから欲しい情報の探しやすさ

◇「どちらでもない」が4割台半ば

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

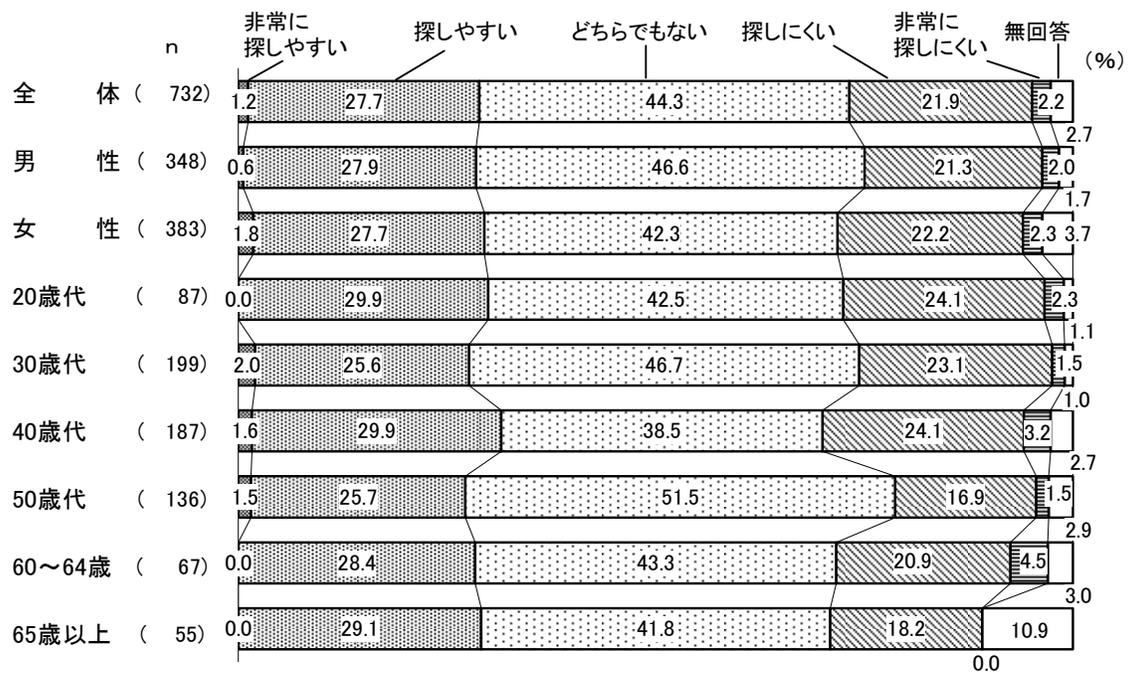
問9-4 ホームページから欲しい情報は探しやすいですか。(○は1つだけ)

図4-13-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(732人)に、市のホームページから欲しい情報は探しやすいかについて聞いたところ、「どちらでもない」が4割台半ば(44.3%)である。「非常に探しやすい」(1.2%)と「探しやすい」(27.7%)を合わせた『探しやすい』は3割弱(28.9%)であり、「探しにくい」(21.9%)と「非常に探しにくい」(2.2%)を合わせた『探しにくい』は2割台半ば(24.1%)となっている。(図4-13-1)

図4-13-2 市のホームページから欲しい情報の探しやすさ-性別・年齢別



性別にみると、「どちらでもない」は男性のほうが4.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『探しやすい』は40歳代で3割強（31.5%）とやや高くなっている。（図4-13-2）

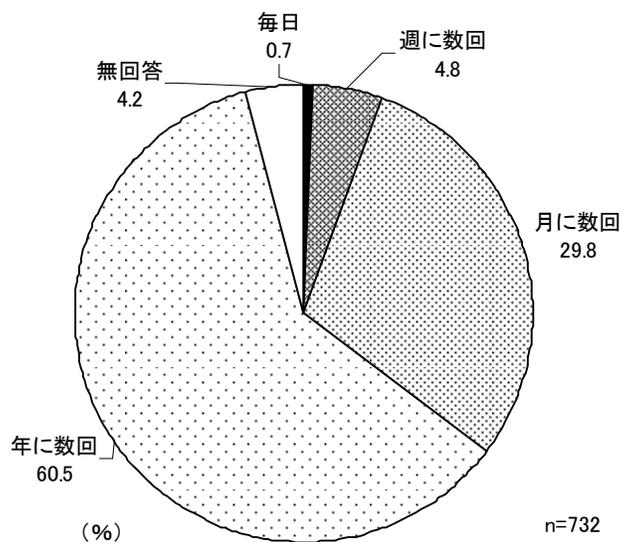
4-14 市のホームページの利用頻度

◇「年に数回」がほぼ6割

(問9で「知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

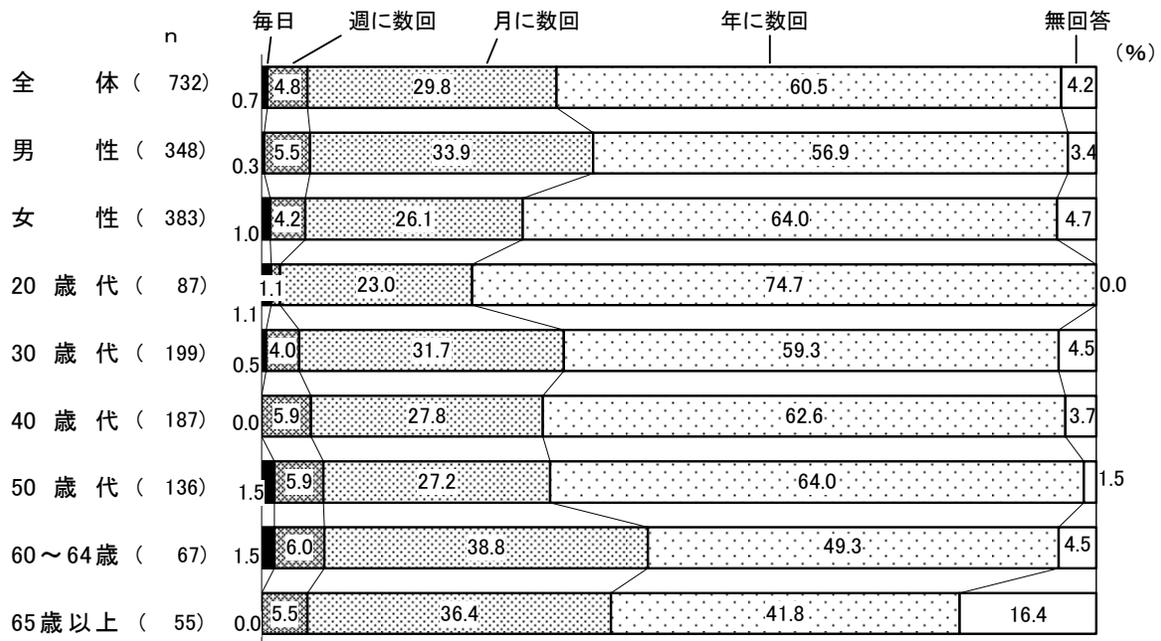
問9-5 市政に関する情報をホームページから得ている方に伺います。市の公式ホームページをどの程度利用しますか。(〇は1つだけ)

図4-14-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っており、利用したことがある」と答えた人(732人)に、市のホームページをどの程度利用するかについて聞いたところ、「年に数回」がほぼ6割(60.5%)と最も高く、ついで「月に数回」(29.8%)、「週に数回」(4.8%)、「毎日」(0.7%)と続いている。(図4-14-1)

図4-14-2 市のホームページの利用頻度－性別・年齢別



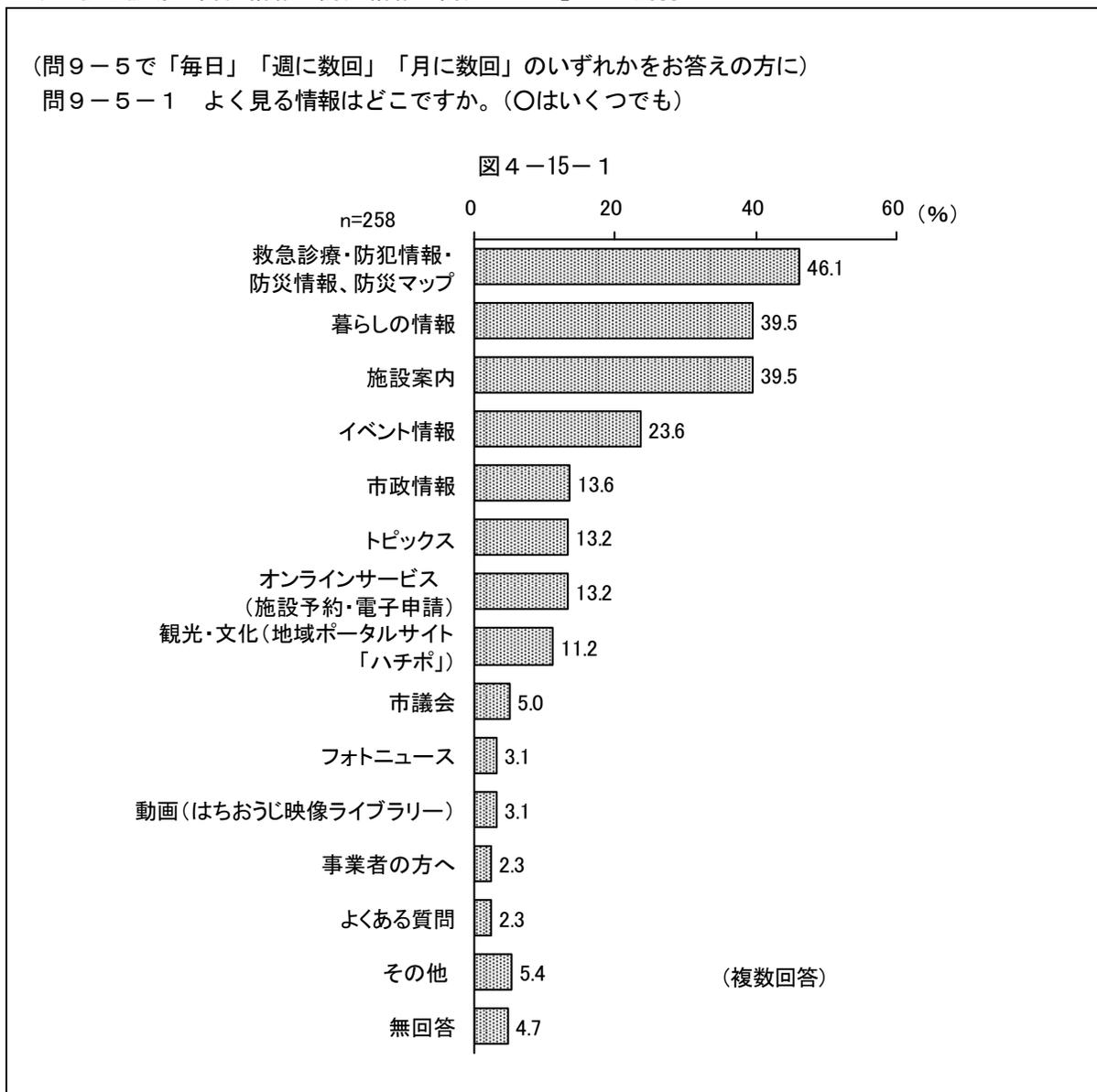
性別にみると、「毎日」「週に数回」「月に数回」の合計は男性のほうが8.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「毎日」「週に数回」「月に数回」の合計は60～64歳で5割弱（46.3%）と高くなっている。一方、「年に数回」は20歳代で7割台半ば（74.7%）を占めている。（図4-14-2）

4-15 市のホームページでよく見る情報

◇「救急診療・防犯情報・防災情報・防災マップ」が5割弱

(問9-5で「毎日」「週に数回」「月に数回」のいずれかをお答えの方に)
問9-5-1 よく見る情報はどこですか。(〇はいくつでも)



市のホームページをどの程度利用するかで「毎日」「週に数回」「月に数回」のいずれかを答えた人(258人)に、市のホームページでよく見る情報について聞いたところ、「救急診療・防犯情報・防災情報、防災マップ」が5割弱(46.1%)と最も高く、ついで「暮らしの情報」・「施設案内」(いずれも同率の39.5%)、「イベント情報」(23.6%)と続いている。(図4-15-1)

図4-15-2 市のホームページでよく見る情報－性別・年齢別（上位12項目）



性別にみると、「救急診療・防犯情報・防災情報、防災マップ」は女性のほうが13.4ポイント高く、「市政情報」は9.8ポイント、「暮らしの情報」は7.0ポイント男性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「救急診療・防犯情報・防災情報、防災マップ」は20歳代～40歳代、「暮らしの情報」は60歳以上で5割を超えて高くなっている。「施設案内」は60～64歳で5割台半ば（54.8%）と高くなっている。（図4-15-2）

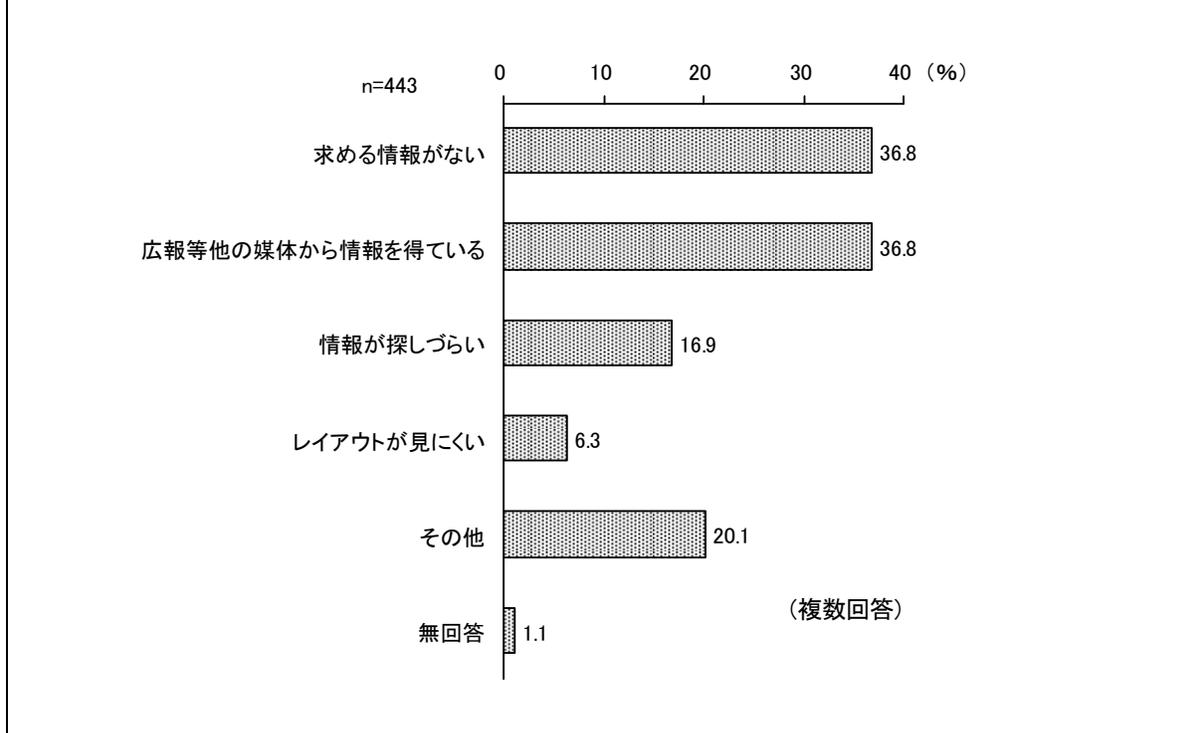
4-16 市のホームページを見ない理由

◇「求める情報がない」と「広報等他の媒体から情報を得ている」が4割弱

(問9-5で「年に数回」とお答えの方に)

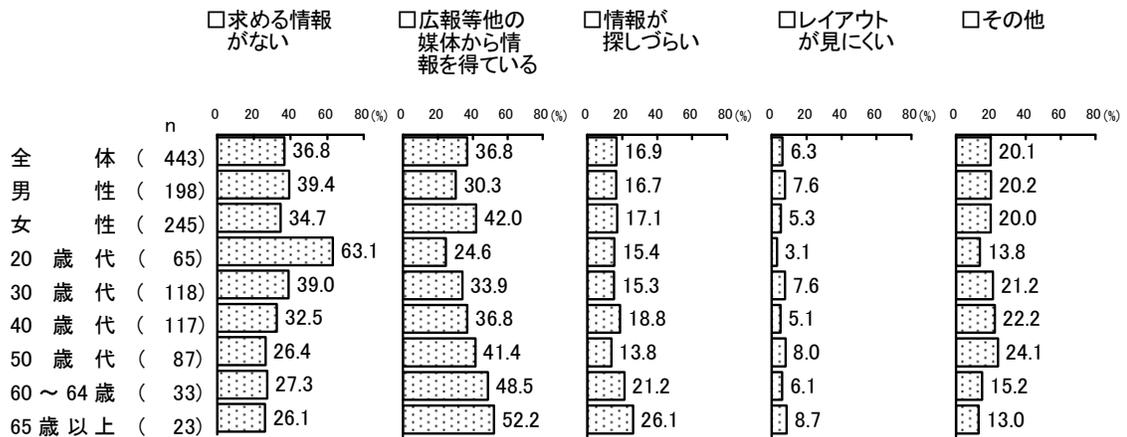
問9-5-2 見ない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図4-16-1



市のホームページをどの程度利用するかで「年に数回」と答えた人(443人)に、市のホームページを見ない理由について聞いたところ、「求める情報がない」と「広報等他の媒体から情報を得ている」が4割弱(いずれも同率の36.8%)と最も高く、ついで「情報が探しづらい」(16.9%)、「レイアウトが見にくい」(6.3%)と続いている。(図4-16-1)

図4-16-2 市のホームページを見ない理由—性別・年齢別



性別にみると、「求める情報がない」は男性のほうが4.7ポイント、「広報等他の媒体から情報を得ている」は女性のほうが11.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「求める情報がない」は20歳代で6割強（63.1%）と高くなっている。「広報等他の媒体から情報を得ている」は年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向がみられ、65歳以上で5割強（52.2%）を占めている（図4-16-2）。

4-17 市のホームページを利用したことがない理由

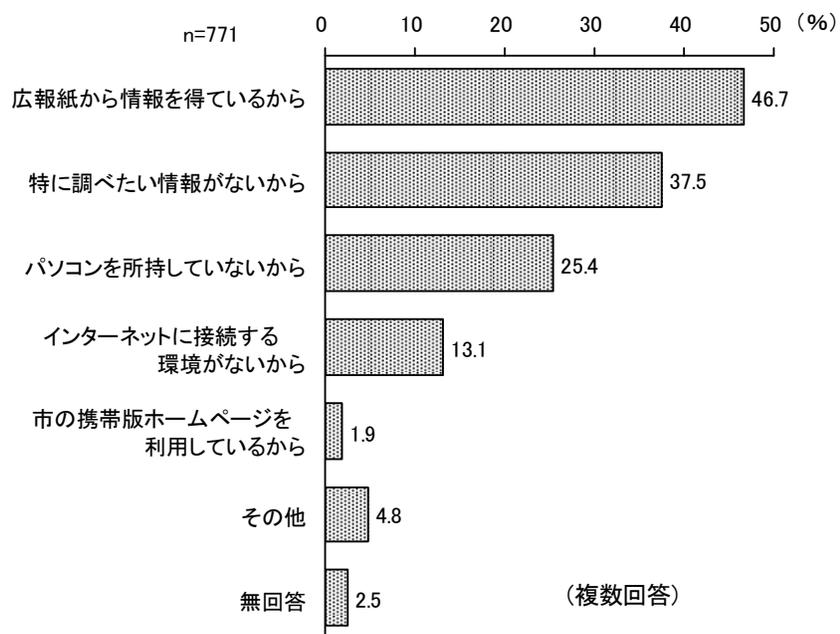
◇「広報紙から情報を得ているから」が5割弱

(問9で「知っているが、利用したことがない」とお答えの方に)

問10 あなたが、市のホームページを利用したことがないのは、どのような理由からですか。

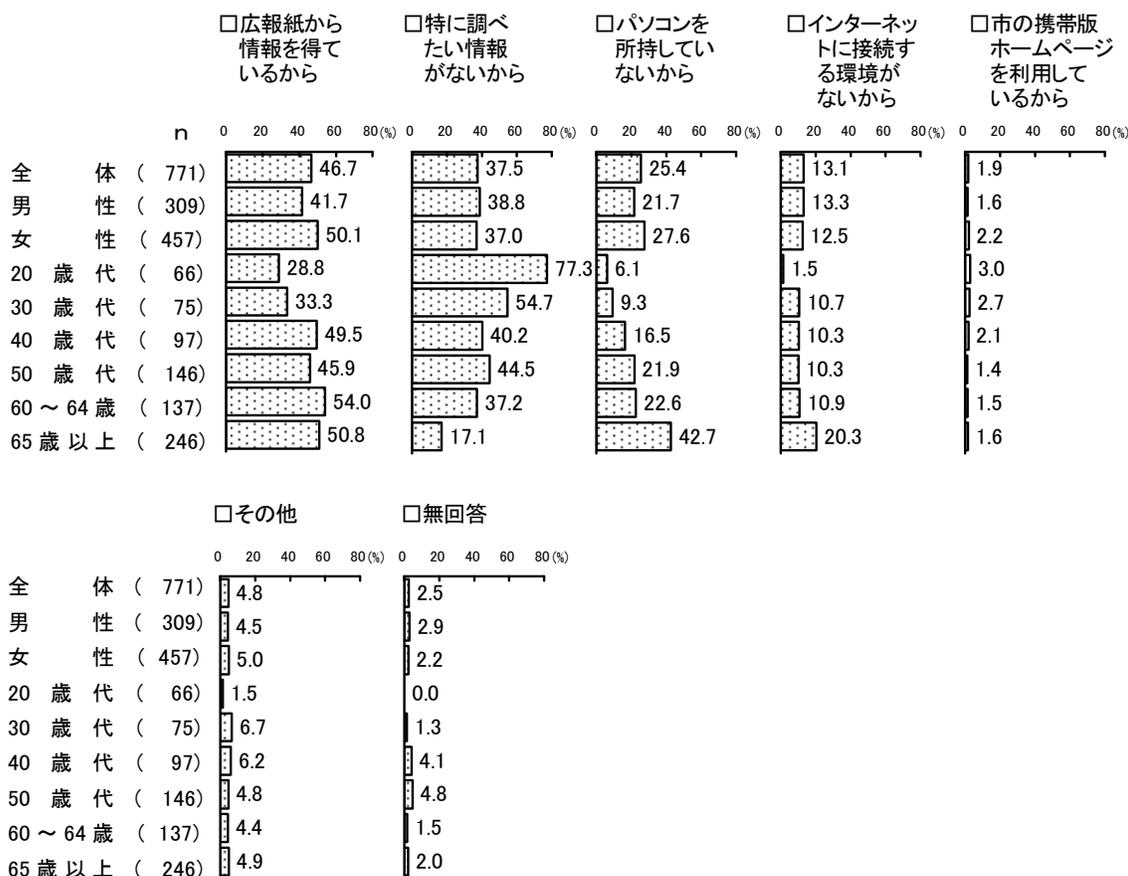
(〇はいくつでも)

図4-17-1



市のホームページの認知度・利用状況で「知っているが、利用したことがない」と答えた人（771人）に、利用したことがない理由について聞いたところ、「広報紙から情報を得ているから」が5割弱（46.7%）と最も高く、ついで「特に調べたい情報がないから」（37.5%）、「パソコンを所持していないから」（25.4%）と続いている。（図4-17-1）

図4-17-2 市のホームページを利用したことがない理由—性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「広報紙から情報を得ているから」で8.4ポイント、「パソコンを所持していないから」で5.9ポイント高くなっている。

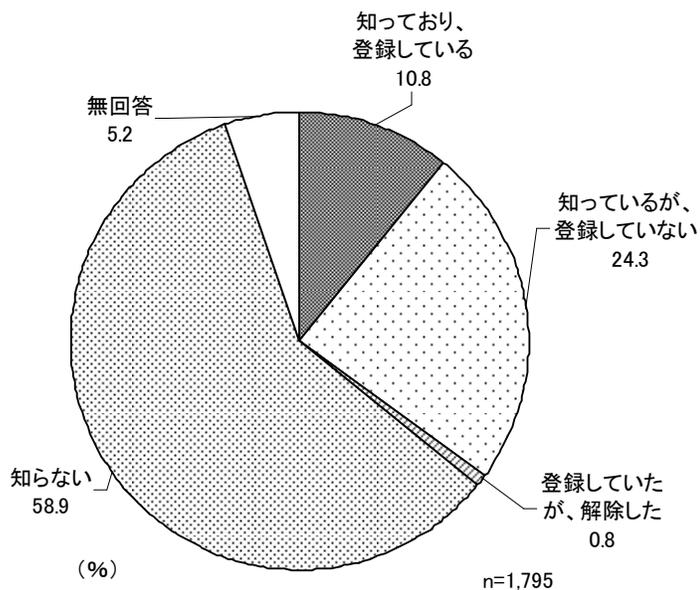
年齢別にみると、「広報紙から情報を得ているから」は60歳以上で5割を超えて高くなっている。「特に調べたい情報がないから」は20歳代で8割弱(77.3%)と高くなっている。「パソコンを所持していないから」は年齢が高くなるにつれて割合が増加する傾向がみられ、65歳以上で4割強(42.7%)を占めている。(図4-17-2)

4-18 市のメール配信サービスの認知度・登録状況

◇「知らない」が6割弱

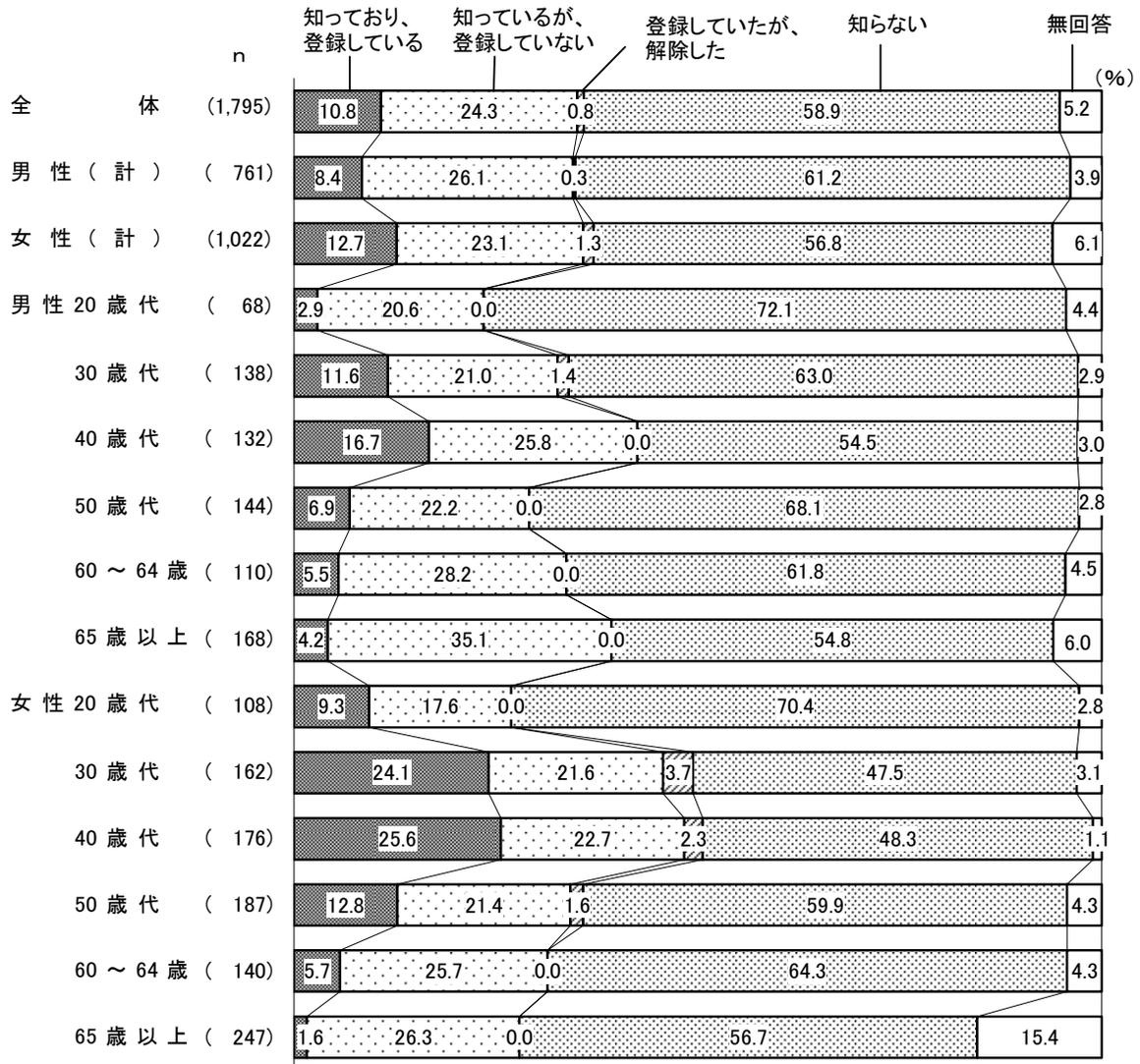
問11 あなたは、市がメール配信サービスを提供していることを知っていますか。(○は1つだけ)

図4-18-1



メール配信サービスの認知度と登録状況について聞いたところ、「知っており、登録している」(10.8%)、「知っているが、登録していない」(24.3%)、「登録していたが、解除した」(0.8%)を合わせた『知っている』が3割台半ば(35.9%)となっている。一方、「知らない」は6割弱(58.9%)となっている。(図4-18-1)

図4-18-2 市のメール配信サービスの認知度・登録状況－性・年齢別



性別にみると、女性のほうが、「知っているが、登録している」で4.3ポイント、「知らない」で4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っているが、登録している」は女性の40歳代(25.6%)30歳代(24.1%)で2割台半ばと高くなっている。「知らない」はどの年齢層でも高いが、とりわけ20歳代は男女とも7割を超えて高くなっている。(図4-18-2)

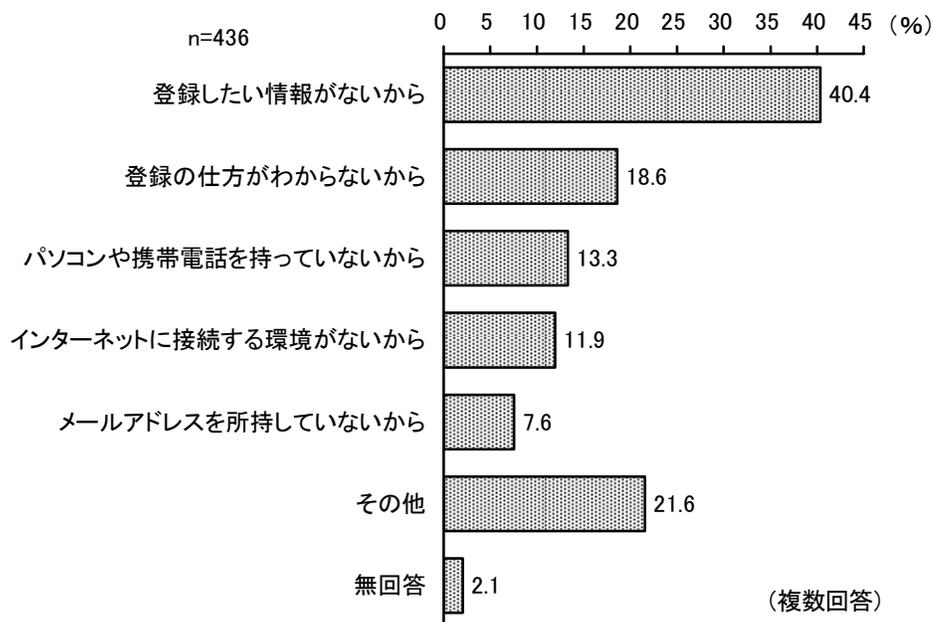
4-19 市のメール配信サービスを利用したことがない理由

◇「登録したい情報がないから」がほぼ4割

(問11で「知っているが、登録していない」とお答えの方に)

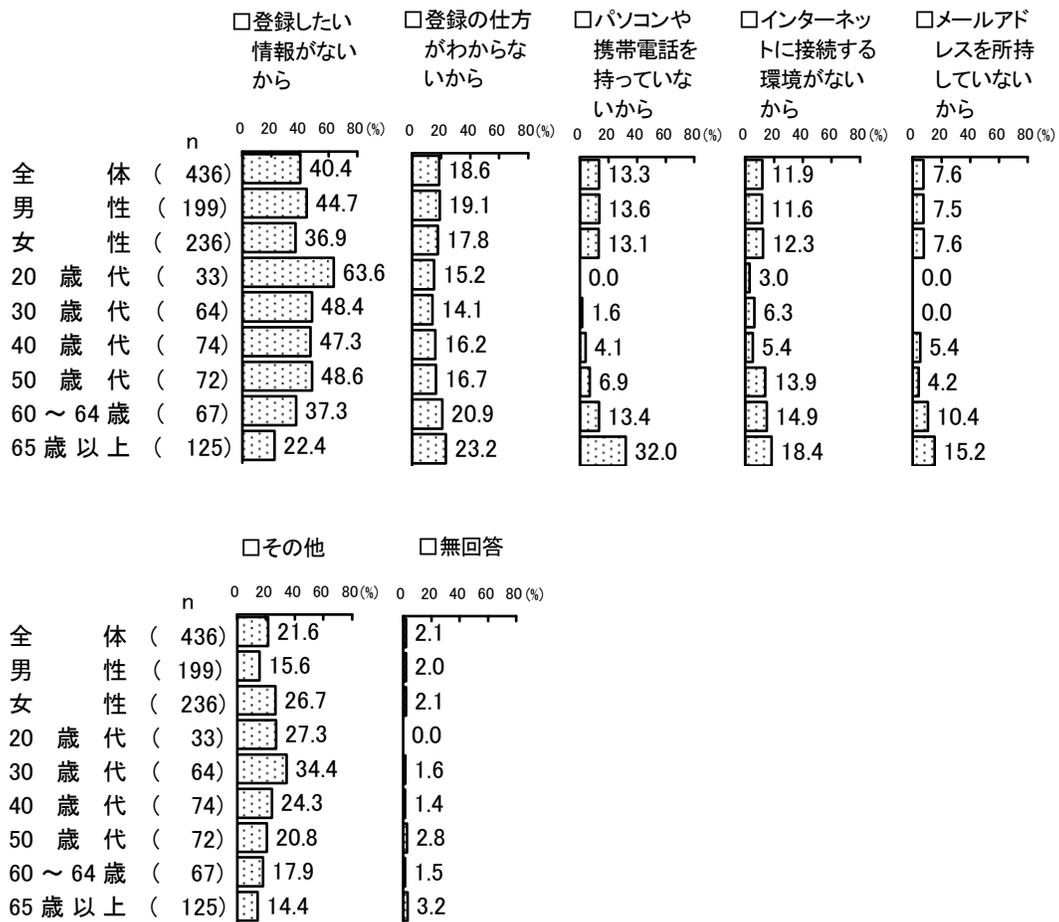
問11-1 あなたが、市のメール配信サービスを利用していないのは、どのような理由からですか。
(〇はいくつでも)

図4-19-1



メール配信サービスの認知度と登録状況で「知っているが、登録していない」と答えた人(436人)に、市のメール配信サービスを利用しない理由について聞いたところ、「登録したい情報がないから」がほぼ4割(40.4%)と最も高く、ついで「登録の仕方がわからないから」(18.6%)、「パソコンや携帯電話を持っていないから」(13.3%)と続いている。(図4-19-1)

図4-19-2 市のメール配信サービスを利用しない理由—性別・年齢別



性別にみると、「登録したい情報がないから」は男性のほうが7.8ポイント高くなっている。

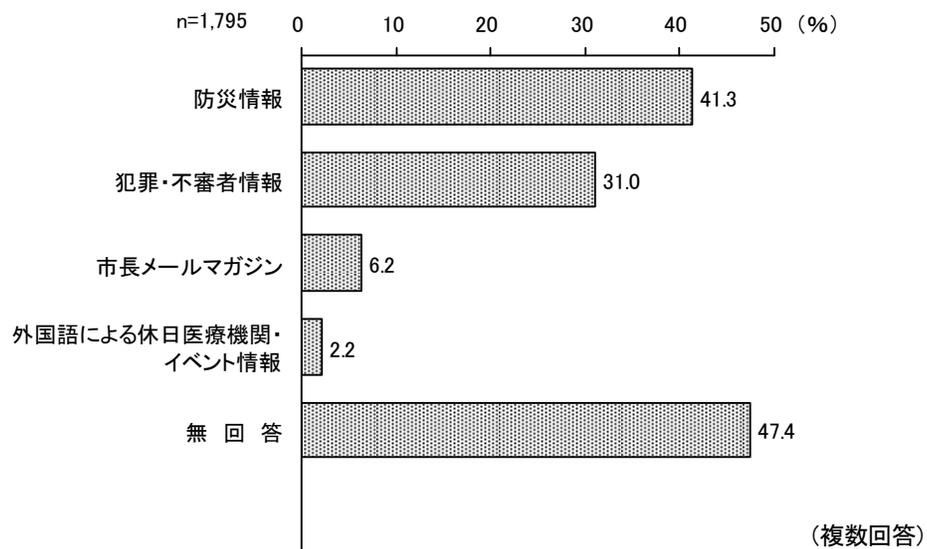
年齢別にみると、「登録したい情報がないから」は20歳代で6割強（63.6%）と高くなっている。「登録の仕方がわからないから」は60歳以上で2割を超えている。「パソコンや携帯電話を持っていないから」は65歳以上で3割強（32.0%）と高くなっている。（図4-19-2）

4-20 市のメール配信サービスで利用するメニュー

◇「防災情報」が4割強

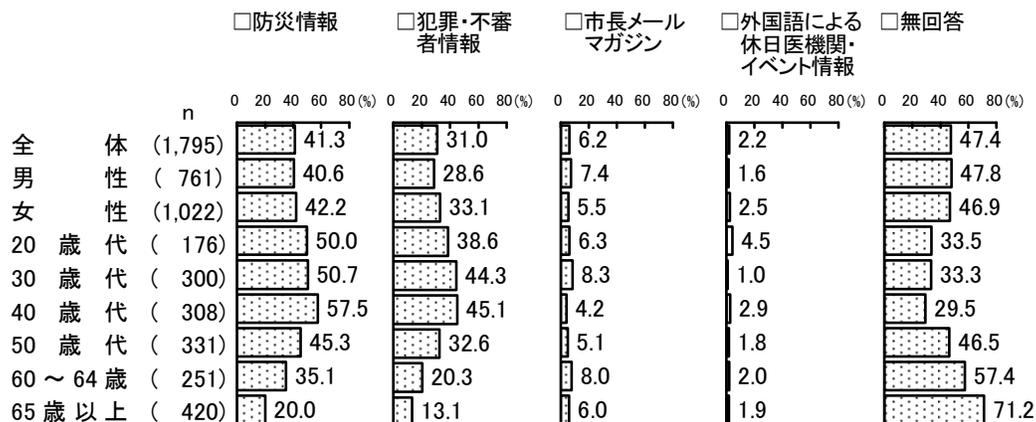
問12 あなたは、市のメール配信サービスでどのメニューを利用していますか、又は利用したいですか。
(○はいくつでも)

図4-20-1



市のメール配信サービスで利用するあるいは利用したいメニューについて聞いたところ、「防災情報」が4割強（41.3%）と最も高く、ついで「犯罪・不審者情報」（31.0%）、「市長メールマガジン」（6.2%）と続いている。（図4-20-1）

図4-20-2 市のメール配信サービスで利用するメニューー性別・年齢別



性別にみると、「犯罪・不審者情報」では女性のほうが4.5ポイント高くなっている。

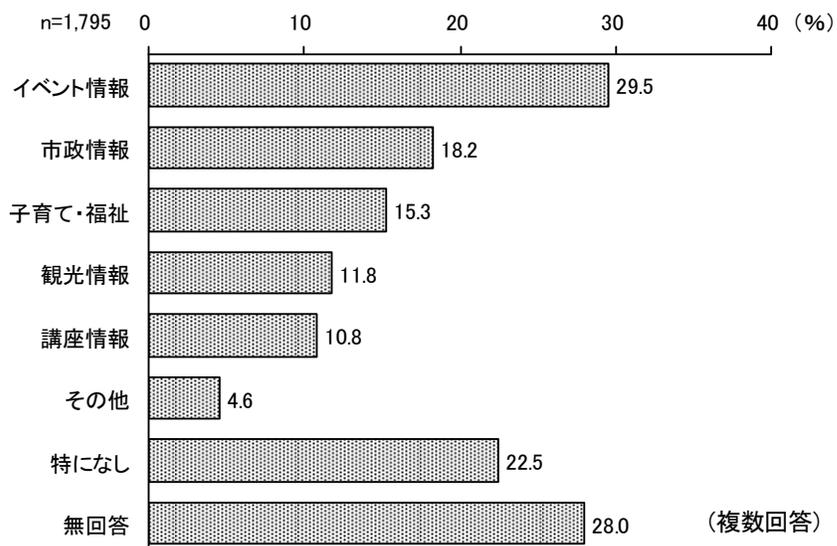
年齢別にみると、「防災情報」は20歳代～40歳代で5割以上を占め高くなっている。「犯罪・不審者情報」は30歳代と40歳代で4割台半ばと高くなっている。(図4-20-2)

4-21 市のメール配信サービスで必要と思う情報

◇「イベント情報」がほぼ3割

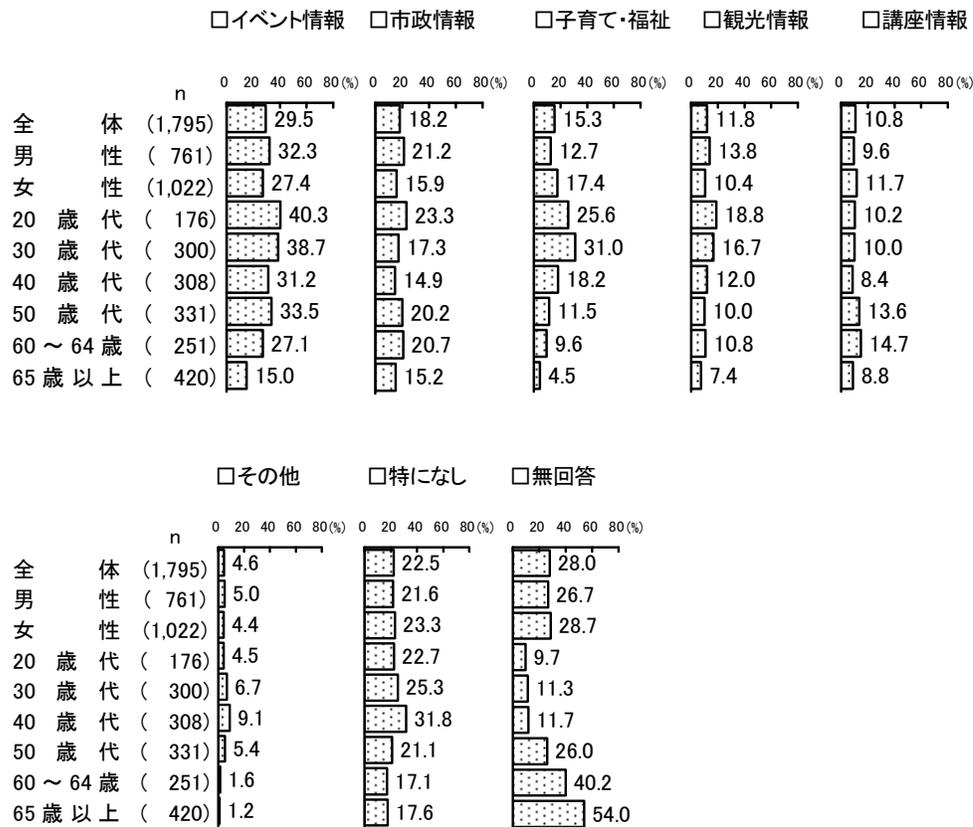
問13 メール配信で必要だと思う情報を教えてください。(〇はいくつでも)

図4-21-1



市のメール配信サービスで必要だと思う情報について聞いたところ、「イベント情報」がほぼ3割(29.5%)と最も高く、ついで「市政情報」(18.2%)、「子育て・福祉」(15.3%)と続いている。(図4-21-1)

図4-21-2 市のメール配信サービスで必要と思う情報—性別・年齢別



性別にみると、「イベント情報」では4.9ポイント、「市政情報」では5.3ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。「子育て・福祉」では女性のほうが4.7ポイント高くなっている。

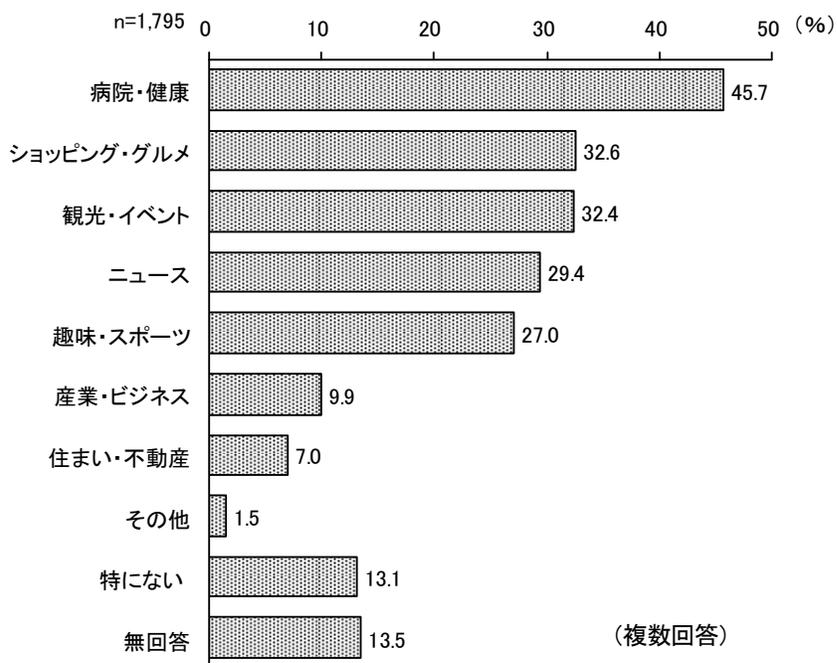
年齢別にみると、「イベント情報」は20歳代でほぼ4割(40.3%)、「子育て・福祉」は30歳代で3割強(31.0%)と高くなっている。(図4-21-2)

4-22 行政の情報以外で知りたい八王子市の情報

◇「病院・健康」が4割台半ば

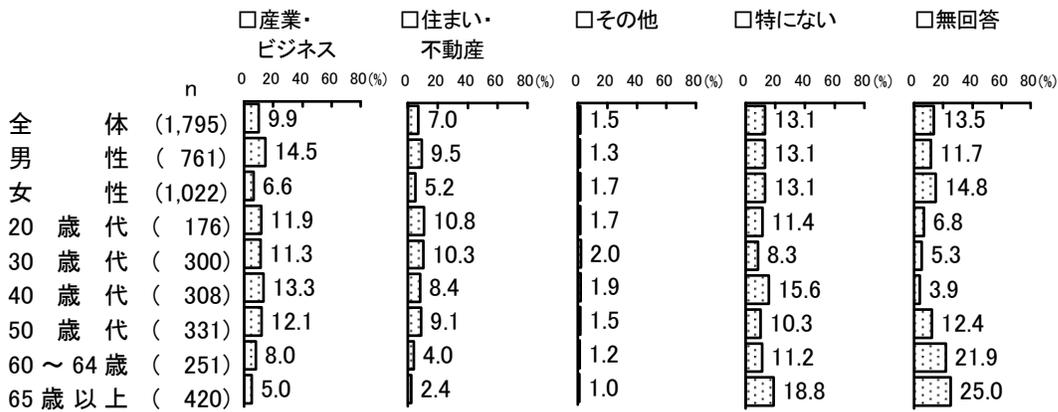
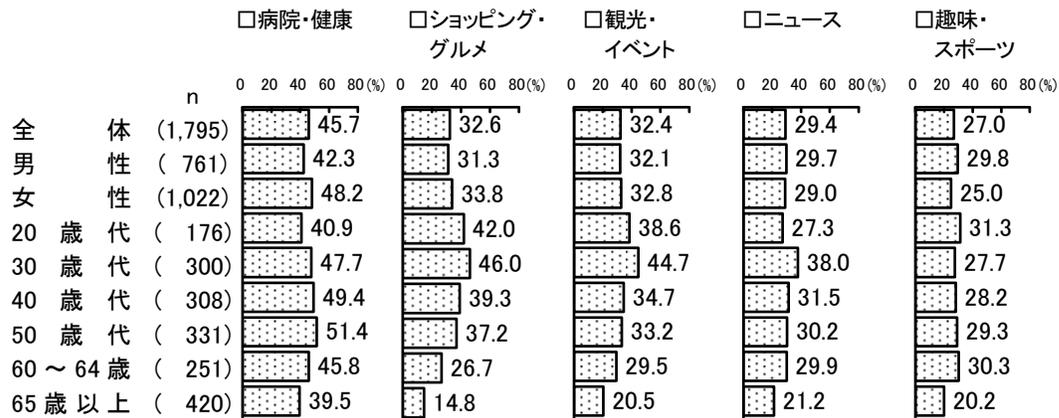
問14 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。(〇はいくつでも)

図4-22-1



行政の情報以外で知りたい八王子市の情報について聞いたところ、「病院・健康」が4割台半ば(45.7%)と最も高く、ついで「ショッピング・グルメ」(32.6%)、「観光・イベント」(32.4%)、「ニュース」(29.4%)と続いている。(図4-22-1)

図4-22-2 行政の情報以外で知りたい八王子の情報—性別・年齢別



性別にみると、「病院・健康」は女性のほうが5.9ポイント、「趣味・スポーツ」は男性のほうが4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「病院・健康」はすべての年齢層で概ね4～5割を占め、最も高くなっている。「ショッピング・グルメ」は30歳代で5割弱(46.0%)と高くなっている。(図4-22-2)

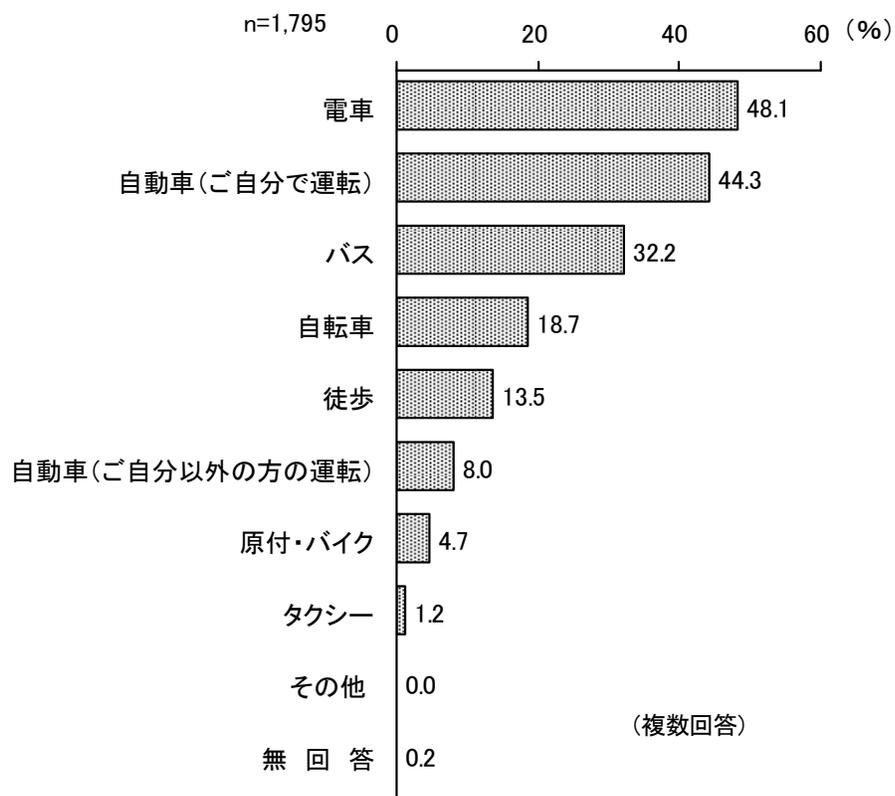
5. 公共交通

5-1 日頃利用する交通手段

◇「電車」が5割弱、ついで「自動車（ご自分で運転）」が4割台半ば

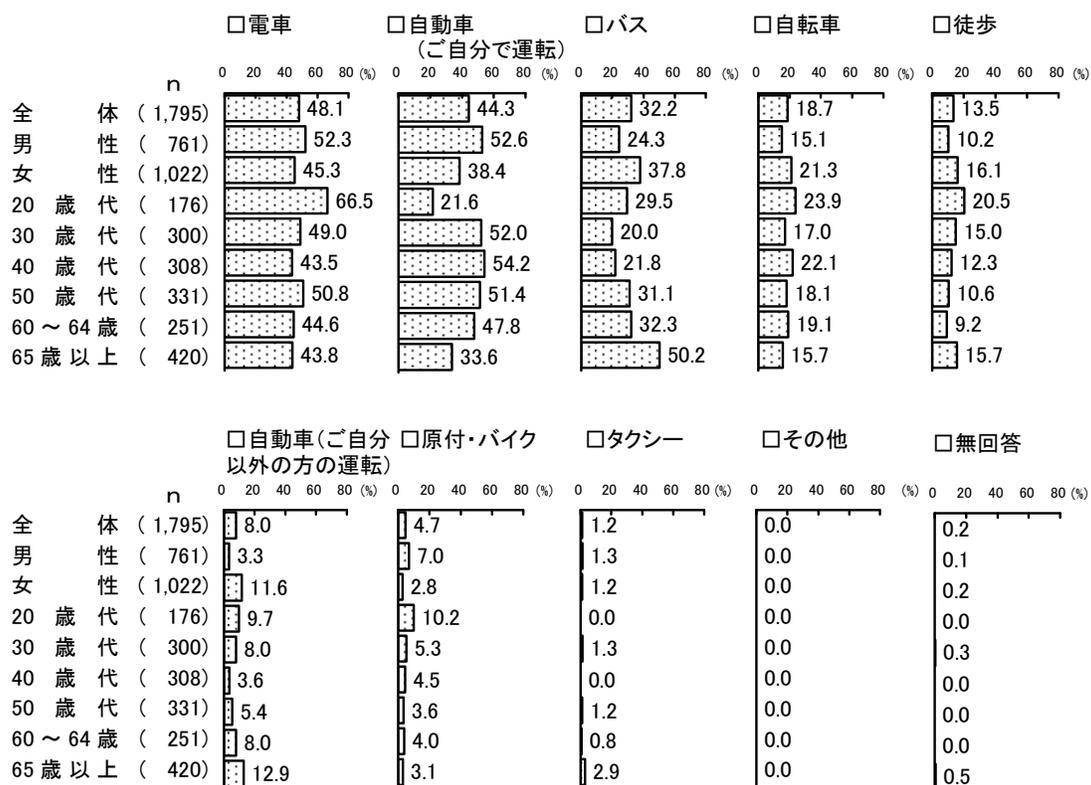
問15 あなたは日常、主にどのような交通手段を利用していますか。（○は2つまで）

図5-1-1



日頃、主にどのような交通手段を利用しているかについて聞いたところ、「電車」が5割弱（48.1%）と最も高く、ついで「自動車（ご自分で運転）」（44.3%）、「バス」（32.2%）、「自転車」（18.7%）、徒歩（13.5%）と続いている。（図5-1-1）

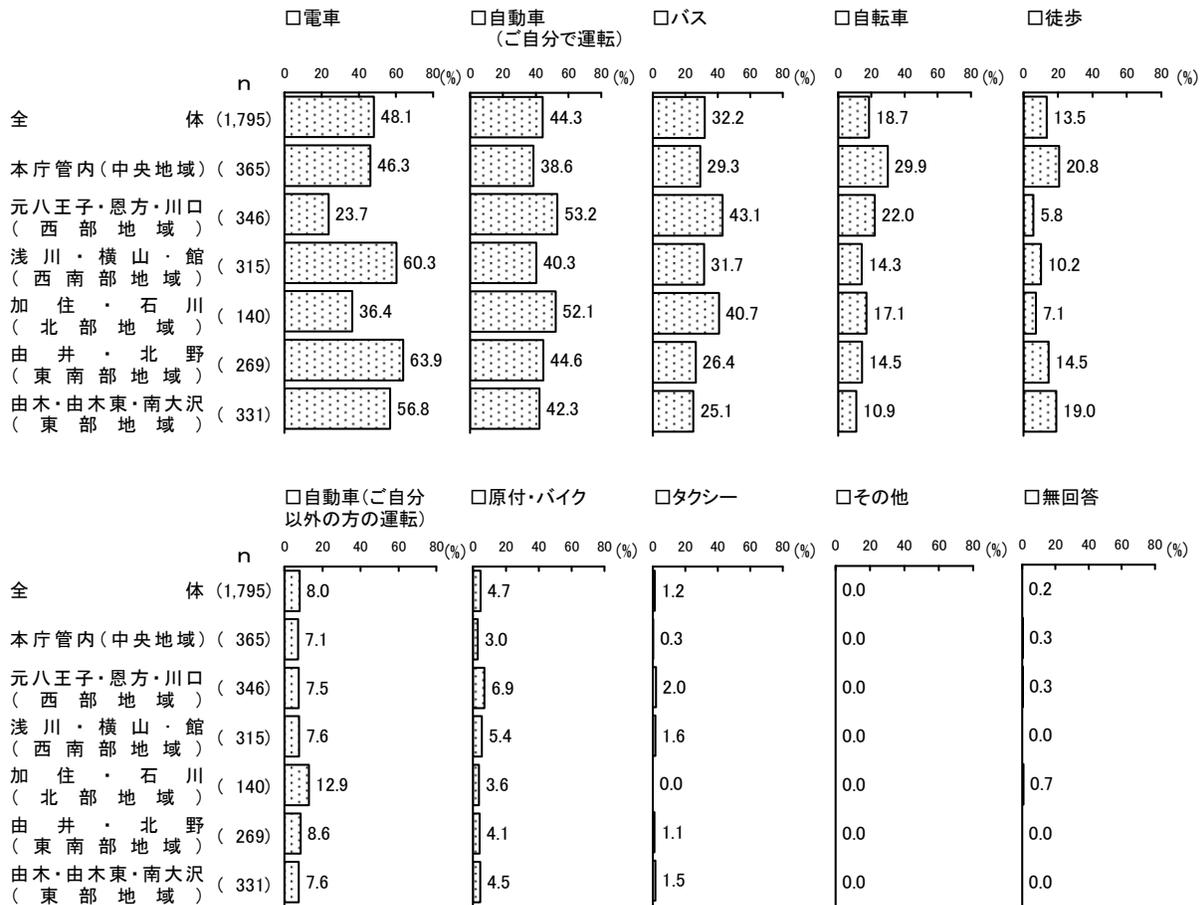
図5-1-2 日頃利用する交通手段—性別・年齢別



性別にみると、「自動車（ご自分で運転）」は14.2ポイント、「電車」は7.0ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。「バス」は13.5ポイント、「自転車」は6.2ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

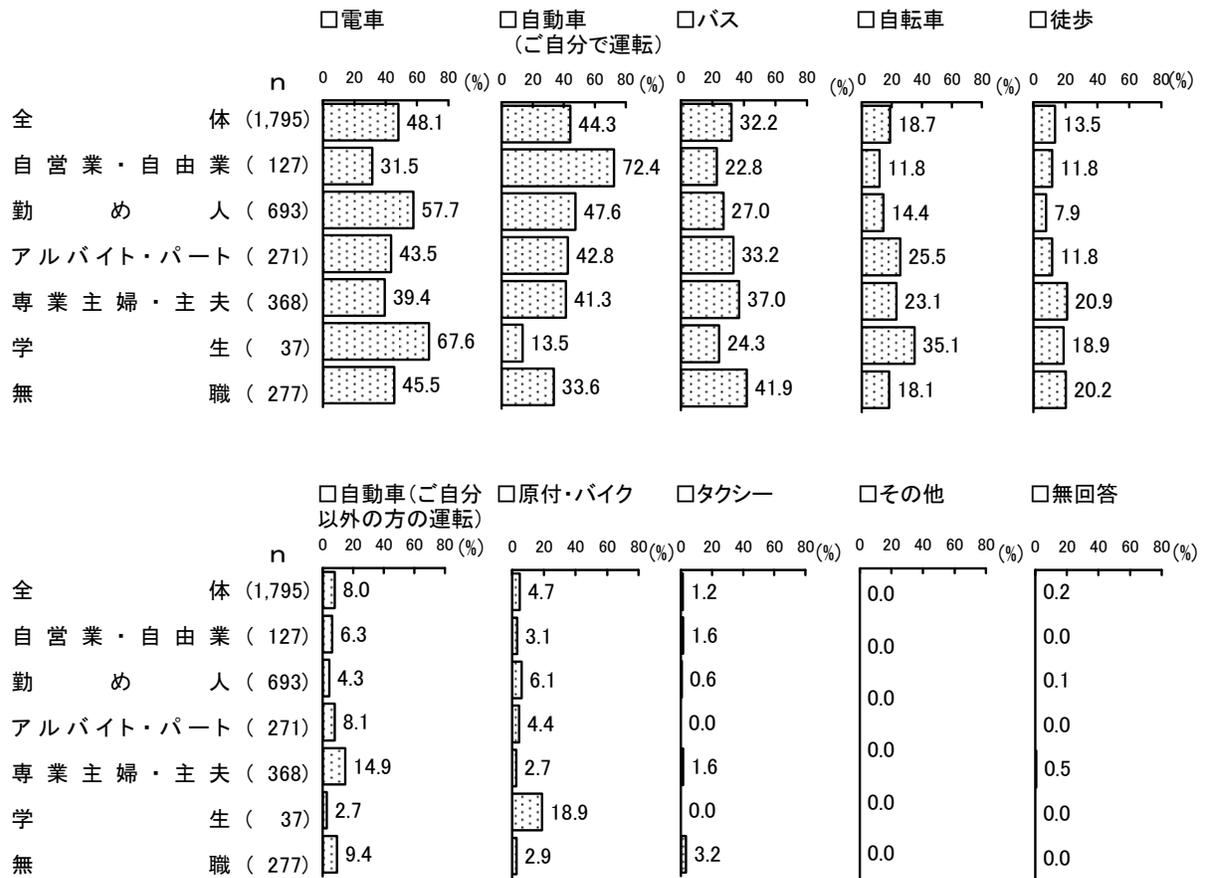
年齢別にみると、「電車」は20歳代で7割弱（66.5%）と、他の年代と比べて高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は、40歳代で5割台半ば（54.2%）と最も高く、30歳代～50歳代で5割を超えている反面、20歳代が最も低く2割強（21.6%）となっている。「バス」は65歳以上でほぼ5割（50.2%）と高い利用となっている。（図5-1-2）

図5-1-3 日頃利用する交通手段—居住地域別



居住地域別にみると、「電車」は由井・北野（東南部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で6割を超えて高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は元八王子・恩方・川口（西部地域）と加住・石川（北部地域）で5割を超えて高くなっている。なお、「バス」についてもこの両地域は4割を超え、他の地域と比べて高くなっている。（図5-1-3）

図5-1-4 日頃利用する交通手段—職業別



職業別にみると、「電車」は学生が7割弱（67.6%）と最も高く、ついで勤め人が6割弱（57.7%）と高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は自営業・自由業が7割強（72.4%）と高く、「バス」は無職が4割強（41.9%）、「自転車」は学生が3割台半ば（35.1%）と比較的高くなっている。（図5-1-4）

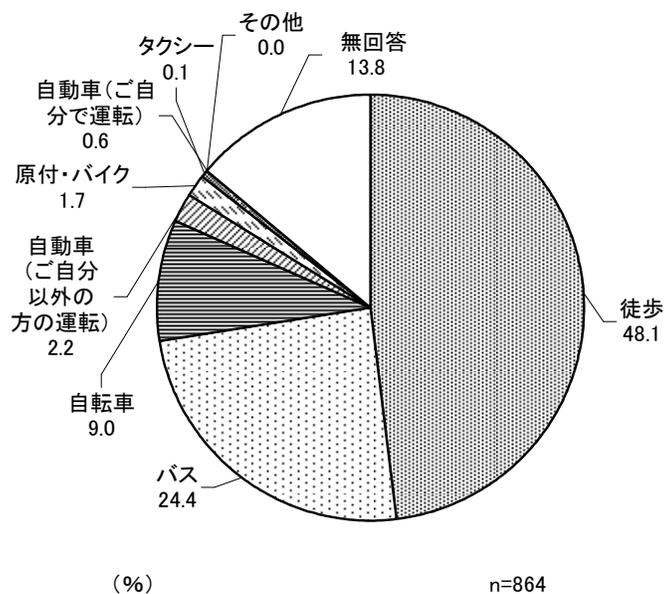
5-2 駅までの主な交通手段

◇「徒歩」が5割弱

(問15で「電車」とお答えの方に)

問15-1 駅までは主にどのような交通手段を利用していますか。(○は1つだけ)

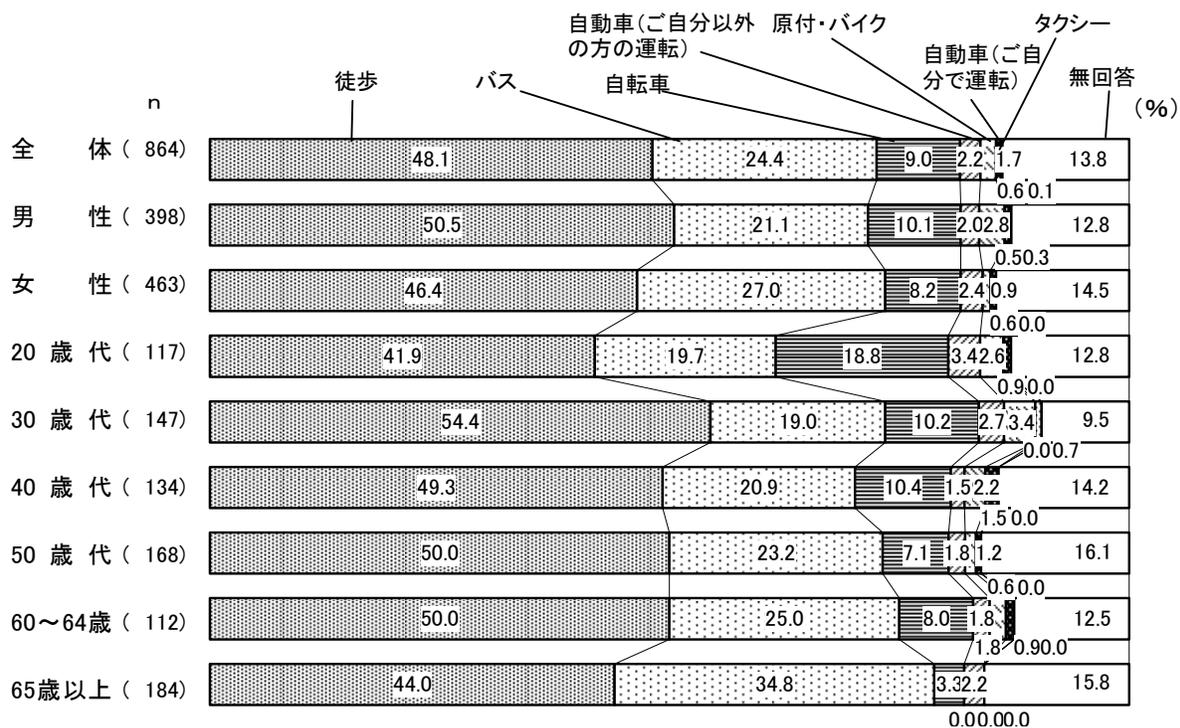
図5-2-1



日頃利用する交通手段で「電車」と答えた人(864人)に、駅までの主な交通手段について聞いたところ、「徒歩」が5割弱(48.1%)と最も高く、ついで「バス」(24.4%)、「自転車」(9.0%)と続いている。

(図5-2-1)

図5-2-2 駅までの主な交通手段—性別・年齢別

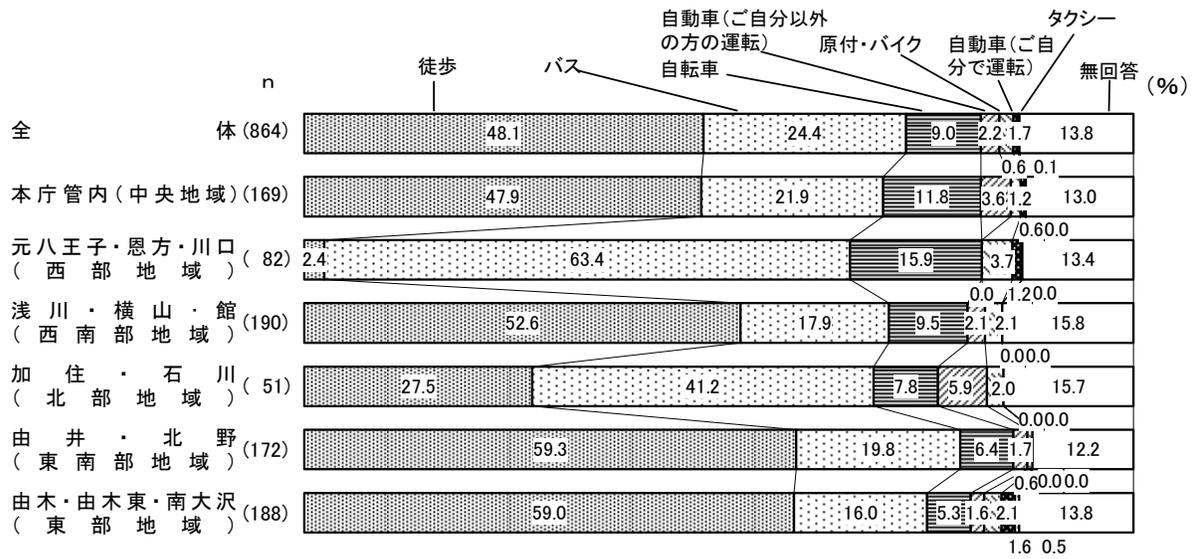


性別にみると、「徒歩」は男性のほうが4.1ポイント高く、「バス」は女性のほうが5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「徒歩」は30歳代で5割台半ば(54.4%)で、他の年代と比べて高くなっている。「バス」は65歳以上で3割台半ば(34.8%)と高く、「自転車」は20歳代で2割弱(18.8%)と高くなっている。

(図5-2-2)

図5-2-3 駅までの主な交通手段—居住地域別



居住地域別にみると、浅川・横山・館(西南部地域)、由井・北野(東南部地域)、由木・由木東・南大沢(東部地域)では「徒歩」が5割を超えているのに対し、元八王子・恩方・川口(西部地域)では「バス」が6割強(63.4%)と高くなっている。加住・石川(北部地域)でも「バス」(41.2%)のほうが「徒歩」(27.5%)よりも高くなっている。(図5-2-3)

5-3 電車、バスなどの公共交通機関を利用する理由

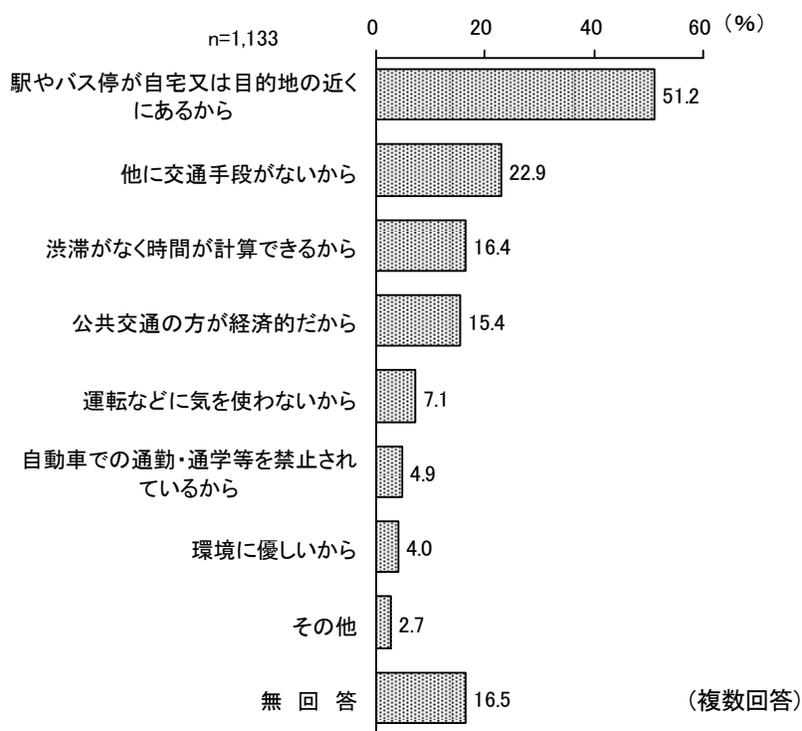
◇「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が5割強

(問15で「電車」または「バス」とお答えの方に)

問15-2 あなたが交通手段として電車、バスなどの公共交通を利用する理由は何ですか。

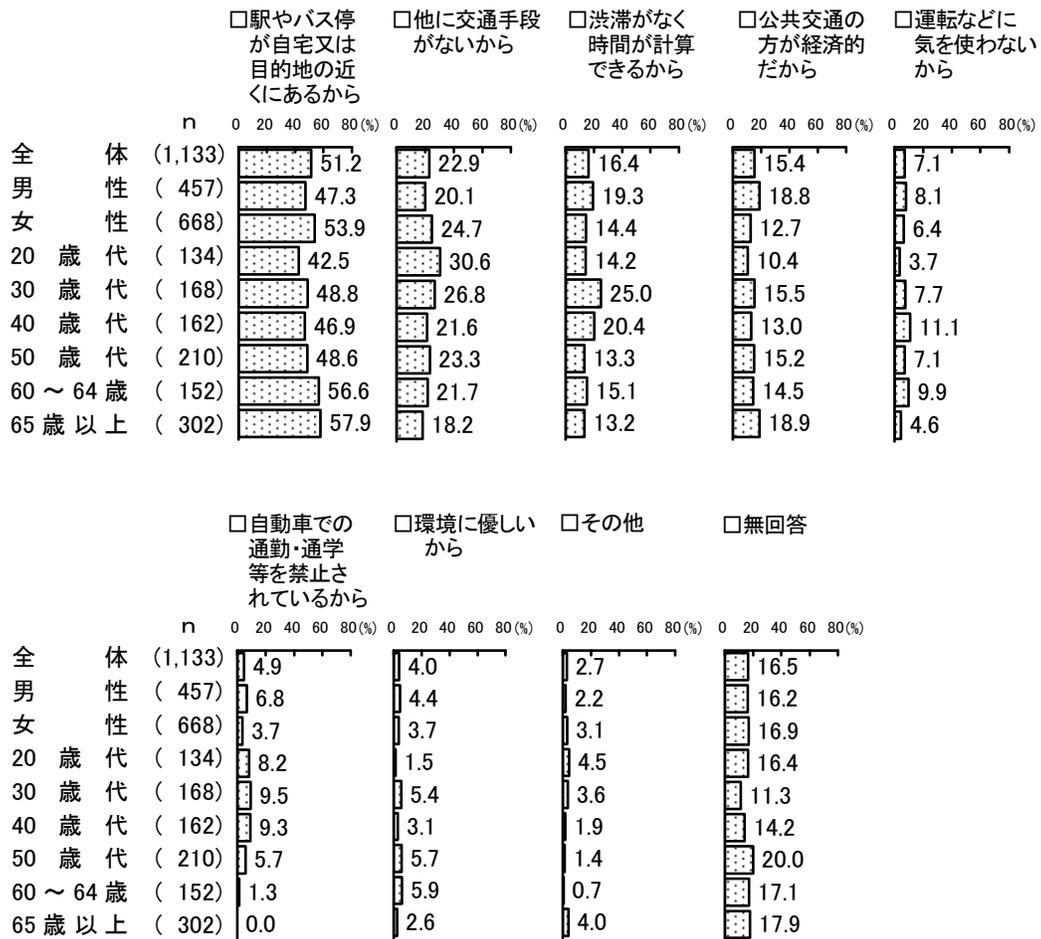
(○は2つまで)

図5-3-1



日頃利用する交通手段で「電車」あるいは「バス」と答えた人(1,133人)に、電車、バスなどの公共交通機関を利用する理由について聞いたところ、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が5割強(51.2%)と最も高く、ついで「他に交通手段がないから」(22.9%)、「渋滞がなく時間が計算できるから」(16.4%)、「公共交通の方が経済的だから」(15.4%)と続いている。(図5-3-1)

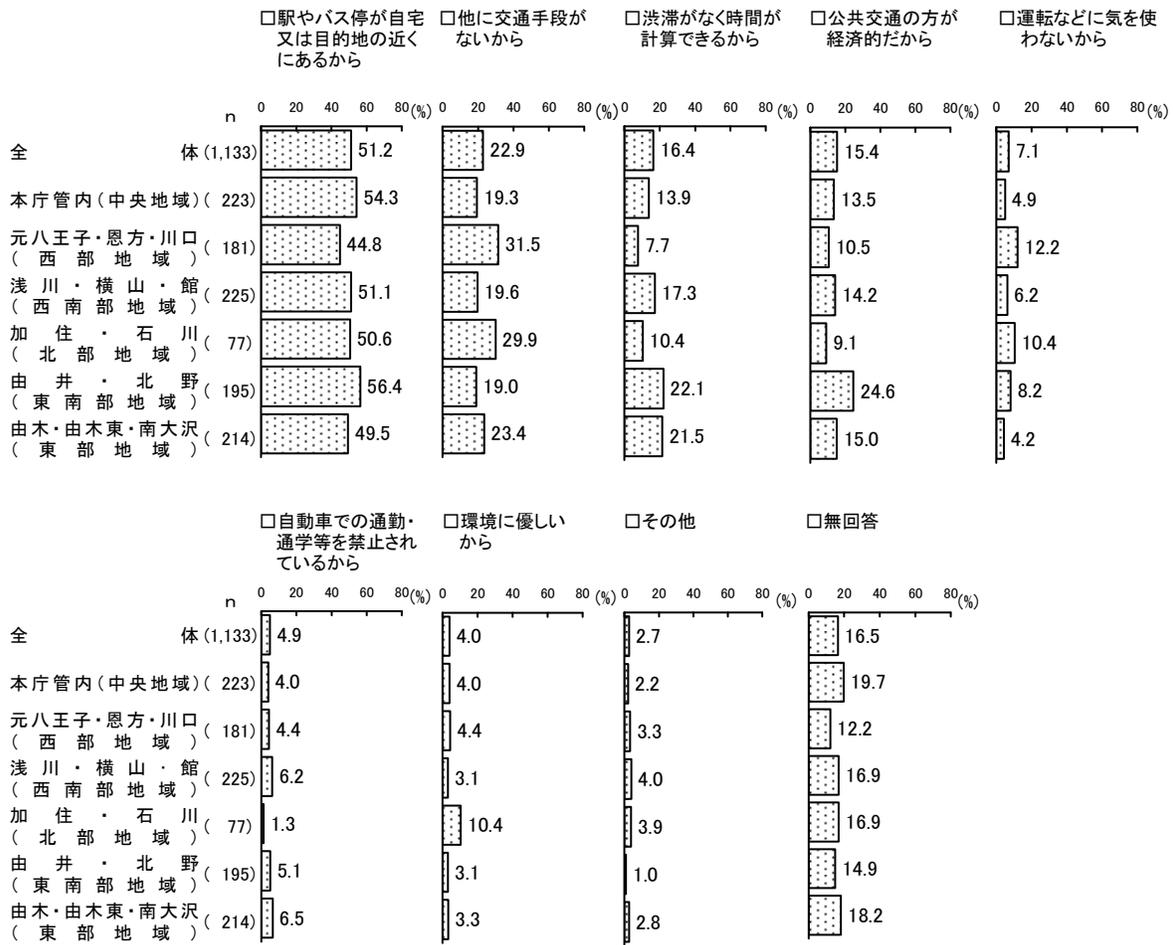
図5-3-2 電車、バスなどの公共機関を利用する理由—性別・年齢別



性別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は6.6ポイント、「他に交通手段がないから」は4.6ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。「公共交通の方が経済的だから」は6.1ポイント、「渋滞がなく時間が計算できるから」は4.9ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は60歳以上では6割弱を占め、「他に交通手段がないから」は20歳代でほぼ3割(30.6%)と高くなっている。(図5-3-2)

図5-3-3 電車、バスなどの公共機関を利用する理由—居住地域別



居住地域別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は由井・北野（東南部地域）で6割弱（56.4%）、「他に交通手段がないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割強（31.5%）と、他の地域と比べてやや高くなっている。（図5-3-3）

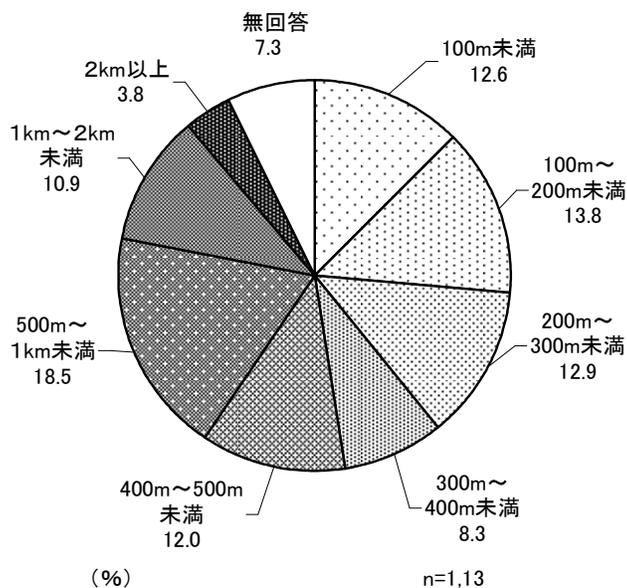
5-4 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離

◇「500m～1km未満」が2割弱

(問15で「電車」または「バス」とお答えの方に)

問15-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離はどれくらいですか。(○は1つだけ)

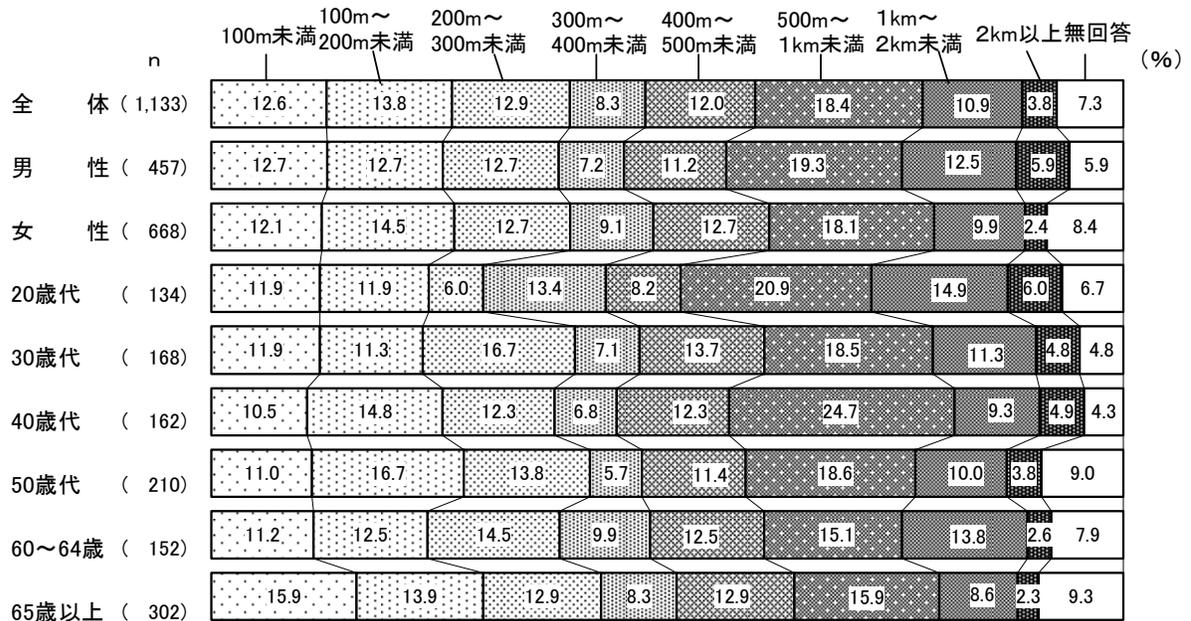
図5-4-1



日頃利用する交通手段で「電車」あるいは「バス」と答えた人(1,133人)に、自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離について聞いたところ、「500m～1km未満」が2割弱(18.4%)と最も高く、ついで「100m～200m未満」(13.8%)、「200m～300m未満」(12.9%)、「100m未満」(12.6%)と続いている。

(図5-4-1)

図5-4-2 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離－性別・年齢別

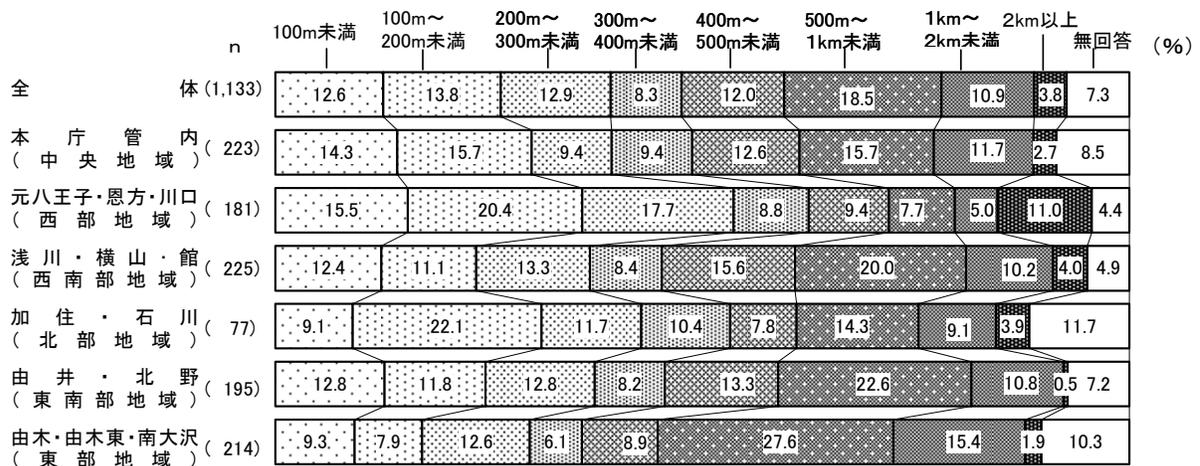


性別にみると、「1km～2km未満」と「2km以上」を合わせた『1km以上』の割合は、男性のほうが6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『1km以上』の割合は20歳代でほぼ2割（20.9%）とやや高くなっている。

(図5-4-2)

図5-4-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）は「100m未満」「100m～200m未満」「200m～300m未満」を合わせた『300m未満』が5割強（53.6%）と高いものの、「2km以上」についても1割強（11.0%）と高くなっている。（図5-4-3）

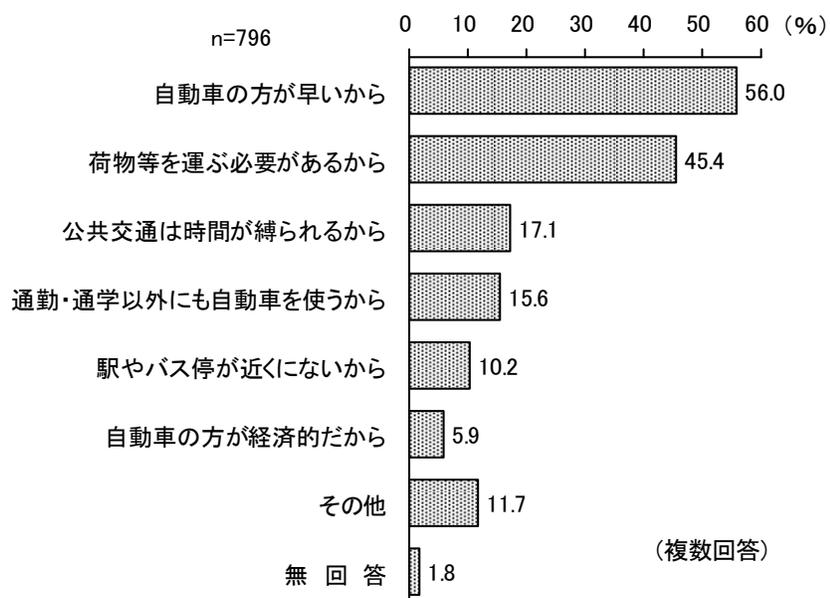
5-5 交通手段として自動車を利用する理由

◇「自動車の方が早いから」が6割弱、ついで「荷物等を運ぶ必要があるから」が4割台半ば

(問15で「自動車(ご自分で運転)」とお答えの方に)

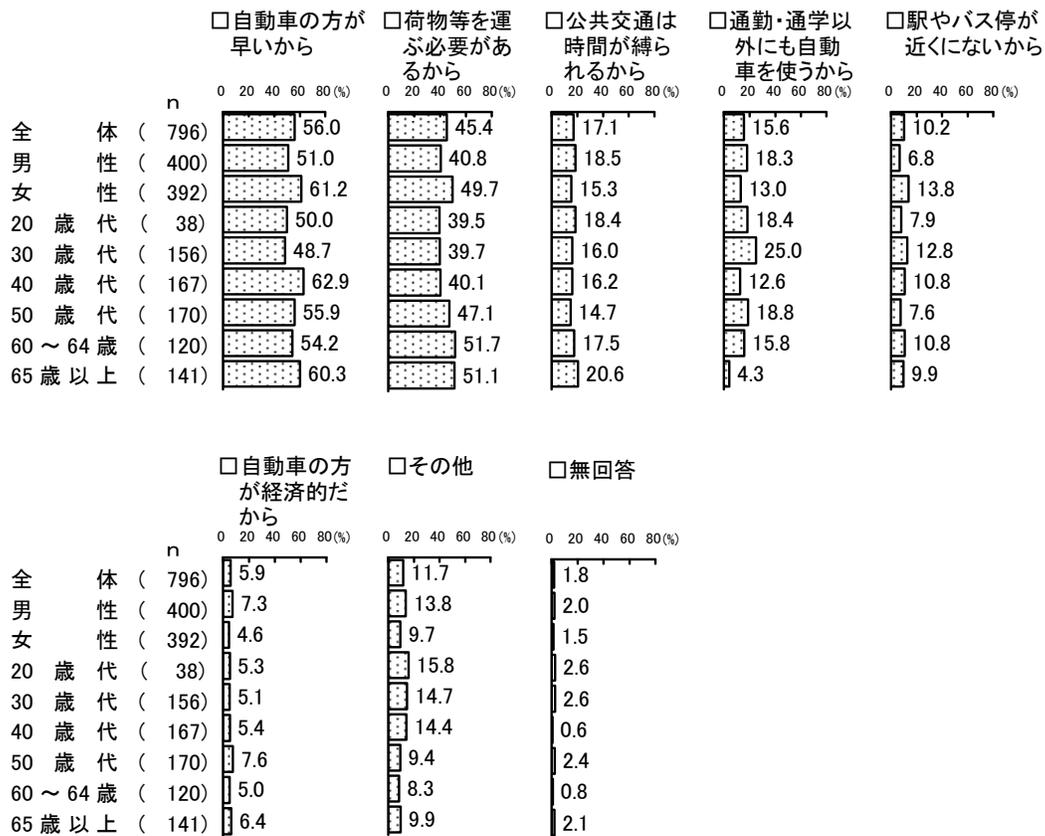
問15-4 あなたが交通手段として自動車を利用する理由は何ですか。(〇は2つまで)

図5-5-1



日頃利用する交通手段で「自動車(ご自分で運転)」と答えた人(796人)に、交通手段として自動車を利用する理由について聞いたところ、「自動車の方が早いから」が6割弱(56.0%)と最も高く、ついで「荷物等を運ぶ必要があるから」(45.4%)、「公共交通は時間が縛られるから」(17.1%)、「通勤・通学以外にも自動車を使うから」(15.6%)と続いている。(図5-5-1)

図5-5-2 交通手段として自動車を利用する理由—性別・年齢別

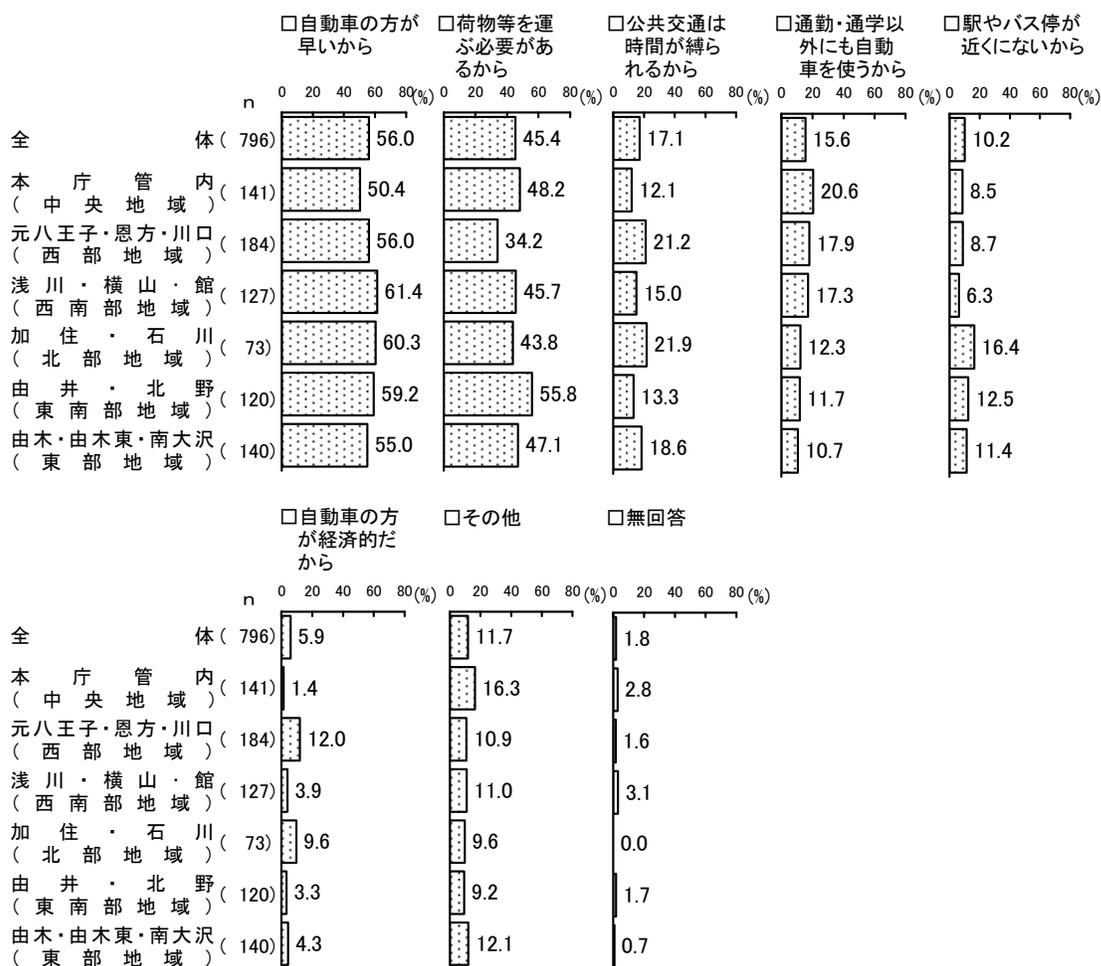


性別にみると、「自動車の方が早いから」は 10.2 ポイント、「荷物等を運ぶ必要があるから」は 8.9 ポイント、それぞれ女性の方が高い。逆に「通勤・通学以外にも自動車を使うから」は 5.3 ポイント、「公共交通機関は時間が縛られるから」は 3.2 ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「自動車の方が早いから」は 40 歳代以上では 5 割を超え、40 歳代は 6 割強 (62.9%) と最も高くなっている。「荷物等を運ぶ必要があるから」は 60 歳以上で 5 割強と高くなっている。

(図5-5-2)

図5-5-3 交通手段として自動車を利用する理由—居住地域別



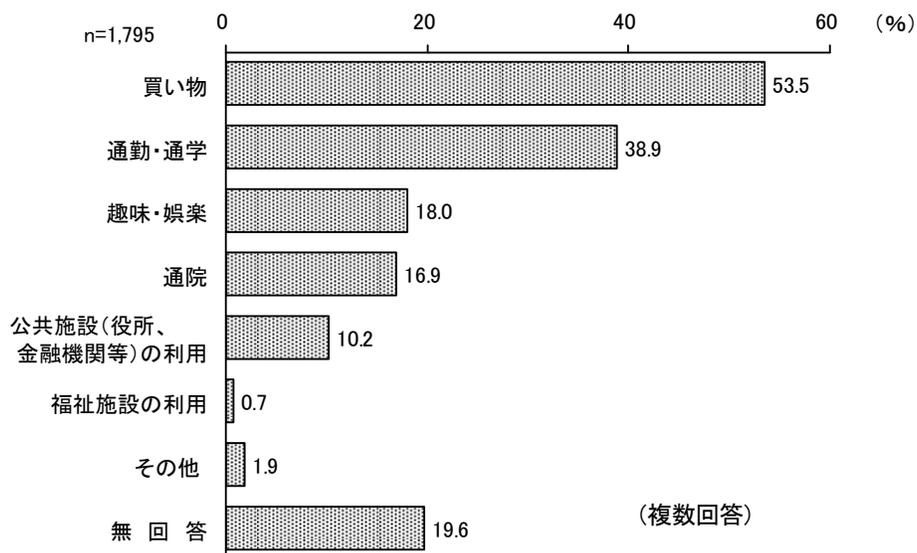
居住地域別にみると、「自動車のほうが早いから」は浅川・横山・館（西南部地域）と加住・石川（北部地域）で6割を超えて高くなっている。「荷物等を運ぶ必要があるから」は由井・北野（東南部地域）で5割台半ば（55.8%）と高くなっている。（図5-5-3）

5-6 交通手段を利用する目的

◇「買い物」が5割強、ついで「通勤・通学」が4割弱

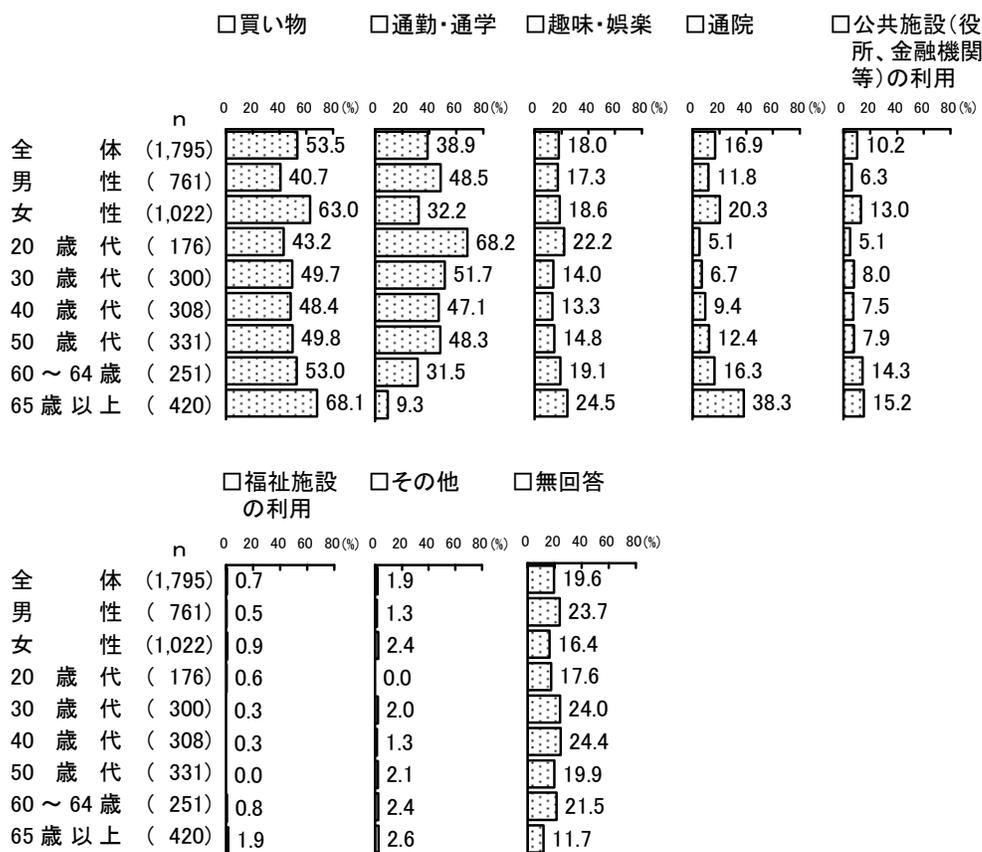
問16 あなたは日常、主にどのような目的で交通手段を利用していますか。(○は2つまで)

図5-6-1



日頃、主にどのような目的で交通手段を利用しているかについて聞いたところ、「買い物」が5割強(53.5%)と最も高く、ついで「通勤・通学」(38.9%)、「趣味・娯楽」(18.0%)、「通院」(16.9%)、「公共施設(役所、金融機関等)の利用」(10.2%)と続いている。(図5-6-1)

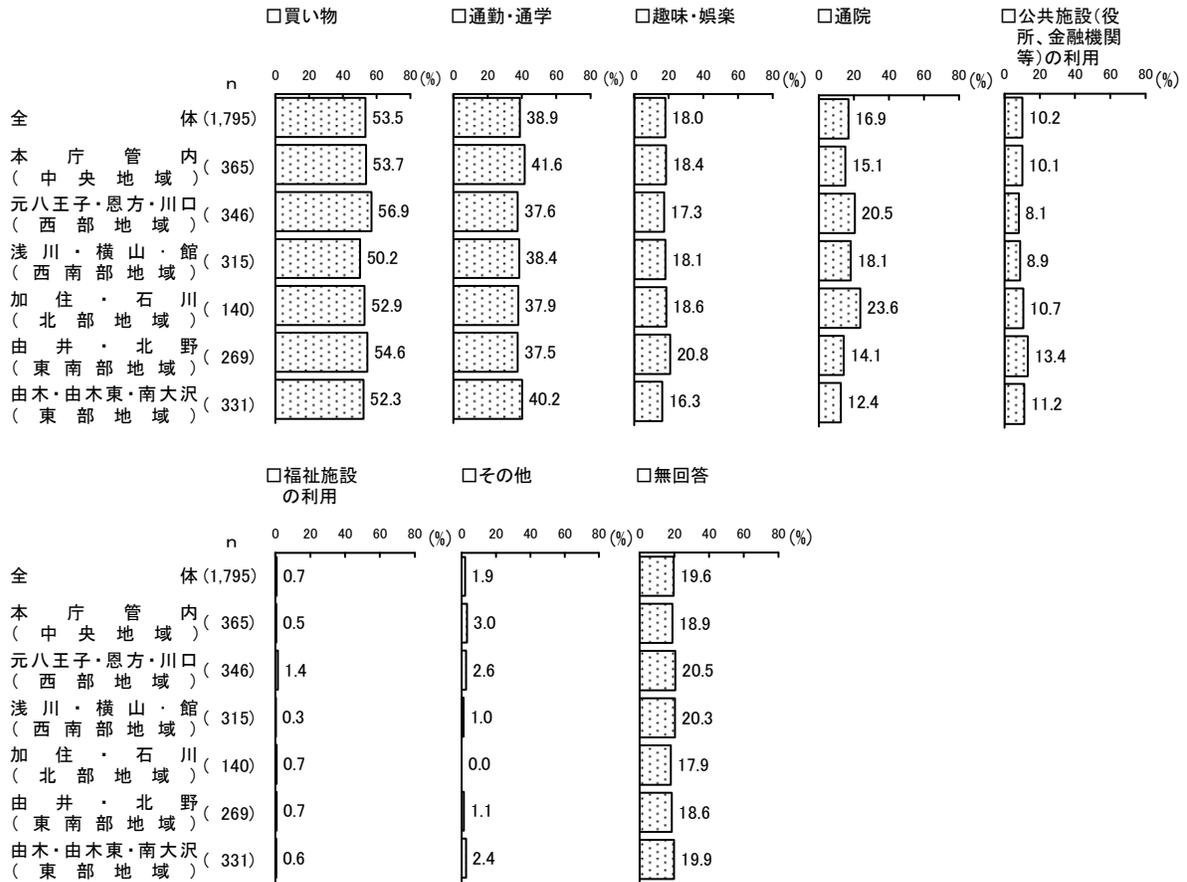
図5-6-2 交通手段を利用する目的—性別・年齢別



性別にみると、「買い物」は22.3ポイント、「通院」は8.5ポイント、「公共施設（役所、金融機関等）の利用」は6.7ポイント、それぞれ女性ほうが高くなっている。「通勤・通学」は男性のほうが16.3ポイント高くなっている。

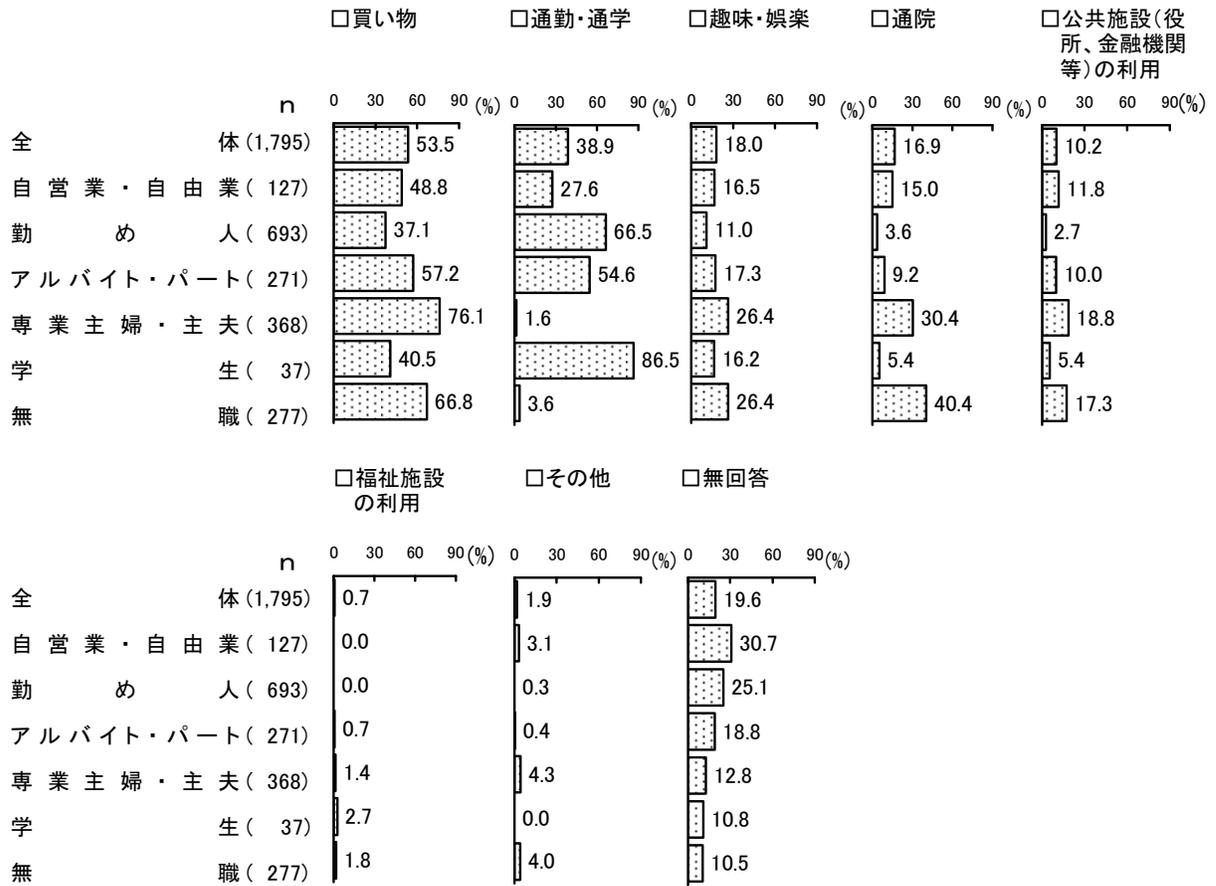
年齢別にみると、「買い物」は65歳以上では7割弱（68.1%）と高くなっている。「通勤・通学」は20歳代で7割弱（68.2%）と高く、「通院」は65歳以上で4割弱（38.3%）と高くなっている。（図5-6-2）

図5-6-3 交通手段を利用する目的—居住地域別



居住地域別にみると、「買い物」はどの地域も5割を超えている。「通院」は加住・石川（北部地域）で2割強（23.6%）とやや高くなっている。（図5-6-3）

図5-6-4 交通手段を利用する目的一職業別



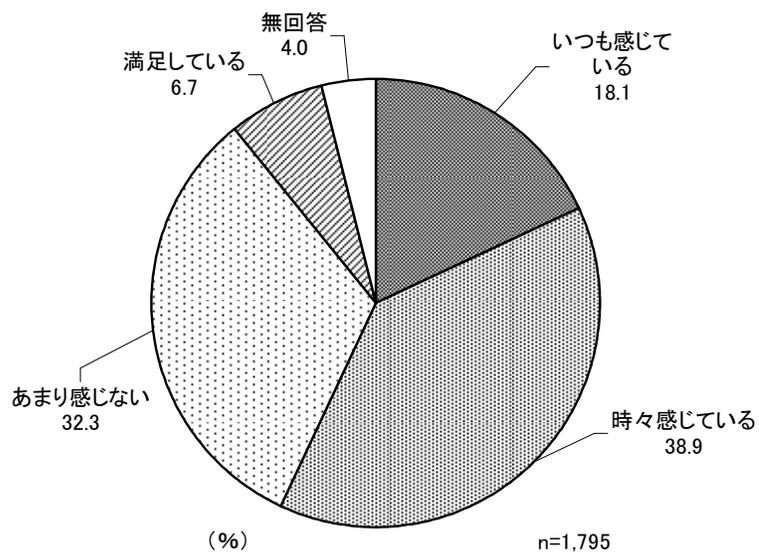
職業別にみると、「通勤・通学」は学生が9割弱（86.5%）と圧倒的に高く、勤め人（66.5%）、アルバイト・パート（54.6%）も5割を超えて高くなっている。「買い物」は専業主婦・主夫が8割弱（76.1%）と高くなっている。（図5-6-4）

5-7 交通手段を利用するうえでの満足度

◇『不満』が6割弱

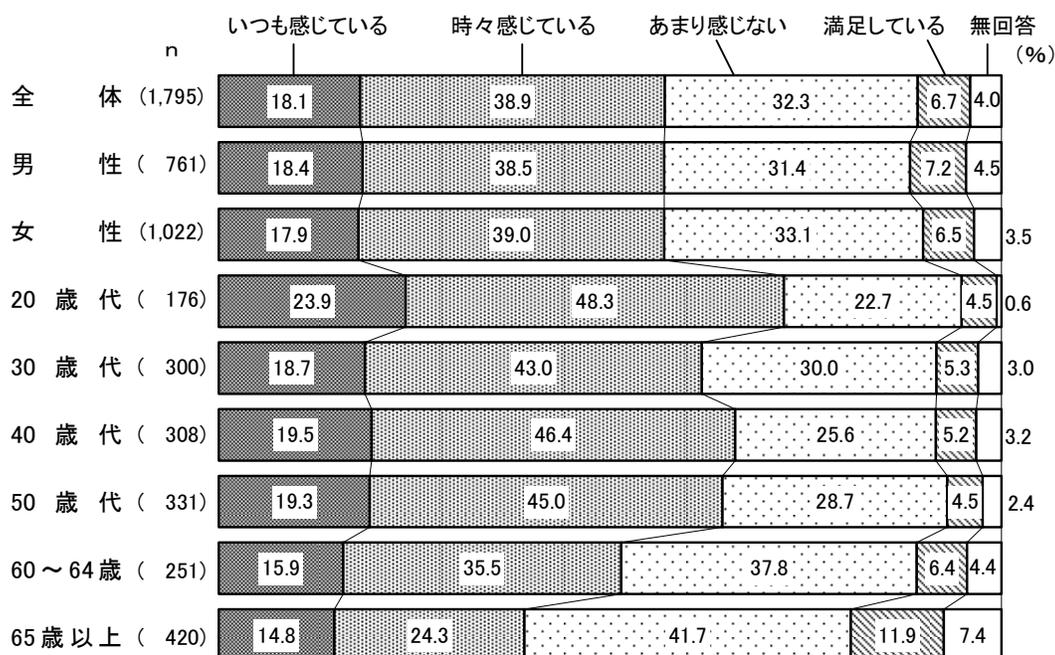
問17 あなたは、交通手段を利用する場合、不満を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

図5-7-1



交通手段を利用するうえでの満足度について聞いたところ、「いつも感じている」(18.1%)と「時々感じている」(38.9%)を合わせた『不満』は6割弱(57.0%)となっている。一方、「あまり感じない」(32.3%)と「満足している」(6.7%)を合わせた『満足』はほぼ4割(39.0%)となっている。(図5-7-1)

図5-7-2 交通手段を利用するうえでの満足度—性別・年齢別

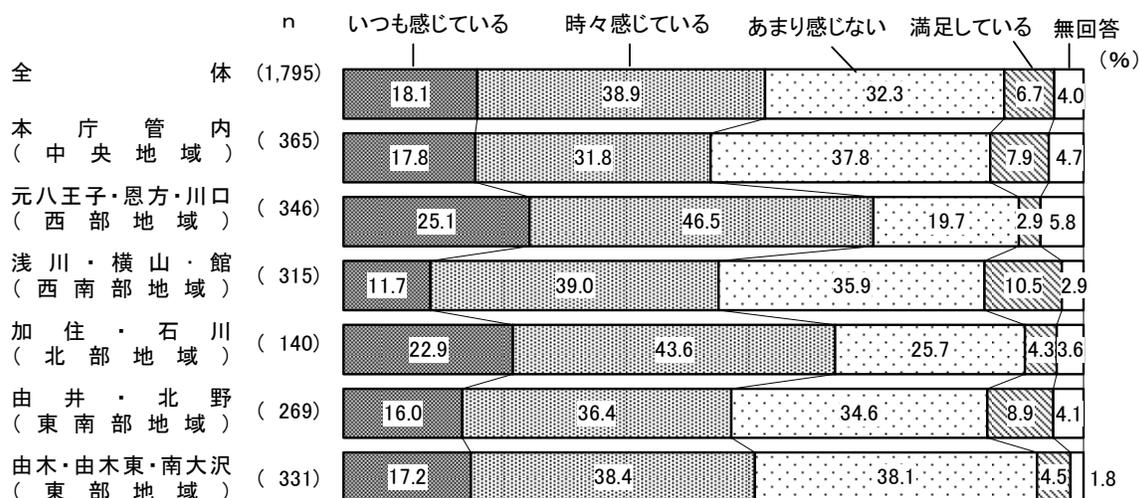


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『不満』は50歳代以下では6割を超えており、20歳代で7割強（71.6%）と最も高くなっている。一方、65歳以上は『満足』（53.6%）のほうが『不満』（39.1%）よりも高くなっている。

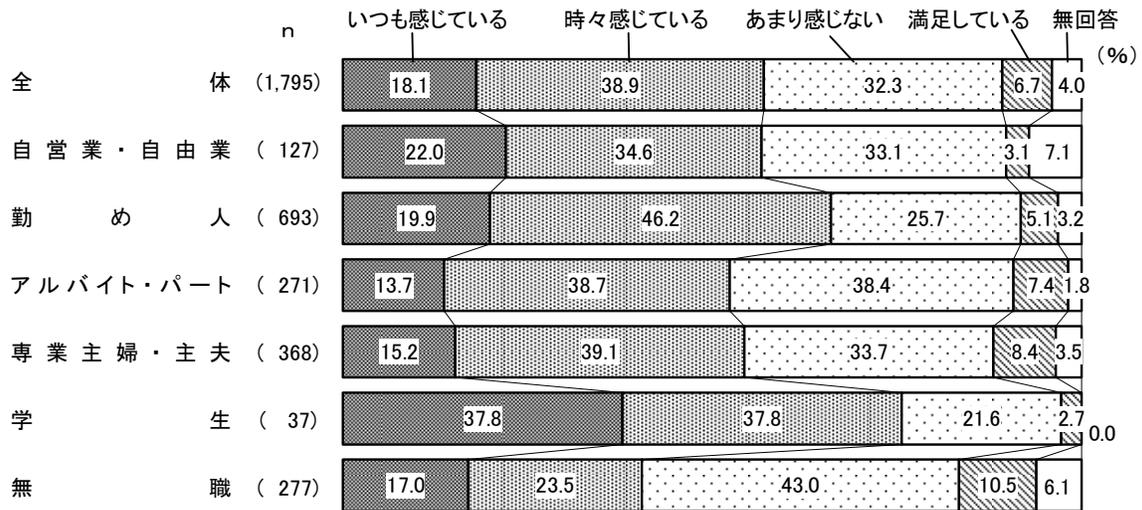
(図5-7-2)

図5-7-3 交通手段を利用するうえでの満足度—居住地域別



居住地域別にみると、『不満』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で7割強（71.6%）、加住・石川（北部地域）で7割弱（66.5%）と高くなっている。（図5-7-3）

図5-7-4 交通手段を利用するうえでの満足度-職業別



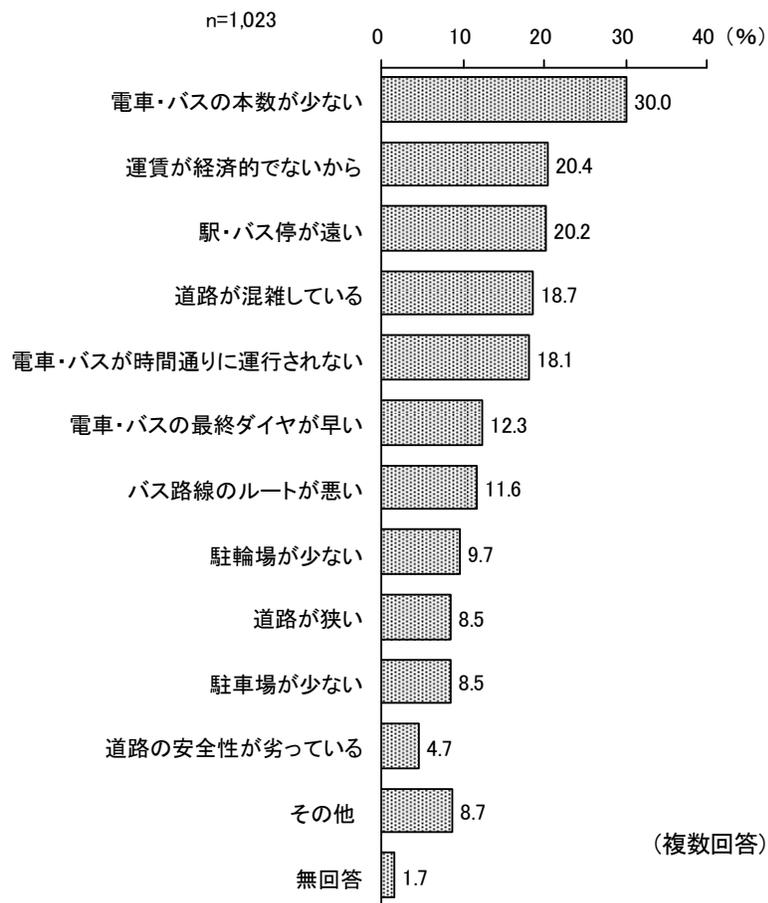
職業別にみると、『不満』は学生で7割台半ば（75.6%）、勤め人で7割弱（66.1%）と高くなっている。一方、『満足』は無職で5割強（53.5%）を占めている。（図5-7-4）

5-8 交通手段利用時に不満を感じる理由

◇「電車・バスの本数が少ない」が3割

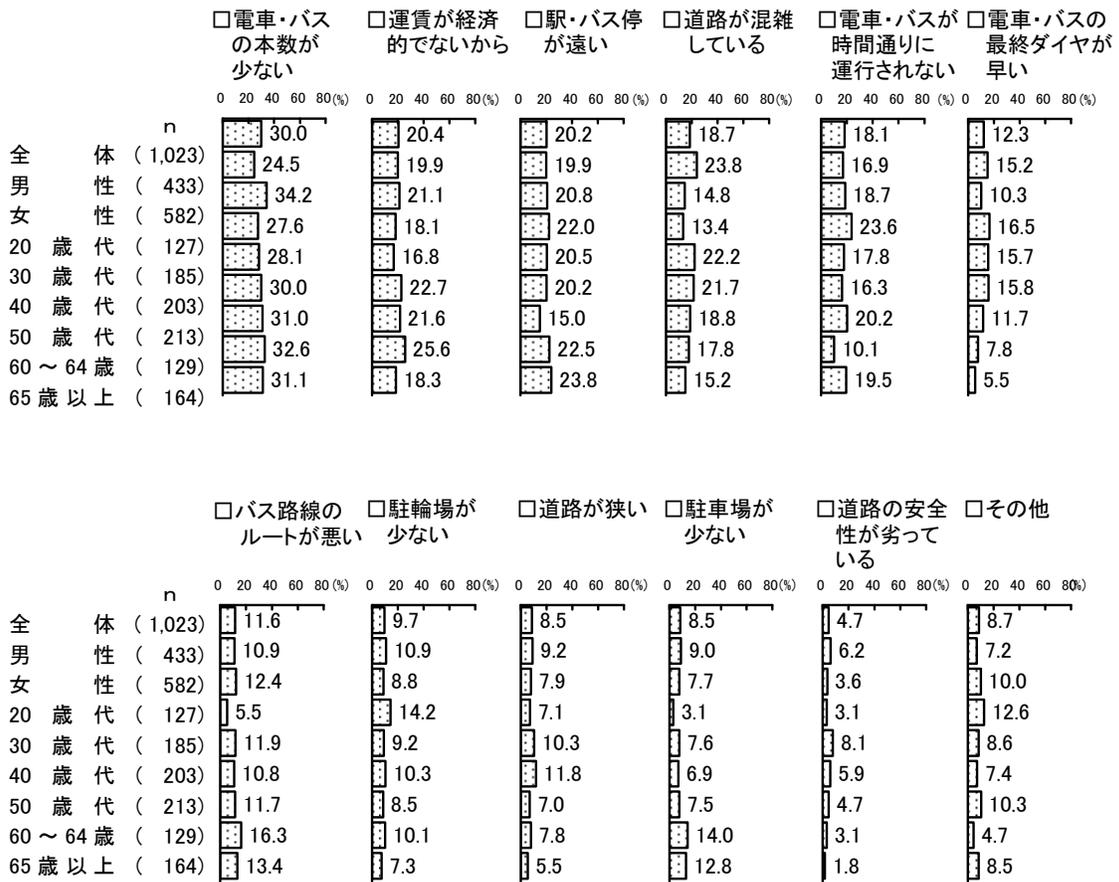
(問17で「いつも感じている」あるいは「時々感じている」とお答えの方に)
問17-1 交通手段利用時に不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで)

図5-8-1



交通手段を利用するうえでの満足度で「いつも感じている」あるいは「時々感じている」と答えた人(1,023人)に、交通手段利用時に不満を感じる理由について聞いたところ、「電車・バスの本数が少ない」が3割(30.0%)と最も高く、ついで「運賃が経済的でないから」(20.4%)、「駅・バス停が遠い」(20.2%)、「道路が混雑している」(18.7%)、「電車・バスが時間通りに運行されない」(18.1%)と続いている。(図5-8-1)

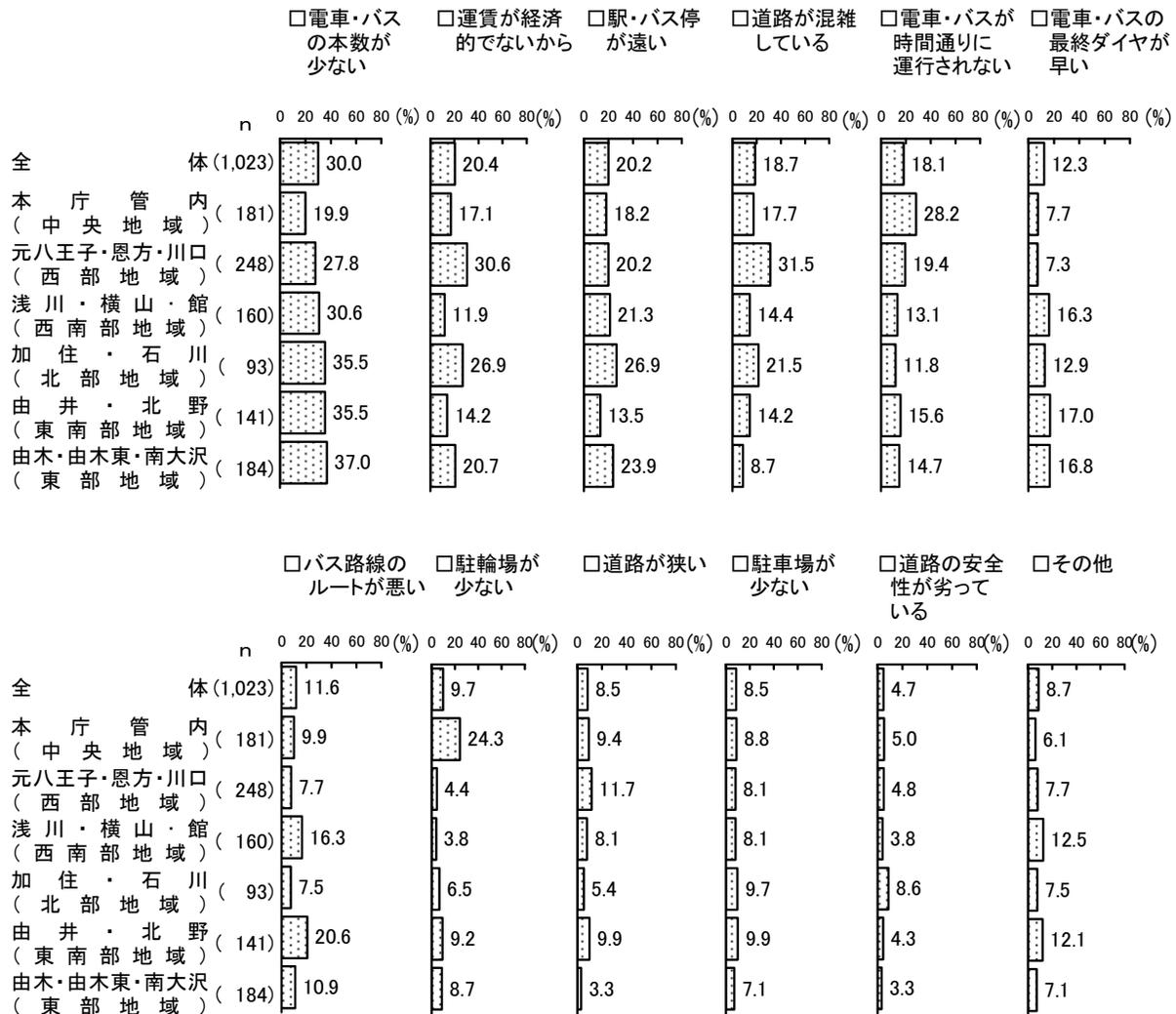
図5-8-2 交通手段利用時に不満を感じる理由—性別・年齢別



性別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は女性のほうが9.7ポイント、「道路が混雑している」は男性のほうが9.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「電車・バスの本数が少ない」が第1位であるが、20歳代は「電車・バスが時間通りに運行されない」、30歳代は「道路が混雑している」、40~64歳は「運賃が経済的でないから」、65歳以上は「駅・バス停が遠い」が第2位となっている。(図5-8-2)

図5-8-3 交通手段利用時に不満を感じる理由—居住地域別



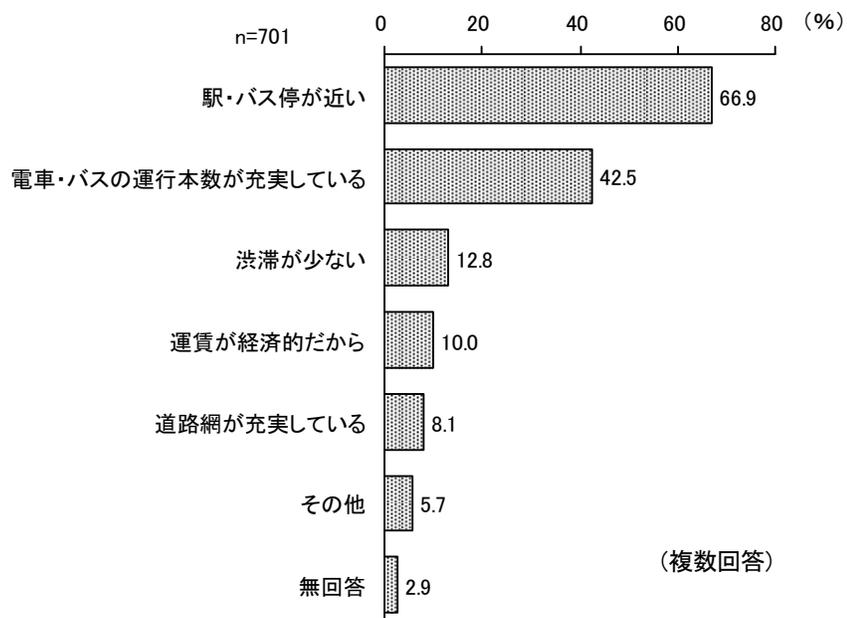
居住地域別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（37.0%）、「運賃が経済的ではないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）でほぼ3割（30.6%）、「駅・バス停が遠い」は加住・石川（北部地域）で3割弱（26.9%）とやや高くなっている。また、「道路が混雑している」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割強（31.5%）、「電車・バスが時間通りに運行されない」は本庁管内（中央地域）で3割弱（28.2%）と高くなっている。（図5-8-3）

5-9 交通手段利用時に不満を感じない理由

◇「駅・バス停が近い」が7割弱

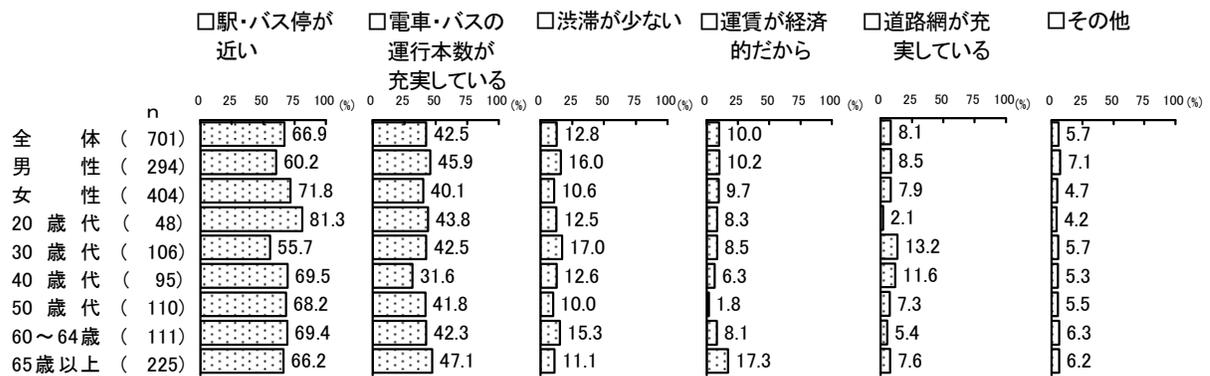
(問17で「あまり感じない」あるいは「満足している」とお答えの方に)
問17-2 交通手段利用時に不満を感じない理由は何ですか。(○は2つまで)

図5-9-1



交通手段を利用するうえでの満足度で「あまり感じない」あるいは「満足している」と答えた人(701人)に、交通手段利用時に不満を感じない理由について聞いたところ、「駅・バス停が近い」が7割弱(66.9%)と最も高く、ついで「電車・バスの運行本数が充実している」(42.5%)、「渋滞が少ない」(12.8%)と続いている。(図5-9-1)

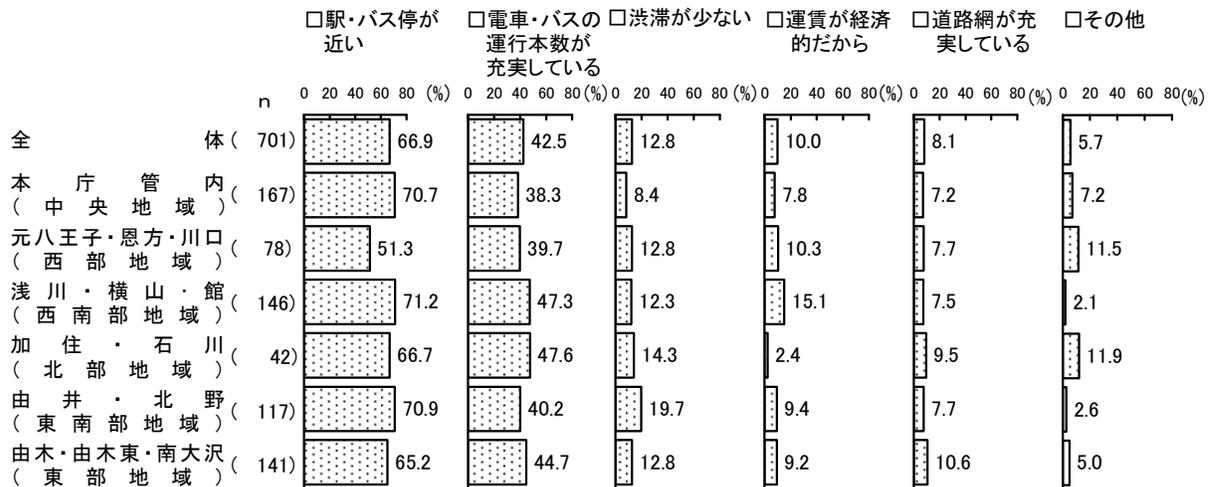
図5-9-2 交通手段利用時に不満を感じない理由—性別・年齢別



性別にみると、「駅・バス停が近い」は女性のほうが 11.6 ポイント高く、「電車・バスの運行本数が充実している」は 5.8 ポイント、「渋滞が少ない」は 5.4 ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「駅・バス停が近い」は 20 歳代で 8 割強 (81.3%) と高くなっている。「運賃が経済的だから」は 65 歳以上で 2 割強 (17.3%) と高くなっている。(図 5-9-2)

図5-9-3 交通手段利用時に不満を感じない理由—居住地域別



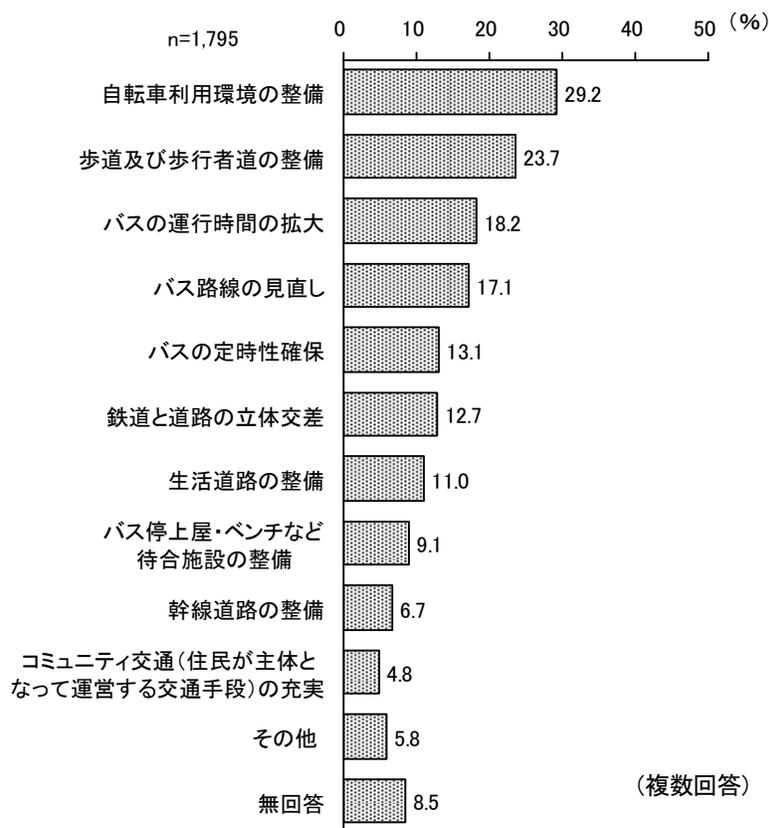
居住地域別にみると、「駅・バス停が近い」は本庁管内 (中央地域)、浅川・横山・館 (西南部地域)、由井・北野 (東南部地域) で 7 割を超えているが、元八王子・恩方・川口 (西部地域) は 5 割強 (51.3%) と低くなっている。(図 5-9-3)

5-10 今後の交通環境の整備で期待すること

◇「自転車利用環境の整備」がほぼ3割

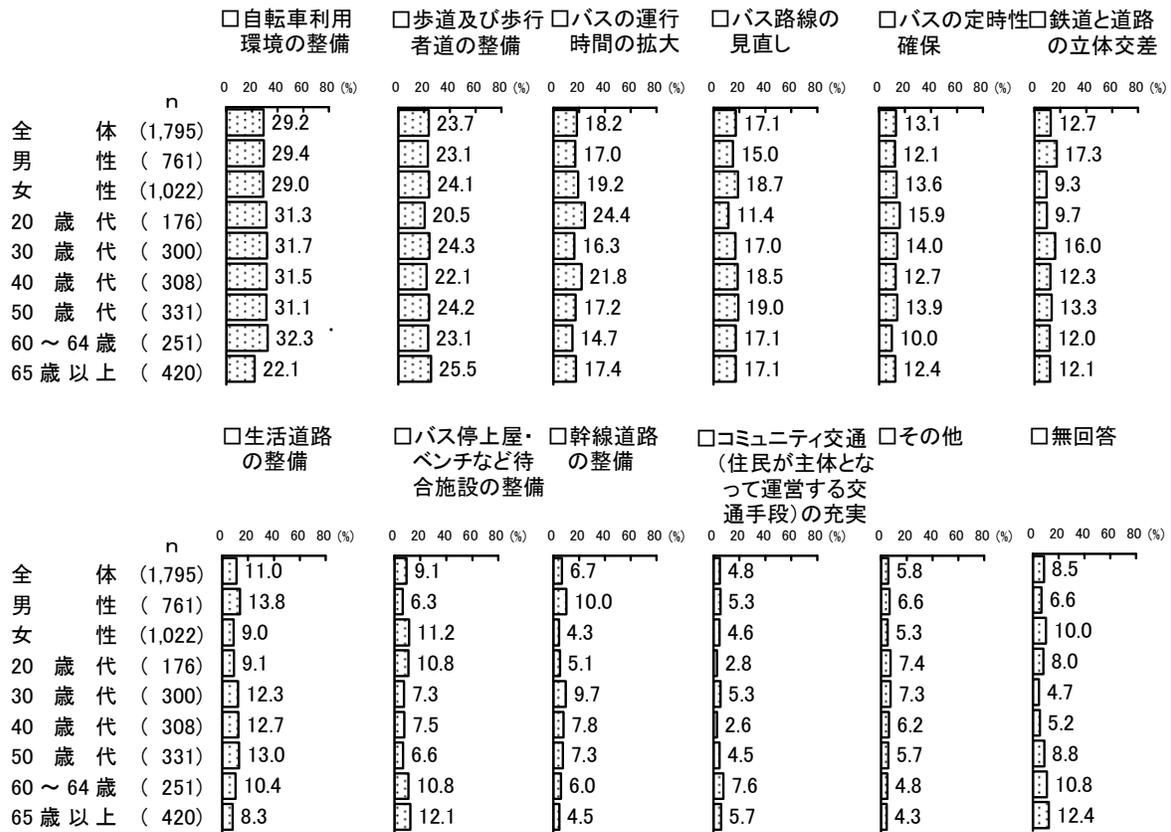
問18 あなたが、今後の交通環境の整備に期待することは何ですか。(〇は2つまで)

図5-10-1



今後の交通環境の整備で期待することについて聞いたところ、「自転車利用環境の整備」がほぼ3割(29.2%)と最も高く、ついで「歩道及び歩行者道の整備」(23.7%)、「バスの運行時間の拡大」(18.2%)、「バス路線の見直し」(17.1%)と続いている。(図5-10-1)

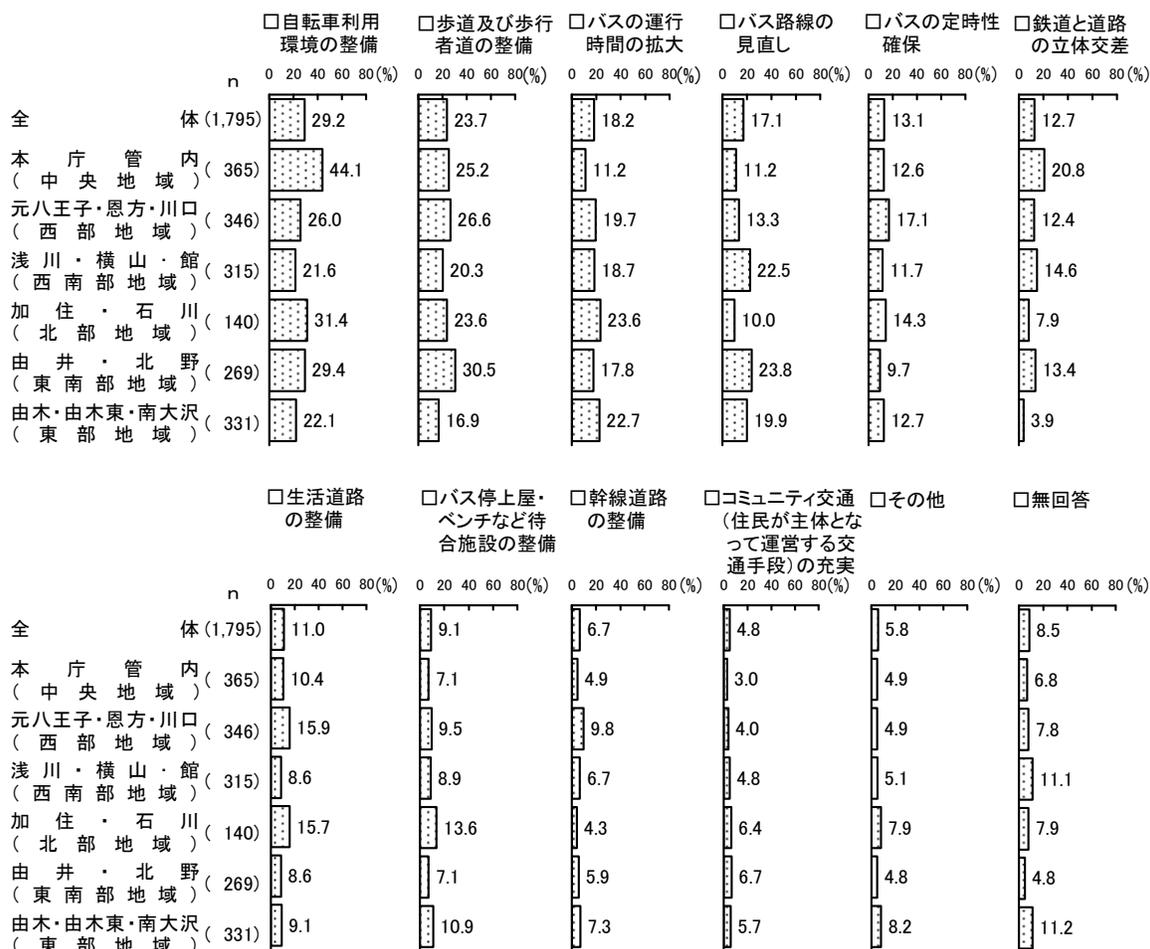
図5-10-2 今後の交通環境の整備で期待すること－性別・年齢別



性別にみると、「鉄道と道路の立体交差」では8.0ポイント、「幹線道路の整備」では5.7ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。「バス停上屋・ベンチなど待合施設の整備」は女性のほうが4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自転車利用環境の整備」は65歳以上を除いて3割を超えており、「歩道及び歩行者道の整備」はいずれの年齢も2割を超えている。「バスの運行時間の拡大」は20歳代で2割台半ば(24.4%)とやや高くなっている。(図5-10-2)

図5-10-3 今後の交通環境の整備で期待すること—居住地域別



居住地域別にみると、「自転車利用環境の整備」は本庁管内(中央地域)で4割台半ば(44.1%)、「歩道及び歩行者道の整備」は由井・北野(東南部地域)でほぼ3割(30.5%)、「バスの運行時間の拡大」は加住・石川(北部地域)(23.6%)と由木・由木東・南大沢(東部地域)(22.7%)で2割強、「バス路線の見直し」は由井・北野(東南部地域)(23.8%)と浅川・横山・館(西南部地域)(22.5%)で2割強と高くなっている。

(図5-10-3)

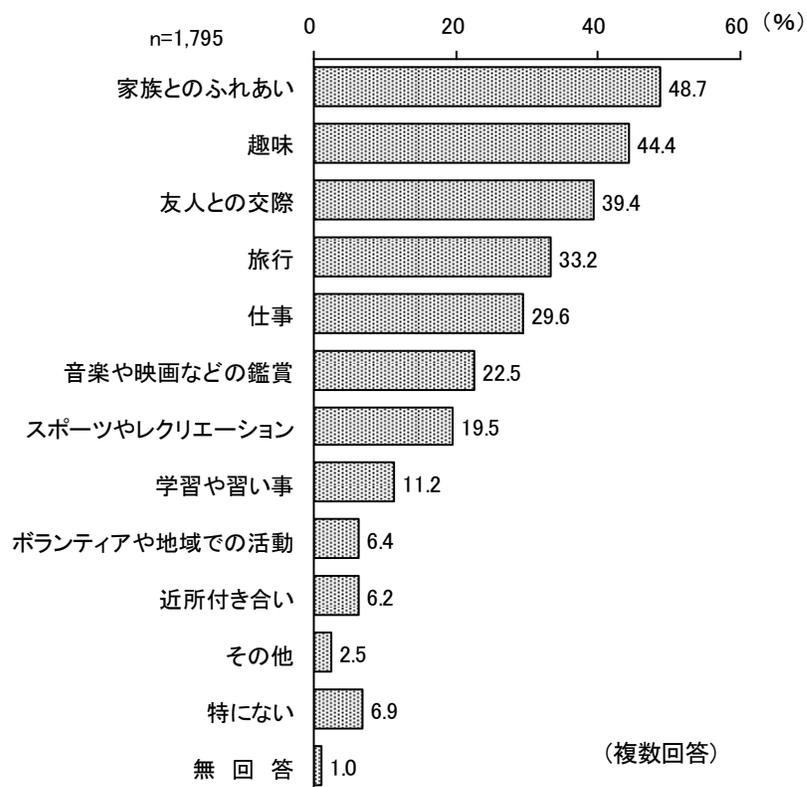
6. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割弱

問20 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

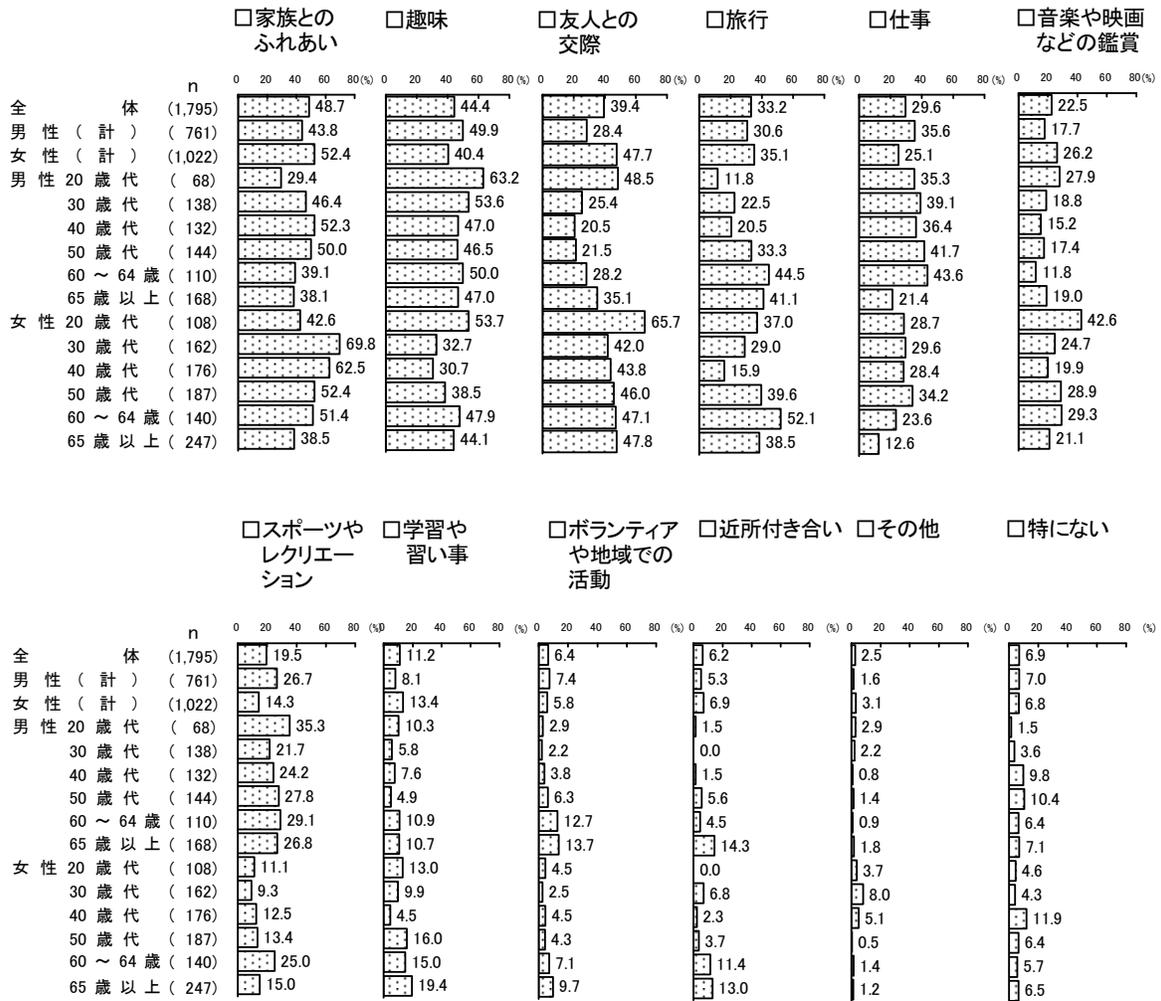
図6-1-1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割弱（48.7%）と最も高く、ついで「趣味」（44.4%）、「友人との交際」（39.4%）、「旅行」（33.2%）、「仕事」（29.6%）の順が続いている。

(図6-1-1)

図6-1-2 現在の生きがい一性・年齢別



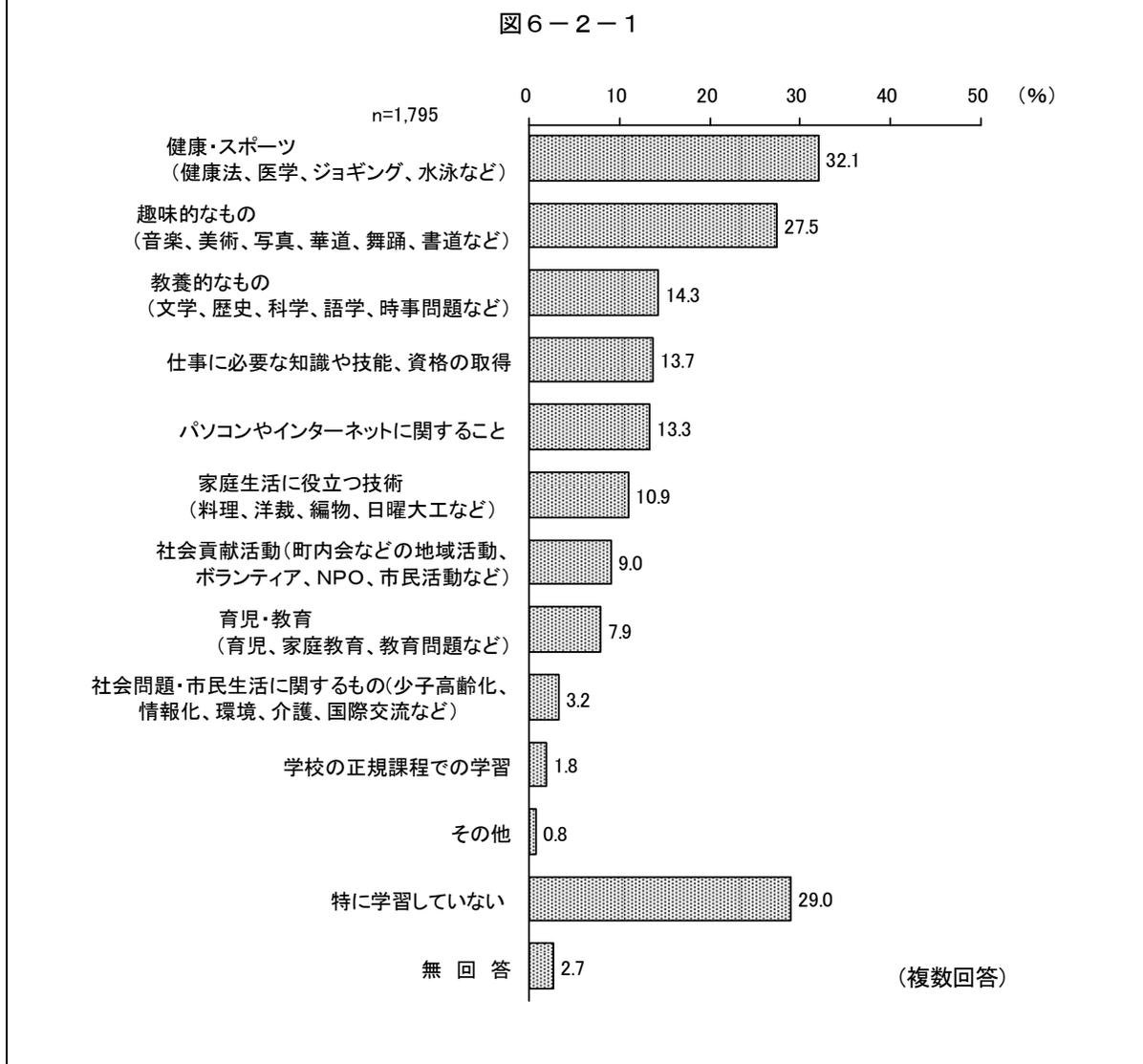
性別にみると、「友人との交際」は 19.3 ポイント、「家族とのふれあい」は 8.6 ポイント、それぞれ女性のほうが高く、「スポーツやレクリエーション」は 12.4 ポイント、「仕事」は 10.5 ポイント、「趣味」は 9.5 ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の 30 歳代でほぼ 7 割 (69.8%) と高く、「趣味」は男性の 20 歳代と 30 歳代、女性の 20 歳代で 5 割を超えている。「友人との交際」は女性の 20 歳代で 6 割台半ば (65.7%) と高く、「旅行」は女性の 60~64 歳で 5 割強 (52.1%) となっており、「仕事」は男性の 50 歳代と 60~64 歳で 4 割を超え高くなっている。「音楽や映画などの鑑賞」は女性の 20 歳代で 4 割強 (42.6%)、「スポーツやレクリエーション」は男性の 20 歳代で 3 割台半ば (35.3%) となっている。また、「学習や習い事」は女性の 65 歳以上でほぼ 2 割 (19.4%) と高くなっている。(図 6-1-2)

6-2 この1年間に取り組んだ学習活動

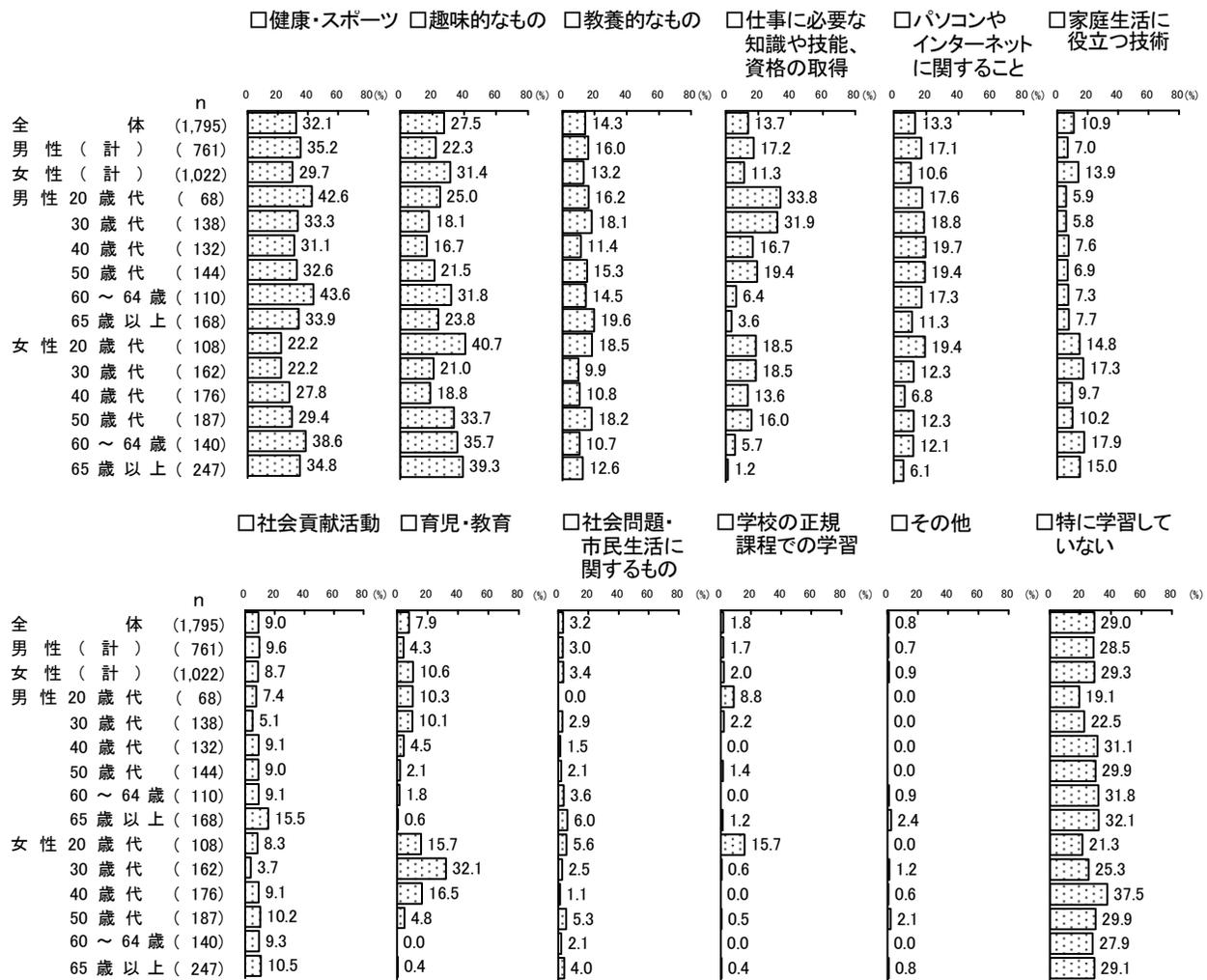
◇「健康・スポーツ」が3割強

問21 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。(○はいくつでも)



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）」が3割強（32.1%）と最も高く、ついで「趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）」（27.5%）、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、時事問題など）」（14.3%）、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」（13.7%）と続いている。「特に学習していない」は、ほぼ3割（29.0%）となっている。（図6-2-1）

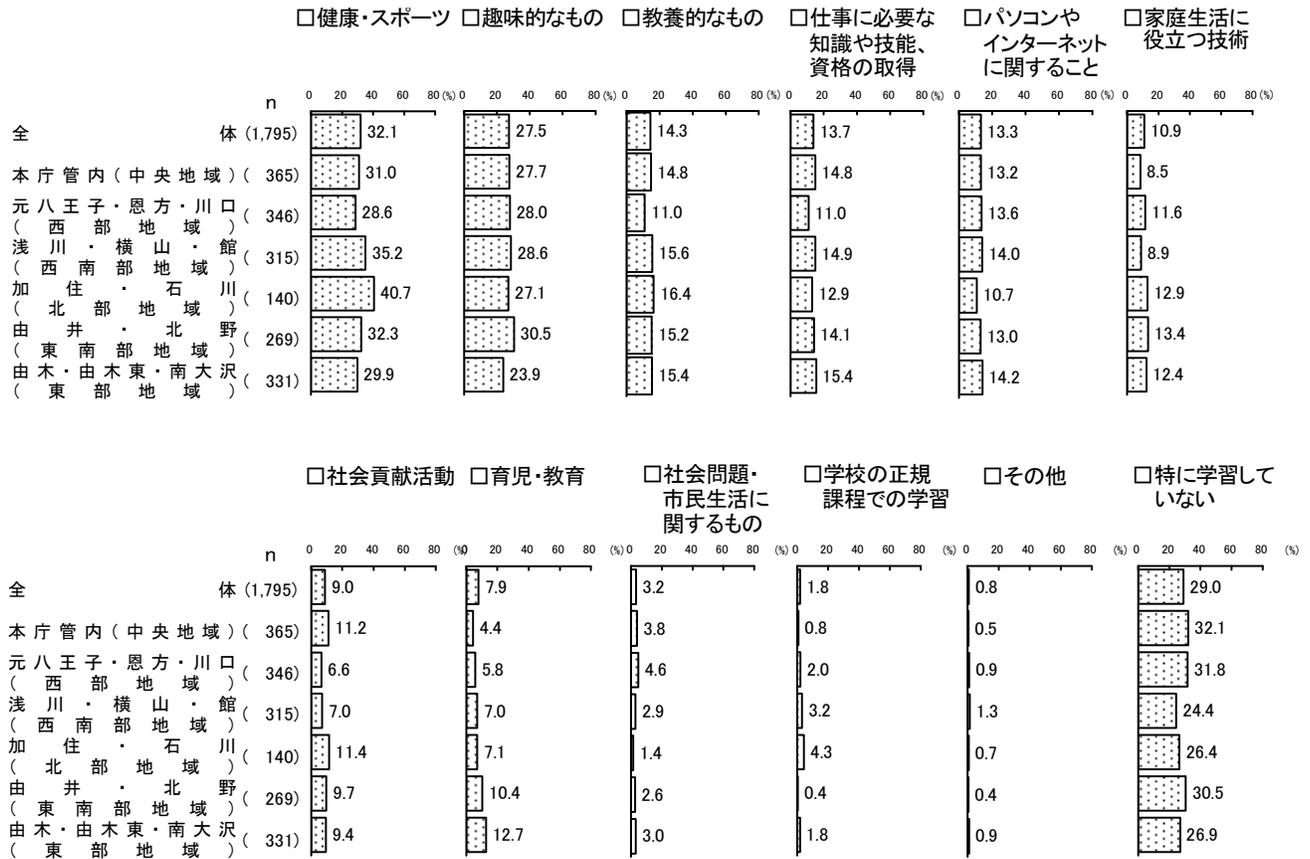
図6-2-2 この1年間に取り組んだ学習活動—性・年齢別



性別にみると、「パソコンやインターネットに関すること」では6.5ポイント、「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」では5.9ポイント、それぞれ男性のほうが高く、「趣味的なもの」では9.1ポイント、「家庭生活に役立つ技術」では6.9ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「健康・スポーツ」は男性の60～64歳（43.6%）と20歳代（42.6%）で4割強と高く、「趣味的なもの」は女性の20歳代（40.7%）と65歳以上（39.3%）でほぼ4割と高くなっている。「仕事に必要な知識や技能、資格の取得」は男性の20歳代と30歳代で3割を超えている。「育児・教育」は女性の30歳代で3割強（32.1%）と高くなっている。（図6-2-2）

図6-2-3 この1年間に取り組んだ学習活動—居住地地域別



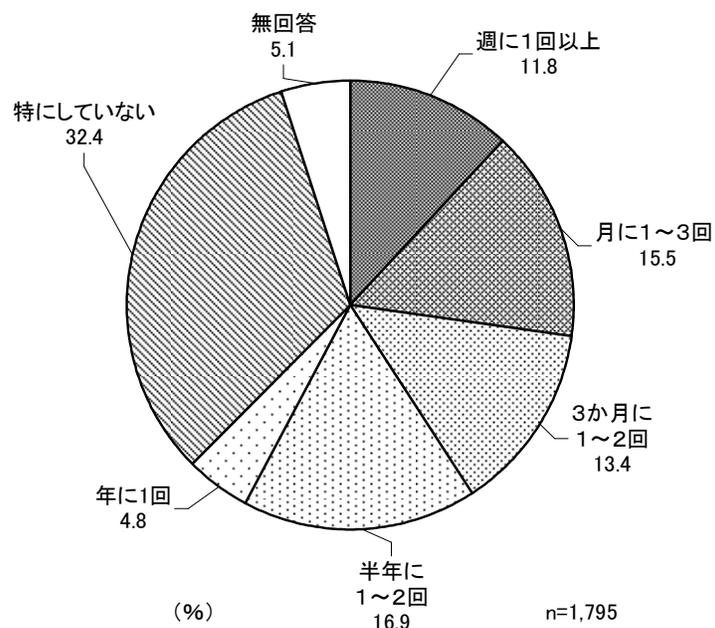
居住地地域別にみると、「健康・スポーツ」は加住・石川（北部地域）でほぼ4割（40.7%）とやや高くなっている。（図6-2-3）

6-3 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「特にしていない」が3割強

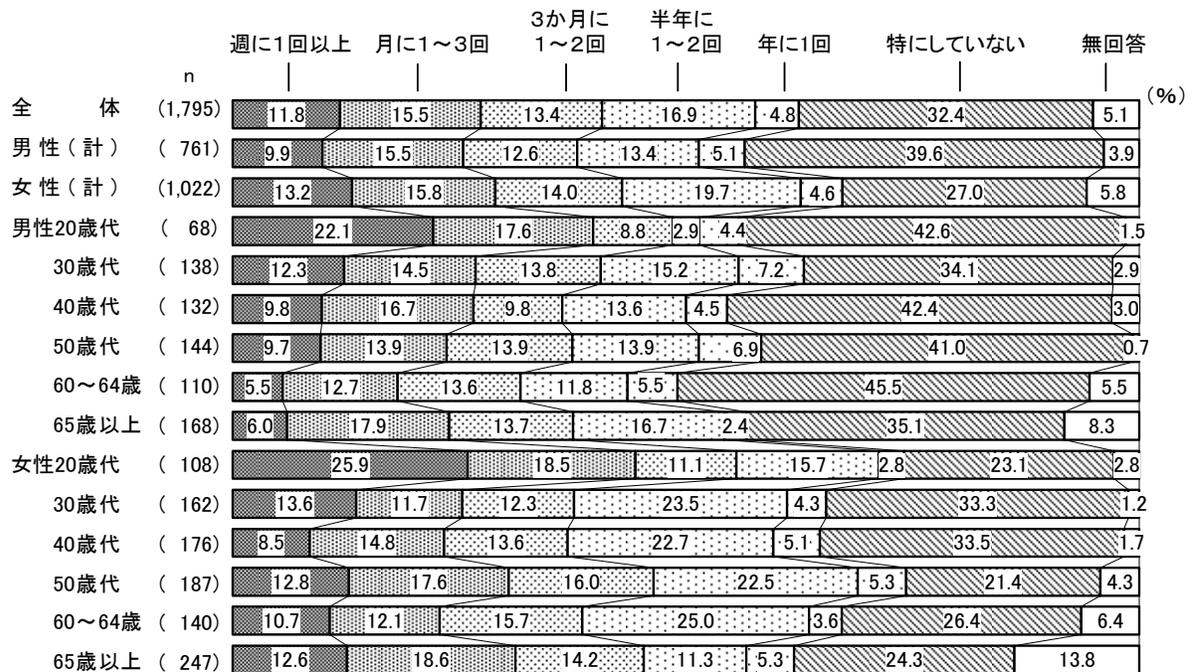
問22 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。
(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

図6-3-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割強(11.8%)、「月に1~3回」が1割台半ば(15.5%)、「3か月に1~2回」が1割強(13.4%)、「半年に1~2回」が2割弱(16.9%)となっている。「特にしていない」は3割強(32.4%)となっている。(図6-3-1)

図6-3-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度—性・年齢別



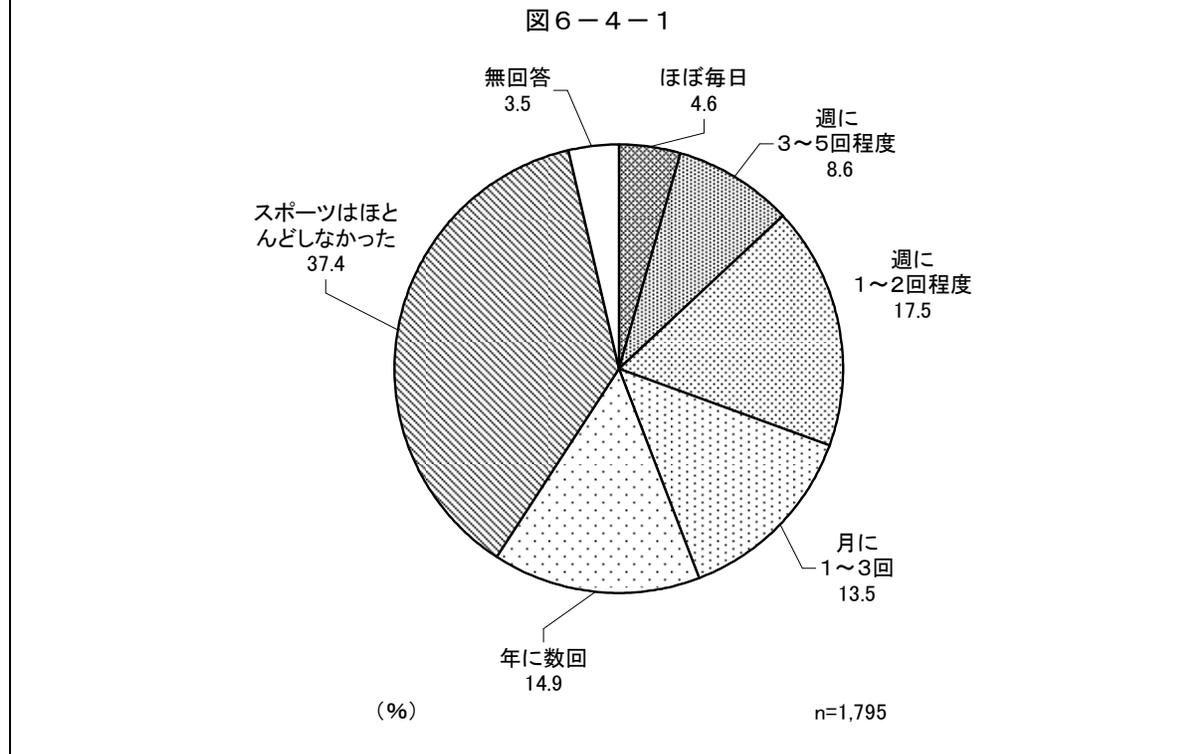
性別にみると、「週に1回以上」と「月に1~3回」の合計は女性のほうが3.6ポイント高くなっている。「特にしていない」は男性のほうが12.6ポイント高い。

性・年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1~3回」の合計は、男女ともに20歳代が最も高く（男性39.7%、女性44.4%）、60~64歳が最も低くなっている（男性18.2%、女性22.8%）。（図6-3-2）

6-4 この1年間に行ったスポーツの頻度

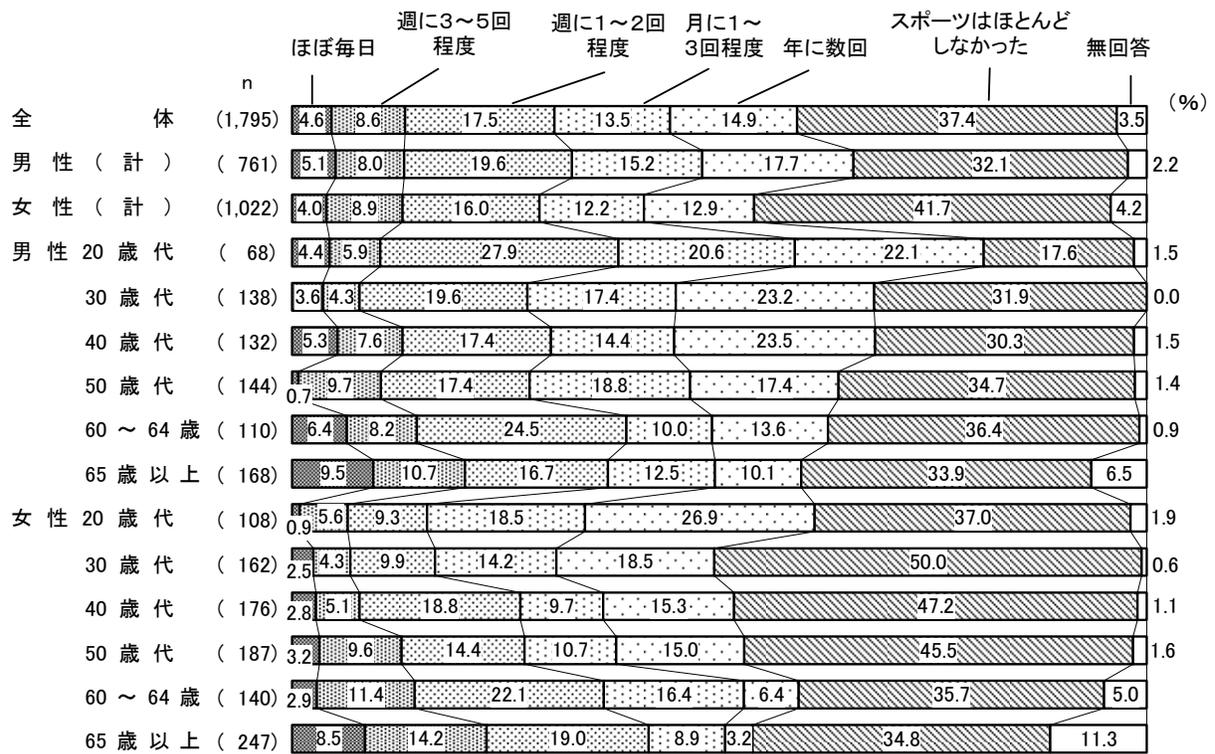
◇『週1回以上』がほぼ3割

問23 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数ほどのくらいですか。複数のスポーツを行っている場合は、その合計数をお答えください。(〇は1つだけ)



この1年間にスポーツを行った回数を聞いたところ、「週に1～2回程度」が2割弱（17.5%）で、「ほぼ毎日」（4.6%）と「週に3～5回程度」（8.6%）を合わせた『週1回以上』がほぼ3割（30.7%）となっている。「月に1～3回程度」は1割強（13.5%）、「年に数回」は1割台半ば（14.9%）、「スポーツはほとんどしなかった」は4割弱（37.4%）となっている。（図6-4-1）

図6-4-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性・年齢別

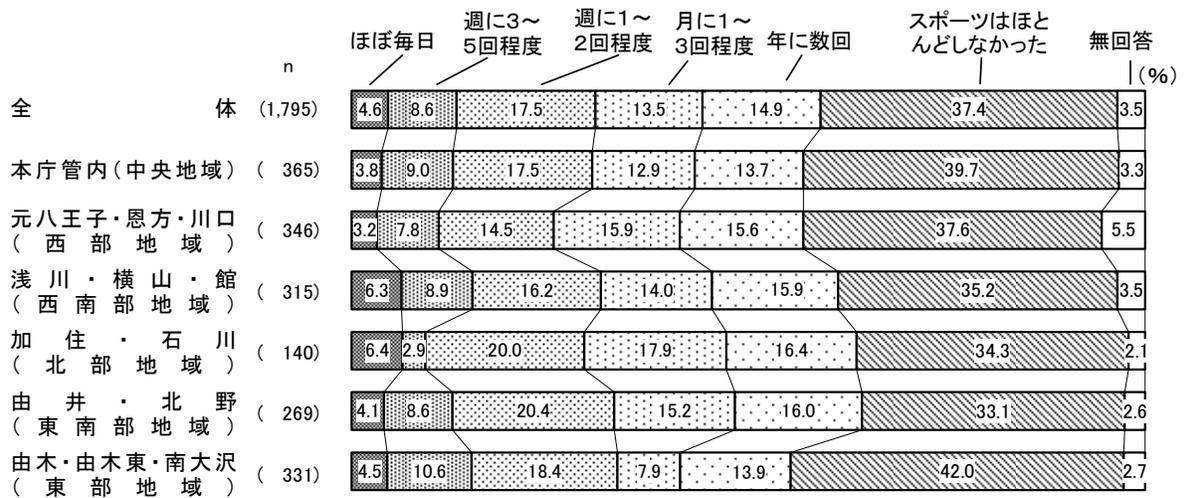


性別にみると、「スポーツはほとんどしなかった」は女性のほうが9.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『週1回以上』は男性の20歳代と男女とも60歳以上で4割弱と高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は女性の30歳代~50歳代で4割台半ばを超えて高くなっている。

(図6-4-2)

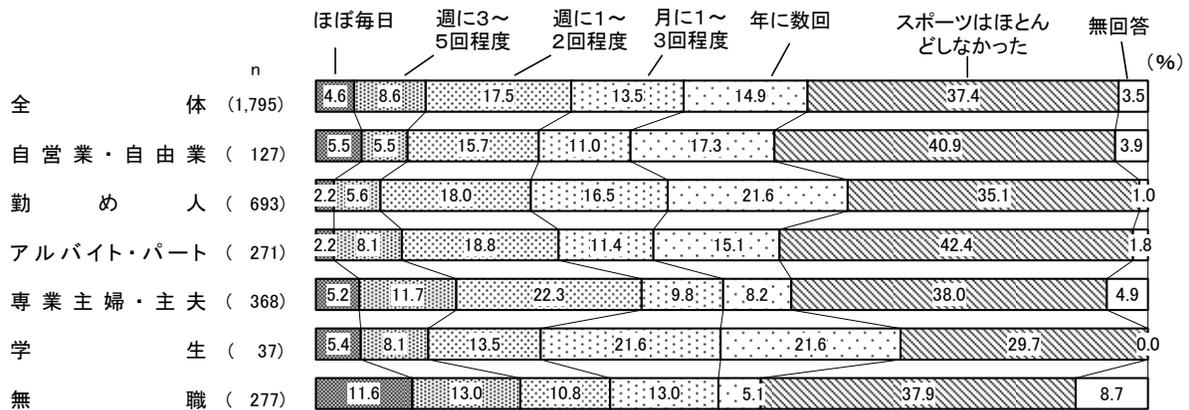
図6-4-3 この1年間に行ったスポーツの頻度—居住地地域別



居住地地域別にみると、『週1回以上』は由木・由木東・南大沢（東部地域）（33.5%）、由井・北野（東南部地域）（33.1%）、浅川・横山・館（西南部地域）（31.4%）で3割強と、他の地域と比べて高くなっている。「スポーツはほとんどしなかった」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.0%）と高くなっている。

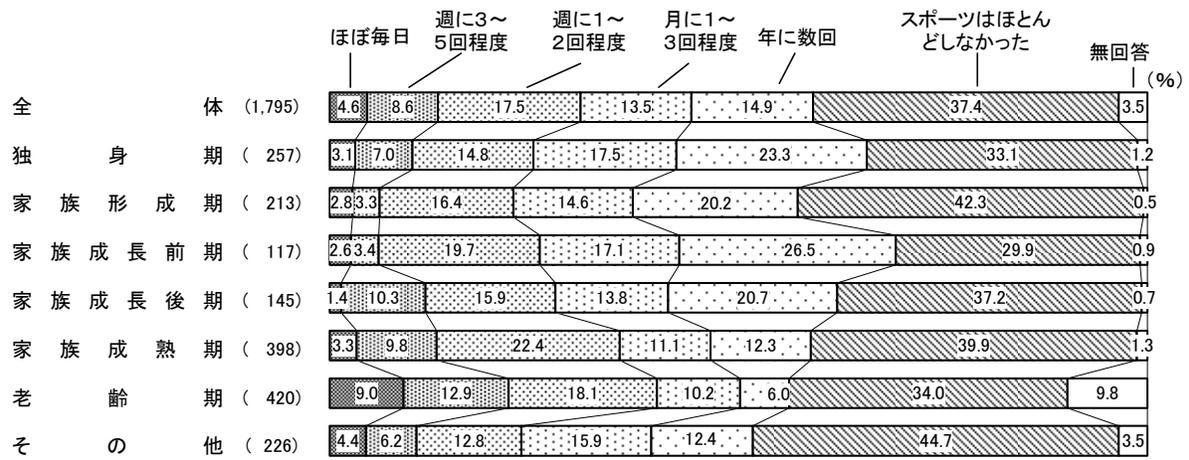
(図6-4-3)

図6-4-4 この1年間に行ったスポーツの頻度—職業別



職業別にみると、『週1回以上』は「専業主婦・主夫」でほぼ4割（39.2%）と高くなっている。また、「スポーツはほとんどしなかった」はアルバイト・パートが4割強（42.4%）と高くなっている。(図6-4-4)

図6-4-5 この1年間に行ったスポーツの頻度—ライフステージ別



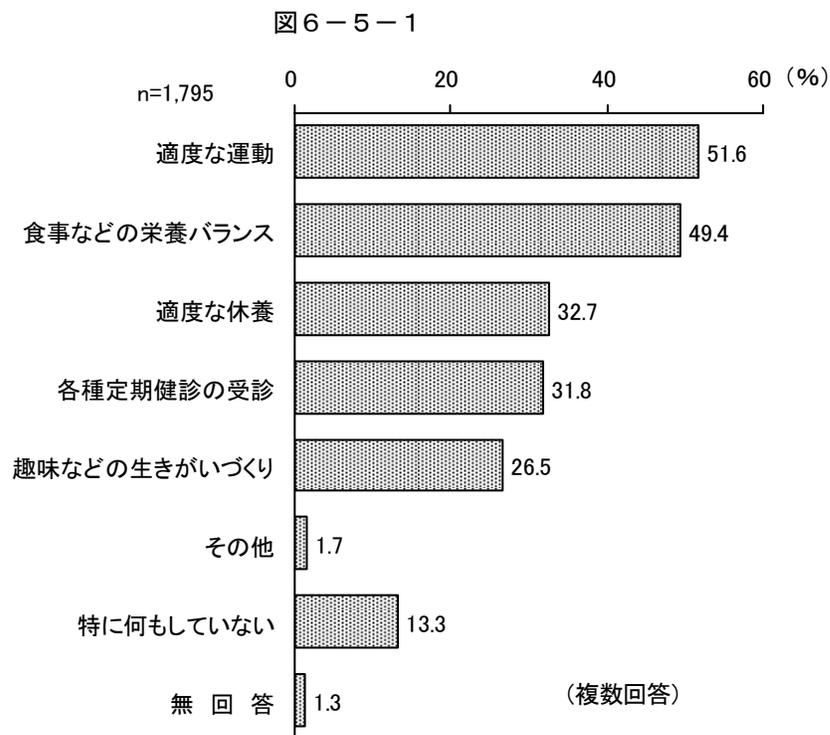
ライフステージ別にみると、『週1回以上』は老齢期で4割（40.0%）と高くなっている。

(図6-4-5)

6-5 健康のために心がけていること

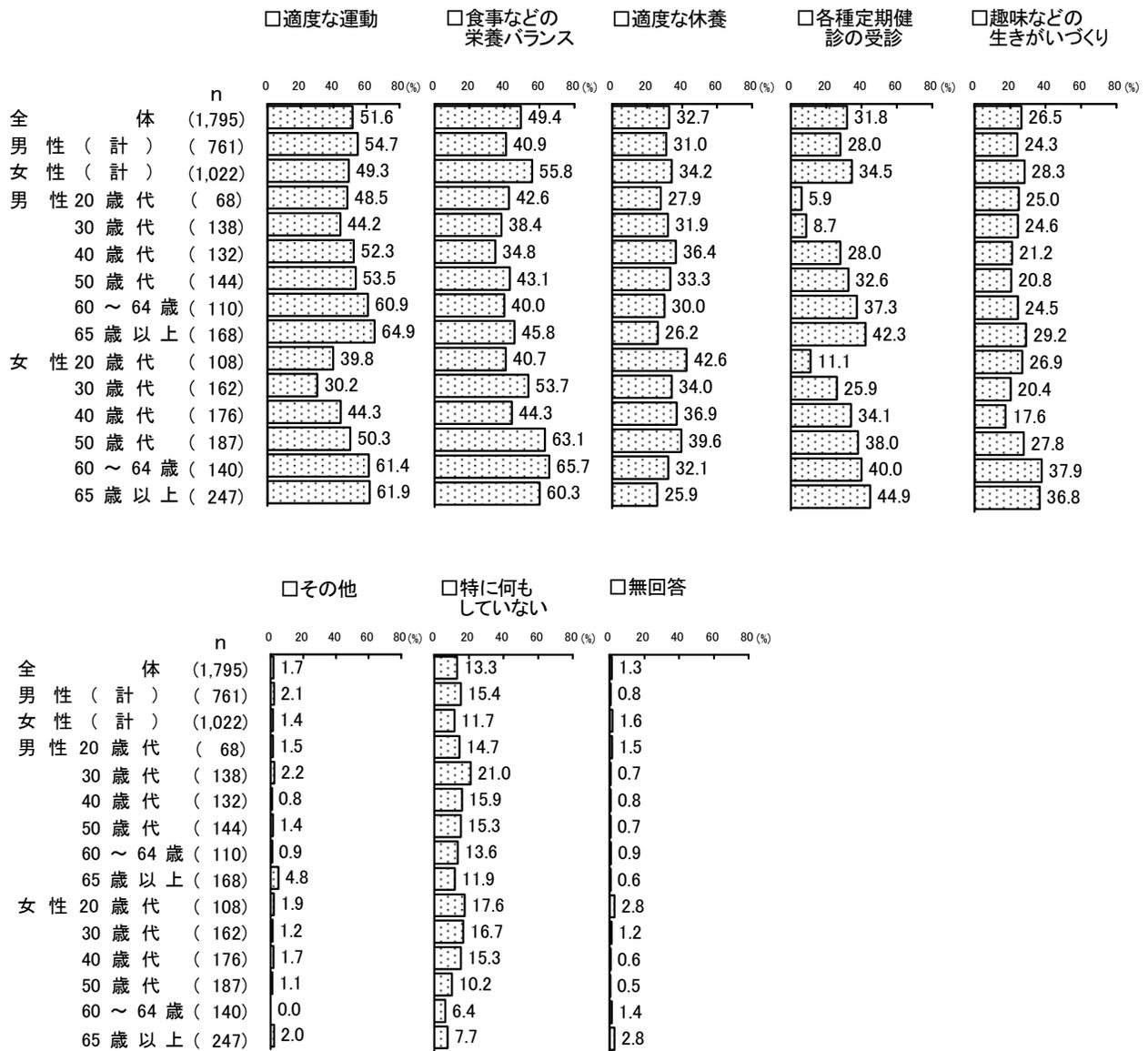
◇「適度な運動」が5割強、ついで「食事などの栄養バランス」がほぼ5割

問24 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(〇はいくつでも)



健康の維持・増進のために自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(51.6%)が5割強と最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(49.4%)、「適度な休養」(32.7%)、「各種定期健診の受診」(31.8%)と続いている。(図6-5-1)

図6-5-2 健康のために心がけていること一性・年齢別



性別にみると、「適度な運動」は男性のほうが5.4ポイント高く、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが14.9ポイント高くなっている。

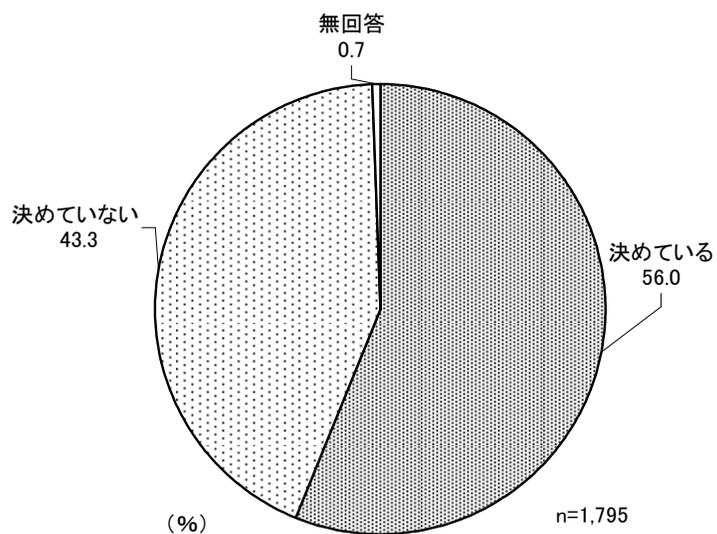
性・年齢別にみると、「適度な運動」は男女ともに60歳以上は6割を超えて高くなっている。「食事などの栄養バランス」では女性の50歳以上で6割を超えて高く、「適度な休養」は女性の20歳代で4割強(42.6%)と高くなっている。「各種定期健診の受診」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、「趣味などの生きがいづくり」は女性の60歳以上で4割弱と高くなっている。(図6-5-2)

6-6 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」が6割弱

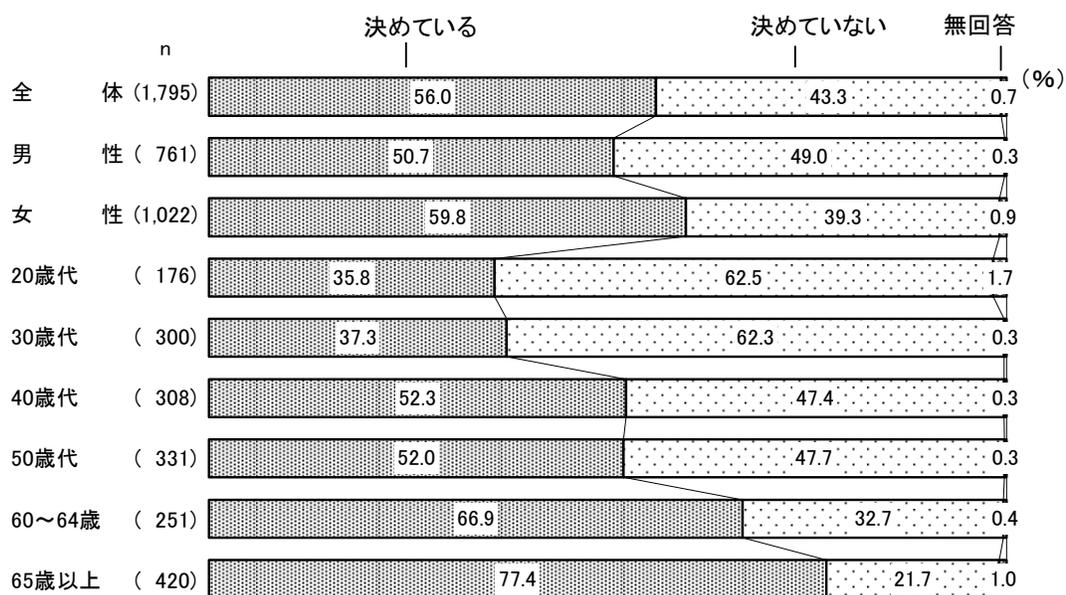
問25 あなたは、「かかりつけ医」を決めていますか。(○は1つだけ)

図6-6-1



「かかりつけ医」を決めているかについて聞いたところ、「決めている」が6割弱 (56.0%)、「決めていない」が4割強 (43.3%) となっている。(図6-6-1)

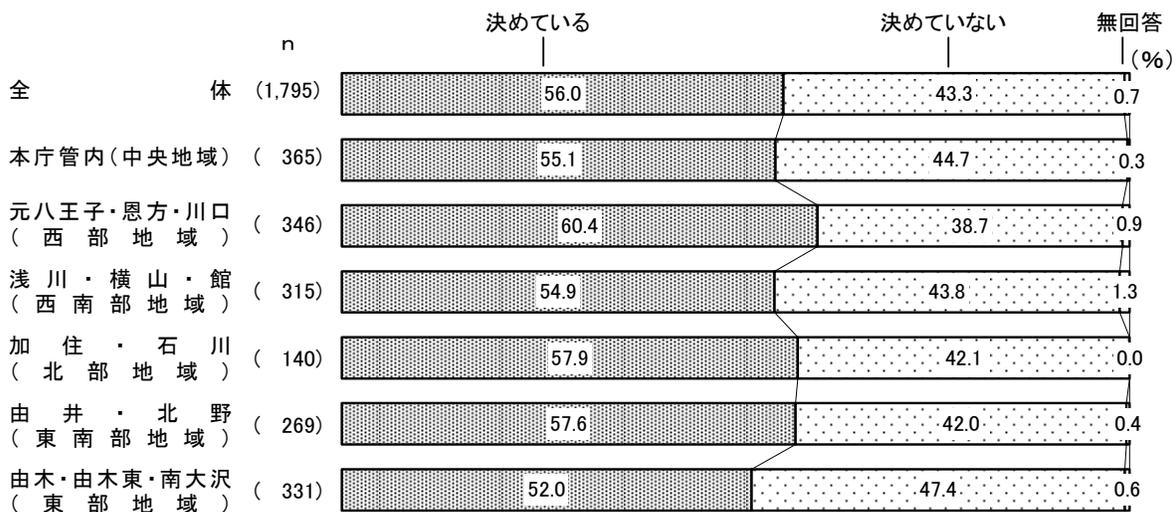
図6-6-2 かかりつけの医療機関の有無—性別・年齢別



性別にみると、「決めている」は女性のほうが9.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「決めている」は概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では8割弱（77.4%）を占めている。（図6-6-2）

図6-6-3 かかりつけの医療機関の有無—居住地域別



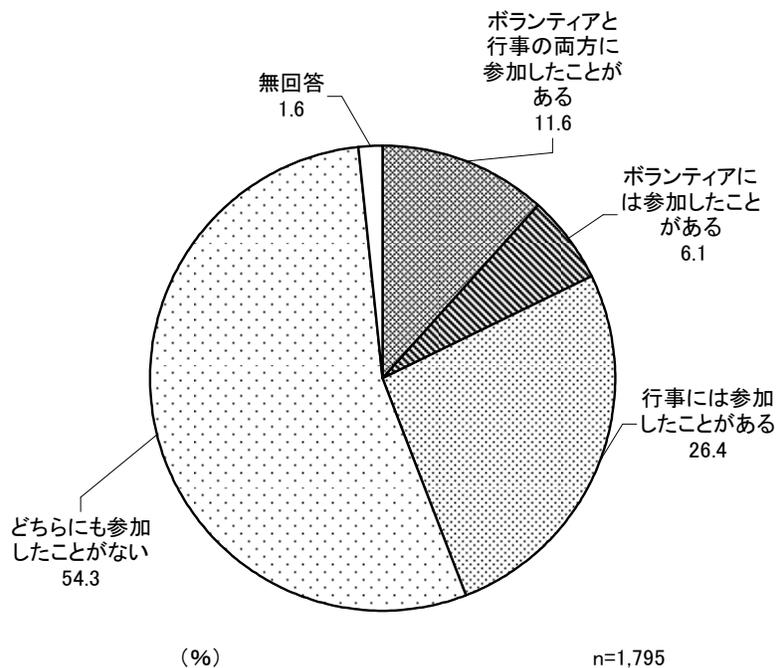
居住地域別にみると、「決めている」は元八王子・恩方・川口（西部地域）ではほぼ6割（60.4%）とやや高くなっている。（図6-6-3）

6-7 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割台半ば

問26 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動（清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など）や行事（町内会等の地域のイベント・お祭りなど）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

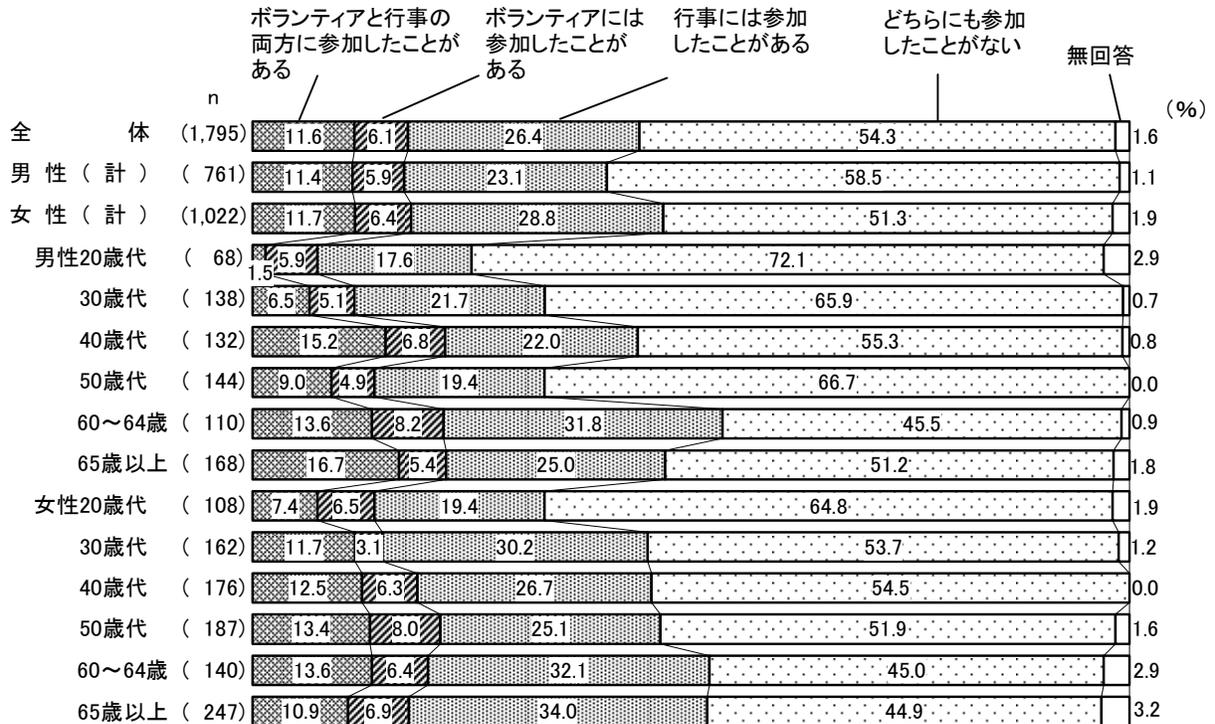
図6-7-1



この1年間に地域の中でボランティア活動や行事に参加したことがあるか聞いたところ、「行事には参加したことがある」は3割弱（26.4%）、「ボランティアと行事の両方に参加したことがある」（11.6%）、「ボランティアには参加したことがある」（6.1%）と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割台半ば（44.1%）となっている。一方、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば（54.3%）となっている。

(図6-7-1)

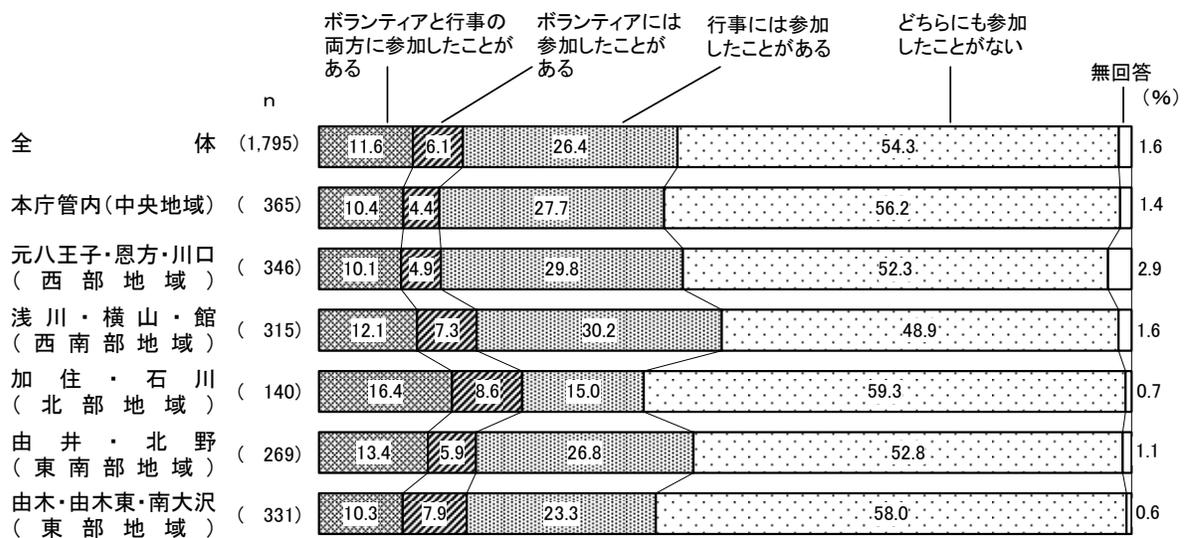
図6-7-2 この1年間の地域行事への参加一性・年齢別



性別にみると、『参加したことがある』は女性のほうが6.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』は男性の60~64歳で5割強(53.6%)と最も高く、男性の20歳代で2割台半ば(25.0%)と最も低くなっている。(図6-7-2)

図6-7-3 この1年間の地域行事への参加一居住地域別



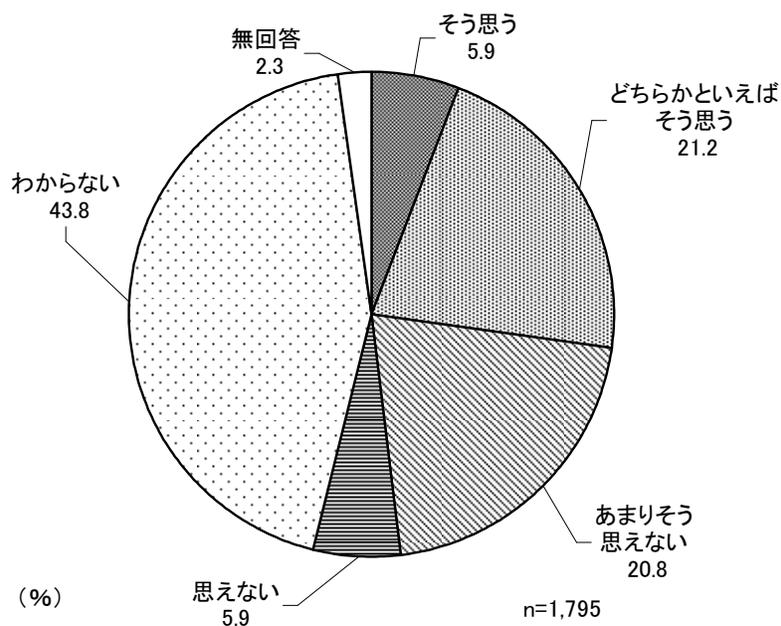
居住地域別にみると、『参加したことがある』は、浅川・横山・館(西南部地域)でほぼ5割(49.6%)と最も高く、由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割強(41.5%)と最も低くなっている。(図6-7-3)

6-8 市民協働の推進状況

◇『そう思う』は3割弱

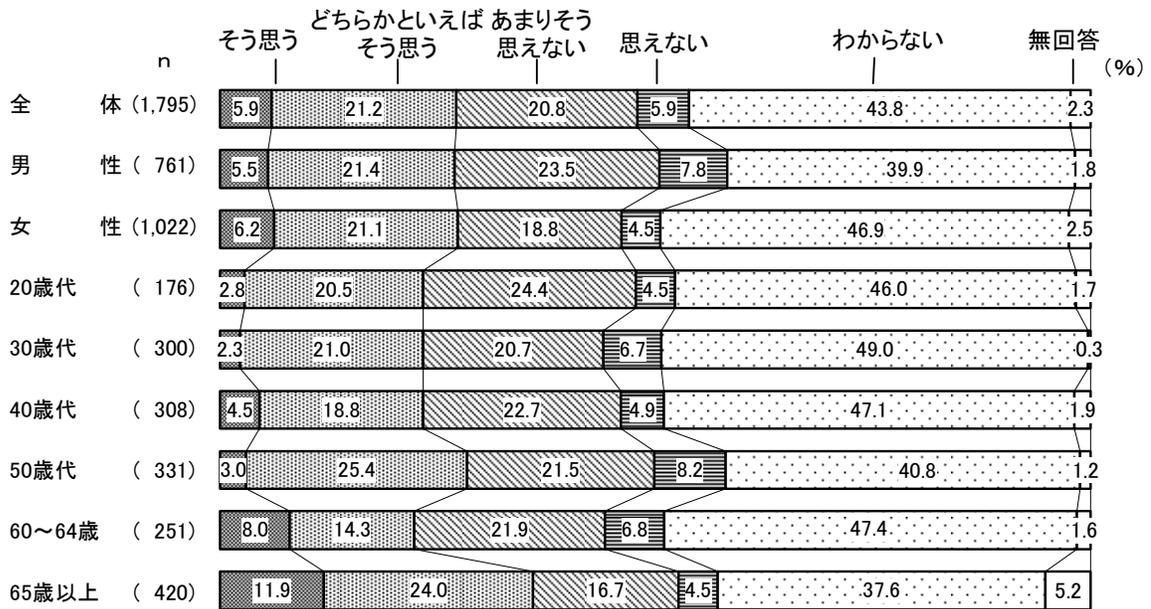
問27 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

図6-8-1



市が市民協働のまちづくりを進めていると感じるかどうかが聞いたところ、「そう思う」は5.9%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(21.2%)と合わせた『そう思う』は3割弱(27.1%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(20.8%)と「思えない」(5.9%)を合わせた『思えない』は3割弱(26.7%)となっている。(図6-8-1)

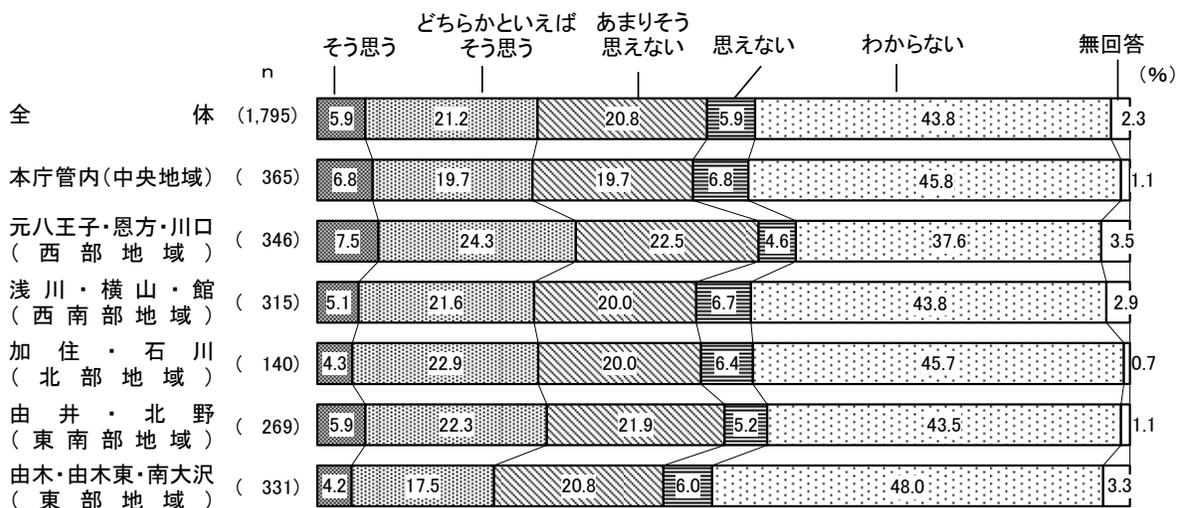
図6-8-2 市民協働の推進状況—性別・年齢別



性別にみると、『そう思う』は男女で差はないが、『思えない』は男性のほうが8.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で3割半ば(35.9%)と高くなっている。(図6-8-2)

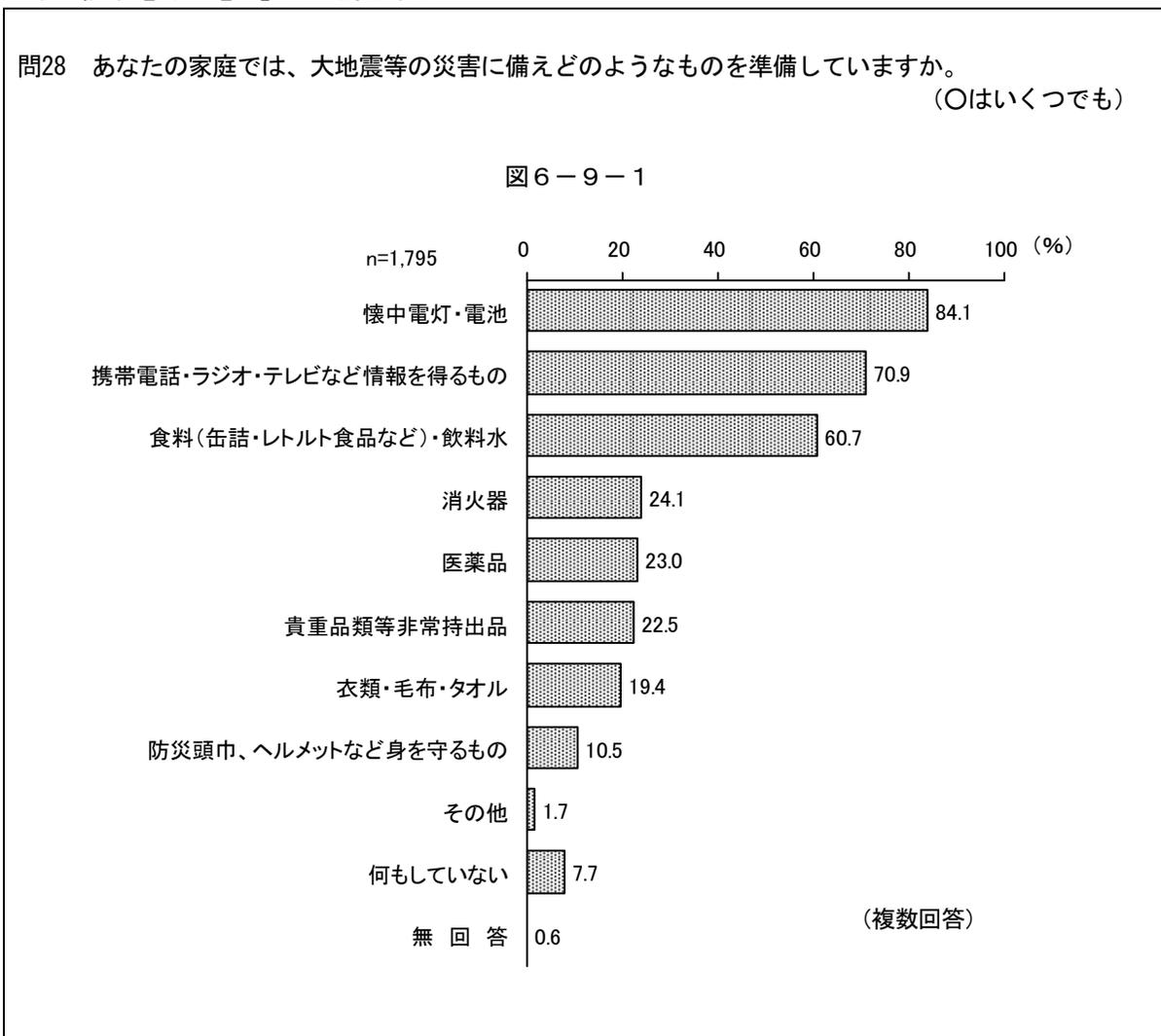
図6-8-3 市民協働の推進状況—居住地域別



居住地域別にみると、『そう思う』は元八王子・恩方・川口(西部地域)ではほぼ3割強(31.8%)と最も高くなっている。(図6-8-3)

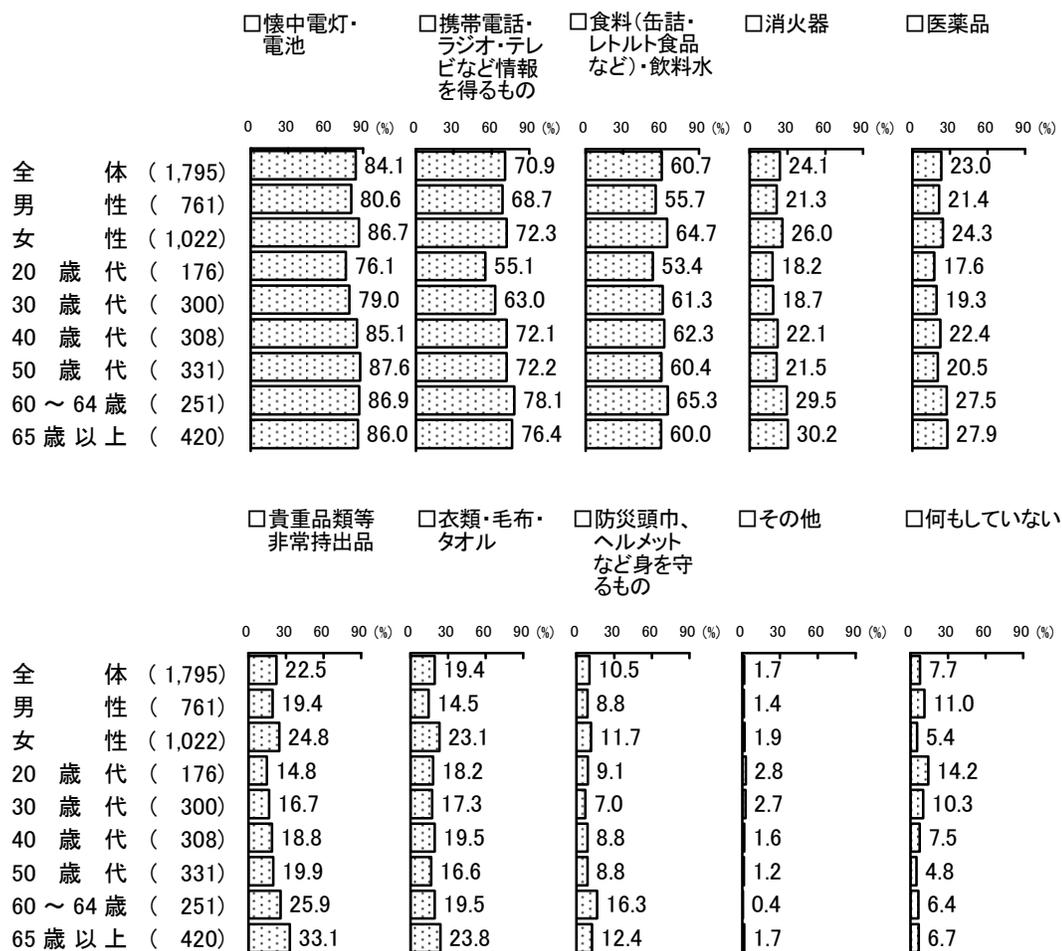
6-9 災害に対する準備

◇「懐中電灯・電池」が8割台半ば



大地震等の災害に備えた準備について聞いたところ、「懐中電灯・電池」が8割台半ば(84.1%)と最も高く、ついで「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」(70.9%)、「食料(缶詰・レトルト食品など)・飲料水」(60.7%)、「消火器」(24.1%)、「医薬品」(23.0%)、「貴重品類等非常持出品」(22.5%)の順で続いている。(図6-9-1)

図6-9-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」の9.0ポイントをはじめ、いずれも女性の方が高くなっている。

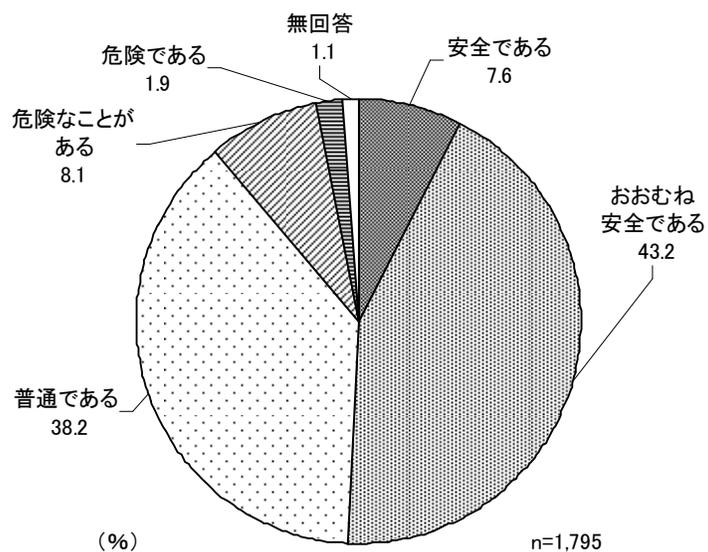
年齢別にみると、「懐中電灯・電池」はどの年齢も7割を超えて高くなっている。「携帯電話・ラジオ・テレビなど情報を得るもの」は40歳以上では7割を超え、「食料（缶詰・レトルト食品など）・飲料水」は30歳代以上では6割以上で準備されている。概ねどの準備も年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあるのに対して、「何もしていない」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にある。（図6-9-2）

6-10 日常生活環境の安全度

◇『安全である』がほぼ5割

問29 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(〇は1つだけ)

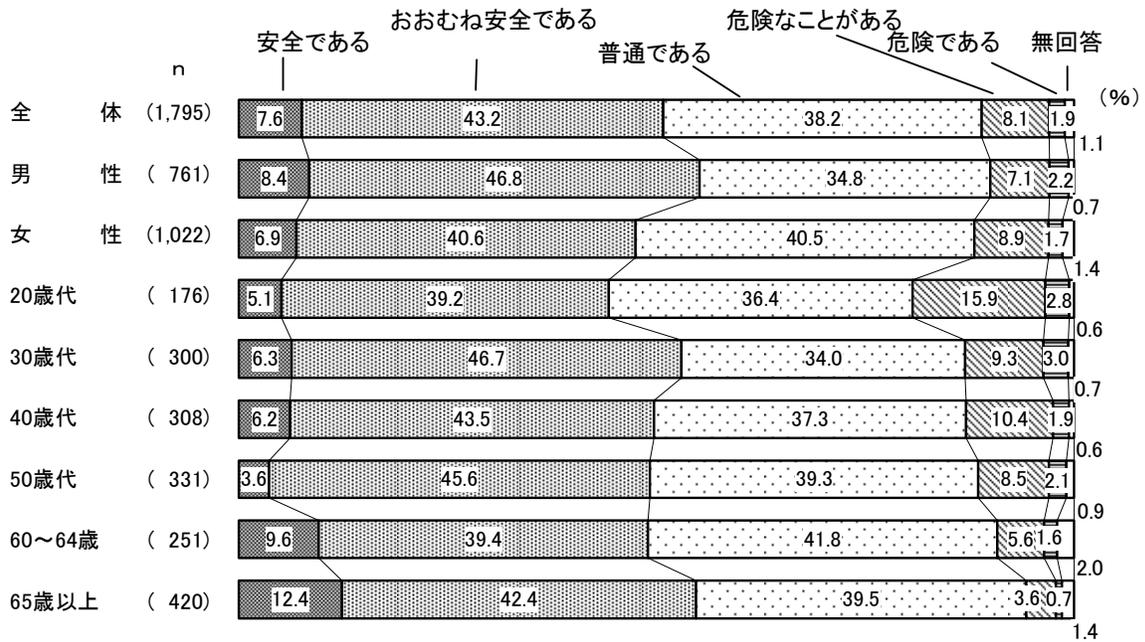
図6-10-1



お住まいの地域が安全であると感じるかどうかが聞いたところ、「おおむね安全である」が4割強（43.2%）と最も高く、「安全である」（7.6%）を合わせた『安全である』はほぼ5割（50.8%）となっている。一方、「危険なことがある」（8.1%）と「危険である」（1.9%）を合わせた『危険である』は1割（10.0%）となっている。

(図6-10-1)

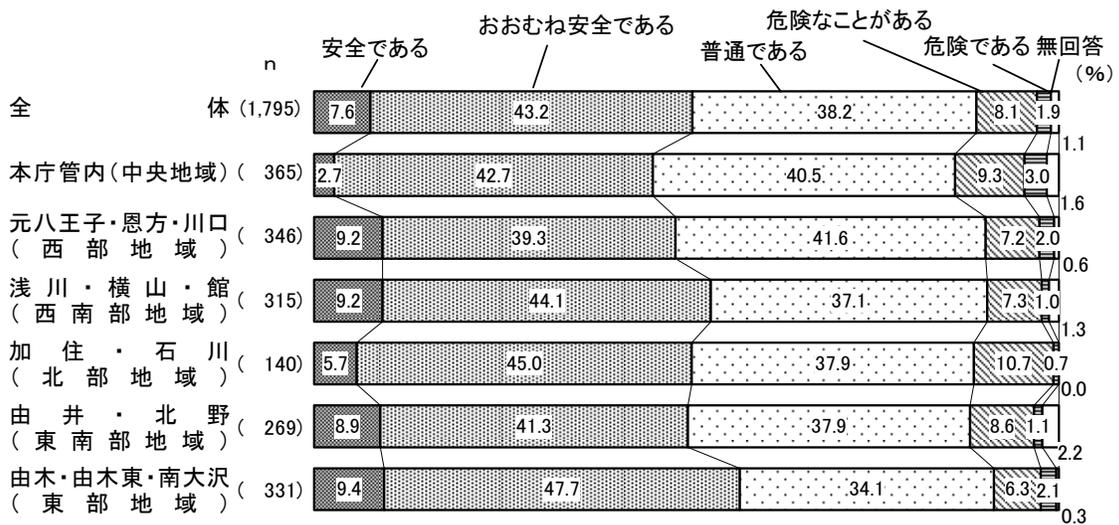
図6-10-2 日常生活環境の安全度—性別・年齢別



性別にみると、『安全である』は男性のほうが7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』は20歳代で2割弱（18.7%）と最も高く、60歳以上では1割にも満たず低くなっている。（図6-10-2）

図6-10-3 日常生活環境の安全度—居住地域別



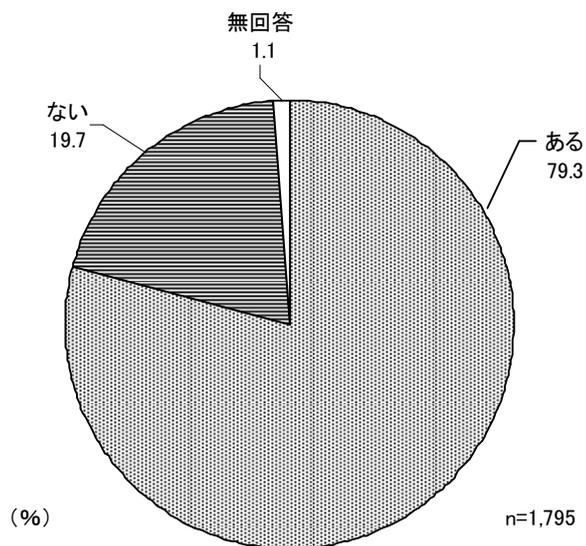
居住地域別にみると、『安全である』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割弱（57.1%）と最も高く、本庁管内（中央地域）で4割台半ば（45.4%）と最も低くなっている。（図6-10-3）

6-11 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数のほぼ8割

問 30 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

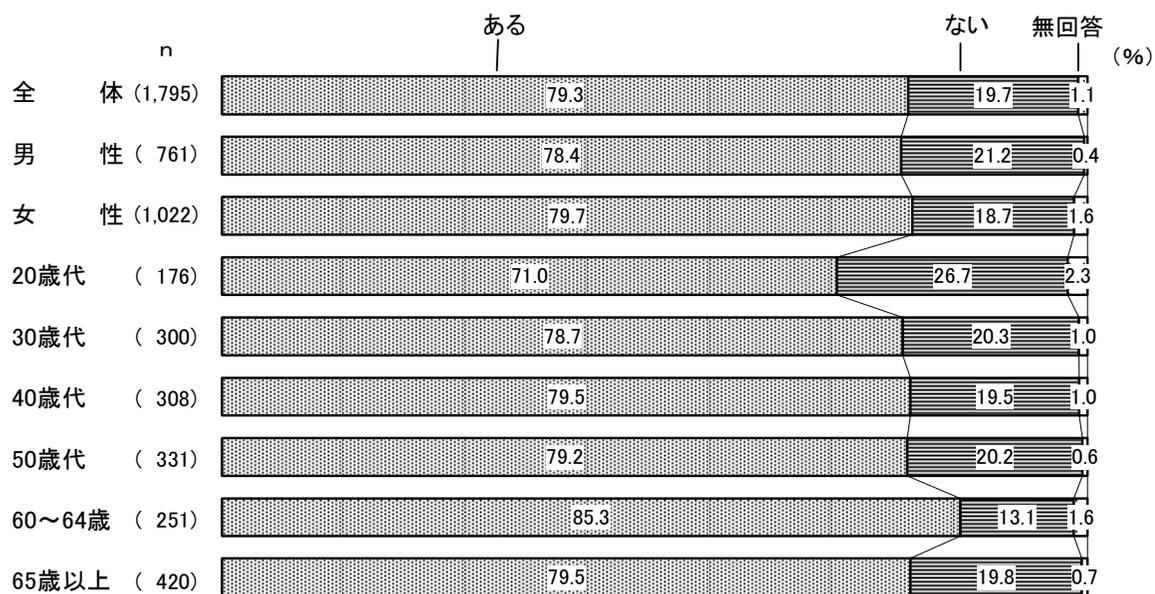
図6-11-1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数のほぼ8割(79.3%)を占め、「ない」はほぼ2割(19.7%)となっている。

(図6-11-1)

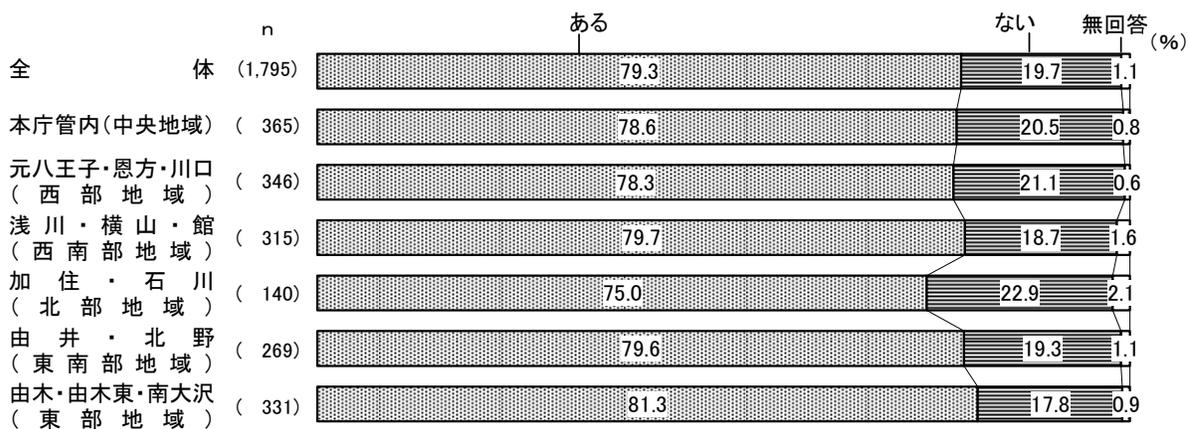
図6-11-2 市の窓口の利用の有無—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ない」は20歳代で3割弱（26.7%）とやや高くなっている。（図6-11-2）

図6-11-3 市の窓口の利用の有無—居住地域別



居住地域別にみると、「ある」はいずれの地域も7割を超えているものの、加住・石川（北部地域）は7割台半ば（75.0%）とやや低くなっている。（図6-11-3）

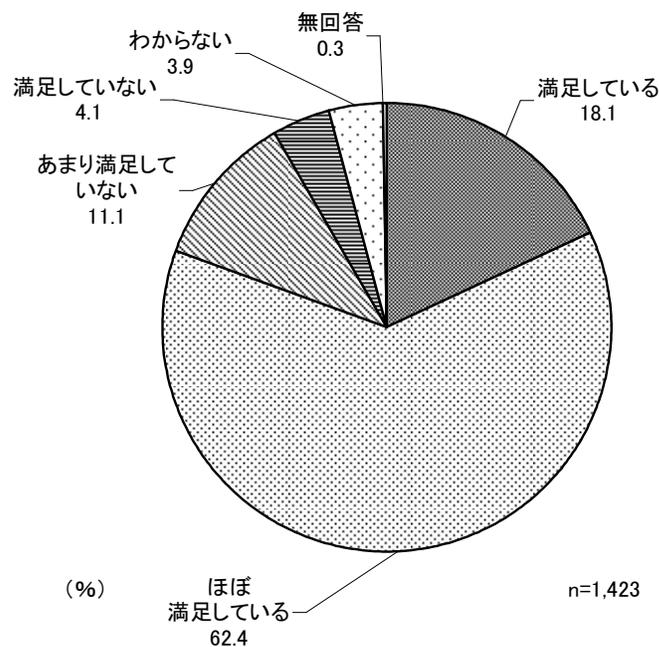
6-12 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』がほぼ8割

(問30で「ある」とお答えの方に)

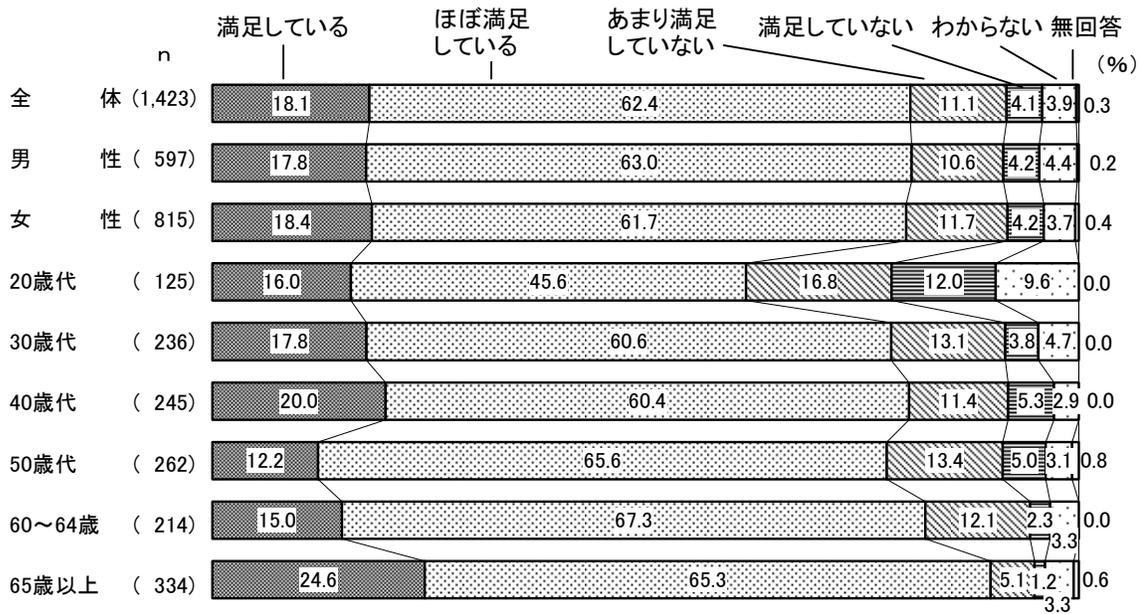
問30-1 あなたは、市の窓口サービス（接客度や提供内容、処理時間など）に満足していますか。
(○は1つだけ)

図6-12-1



この1年間で市の窓口の利用が「ある」と答えた人(1,423人)に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が6割強(62.4%)と最も高く、「満足している」(18.1%)と合わせた『満足』はほぼ8割(80.5%)となっている。「あまり満足していない」(11.1%)と「満足していない」(4.1%)を合わせた『不満』は1割台半ば(15.2%)となっている。(図6-12-1)

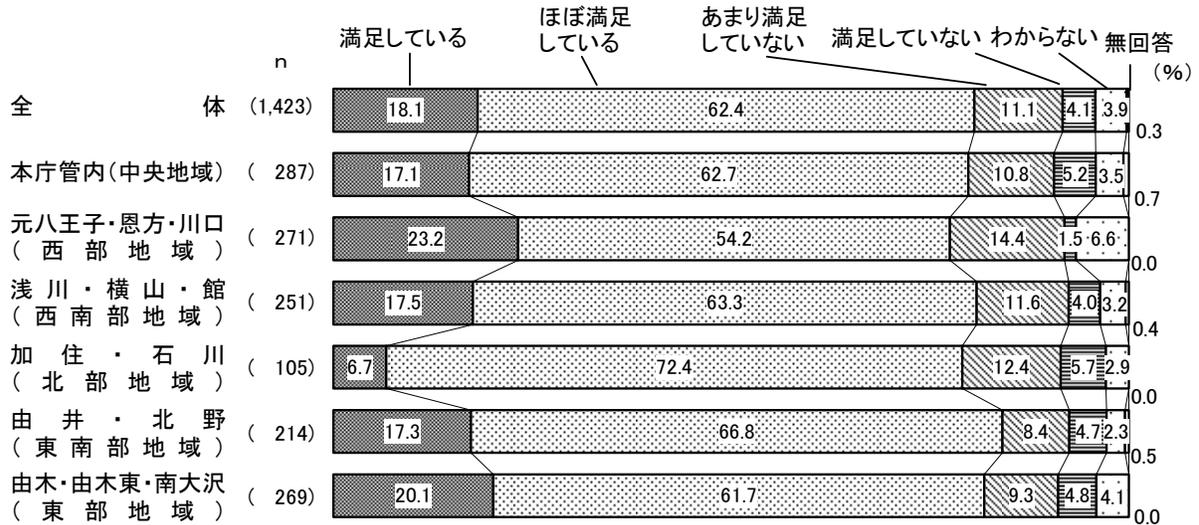
図6-12-2 市の窓口サービスの満足度—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上でほぼ9割(89.9%)と高くなっている。一方、『不満』は20歳代で3割弱(28.8%)と高くなっている。(図6-12-2)

図6-12-3 市の窓口サービスの満足度—居住地域別



居住地域別にみると、『満足』は由井・北野(東南部地域)で8割台半ば(84.1%)と最も高くなっている。

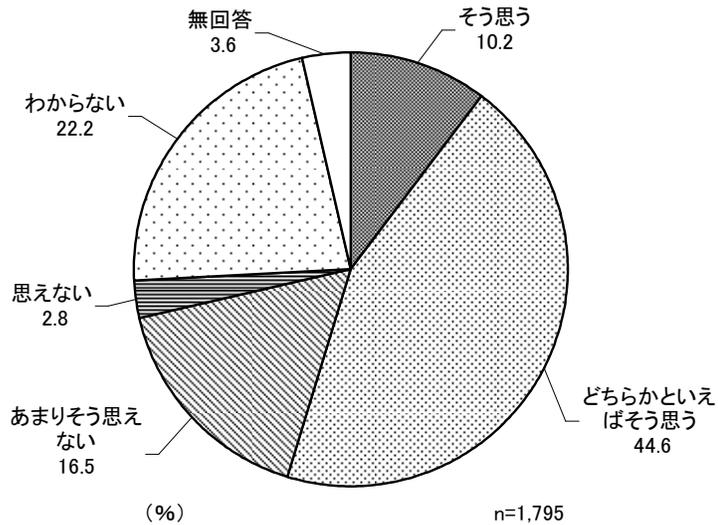
(図6-12-3)

6-13 市の相談窓口の充実度

◇『そう思う』が5割台半ば

問 31 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

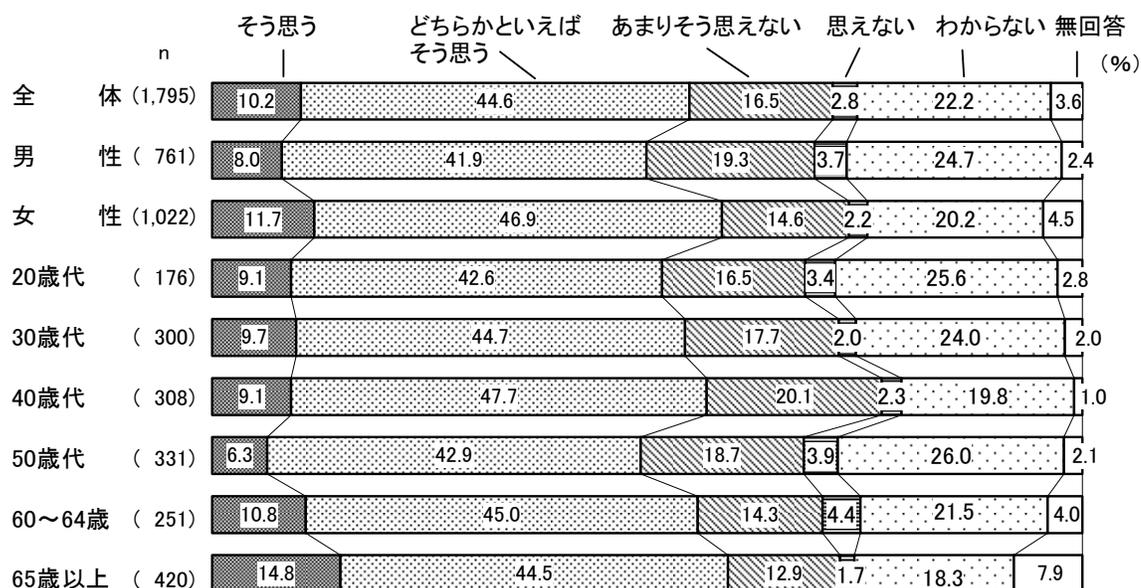
図6-13-1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」(44.6%)と「そう思う」(10.2%)を合わせた『そう思う』は5割台半ば(54.8%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(16.5%)と「思えない」(2.8%)を合わせた『思えない』はほぼ2割(19.3%)となっている。

(図6-13-1)

図6-13-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別

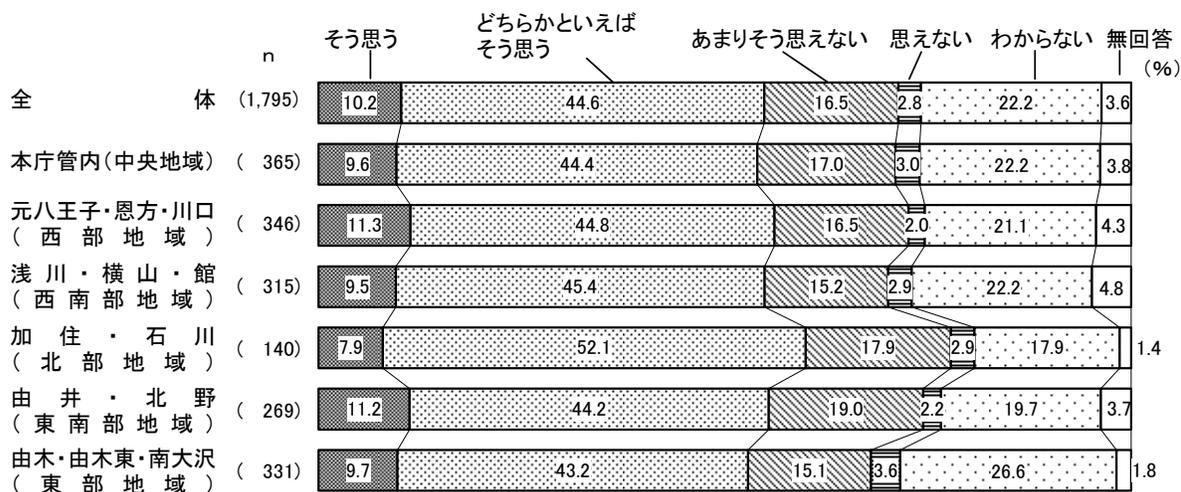


性別にみると、『そう思う』は女性のほうが8.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上でほぼ6割（59.3%）と最も高くなっている。

(図6-13-2)

図6-13-3 市の相談窓口の充実度—居住地域別



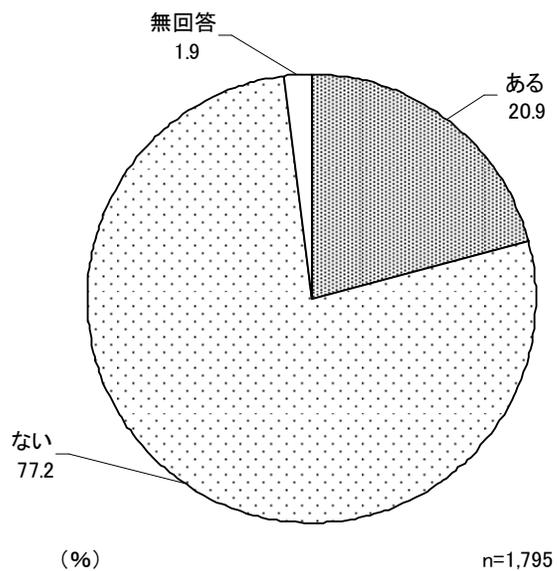
居住地域別にみると、『そう思う』は加住・石川（北部地域）で6割（60.0%）と他の地域に比べて高くなっている。(図6-13-3)

6-14 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人はほぼ2割

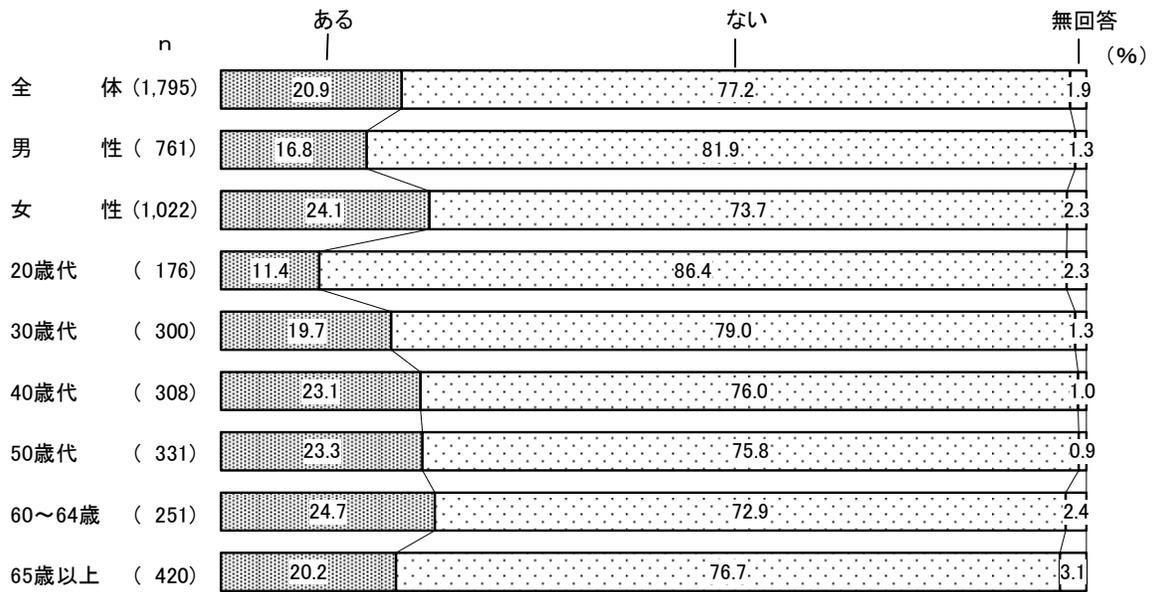
問32 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

図6-14-1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が8割弱（77.2%）を占め、「ある」はほぼ2割（20.9%）となっている。（図6-14-1）

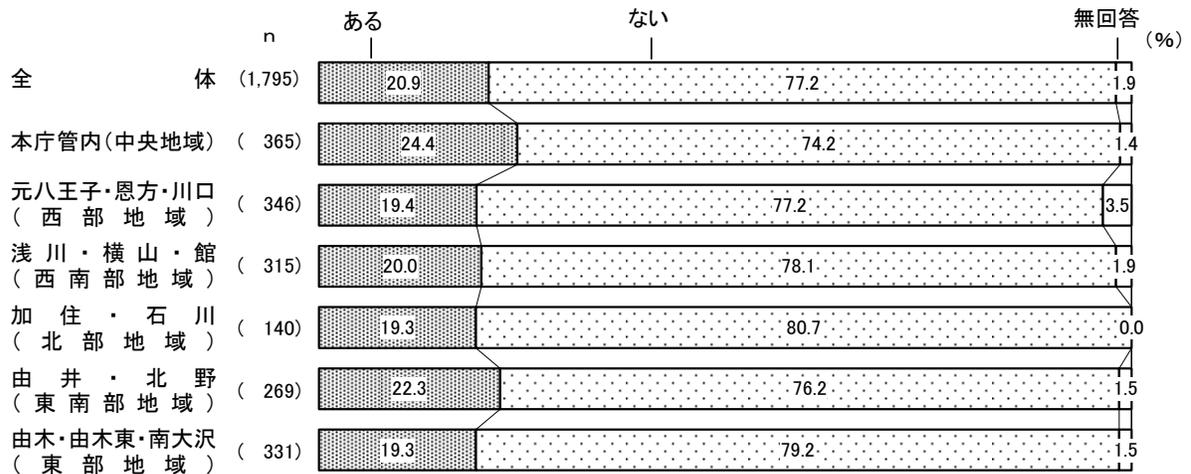
図6-14-2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、「ある」は女性のほうが7.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は20歳代で1割強（11.4%）と低くなっている。（図6-14-2）

図6-14-3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（24.4%）と他の地域と比べてやや高くなっている。（図6-14-3）

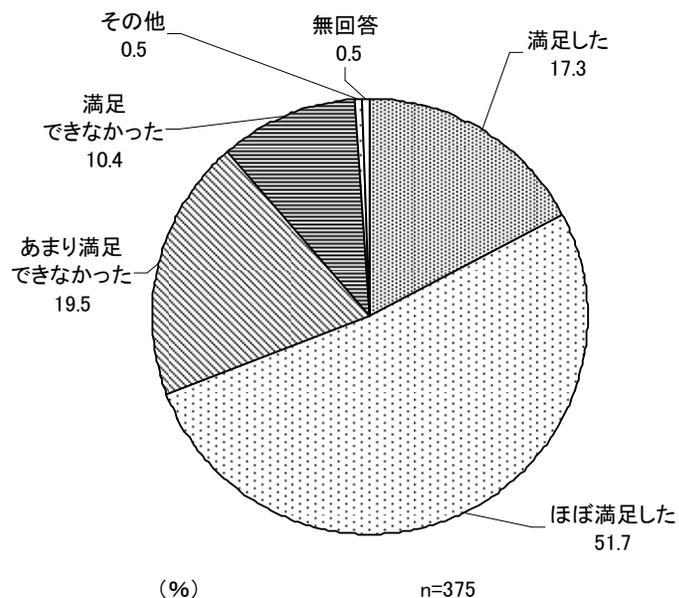
6-15 市の相談窓口の満足度

◇『満足した』がほぼ7割

(問32で「ある」とお答えの方に)

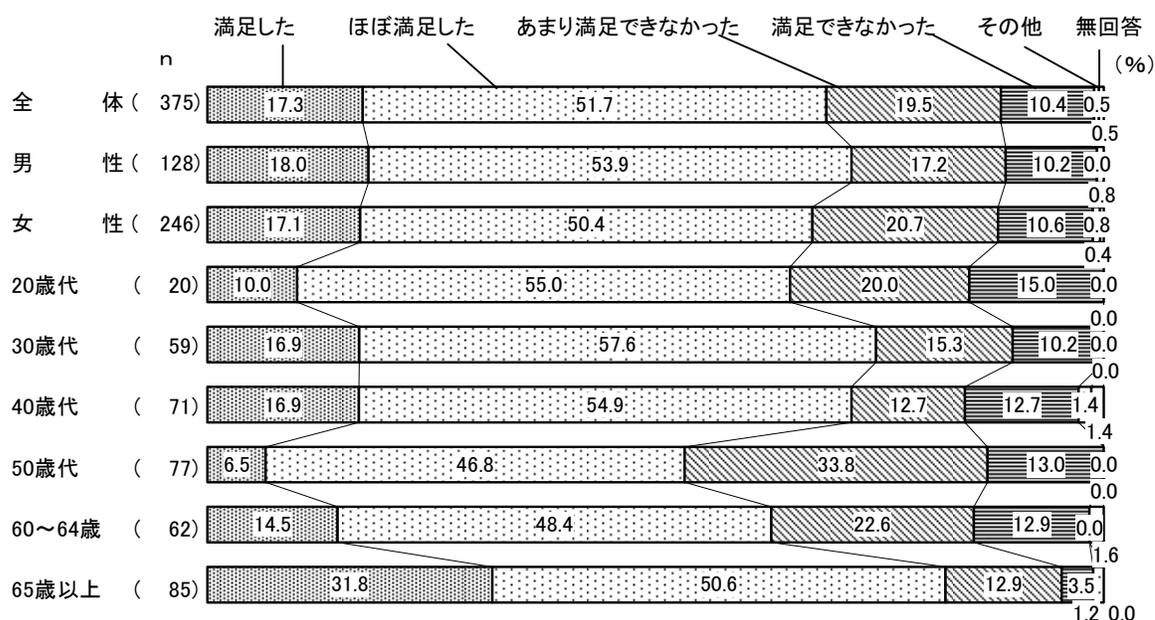
問32-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図6-15-1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(375人)に、市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が5割強(51.7%)と最も高く、「満足した」(17.3%)と合わせた『満足した』はほぼ7割(69.0%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(19.5%)と「満足できなかった」(10.4%)を合わせた『満足できなかった』はほぼ3割(29.9%)となっている。(図6-15-1)

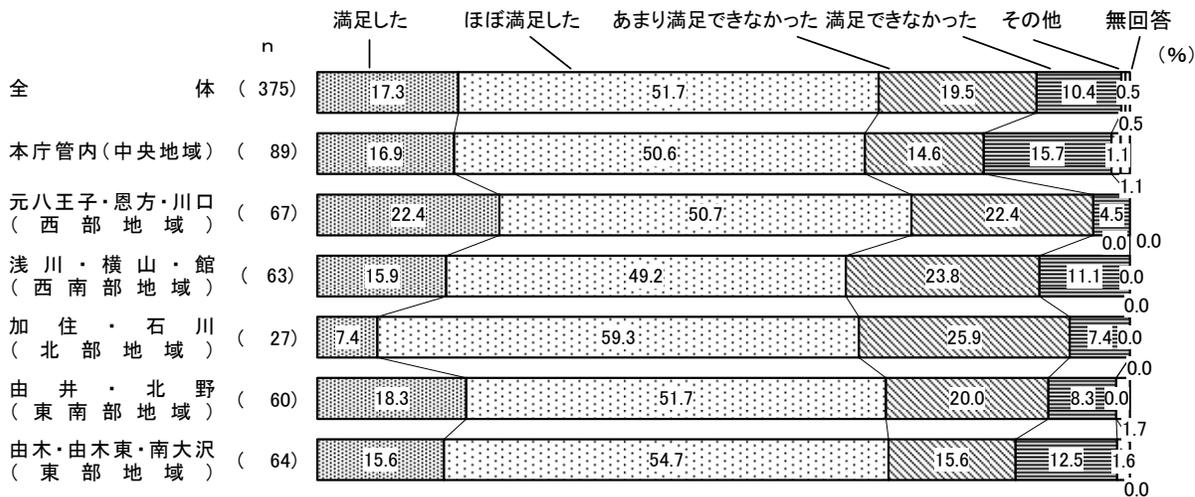
図6-15-2 市の相談窓口の満足度—性別・年齢別



性別にみると、『満足した』は男性のほうが4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』は65歳以上で8割強(82.4%)と高くなっている。(図6-15-2)

図6-15-3 市の相談窓口の満足度—居住地域別



居住地域別にみると、『満足した』は元八王子・恩方・川口で7割強(73.1%)とやや高くなっている。

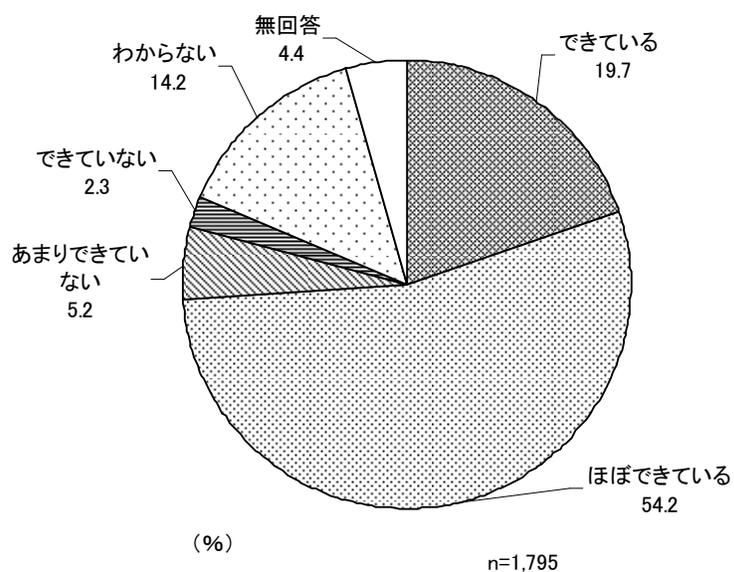
(図6-15-3)

6-16 市政情報の入手しやすさ

◇『できている』が7割強

問 33 市は、市政の情報を、下記のような様々な方法で積極的に配信・提供していますが、あなたは、いずれかの方法で必要な市政情報を入手できていますか。(○は1つだけ)

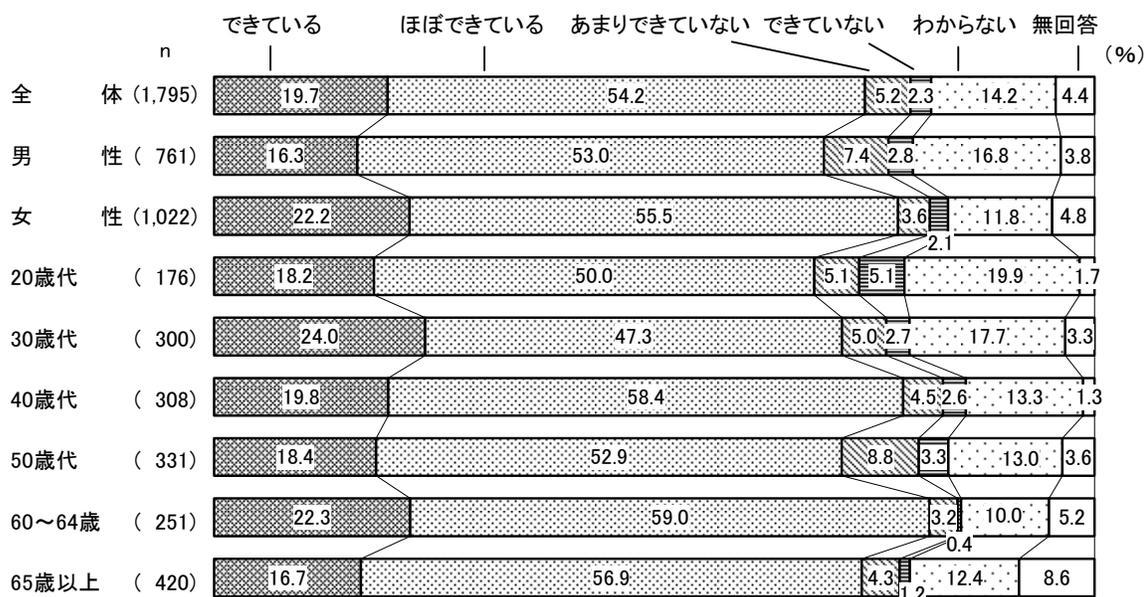
図6-16-1



市政情報の入手しやすさについて聞いたところ、「ほぼできている」は5割台半ば(54.2%)と最も高く、「できている」(19.7%)と合わせた『できている』は7割強(73.9%)となっている。一方、「あまりできていない」(5.2%)と「できていない」(2.3%)を合わせた『できていない』は、1割弱(7.5%)となっている。

(図6-16-1)

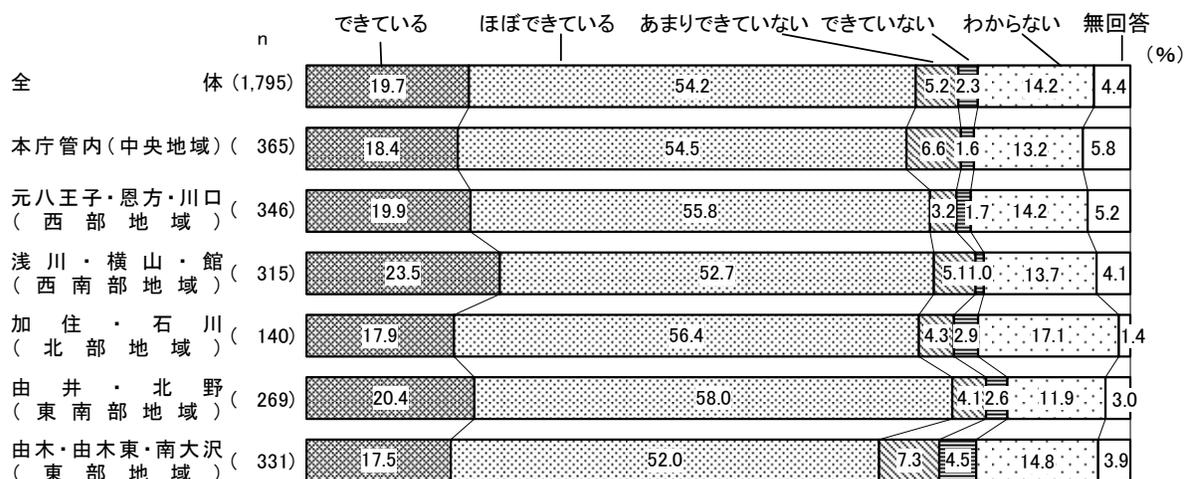
図6-16-2 市政情報の入手しやすさ－性別・年齢別



性別にみると、『できている』は女性のほうが8.4ポイント高い。

年齢別にみると、『できている』は60～64歳で8割強（81.3%）と高くなっている。（図6-16-2）

図6-16-3 市政情報の入手しやすさ－居住地域別



居住地域別にみると、『できていない』は由木・東由木・南大沢で1割強（11.8%）とやや高くなっている。

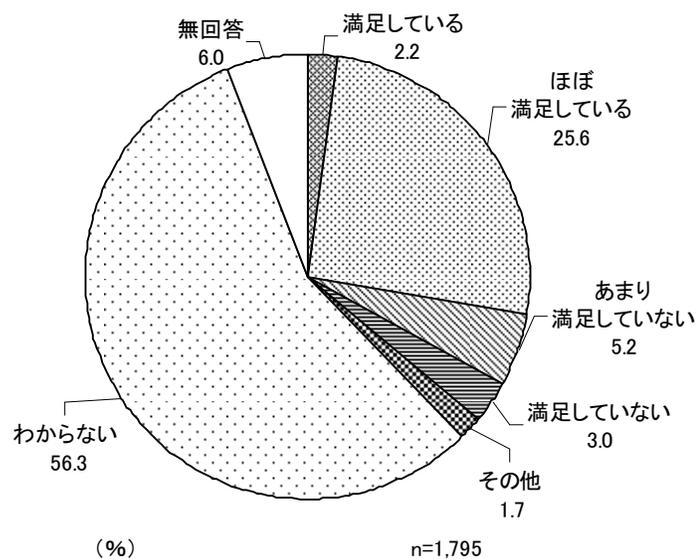
（図6-16-3）

6-17 市の子育て支援策の満足度

◇『満足』が3割弱

問34 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。
(○は1つだけ)

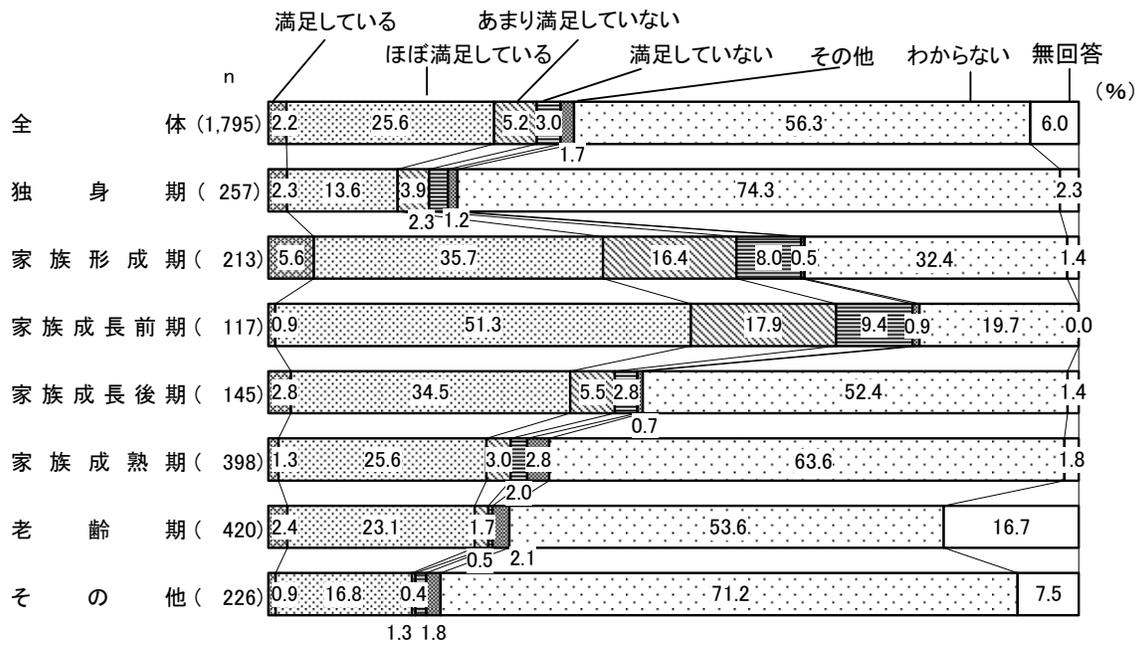
図6-17-1



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.2%)と「ほぼ満足している」(25.6%)を合わせた『満足』は3割弱(27.8%)となっている。一方、「あまり満足していない」(5.2%)と「満足していない」(3.0%)を合わせた『不満』は1割弱(8.2%)となっている。

(図6-17-1)

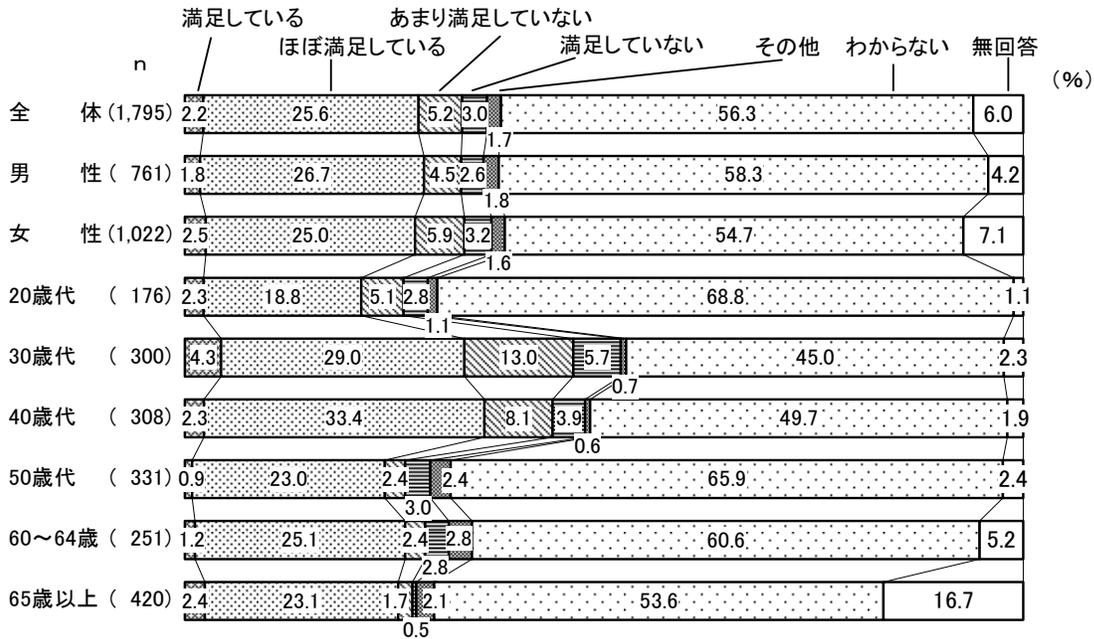
図6-17-2 市の子育て支援施策の満足度—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長前期では『満足』(52.2%)のほうが『不満』(27.3%)より24.9ポイント高く、家族形成期では『満足』(41.3%)のほうが『不満』(24.4%)より16.9ポイント高くなっている。

(図6-17-2)

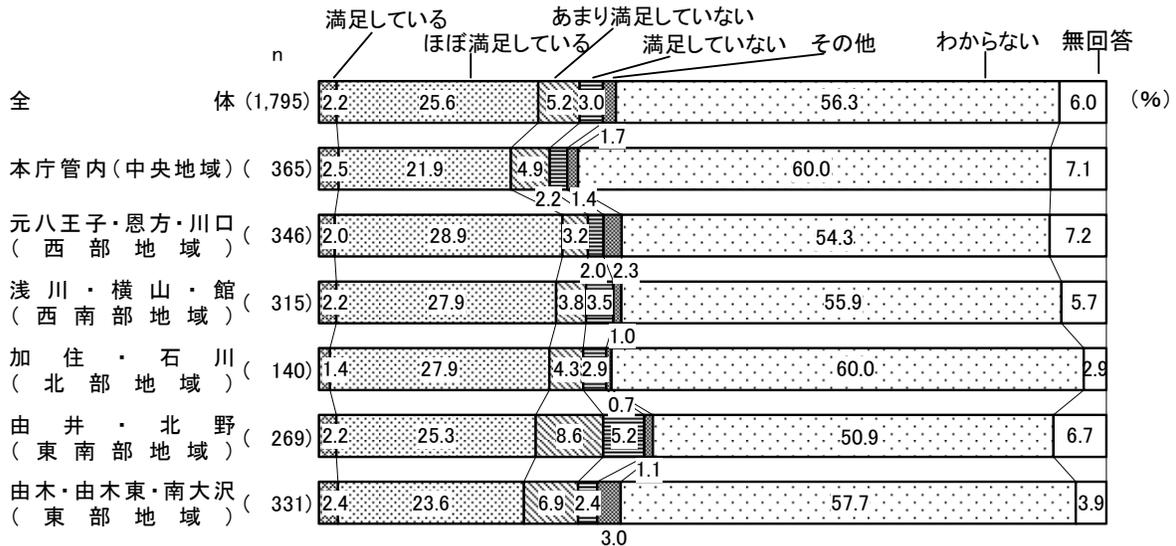
図6-17-3 市の子育て支援施策の満足度—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、30歳代では『満足』(33.3%)のほうが『不満』(18.7%)より14.6ポイント高く、40歳代では『満足』(35.7%)のほうが『不満』(12.0%)より23.7ポイント高くなっている。(図6-17-3)

図6-17-4 市の子育て支援施策の満足度—居住地域別



居住地域別にみると、『満足』は本庁管内(中央地域)で2割台半ば(24.4%)とやや低くなっている。

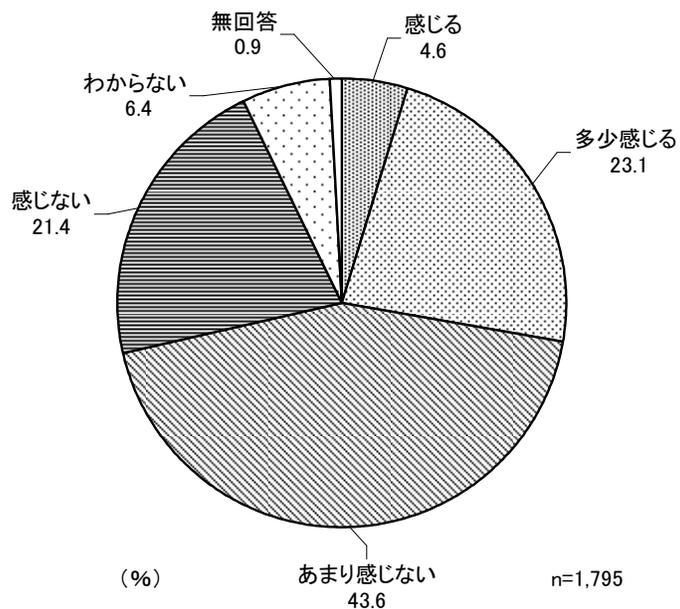
(図6-17-4)

6-18 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割台半ば

問 35 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

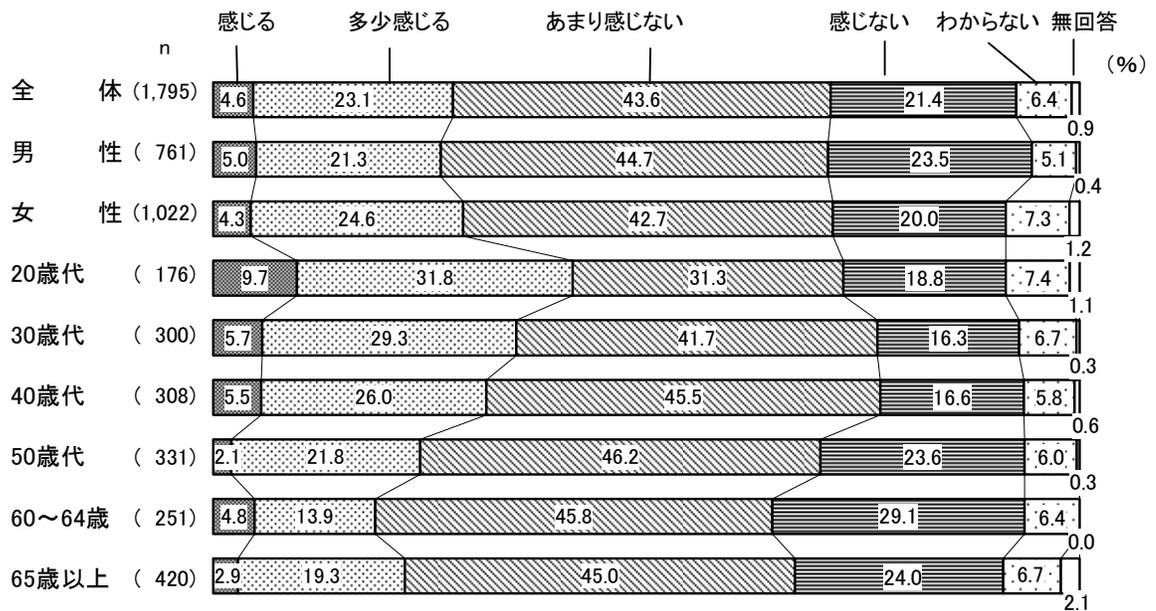
図6-18-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が4割強(43.6%)と最も高く、「感じない」(21.4%)を合わせた『感じない』は6割台半ば(65.0%)となっている。「感じる」(4.6%)と「多少感じる」(23.1%)を合わせた『感じる』は3割弱(27.7%)となっている。

(図6-18-1)

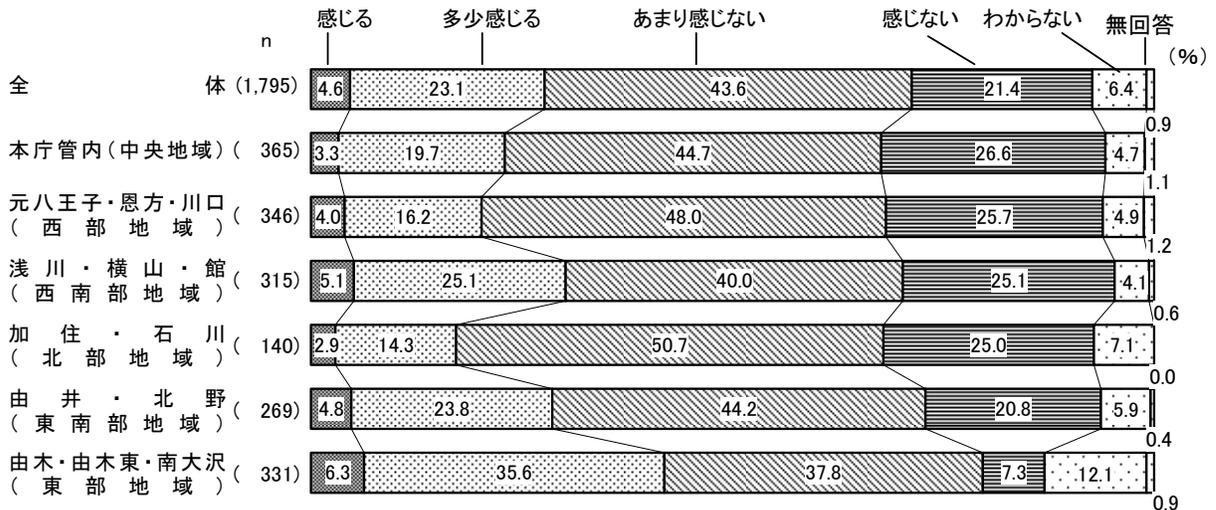
図6-18-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別にみると、『感じない』は男性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で4割強 (41.5%) と高くなっている。(図6-18-2)

図6-18-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



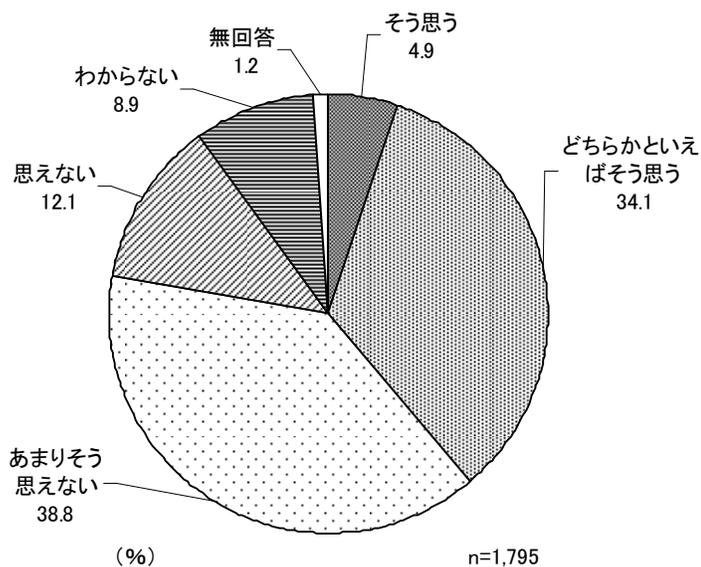
居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢 (東部地域) で4割強 (41.9%) と最も高く、一方で『感じない』は加住・石川 (北部地域) で7割台半ば (75.7%) と最も高くなっている。(図6-18-3)

6-19 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』がほぼ5割

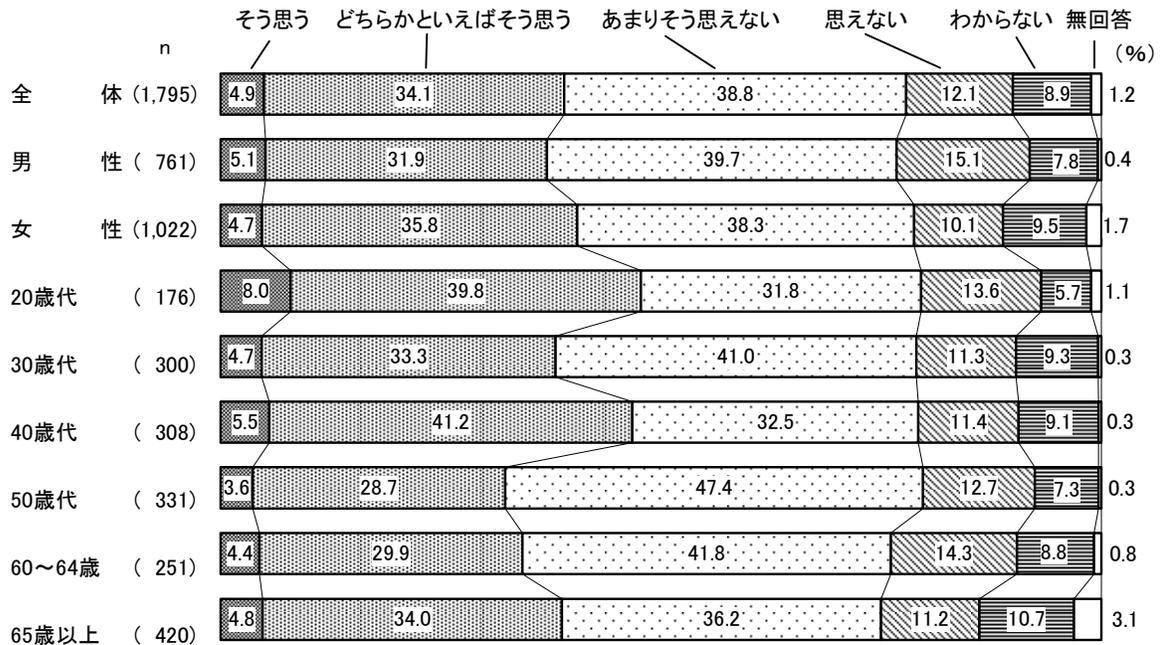
問36 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-19-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱（38.8%）と最も高く、「思えない」（12.1%）と合わせた『思えない』はほぼ5割（50.9%）となっている。一方、「そう思う」（4.9%）と「どちらかといえばそう思う」（34.1%）を合わせた『そう思う』はほぼ4割（39.0%）となっている。（図6-19-1）

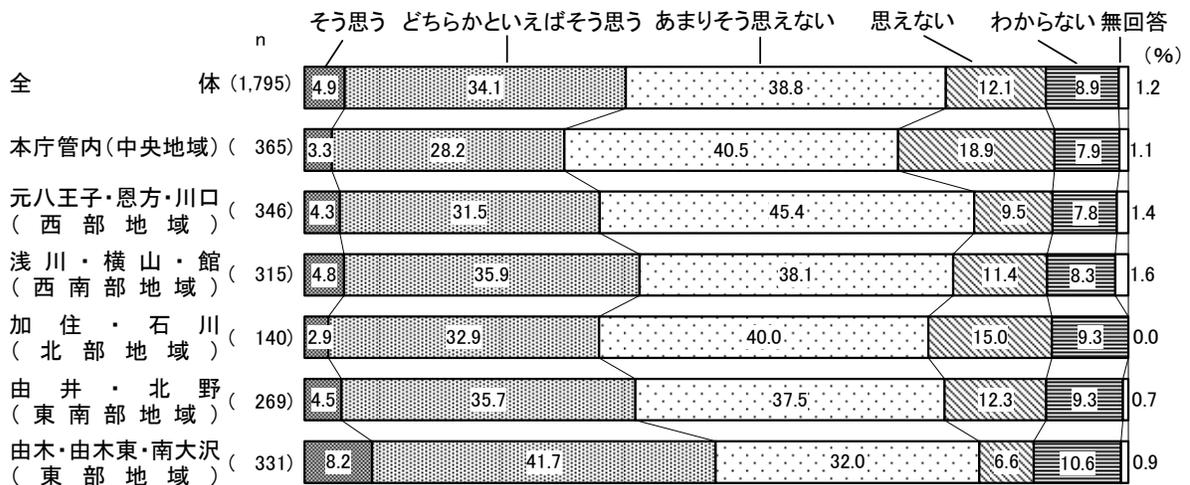
図6-19-2 市は景観に配慮されたまちであるか—性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は50歳代がほぼ6割（60.1%）と高く、『そう思う』は20歳代（47.8%）と40歳代（46.7%）が5割弱と高くなっている。（図6-19-2）

図6-19-3 市は景観に配慮されたまちであるか—居住地域別



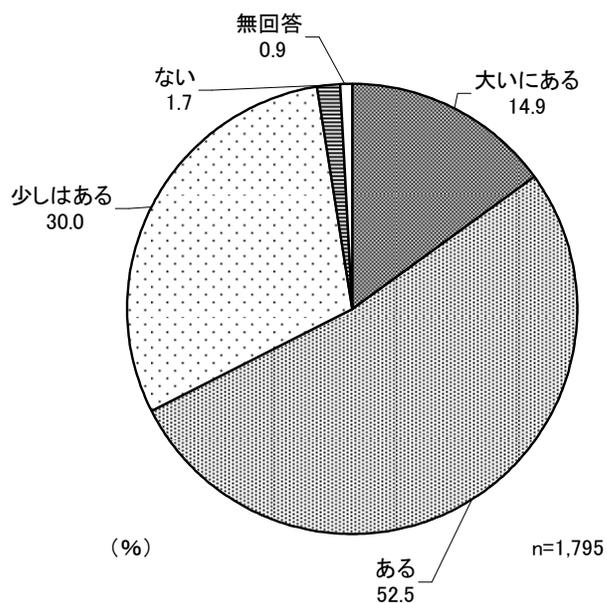
居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）ではほぼ5割（49.9%）と高く、『思えない』は本庁管内（中央地域）ではほぼ6割（59.4%）と高くなっている。（図6-19-3）

6-20 環境問題への関心度

◇『ある』が10割弱、「ない」はわずか1.7%

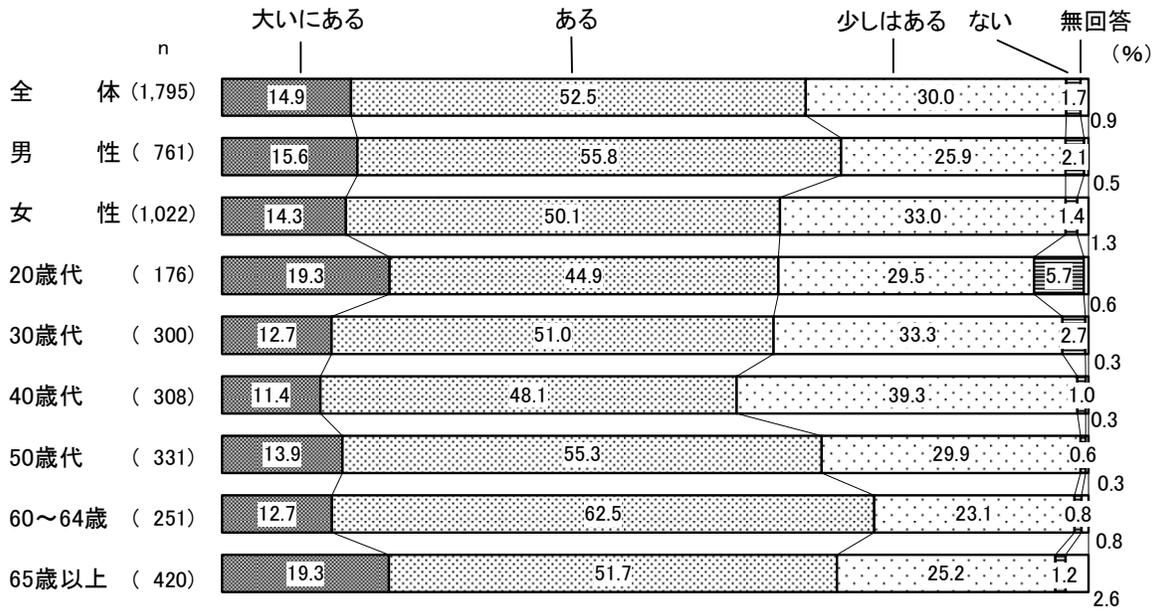
問 37 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図 6-20-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「ある」が5割強 (52.5%)、「少しはある」が3割 (30.0%)、「大いにある」が1割台半ば (14.9%) となっていて、3項目を合わせた『ある』は97.4%と10割弱で非常に高くなっている。一方で「ない」は1.7%となっている。(図 6-20-1)

図6-20-2 環境問題への関心度—性別・年齢別

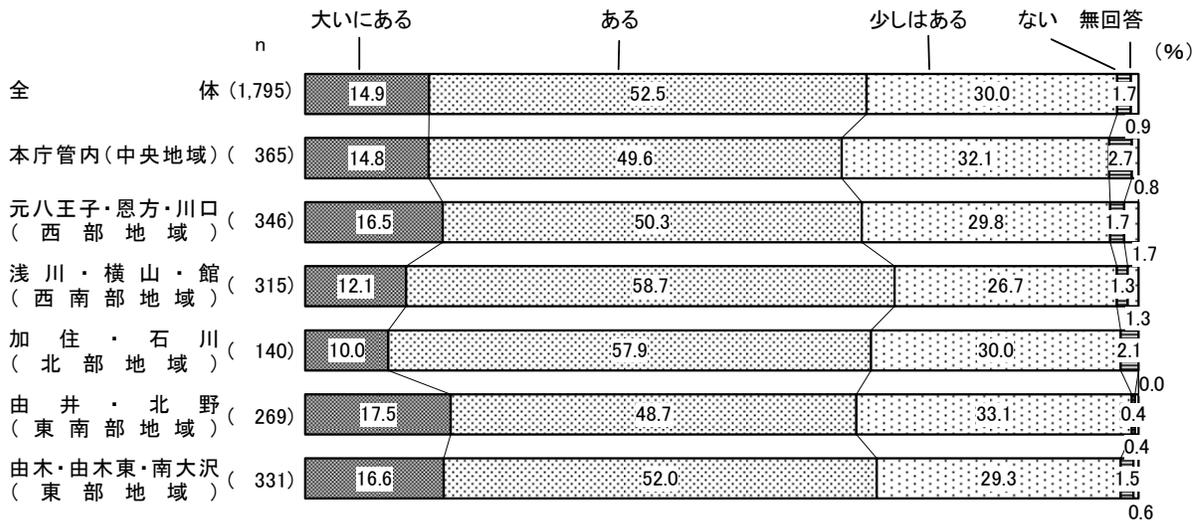


性別にみると、「大いにある」と「ある」の計は男性のほうが7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は60歳以上で7割強と高くなっている。

(図6-20-2)

図6-20-3 市環境問題への関心度—居住地域別



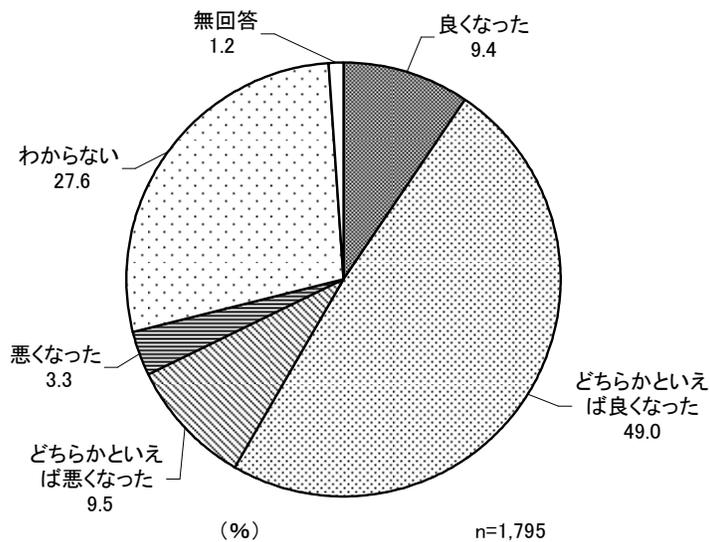
居住地域別にみると、「大いにある」と「ある」の計は、浅川・横山・館(西南部地域)でほぼ7割(70.8%)とやや高くなっている。(図6-20-3)

6-21 市の現在の環境

◇『良くなった』が6割弱

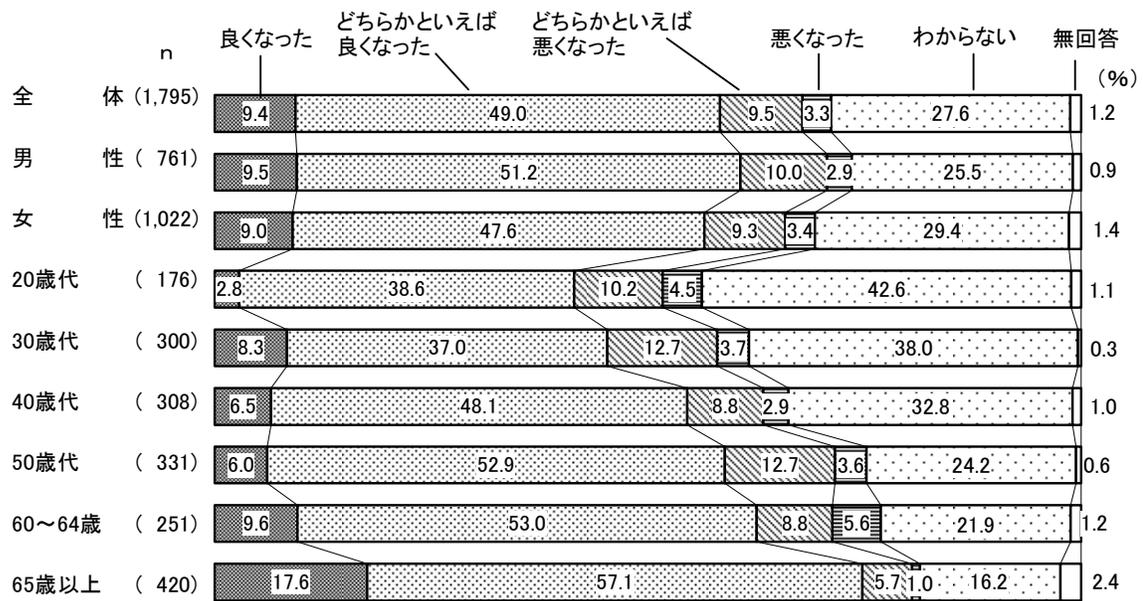
問 38 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。
（○は1つだけ）

図6-21-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（9.4%）と「どちらかといえば良くなった」（49.0%）を合わせた『良くなった』は6割弱（58.4%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（9.5%）と「悪くなった」（3.3%）を合わせた『悪くなった』は1割強（12.8%）となっている。（図6-21-1）

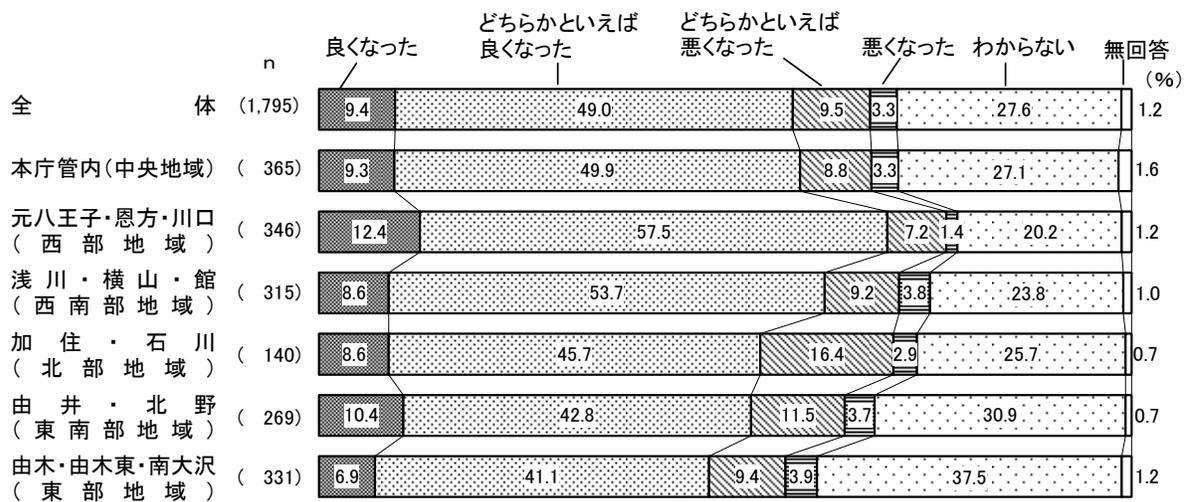
図6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別



性別にみると、『良くなった』は男性のほうが4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられ、特に65歳以上で7割台半ば（74.7%）と高くなっている。（図6-21-2）

図6-21-3 市の現在の環境—居住地域別

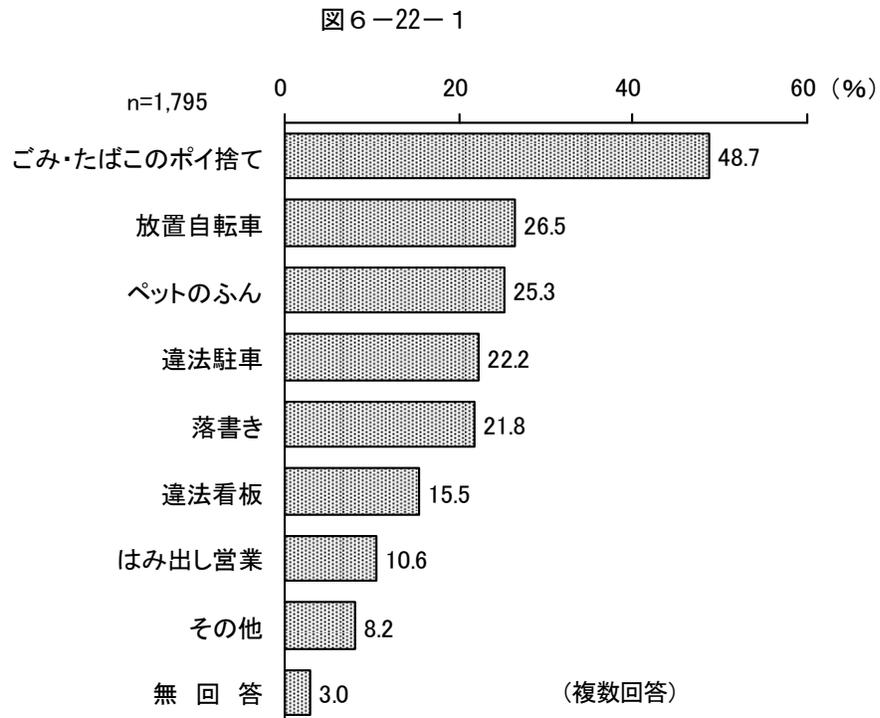


居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）ではほぼ7割（70.1%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で5割弱（48.0%）と最も低くなっている。（図6-21-3）

6-22 都市の美観が損なわれる原因

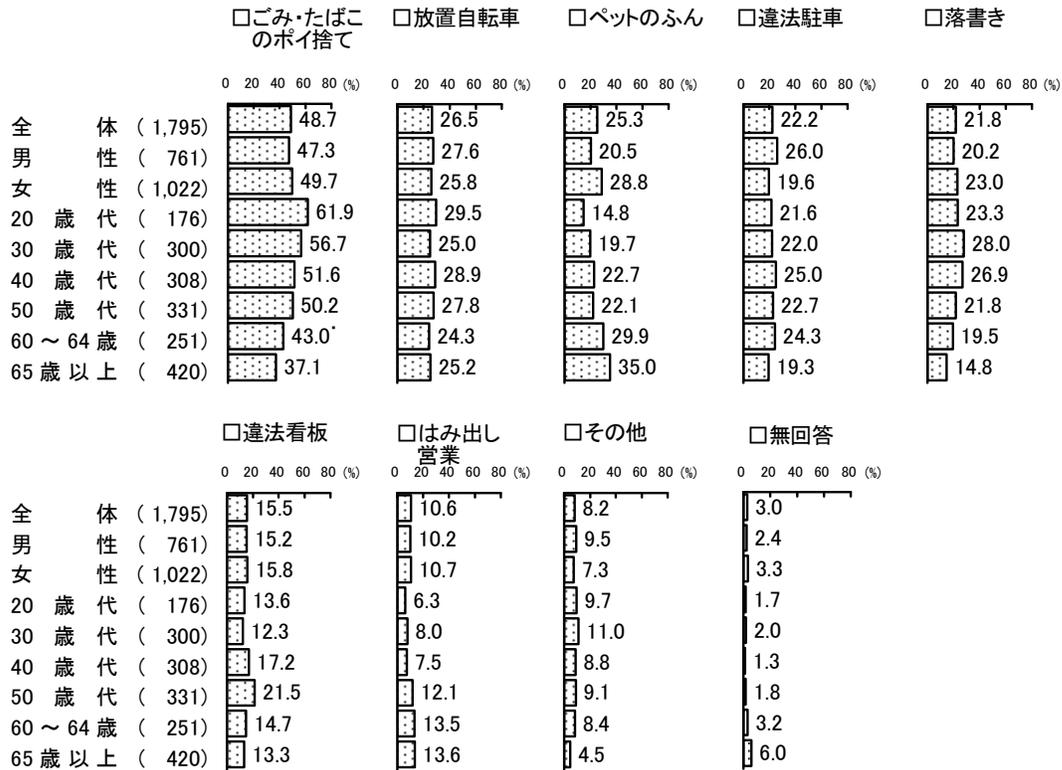
◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱で突出

問 39 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで)



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が5割弱（48.7%）と最も高く、ついで「放置自転車」（26.5%）、「ペットのふん」（25.3%）、「違法駐車」（22.2%）、「落書き」（21.8%）の順が続いている。（図 6-22-1）

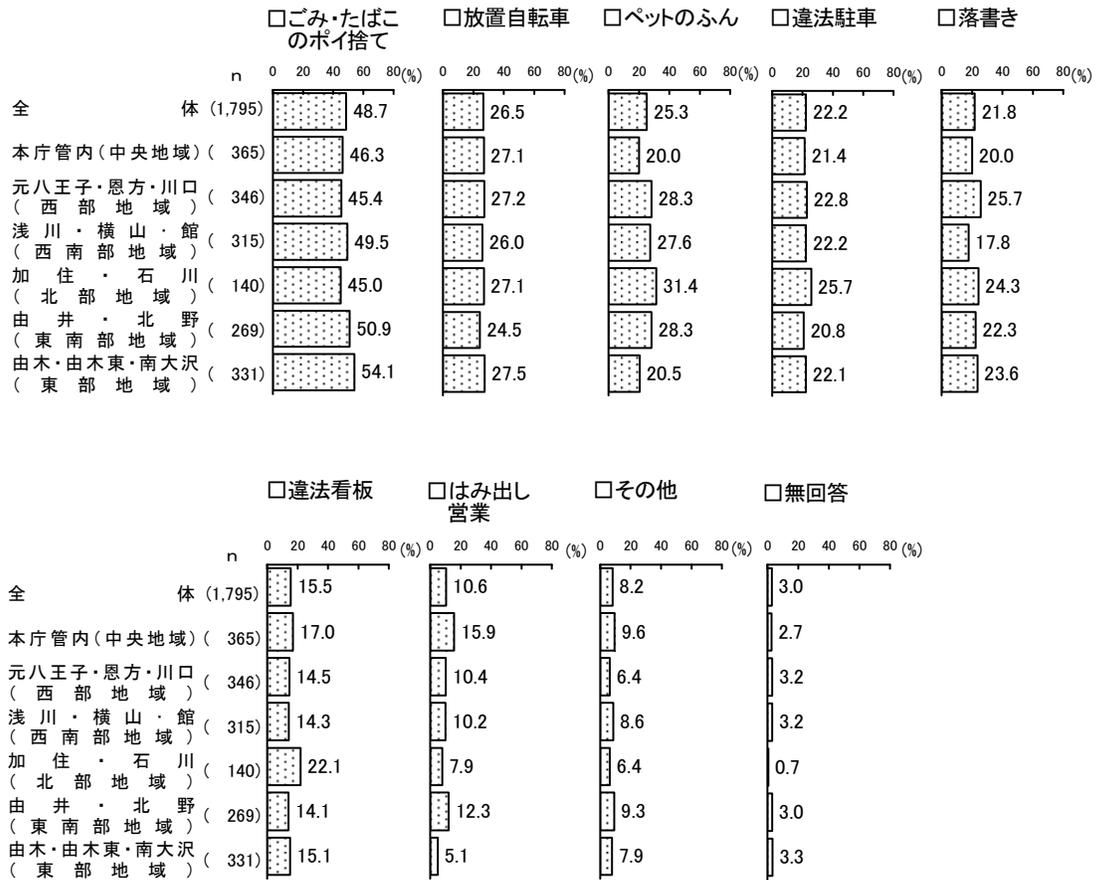
図6-22-2 都市の美観が損なわれる原因—性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが6.4ポイント高く、「ペットのふん」は女性のほうが8.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代では6割強(61.9%)と高くなっている。「ペットのふん」は65歳以上では3割台半ば(35.0%)と高くなっている。(図6-22-2)

図6-22-3 都市の美観が損なわれる原因—居住地域別



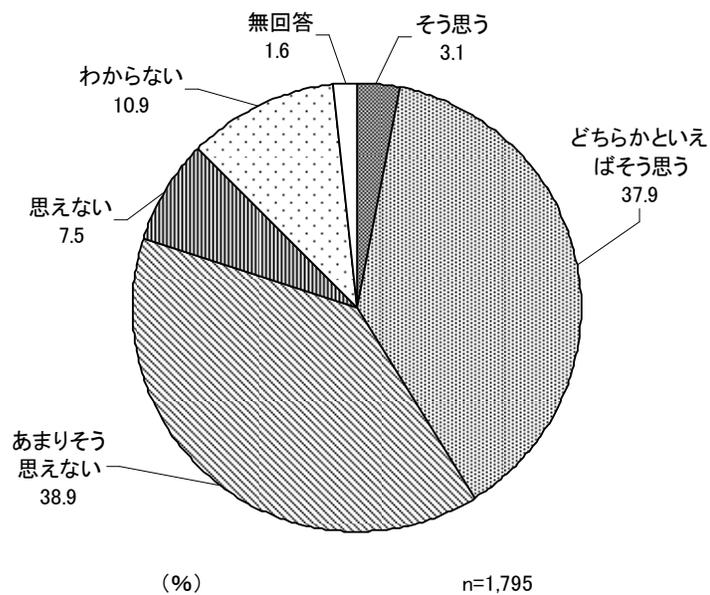
居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で5割台半ば(54.1%)と高く、「ペットのふん」は加住・石川(北部地域)で3割強(31.4%)と高くなっている。(図6-22-3)

6-23 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が5割弱

問 40 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

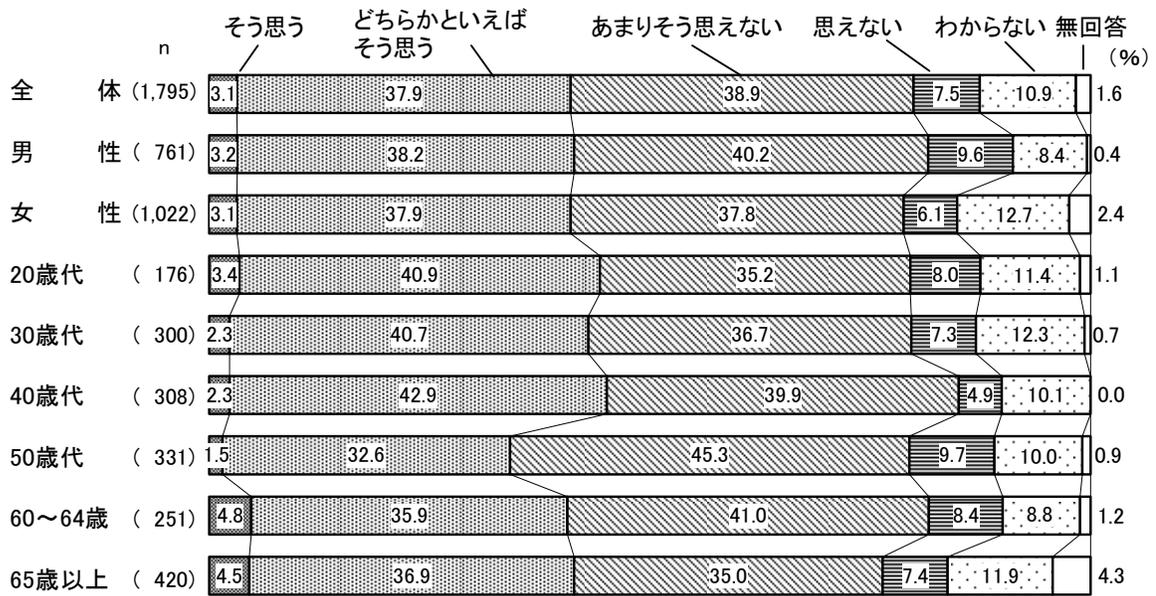
図 6-23-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「あまりそう思えない」(38.9%)と「思えない」(7.5%)を合わせた『思えない』が5割弱(46.4%)となっている。一方、「どちらかといえばそう思う」が4割弱(37.9%)で、「そう思う」(3.1%)と合わせた『そう思う』が4割強(41.0%)となっている。

(図 6-23-1)

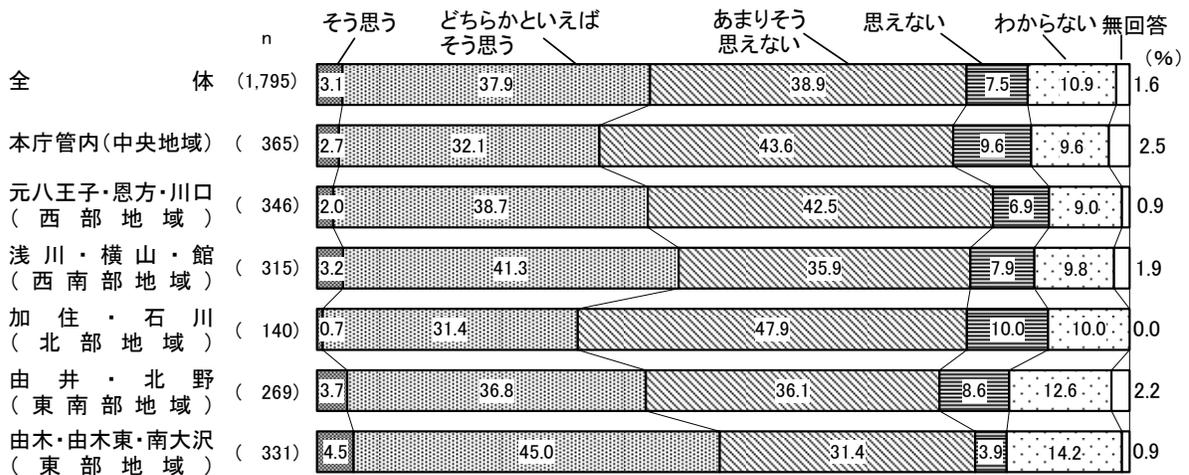
図6-23-2 市は美観が保持されたまちだと思うか—性別・年齢別



性別にみると、『思えない』は、男性のほうが5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『思えない』は50歳代で5割台半ば（55.0%）と高くなっている。（図6-23-2）

図6-23-3 市は美観が保持されたまちだと思うか—居住地域別



居住地域別にみると、『思えない』は加住・石川（北部地域）が6割弱（57.9%）と高くなっている。

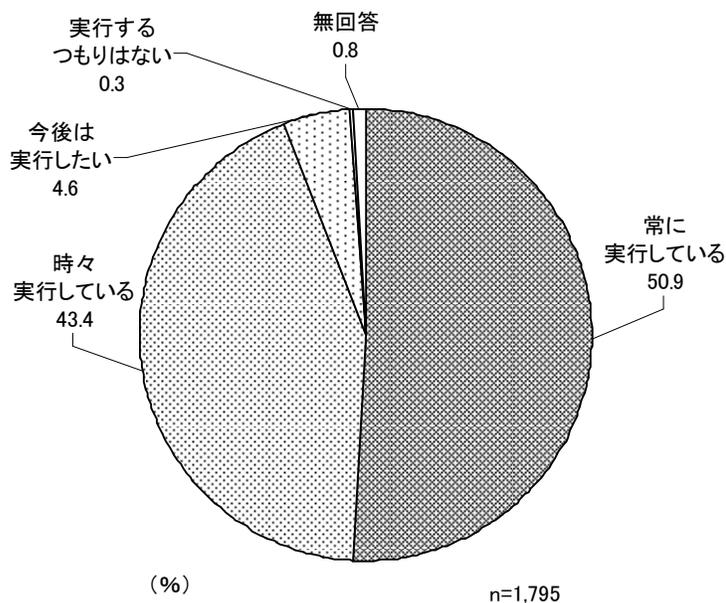
（図6-23-3）

6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割台半ばの大多数

問 41 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

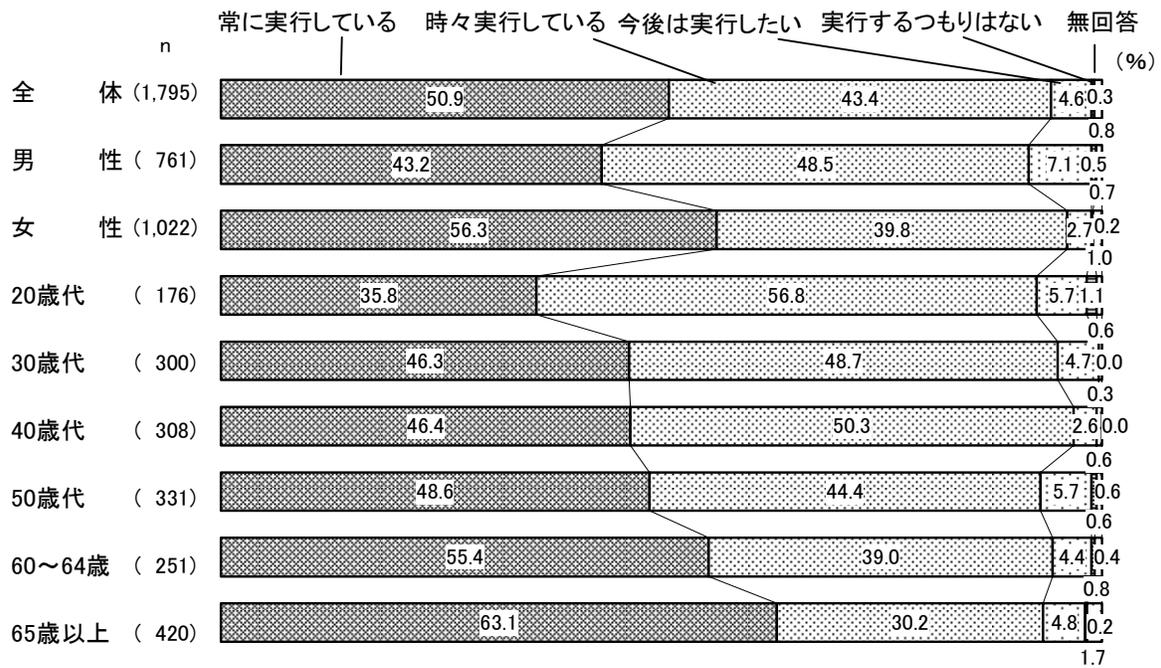
図6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「常に実行している」がほぼ5割 (50.9%)、「時々実行している」が4割強 (43.4%) で、両者を合わせた『実行している』は9割台半ば (94.3%) と高くなっている。

(図6-24-1)

図6-24-2 省エネ・省資源を実行しているか—性別・年齢別



性別にみると、「常に実行している」は女性のほうが13.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「常に実行している」の割合は年齢が高くなるほど増加する傾向がみられ、65歳以上では6割強（63.1%）となっている。（図6-24-2）

Ⅲ 調査票

平成 23 年（第 43 回）八王子市市政世論調査

市政世論調査へのご協力をお願い

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成 23 年 5 月

八王子市長 黒須 隆一

【ご記入にあたってのお願い】

- ご回答は、必ずあて名のご本人がご記入ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
- ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。
 - 回答の○の数は、(○は1つだけ) (○は3つまで) (○はいくつでも) などのように指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にない場合などは、「その他」を選び、「(具体的に)」内にその内容を具体的に記入してください。
 - 質問は、2 ページから順に最後までお答えください。なお、問〇-1 のように、一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。

- ◎ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成 23 年 5 月 30 日(月)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。
※ ご協力いただいた方には、後日、調査結果報告書(概要版)をお送りします。

《お問い合わせ先》 八王子市総合政策部広聴広報室 広聴担当まで
電 話：042-620-7411 (直通)
F a x：042-620-7322
(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時00分)

<あなたご自身について> ～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,795

1	男性	42.4	2	女性	56.9	(無回答)	0.7
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,795

1	20歳代	9.8	2	30歳代	16.7	3	40歳代	17.2
4	50歳代	18.4	5	60～64歳	14.0	6	65歳以上	23.4
							(無回答)	0.5

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,795

1	20～39歳で単身者	14.3	
2	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	3.2	
3	20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	8.7	
4	20～64歳で一番下の子どもが小学生	6.5	
5	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	8.1	
6	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	22.2	
7	40～64歳で単身者	6.9	
8	40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	5.7	
9	65歳以上	23.4	
		(無回答)	1.1

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は1つだけ） n=1,795

1	ひとり暮らし（単身世帯）	9.4	2	夫婦のみ（一世代世帯）	25.0	
3	親と未婚の子ども（二世帯世帯）	50.5	4	親と子ども夫婦（二世帯世帯）	4.6	
5	親と子どもと孫（三世帯世帯）	7.7	6	その他（具体的に）	1.7	
					(無回答)	1.1

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ） n=1,795

1	1人	9.8	2	2人	29.8	3	3人	27.9	4	4人	19.8
5	5人	7.7	6	6人	3.0	7	7人以上	1.1	(無回答)	1.0	

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。（○は1つだけ） n=1,795

1	1年未満	1.9	2	1～3年未満	4.0	3	3～10年未満	12.6
4	10～20年未満	19.1	5	20年以上	40.8	6	生まれてからずっと	20.9
							(無回答)	0.6

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 農・林・漁業	0.4	2 自営業	6.0
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	0.7	4 会社や団体の役員	3.6
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	30.6	6 教員・公務員	4.4
7 アルバイト・パート	15.1	8 (専業)主婦・主夫	20.5
9 学生	2.1	10 その他(具体的に)	0.5
11 無職	15.4	(無回答)	0.7

(F 7で、「1」から「7」とお答えの方に)

▶ F 7-1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,091

1 八王子市内	47.8	2 八王子市外	47.4	(無回答)	4.9
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 一戸建て(持ち家)	62.6	2 分譲マンション	14.4
3 一戸建て(借家)	2.0	4 民間の賃貸アパート・マンション	10.2
5 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	4.7	6 都営・市営住宅	4.5
7 社宅・官舎・寮	0.8	8 その他(具体的に)	0.3
		(無回答)	0.4

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。

(○は1つだけ)

※該当する地区が不明な場合は、()内にお住まいの町名をご記入ください。 n=1,795

1 本庁管内(中央地域)	20.3	2 元八王子地区	10.3
3 恩方地区	3.3	4 川口地区	5.7
5 浅川地区	4.7	6 横山地区	7.9
7 館地区	4.9	8 加住地区	1.8
9 石川地区	6.0	10 由井地区	7.7
11 北野地区	7.3	12 由木地区	6.1
13 由木東地区	3.9	14 南大沢地区	8.4
15 不明(お住まいの町名)	0.2	(無回答)	1.4

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 入っている	76.4	2 入っていない	22.2	(無回答)	1.4
---------	------	----------	------	-------	-----

<定住意向>

問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 ずっと住み続けたい	45.5	2 当分は住み続けたい	45.2
3 市外へ移りたい	8.0	(無回答)	1.4

(問1で「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

▶ 問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで) n=1,627

1 緑が多く自然に恵まれている	59.0	2 交通の便が良い	33.4
3 買い物に便利	29.0	4 地域住民の連帯感が強い	8.1
5 教育環境が良い	4.1	6 古き良きものが多い	4.1
7 街並み・景観が美しい	11.6	8 公園などがよく整備されている	9.8
9 その他(具体的に)	13.3	10 特に理由はない	15.7
		(無回答)	2.6

(問1で「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

▶ 問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで) n=143

1 自然環境が悪い	5.6	2 交通の便が悪い	44.8
3 買い物に不便	29.4	4 隣近所となじめない	7.7
5 この街に愛着がない	23.1	6 住宅事情が悪い	6.3
7 公害が多い	4.2	8 街の雰囲気が嫌い	23.1
9 その他(具体的に)	40.6	10 特に理由はない	4.2
		(無回答)	1.4

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ) n=1,795

項目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
(1) 日当たりや風通し	54.9	15.4	19.4	7.2	2.3	0.8
(2) 大気汚染	23.3	15.3	46.8	9.8	3.0	1.8
(3) 騒音・振動	25.0	17.1	32.4	17.8	6.6	1.1
(4) 災害時の安全性	17.4	18.3	50.2	9.2	2.8	2.0
(5) 下水・排水	35.2	15.7	42.4	4.4	1.7	0.7
(6) し尿処理	39.1	13.2	43.4	1.5	0.9	1.9
(7) ごみ処理	35.2	19.8	38.2	4.8	1.1	0.9
(8) 防犯や風紀	16.0	19.1	48.2	12.3	3.5	0.9
(9) 病院などの医療施設	12.7	20.1	45.3	16.6	4.3	0.9
(10) 集会施設	12.5	13.8	59.8	9.6	2.5	1.7
(11) 公園・遊び場	15.9	21.2	43.7	13.0	5.2	1.0
(12) 道路の整備状況	17.7	20.5	42.7	12.3	5.2	1.6
(13) 緑の豊かさ	42.8	27.7	24.2	3.5	0.9	1.0
(14) 交通の便	20.6	23.2	29.1	16.6	9.4	1.1
(15) 交通の安全性	13.1	17.1	49.9	14.9	3.8	1.2
(16) 全体としての「住みやすさ」	18.1	35.4	38.3	6.2	1.1	0.9

＜市政への要望＞

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

1	2	3

n=1,795

1	財政の健全化	28.2	2	行財政改革	9.5
3	学校教育	12.0	4	青少年の健全育成	4.8
5	生涯学習	4.3	6	文化施設・文化事業	4.9
7	国際化の推進	1.6	8	コミュニティづくり	2.7
9	学園都市づくり	0.9	10	男女共同参画社会づくり	0.4
11	保健医療	26.9	12	介護保険	12.8
13	社会福祉（ひとり親、低所得者）	12.5	14	高齢者福祉	33.5
15	障害者福祉	4.8	16	少子化対策・子育て支援	15.7
17	消費者保護	3.0	18	住宅対策	2.8
19	交通安全対策	5.3	20	防犯対策	15.2
21	防災対策	12.9	22	高度情報化社会への対応	1.9
23	商・工業などの地域経済対策	13.3	24	道路整備	7.8
25	交通機関・駐車場の整備	7.3	26	緑の保全や公園の整備	12.0
27	下水道処理	0.7	28	都市整備事業	5.7
29	清掃事業 （ごみ、し尿処理、リサイクル）	3.2		（再開発、区画整理等）	
			30	公害防止対策	2.8
31	都市景観	2.9	32	観光・レクリエーション	4.3
33	不法投棄・放置対策 （自動車、自転車、バイク、ごみ等）	6.5	34	その他（具体的に）	4.4
35	特にない	0.9		（無回答）	1.3

＜情報の入手方法とこれからの広報媒体について＞

本市が月2回（1日号、15日号）発行している「広報はちおうじ」は、昨年10月15日号からシルバー人材センターを活用し、市内のご家庭へ直接配布しています。市民の皆さんが必要とする情報を的確にお届けするとともに、親しみをもってお読みいただける広報紙づくりを目指しています。

また、情報発信のさらなる充実化のため、インターネットなどの今後の広報媒体について、市民の皆さんの意向を調査したいと考えています。

問4 あなたは、「市政に関する情報」をどのように入手していますか。(〇はいくつでも) n=1,795

1 市の広報紙(広報はちおうじ)	93.9	2 市のホームページ	18.9
3 市の携帯版ホームページ	2.5	4 市で作成したパンフレット・ポスターなど	8.3
5 新聞・テレビなどのマスメディア	18.2	6 ケーブルテレビ番組	10.6
7 町会・自治会の回覧物・掲示物	35.1	8 地域のミニコミ紙・フリーペーパーなど	5.7
9 その都度、市の担当課へ問い合わせる	1.9	10 情報を得る手段がない	0.7
11 メール配信サービス	3.9	12 その他(具体的に)	0.9
		(無回答)	0.4

(問4で「1 市の広報紙(広報はちおうじ)」とお答えの方に)

→問4-1 あなたは、市の広報紙をどの程度読んでいますか。(〇は1つだけ) n=1,685

1 よく読んでいる	22.8	2 一通り目を通す	53.1
3 たまに読んでいる	19.6	4 ほとんど読まない	3.2
5 まったく読まない	0.9	(無回答)	0.2

(問4-1で「1 よく読んでいる」「2 一通り目を通す」「3 たまに読んでいる」のいずれかをお答えの方に)

→問4-1-1 「広報はちおうじ」の紙面は、特集や情報ファイル、ひろばなど複数のコーナーで構成しています。紙面の中で、主に読む部分を教えてください。(〇はいくつでも)

n=1,611

1 特集(1日号の1面~3面、または5面)	53.3	2 一般のお知らせ(市政情報)	64.2
3 一般のお知らせ(催し)	56.2	4 広聴のコーナー「みんなの声」	20.9
5 情報ファイル	19.6	6 救急診療	46.7
7 相談カレンダー	5.9	8 ひろば(サークルや市民活動情報)	29.4
9 コラム	9.6	(無回答)	2.2
(1日号「ピーポ君の安全・安心アドバイス」、 15日号「フォーカスはちおうじ人」)			

(問4-1で「4 ほとんど読まない」あるいは「5 まったく読まない」とお答えの方に)

→問4-1-2 「広報はちおうじ」を読まない理由をお教えてください。(〇はいくつでも) n=70

1 文字ばかりが多いから	4.3	2 行政情報のお知らせばかりでつまらないから	14.3
3 読みたい情報を探しにくいから	15.7	4 求める情報が載っていないから	27.1
5 2色刷りで味気がないから	10.0	6 時間がないから	48.6
7 その他(具体的に)	12.9	(無回答)	5.7

(問4-1で「4 ほとんど読まない」あるいは「5 まったく読まない」とお答えの方に)

→問4-1-3 どういった広報であれば、お読みいただけますか。以下の欄に自由にお書きください。

問5 「広報はちおうじ」の中で、今後どのような記事を充実させていくべきですか。(〇はいくつでも) n=1,795

1	健康・福祉などの情報	61.7	2	子育てに関する情報	21.4
3	防災や安全に関する情報	53.4	4	財政状況に関する情報	29.6
5	環境・衛生問題に関する情報	27.4	6	生涯学習に関する情報	18.4
7	教育に関する情報	17.1	8	税に関する情報	26.7
9	観光・産業振興に関する情報	20.1	10	まちづくりに関する情報	34.0
11	「まちの話題」などの地域のニュース	29.6	12	その他(具体的に)	2.6
				(無回答)	2.2

問6 「広報はちおうじ」は、昨年の10月15日号から、新聞折り込みではなく、各ご家庭へ直接配布する方法へ変更しました。配布方法の変更前の入手方法を教えてください。(〇はいくつでも) n=1,795

1	新聞折り込み	75.9	2	公共施設での入手	11.3
3	郵便局、信用金庫、コンビニエンスストアなどでの入手	4.4	4	その他(具体的に)	2.4
			5	読んでいない	11.5
				(無回答)	1.9

問7 「市政に関する情報」を発信する方法として、広報紙以外で今後どのような方法に力を入れるべきだとお考えですか。(〇はいくつでも) n=1,795

1	市のホームページ	42.4	2	市の携帯版ホームページ	10.4
3	メールによる情報配信	13.3	4	市で作成する映像情報(ホームページなどで公開)	5.3
5	市で作成したパンフレットポスターなど	17.7	6	新聞・テレビなどのマスメディア	20.8
7	ケーブルテレビ番組	14.3	8	町会・自治会の回覧物・掲示物	36.3
9	地域のミニコミ紙・フリーペーパーなど	16.9	10	ツイッター	5.2
11	その他(具体的に)	1.4	12	特になし	8.6
				(無回答)	2.6

問8 ホームページでの情報発信を充実化することで、紙面に限りのある広報紙での詳細な説明は省略してもよいと思われる情報を教えてください。(〇はいくつでも) n=1,795

1	企業が対象となる情報	38.3	2	納税通知など個人への案内が發送される情報	23.1
3	市の財政状況や職員の給与などに関する情報	14.0	4	環境・衛生問題に関する情報	3.7
5	市の方針や事業計画に関する情報	6.7	6	市の事業の進捗状況や実施後の報告	7.6
7	行事や催しの情報	6.7	8	市民のサークル活動などに関する情報	15.2
9	その他(具体的に)	0.7	10	なし	26.2
				(無回答)	10.9

問9 あなたは、市のホームページがあることを知っていますか。(〇は1つだけ) n=1,795

1	知っており、利用したことがある	40.8	2	知っているが、利用したことはない	43.0
3	知らない(9ページの間11へ)	14.5		(無回答)	1.7

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

問9-1 あなたは、市のホームページに満足していますか。(〇は1つだけ) n=732

1	満足している	3.7	2	ほぼ満足している	35.1	3	どちらでもない	40.4
4	あまり満足していない	14.1	5	満足していない	2.9		(無回答)	3.8

(8ページの間9-2へ)

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

▶問9-2 あなたは、市のホームページでどのような情報を充実して欲しいですか。

(〇はいくつでも) n=732

1	市役所での手続きに関する情報	56.6	2	市からの最新情報・フォトニュース	19.9
3	動画での情報発信	3.8	4	観光・イベント情報	23.8
5	施設に関する情報	38.0	6	子育て・教育に関する情報	27.9
7	保健衛生・医療・健康に関する情報	33.6	8	高齢・障害・福祉に関する情報	19.4
9	ごみ・環境・交通に関する情報	29.9	10	国保・年金・税に関する情報	27.0
11	産業・仕事に関する情報	10.8	12	防災・緊急情報	40.4
13	よくある質問	7.1	14	市の施策・計画に関する情報	15.2
15	その他(具体的に)	3.4		(無回答)	2.7

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

▶問9-3 市のホームページの内容はわかりやすいですか。(〇は1つだけ)

n=732

1	非常にわかりやすい	1.6	2	わかりやすい	33.1	3	どちらでもない	48.1
4	わかりにくい	13.5	5	非常にわかりにくい	1.6		(無回答)	2.0

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

▶問9-4 ホームページから欲しい情報は探しやすいですか。(〇は1つだけ)

n=732

1	非常に探しやすい	1.2	2	探しやすい	27.7	3	どちらでもない	44.3
4	探しにくい	21.9	5	非常に探しにくい	2.2		(無回答)	2.7

(問9で「1 知っており、利用したことがある」とお答えの方に)

▶問9-5 市政に関する情報をホームページから得ている方に伺います。市の公式ホームページをどの程度利用しますか。(〇は1つだけ)

n=732

1	毎日	0.7	2	週に数回	4.8	3	月に数回	29.8	4	年に数回	60.5	(無回答)	4.2
---	----	-----	---	------	-----	---	------	------	---	------	------	-------	-----

(問9-5で「1 毎日」「2 週に数回」「3 月に数回」とお答えの方に)

▶問9-5-1 よく見る情報はどこですか。(〇はいくつでも)

n=258

1	暮らしの情報	39.5	2	トピックス	13.2	3	フォトニュース	3.1
4	動画(はちおうじ映像ライブラリー)	3.1	5	救急診療・防犯情報・防災情報、防災マップ	46.1	6	市議会	5.0
7	オンラインサービス(施設予約・電子申請)	13.2	8	施設案内	39.5	9	観光・文化(地域ポータルサイト「ハチポ」)	11.2
10	イベント情報	23.6	11	市政情報	13.6	12	事業者の方へ	2.3
13	よくある質問	2.3	14	その他(具体的に)	5.4		(無回答)	4.7

(問9-5で「4 年に数回」とお答えの方に)

▶問9-5-2 見ない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n=443

1	求める情報がない	36.8	2	レイアウトが見にくい	6.3
3	情報が探しづらい	16.9	4	広報等他の媒体から情報を得ている	36.8
5	その他(具体的に)	20.1		(無回答)	1.1

(問9で「2 知っているが、利用したことがない」とお答えの方に)

問10 あなたが、市のホームページを利用したことがないのは、どのような理由からですか。
(○はいくつでも) n=771

1 広報紙から情報を得ているから	46.7	2 市の携帯版ホームページを利用しているから	1.9
3 パソコンを所持していないから	25.4	4 インターネットに接続する環境がないから	13.1
5 特に調べたい情報がないから	37.5	6 その他(具体的に)	4.8
		(無回答)	2.5

問11 あなたは、市がメール配信サービスを提供していることを知っていますか。(○は1つだけ)
n=1,795

1 知っており、登録している	10.8	2 知っているが、登録していない	24.3
3 登録していたが、解除した	0.8	4 知らない	58.9
		(無回答)	5.2

(問11で「2 知っているが、登録していない」とお答えの方に)

問11-1 あなたが、市のメール配信サービスを利用していないのは、どのような理由からですか。
(○はいくつでも) n=436

1 登録したい情報がないから	40.4	2 登録の仕方がわからないから	18.6
3 メールアドレスを所持していないから	7.6	4 パソコンや携帯電話を持っていないから	13.3
5 インターネットに接続する環境がないから	11.9	6 その他(具体的に)	21.6
		(無回答)	2.1

問12 あなたは、市のメール配信サービスでどのメニューを利用していますか、又は利用したいですか。
(○はいくつでも) n=1,795

1 市長メールマガジン	6.2	2 犯罪・不審者情報	31.0
3 防災情報	41.3	4 外国語による休日医療機関・イベント情報	2.2
		(無回答)	47.4

問13 メール配信で必要だと思う情報を教えてください。(○はいくつでも) n=1,795

1 市政情報	18.2	2 イベント情報	29.5
3 講座情報	10.8	4 観光情報	11.8
5 子育て・福祉	15.3	6 その他(具体的に)	4.6
7 特になし	22.5	(無回答)	28.0

問14 あなたは、行政の情報以外で知りたい八王子市の情報はありますか。(○はいくつでも) n=1,795

1 ニュース	29.4	2 ショッピング・グルメ	32.6
3 観光・イベント	32.4	4 趣味・スポーツ	27.0
5 病院・健康	45.7	6 産業・ビジネス	9.9
7 住まい・不動産	7.0	8 その他(具体的に)	1.5
9 特になし	13.1	(無回答)	13.5

〈公共交通〉

市では市民の日常生活・交通環境等の実情を把握し、地域にあった公共交通の充実を図るため、公共交通体系のあり方を検討しております。

この調査で市民の皆さんの考えをお聞きし、今後の基礎資料として活用させていただきます。

問15 あなたは日常、主にどのような交通手段を利用していますか。(○は2つまで) n=1,795

1 電車	48.1	2 バス	32.2
3 自動車(ご自分で運転)	44.3	4 自動車(ご自分以外の方の運転)	8.0
5 原付・バイク	4.7	6 自転車	18.7
7 タクシー	1.2	8 徒歩	13.5
9 その他(具体的に)	0.0	(無回答)	0.2

(問15で「1 電車」とお答えの方に)

▶問15-1 駅までは主にどのような交通手段を利用していますか。(○は1つだけ) n=864

1 バス	24.4	2 自動車(ご自分で運転)	0.6
3 自動車(ご自分以外の方の運転)	2.2	4 原付・バイク	1.7
5 自転車	9.0	6 タクシー	0.1
7 徒歩	48.1	8 その他(具体的に)	0.0
		(無回答)	13.8

(問15で「1 電車」または「2 バス」とお答えの方に)

▶問15-2 あなたが交通手段として電車、バスなどの公共交通を利用する理由は何ですか。(○は2つまで) n=1,133

1 駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから	51.2	2 公共交通の方が経済的だから	15.4
3 渋滞がなく時間が計算できるから	16.4	4 自動車での通勤・通学等を禁止されているから	4.9
5 環境に優しいから	4.0	6 運転などに気を使わないから	7.1
7 他に交通手段がないから	22.9	8 その他(具体的に)	2.7
		(無回答)	16.5

(問15で「1 電車」または「2 バス」とお答えの方に)

▶問15-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離はどれくらいですか。(○は1つだけ) n=1,133

1 100m未満	12.6	2 100m～200m未満	13.8
3 200m～300m未満	12.9	4 300m～400m未満	8.3
5 400m～500m未満	12.0	6 500m～1km未満	18.4
7 1km～2km未満	10.9	8 2km以上	3.8
		(無回答)	7.3

(問15で「3 自動車(ご自分で運転)」とお答えの方に)

▶問15-4 あなたが交通手段として自動車を利用する理由は何ですか。(○は2つまで) n=796

1 自動車の方が早いから	56.0	2 自動車の方が経済的だから	5.9
3 通勤・通学以外にも自動車を使うから	15.6	4 駅やバス停が近くにないから	10.2
5 公共交通は時間が縛られるから	17.1	6 荷物等を運ぶ必要があるから	45.4
7 その他(具体的に)	11.7	(無回答)	1.8

問16 あなたは日常、主にどのような目的で交通手段を利用していますか。(○は2つまで) n=1,795

1 通勤・通学	38.9	2 通院	16.9
3 買い物	53.5	4 趣味・娯楽	18.0
5 公共施設(役所、金融機関等)の利用	10.2	6 福祉施設の利用	0.7
7 その他(具体的に)	1.9	(無回答)	19.6

問17 あなたは、交通手段を利用する場合、不満を感じたことはありますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 いつも感じている	18.1	2 時々感じている	38.9
3 あまり感じない	32.3	4 満足している	6.7
		(無回答)	4.0

(問17で「1 いつも感じている」あるいは「2 時々感じている」とお答えの方に)

→問17-1 交通手段利用時に不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで) n=1,023

1 駅・バス停が遠い	20.2	2 電車・バスの本数が少ない	30.0
3 電車・バスが時間通りに運行されない	18.1	4 電車・バスの最終ダイヤが早い	12.3
5 バス路線のルートが悪い	11.6	6 運賃が経済的でないから	20.4
7 道路が混雑している	18.7	8 道路が狭い	8.5
9 道路の安全性が劣っている	4.7	10 駐車場が少ない	8.5
11 駐輪場が少ない	9.7	12 その他(具体的に)	8.7
		(無回答)	1.7

(問17で「3 あまり感じない」あるいは「4 満足している」とお答えの方に)

→問17-2 交通手段利用時に不満を感じない理由は何ですか。(○は2つまで) n=701

1 駅・バス停が近い	66.9	2 電車・バスの運行本数が充実している	42.5
3 運賃が経済的だから	10.0	4 道路網が充実している	8.1
5 渋滞が少ない	12.8	6 その他(具体的に)	5.7
		(無回答)	2.9

問18 あなたが、今後の交通環境の整備に期待することは何ですか。(○は2つまで) n=1,795

1 バスの定時性確保	13.1	2 バスの運行時間の拡大	18.2
3 バス路線の見直し	17.1	4 バス停上屋・ベンチなど待合施設の整備	9.1
5 歩道及び歩行者道の整備	23.7	6 コミュニティ交通(住民が主体と なって運営する交通手段)の充実	4.8
7 自転車利用環境の整備	29.2	8 幹線道路の整備	6.7
9 生活道路の整備	11.0	10 鉄道と道路の立体交差	12.7
11 その他(具体的に)	5.8	(無回答)	8.5

問19 その他にも今後の交通環境の整備についてご意見がございましたらご記入ください。

< 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度 >

この章は、八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

問20 あなたの現在の生きがいほどのようなことですか。（〇はいくつでも） n=1,795

1	仕事	29.6	2	ボランティアや地域での活動	6.4
3	スポーツやレクリエーション	19.5	4	学習や習い事	11.2
5	音楽や映画などの鑑賞	22.5	6	旅行	33.2
7	趣味	44.4	8	家族とのふれあい	48.7
9	近所付き合い	6.2	10	友人との交際	39.4
11	その他（具体的に)	2.5	12	特にない	6.9
				（無回答）	1.0

問21 あなたがこの1年間に取り組んだ生涯学習活動はどれですか。（〇はいくつでも） n=1,795

1	趣味的なもの（音楽、美術、写真、華道、舞踊、書道など）	27.5
2	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、時事問題など）	14.3
3	健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギング、水泳など）	32.1
4	家庭生活に役立つ技術（料理、洋裁、編物、日曜大工など）	10.9
5	育児・教育（育児、家庭教育、教育問題など）	7.9
6	仕事に必要な知識や技能、資格の取得	13.7
7	パソコンやインターネットに関すること	13.3
8	社会問題・市民生活に関するもの（少子高齢化、情報化、環境、介護、国際交流など）	3.2
9	社会貢献活動（町内会などの地域活動、ボランティア、NPO、市民活動など）	9.0
10	学校の正規課程での学習	1.8
11	その他（具体的に)	0.8
12	特に学習していない	29.0
	（無回答）	2.7

問22 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。

（鑑（観）賞も含みます）（〇は1つだけ）

n=1,795

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、メディア芸術（デジタルアート、アニメ・マンガ、ゲームなど）、伝統芸能（山車、歌舞伎、落語など）、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財（寺社・仏閣・史跡なども含む）などです。

1	週に1回以上	11.8	2	月に1～3回	15.5
3	3ヶ月に1～2回	13.4	4	半年に1～2回	16.9
5	年1回	4.8	6	特にしていない	32.4
				（無回答）	5.1

問23 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数ほどのくらいですか。複数のスポーツを行っている場合は、その合計数をお答えください。(○は1つだけ) n=1,795

スポーツの種類は、▼屋内で行う球技(卓球、バレーボール、バドミントン、バスケットボールなど)▼屋内で行う健康体操(エアロビクス、ヨガなどを含む)▼ダンスなどの屋内レクリエーションスポーツ▼体操競技▼武道▼器具を使ったトレーニング▼屋外で行う球技(野球、サッカー、テニス、ゴルフなど)▼陸上競技▼ジョギング、サイクリング、ウォーキングなど▼登山やハイキングなどの野外活動▼ゲートボールやグラウンドゴルフなどの屋外レクリエーションスポーツ▼スキー、スノーボード、スケート▼サーフィンやダイビングなどのマリンスポーツ▼エクストリーム・スポーツ(スケートボード、インラインスケート、BMXなど)▼水泳など▼その他のスポーツ などです。

1	ほぼ毎日	4.6	2	週に3～5回程度	8.6	3	週に1～2回程度	17.5
4	月に1～3回程度	13.5	5	年に数回	14.9	6	スポーツはほとんどしなかった	37.4
							(無回答)	3.5

問24 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。(○はいくつでも) n=1,795

1	適度な運動	51.6	2	適度な休養	32.7
3	食事などの栄養バランス	49.4	4	各種定期健診の受診	31.8
5	趣味などの生きがいづくり	26.5	6	その他(具体的に)	1.7
7	特に何もしていない	13.3		(無回答)	1.3

問25 あなたは、「かかりつけ医」を決めていますか。(○は1つだけ) n=1,795

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者や医療機関のことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査や治療が必要かどうかの判断、紹介などをしてくれます。

1	決めている	56.0	2	決めていない	43.3	(無回答)	0.7
---	-------	------	---	--------	------	-------	-----

問26 あなたは、この1年間に地域の中でボランティア活動(清掃や防犯・防災活動、学校教育や地域スポーツ活動への支援・協力など)や行事(町内会等の地域のイベント・お祭りなど)に参加したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,795

1	ボランティアと行事の両方に参加したことがある	11.6	2	ボランティアには参加したことがある	6.1
			4	どちらにも参加したことがない	54.3
3	行事には参加したことがある	26.4		(無回答)	1.6

問27 あなたは、市が市民協働のまちづくりを進めていると感じますか。(○は1つだけ) n=1,795

市では、市民参加条例に基づいて、計画・条例等の立案過程でのパブリックコメント(意見公募)の実施、各種審議会の市民委員の公募、アンケート調査の実施など、市政への市民参加機会の充実に努めています。この取り組みを通じて、市民の皆さんと行政が、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むまちを目指しています。

1	そう思う	5.9	2	どちらかというと思う	21.2	3	あまりそう思えない	20.8
4	思えない	5.9	5	わからない	43.8		(無回答)	2.3

問28 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(○はいくつでも) n=1,795

1 食料 (缶詰・レトルト食品など)・飲料水	60.7	2 医薬品	23.0
3 携帯電話・ラジオ・テレビなど 情報を得るもの	70.9	4 懐中電灯・電池	84.1
5 消火器	24.1	6 貴重品類等非常持出品	22.5
7 衣類・毛布・タオル	19.4	8 防災頭巾、ヘルメットなど身を守るもの	10.5
9 その他 (具体的に)	1.7	10 何もしていない (無回答)	7.7 0.6

問29 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 安全である	7.6	2 おおむね安全である	43.2	3 普通である	38.2
4 危険なことがある	8.1	5 危険である	1.9	(無回答)	1.1

問30 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 ある	79.3	2 ない	19.7	(無回答)	1.1
------	------	------	------	-------	-----

(問30で「1 ある」とお答えの方に)

▶問30-1 あなたは、市の窓口サービス(接客度や提供内容、処理時間など)に満足していますか。
(○は1つだけ) n=1,423

1 満足している	18.1	2 ほぼ満足している	62.4	3 あまり満足していない	11.1
4 満足していない	4.1	5 わからない	3.9	(無回答)	0.3

問31 市では、市民生活を支援するため、下記のような様々な暮らしの相談を行っています。あなたは、市の相談の機会が充実していると思いますか。(○は1つだけ) n=1,795

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

1 そう思う	10.2	2 どちらかといえばそう思う	44.6	3 あまりそう思えない	16.5
4 思えない	2.8	5 わからない	22.2	(無回答)	3.6

(問31で「5 わからない」とお答えの方に)

▶問31-1 わからないことはどのような点ですか。以下の欄にご自由にお書きください。

問 32 あなたは、上記のような市の暮らしの相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,795

1	ある	20.9	2	ない	77.2	(無回答)	1.9
---	----	------	---	----	------	-------	-----

(問 32 で「1 ある」とお答えの方に)

▶問32-1 市の暮らしの相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ) n=375

1	満足した	17.3	2	ほぼ満足した	51.7	3	あまり満足できなかった	19.5
4	満足できなかった	10.4	5	その他(具体的に)	0.5	(無回答)	0.5	

問 33 市は、市政の情報を、下記のような様々な方法で積極的に配信・提供していますが、あなたは、いずれかの方法で必要な市政情報を入手できていますか。(○は1つだけ) n=1,795

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、メール(市長メールマガジン、犯罪・不審者情報、防災情報)、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、などで配信・提供しています。

1	できている	19.7	2	ほぼできている	54.2	3	あまりできていない	5.2
4	できていない	2.3	5	わからない	14.2	(無回答)	4.4	

(問 33 で「3 あまりできていない」または「4 できていない」とお答えの方に)

▶問 33-1 どのような方法で市政情報を入手したいですか。以下の欄にご自由にお書きください。

問34 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(○は1つだけ) n=1,795

市が行っている主な子育て支援策としては、待機児童解消に向けた保育園の定員増、一時保育の拡充、親子つどい広場の開設、市立学童保育所の整備、放課後子ども教室の開催、乳幼児医療費助成や義務教育就学児医療費助成による医療費負担の軽減等の経済的支援を行っています。また、児童館では中高生の居場所づくりに取り組んだり、子ども家庭支援センターでは地域の子育て支援の拠点として児童虐待防止ネットワークなど様々な取組を行っています。

1	満足している	2.2	2	ほぼ満足している	25.6	3	あまり満足していない	5.2
4	満足していない	3.0	5	その他(具体的に)	1.7	(無回答)	6.0	
6	わからない	56.3						

(問 34 で「3 あまり満足していない」または「4 満足していない」とお答えの方に)

▶問 34-1 そのように感じる理由があれば、以下の欄にご自由にお書きください。

問 35 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 感じる	4.6	2 多少感じる	23.1	3 あまり感じない	43.6
4 感じない	21.4	5 わからない	6.4	(無回答)	0.9

問 36 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 そう思う	4.9	2 どちらかといえばそう思う	34.1	3 あまりそう思えない	38.8
4 思えない	12.1	5 わからない	8.9	(無回答)	1.2

問 37 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 大いにある	14.9	2 ある	52.5	3 少しはある	30.0	4 ない	1.7	(無回答)	0.9
---------	------	------	------	---------	------	------	-----	-------	-----

問 38 あなたは、本市の環境(水、緑、ごみ、大気など)が以前と比べどうなったと感じていますか。

(○は1つだけ) n=1,795

1 良くなった	9.4	2 どちらかといえば良くなった	49.0
3 どちらかといえば悪くなった	9.5	4 悪くなった	3.3
5 わからない	27.6	(無回答)	1.2

問 39 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は2つまで) n=1,795

1 違法駐車	22.2	2 放置自転車	26.5	3 ペットのふん	25.3
4 ごみ・たばこのポイ捨て	48.7	5 落書き	21.8	6 違法看板	15.5
7 はみ出し営業	10.6	8 その他(具体的に)	8.2	(無回答)	3.0

問 40 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 そう思う	3.1	2 どちらかといえばそう思う	37.9	3 あまりそう思えない	38.9
4 思えない	7.5	5 わからない	10.9	(無回答)	1.6

問 41 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ) n=1,795

1 常に実行している	50.9	2 時々実行している	43.4
3 今後は実行したい	4.6	4 実行するつもりはない	0.3
		(無回答)	0.8

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、5月30日(月)までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

市政世論調査報告書（第 43 回）

平成 23 年 10 月

発行 八王子市 総合政策部 広聴広報室（広聴担当）
東京都八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042 (620) 7411（直通）
FAX 042 (620) 7322

調査担当 社団法人 日本リサーチ総合研究所
電話 03 (5216) 7311